

令和4年度  
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
在宅介護実態調査  
報告書

令和5年3月  
沼津市



# 目次

## I. 調査概要

---

1. 調査の目的	1
2. 調査の内容	1
3. 調査の方法	1
4. 回収状況	2
5. 注意事項	2

## II. 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

---

(1) あなたのご家族や生活状況について	3
(2) からだを動かすことについて	16
(3) 食べることについて	36
(4) 毎日の生活について	58
(5) 地域での活動について	74
(6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について	96
(7) 健康について	108
(8) 認知症にかかる相談窓口の把握について	122
(9) その他について	128
(10) 日常生活圏域ごとの高齢者の身体機能の状況の分析	148

## III. 調査結果【在宅介護実態調査】

---

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします。	155
(1) あなたのご家族や生活について	155
(2) 介護・介助の状況について	166
(3) 在宅生活について	196
B票 主な介護者の方について、お伺いします。	206
(1) 主な介護者の状況について	206
(2) 主な介護者の就労について	216
(3) 支援について	224



## 調查概要



# I. 調査概要

## 1. 調査の目的

平成12年に介護保険制度がスタートし、その後も高齢者を取り巻く環境が、大きく変化し続けていることを受けて、令和2年度には第8期計画のための見直しが行われました。これらの動きの中で沼津市におけるサービス利用の実態を把握し、介護保険制度をより円滑に運営していくために役立てていくとともに、要介護認定を受けていない高齢者においても、ふだんの生活や健康などについてどのようなご意見を持っているかを把握することで、今後の高齢者保健福祉行政に役立てるために、アンケートを実施しました。

## 2. 調査の内容

### 【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- (1) あなたのご家族や生活状況について
- (2) からだを動かすことについて
- (3) 食べることについて
- (4) 毎日の生活について
- (5) 地域での活動について
- (6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について
- (7) 健康について
- (8) 認知症にかかる相談窓口の把握について
- (9) その他について
- (10) 日常生活圏域ごとの高齢者の身体機能の状況の分析

### 【在宅介護実態調査】

#### A票

- (1) あなたのご家族や生活について
- (2) 介護・介助の状況について
- (3) 在宅生活について

#### B票

- (1) 主な介護者の状況について
- (2) 主な介護者の就労について
- (3) 支援について

## 3. 調査の方法

調査対象：高齢者一般調査・・・沼津市在住の65歳以上の男女  
総合事業対象者調査・・・沼津市在住の総合事業対象認定を受けている男女  
在宅要支援認定者調査・・・沼津市在住の要支援認定を受けている男女  
在宅要介護認定者調査・・・沼津市在住の要介護認定を受けている男女

抽出方法：高齢者一般調査・・・1,500人を無作為抽出  
総合事業対象者調査・・・150人を無作為抽出  
在宅要支援認定者調査・・・800人を無作為抽出  
在宅要介護認定者調査・・・1,100人を無作為抽出

調査方法：郵送配布 郵送回収

調査期間：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
令和4年12月7日～令和4年12月23日  
在宅介護実態調査  
令和4年12月7日～令和4年12月23日

## 4. 回収状況

	発送数	回収数	有効回収数 <sup>1</sup>	有効回収率
高齢者一般調査	1,500通	1,001票	1,001票	66.7%
総合事業対象者調査	150通	87票	87票	58.0%
在宅要支援認定者調査	800通	540票	540票	67.5%
在宅要介護認定者調査	1,100通	617票	617票	56.1%

## 5. 注意事項

- ①回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してある。
- ②百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ③1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ④スペースの関係上、一部設問、選択肢の文言を省略している箇所がある。

<sup>1</sup>有効回収数：回収票から全く回答がないもの（白票）や回答が少ないもの（無効票）を除いた数。

<sup>2</sup>対象者の振り分けのできない2票があったため高齢者一般・総合事業対象者・在宅要支援認定者の回収合計数も示しています。



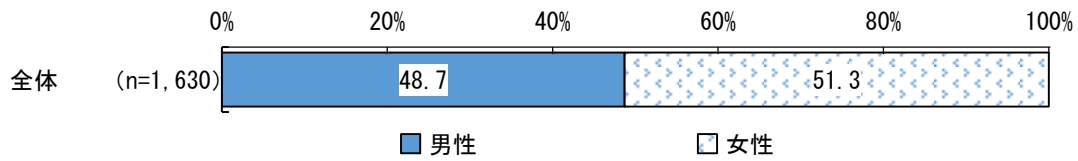
**調査結果**  
**【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】**



## Ⅱ. 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

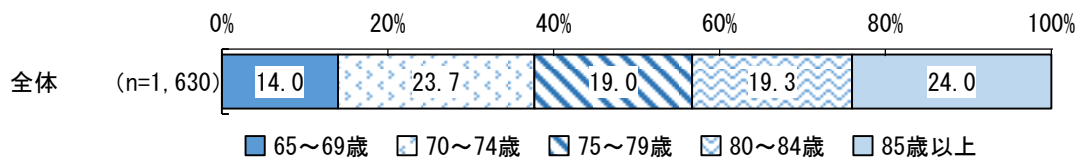
### (1) あなたのご家族や生活状況について

#### F 1 調査対象者の性別



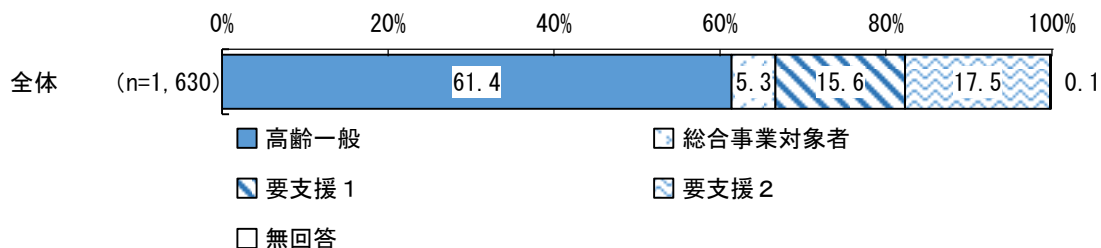
性別においては、「男性」が48.7%、「女性」が51.3%となっています。

#### F 2 調査対象者の年齢

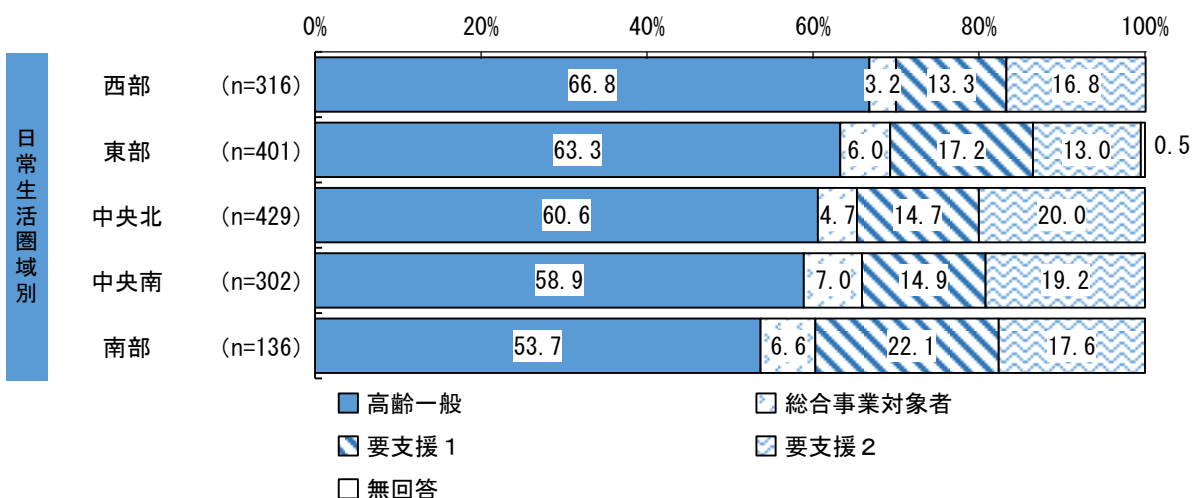


年齢においては、「85歳以上」が24.0%と最も多く、次いで「70~74歳」が23.7%、「80~84歳」が19.3%などとなっています。

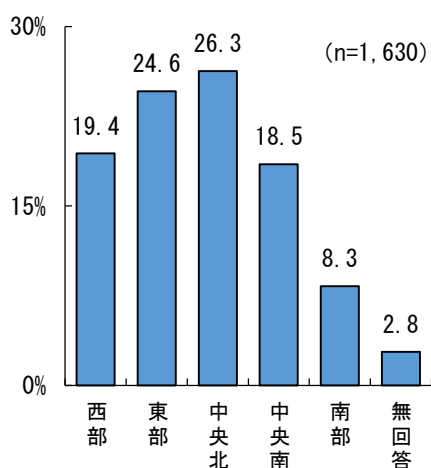
F 3 調査対象者の対象種別



対象種別においては、「高齢一般」が61.4%、「総合事業対象者」が5.3%、「要支援1」が15.6%、「要支援2」が17.5%となっています。



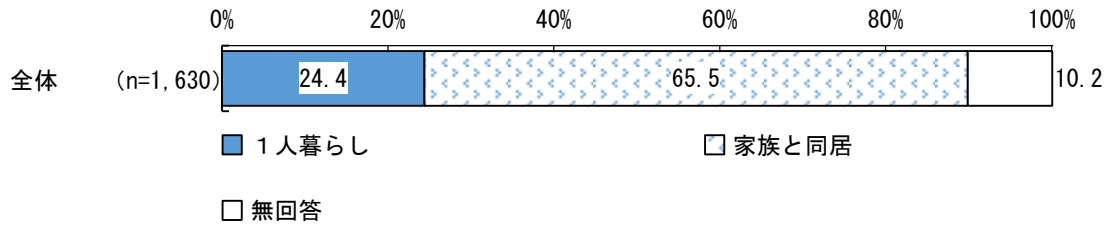
F 4 居住地区・日常生活圏域



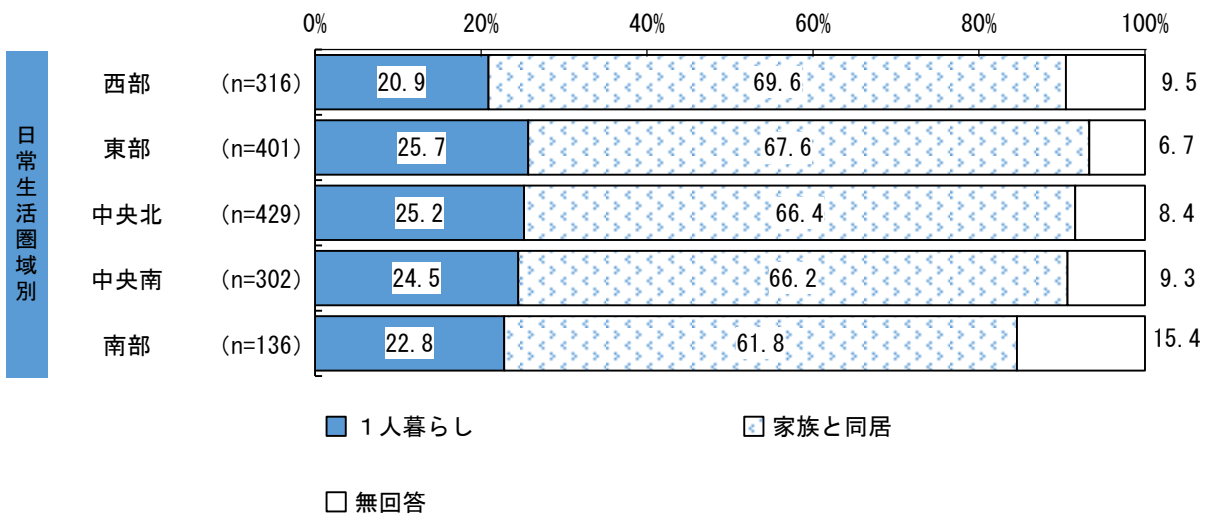
圏域名	居住地区名
西部	愛鷹・原・浮島
東部	金岡・大岡・門池
中央北	第一・第二・第五・片浜・今沢
中央南	第三・第四・大平
南部	静浦・内浦・西浦・戸田

日常生活圏域においては、「中央北」が26.3%と最も多く、次いで「東部」が24.6%、「西部」が19.4%などとなっています。

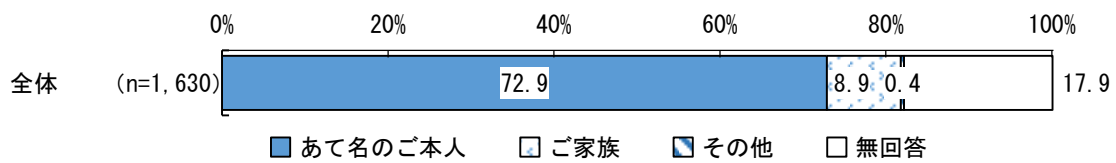
F 5 居住状況



居住状況においては、「一人暮らし」が24.4%、「家族と同居」が65.5%となっています。

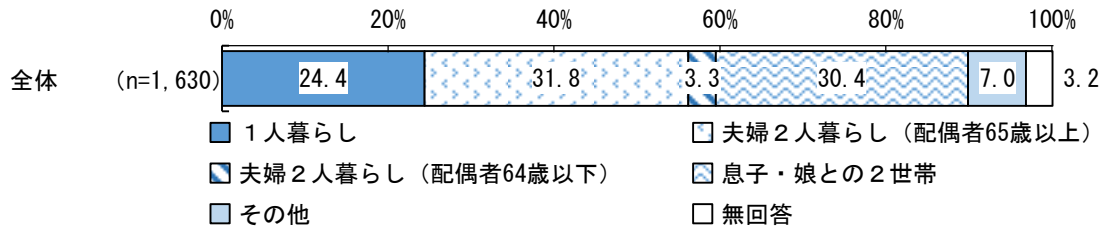


F 6 調査票の記入者



調査票の記入者においては、「あて名のご本人」が72.9%、「ご家族」が8.9%、「その他」が0.4%となっています。

問1 家族構成をお教えてください。(○はひとつ)



「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」と答えた人がおよそ30%

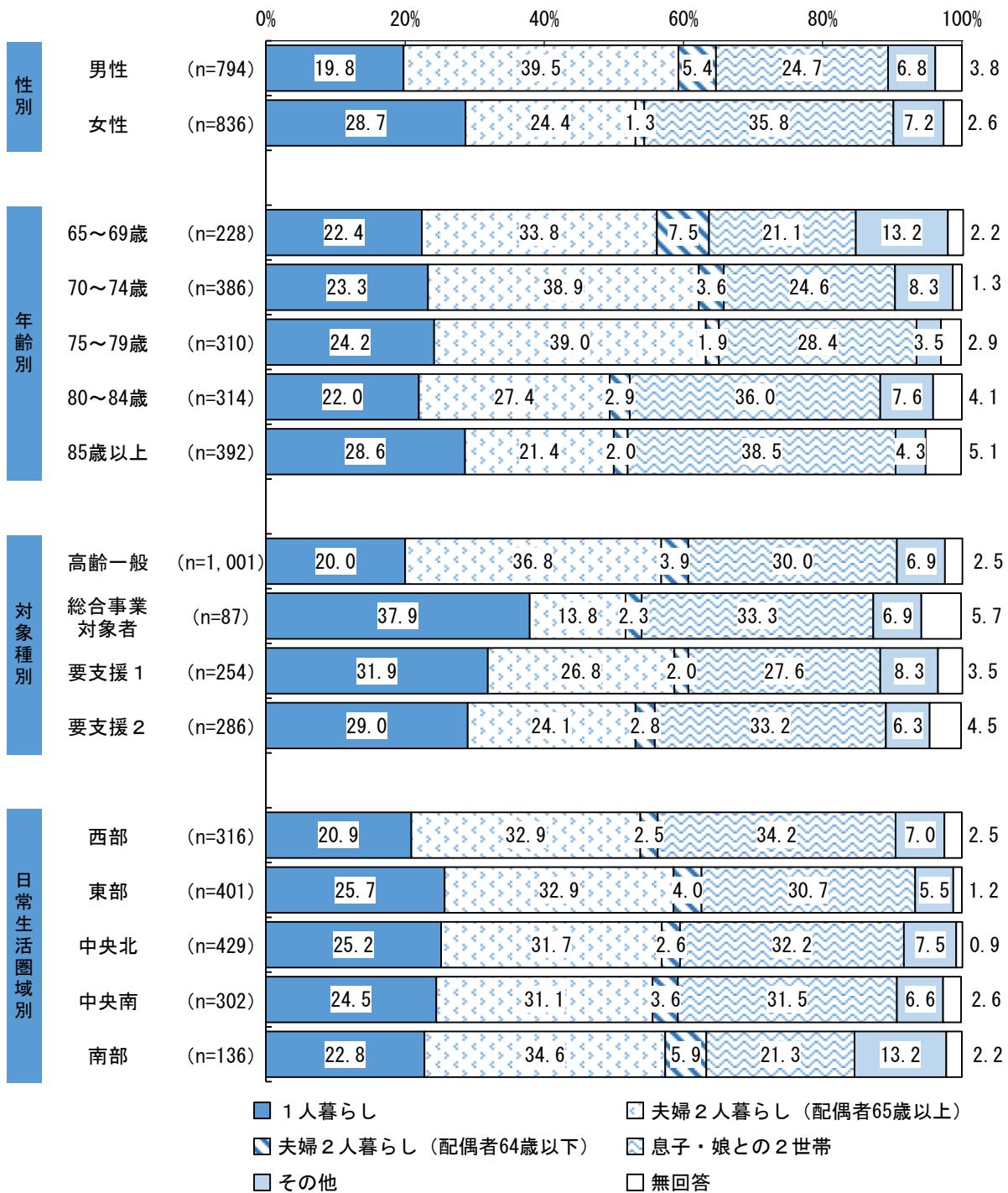
家族構成においては、「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」が31.8%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が30.4%、「1人暮らし」が24.4%などとなっています。

性別にみると、“女性”では「息子・娘との2世帯」が35.8%と最も多くなっています。

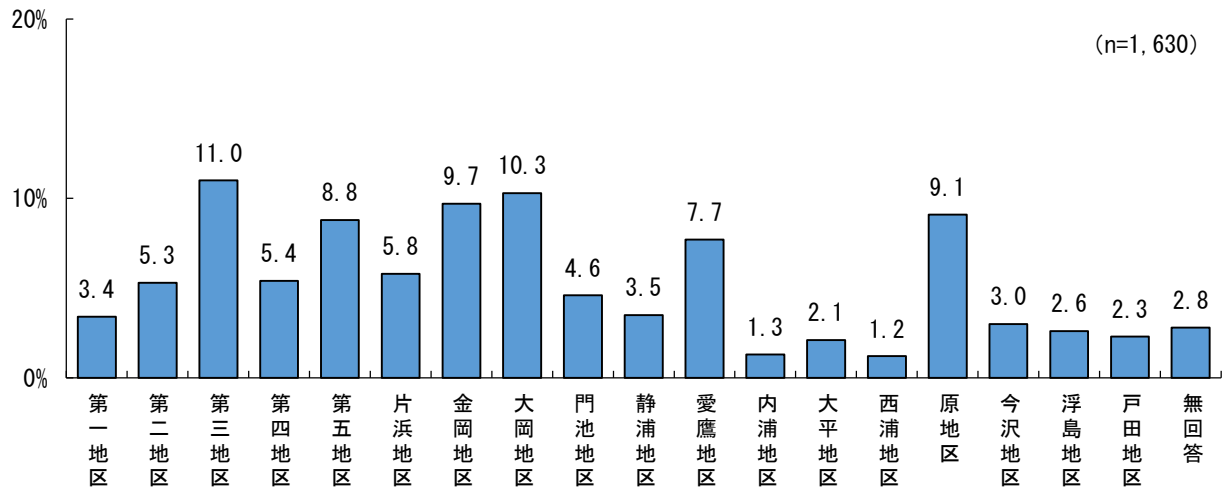
年齢別にみると、“80～84歳”、“85歳以上”では「息子・娘との2世帯」が最も多くなっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”では「1人暮らし」が最も多くなっています。また、“要支援2”では「息子・娘との2世帯」が33.2%と最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“西部”では「息子・娘との2世帯」が34.2%と最も多くなっています。

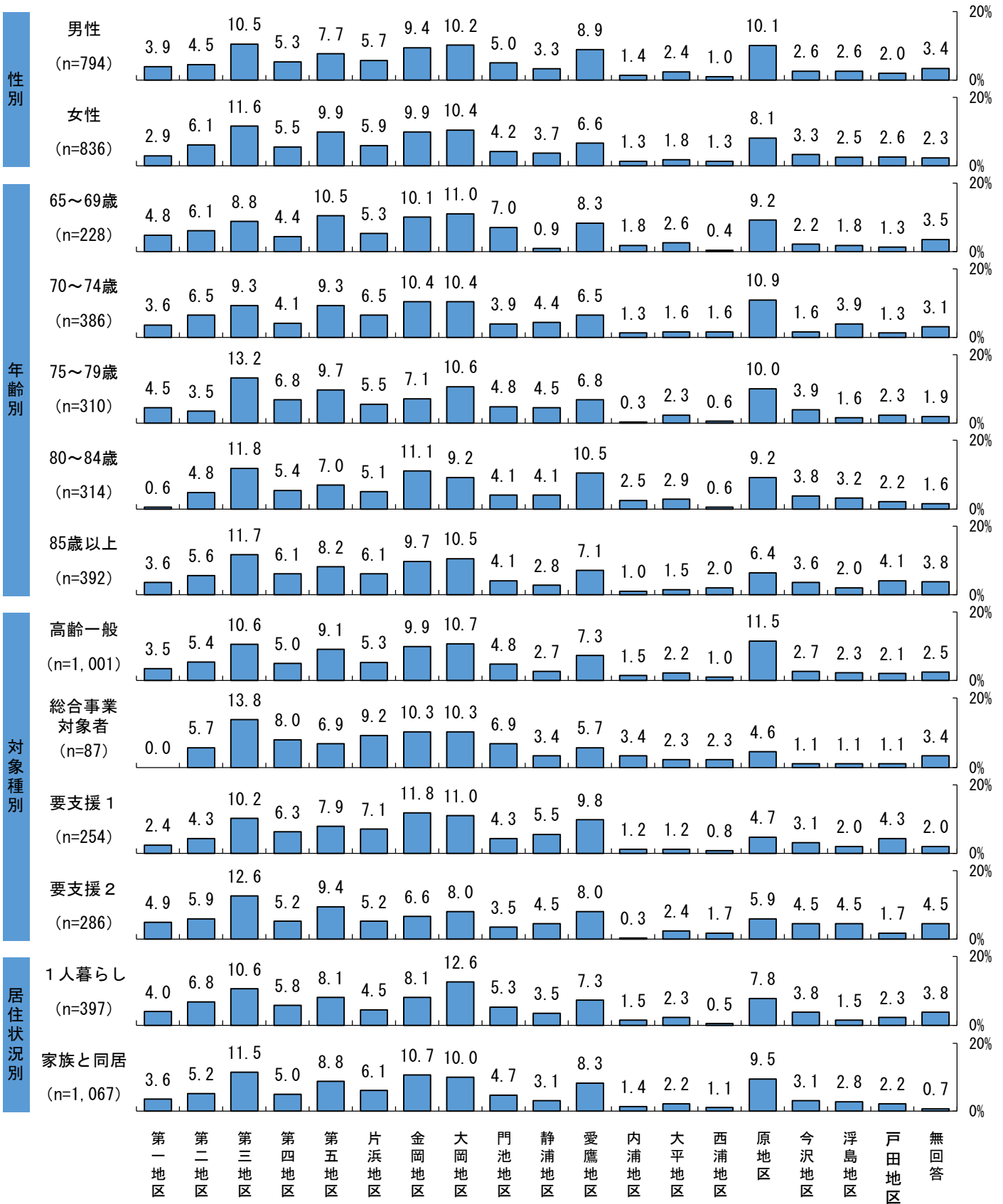


問2 あなたの住所地の地区をお教えてください。(〇はひとつ)

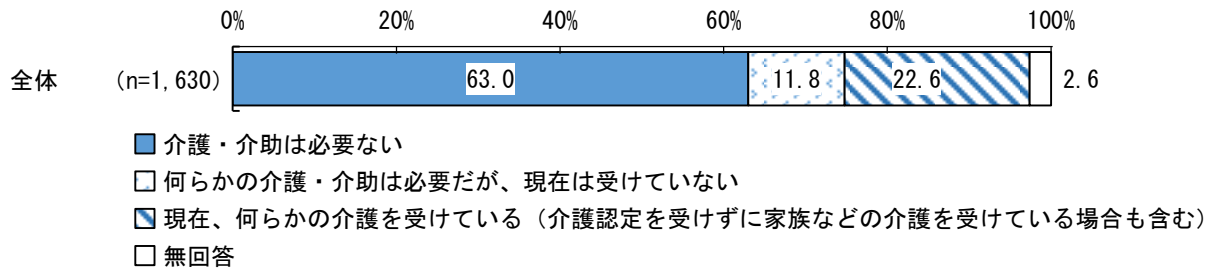


居住地区においては、「第三地区」が11.0%と最も多く、次いで「大岡地区」が10.3%、「金岡地区」が9.7%などとなっています。





問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇はひとつ)

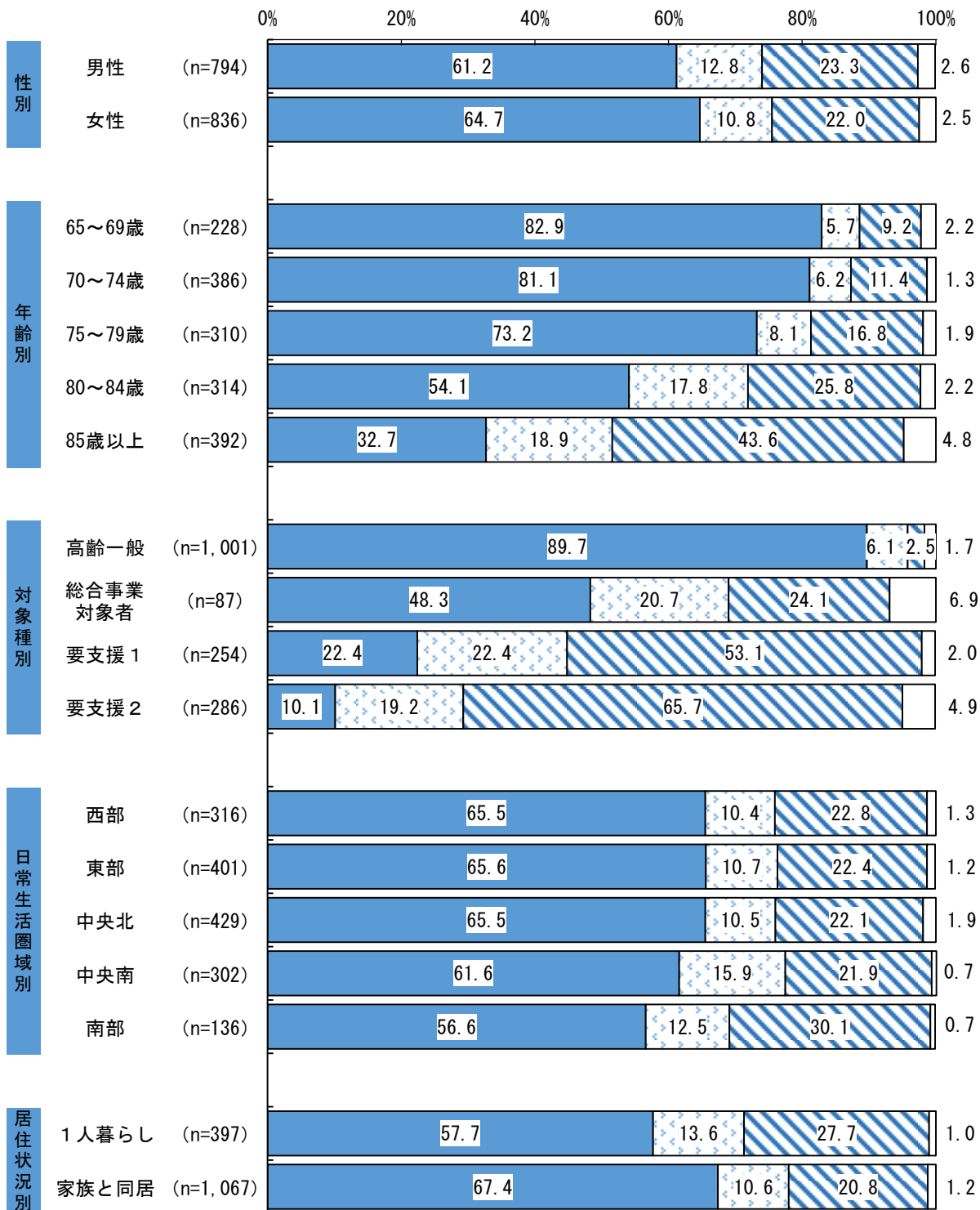


### 「介護・介助は必要ない」と答えた人がおよそ60%

普段の生活で介護・介助が必要かにおいては、「介護・介助は必要ない」が63.0%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が11.8%、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が22.6%となっています。

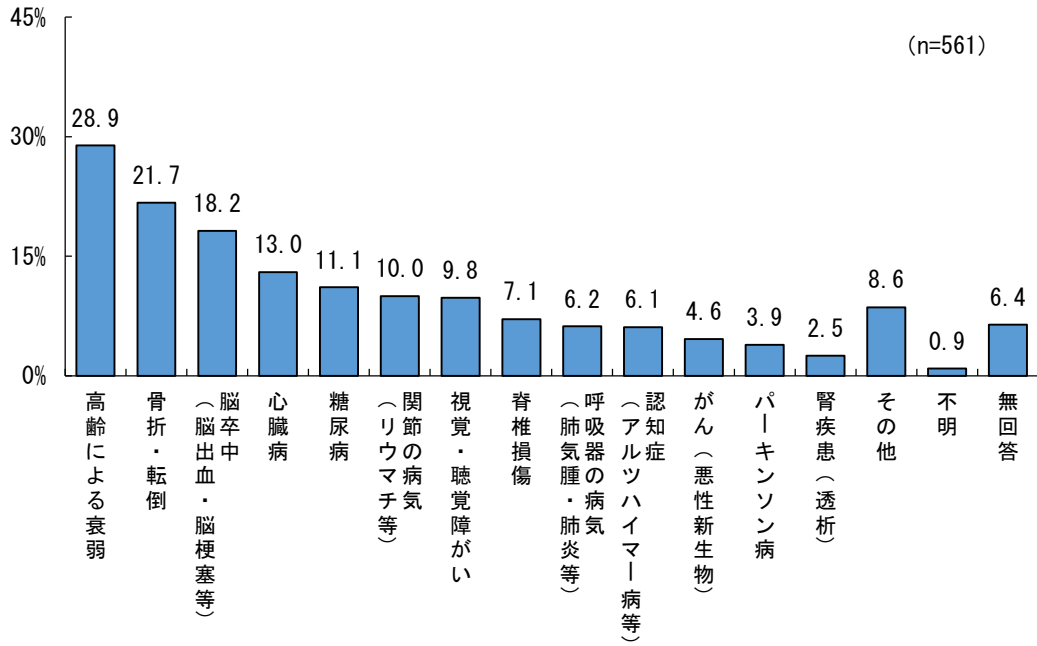
年齢別にみると、“85歳以上”では「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が43.6%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が最も多くなっています。



- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）
- 無回答

問4 介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)



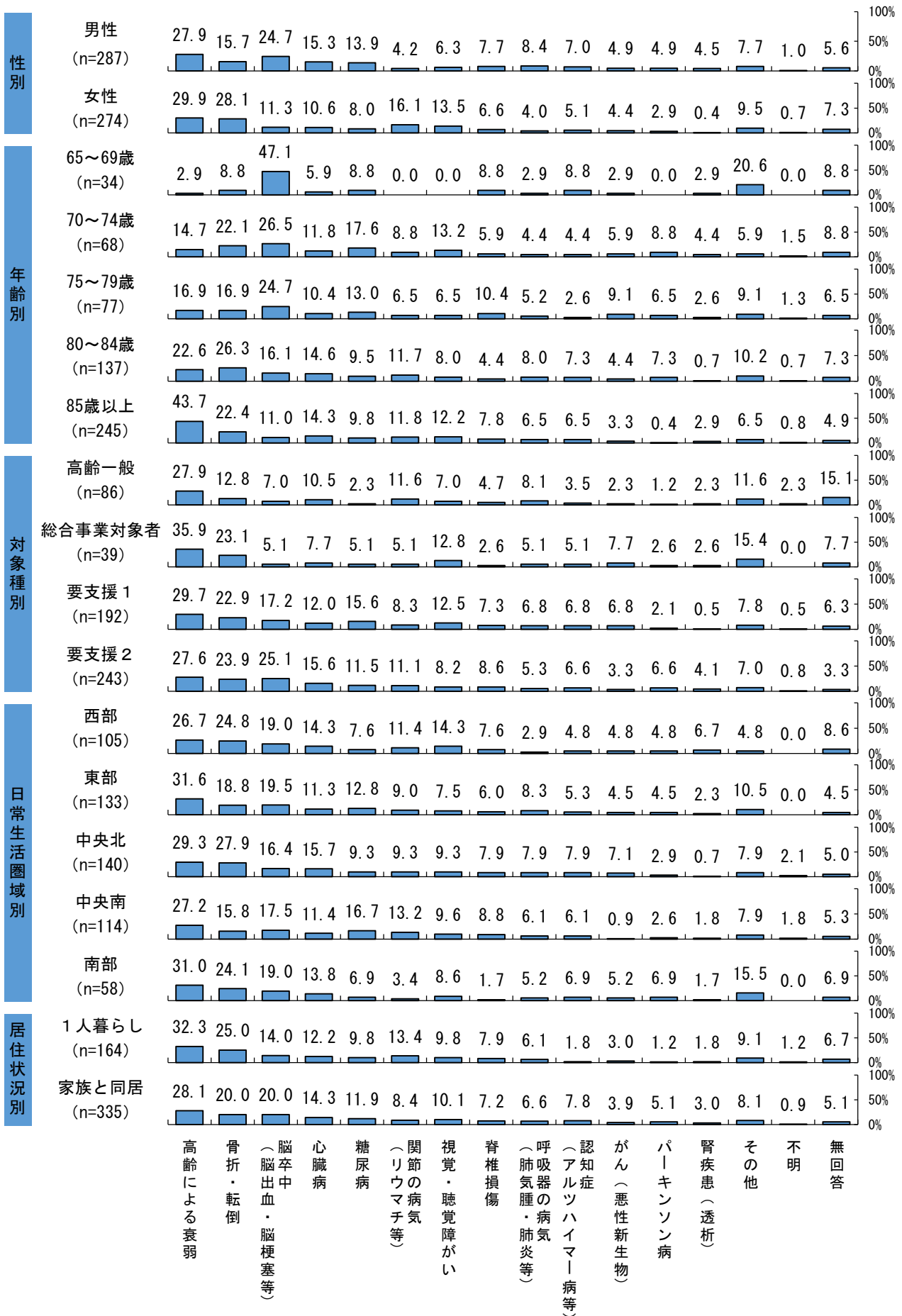

---

**65～69歳では「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」がおよそ50%**

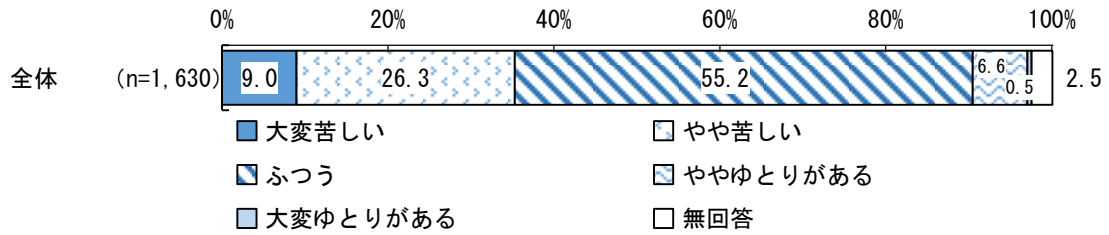
---

介護・介助が必要になった原因においては、「高齢による衰弱」が28.9%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が21.7%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が18.2%などとなっています。

年齢別にみると、「65～69歳」、「70～74歳」、「75～79歳」では「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が最も多くなっています。また、「80～84歳」では「骨折・転倒」が26.3%と最も多くなっています。



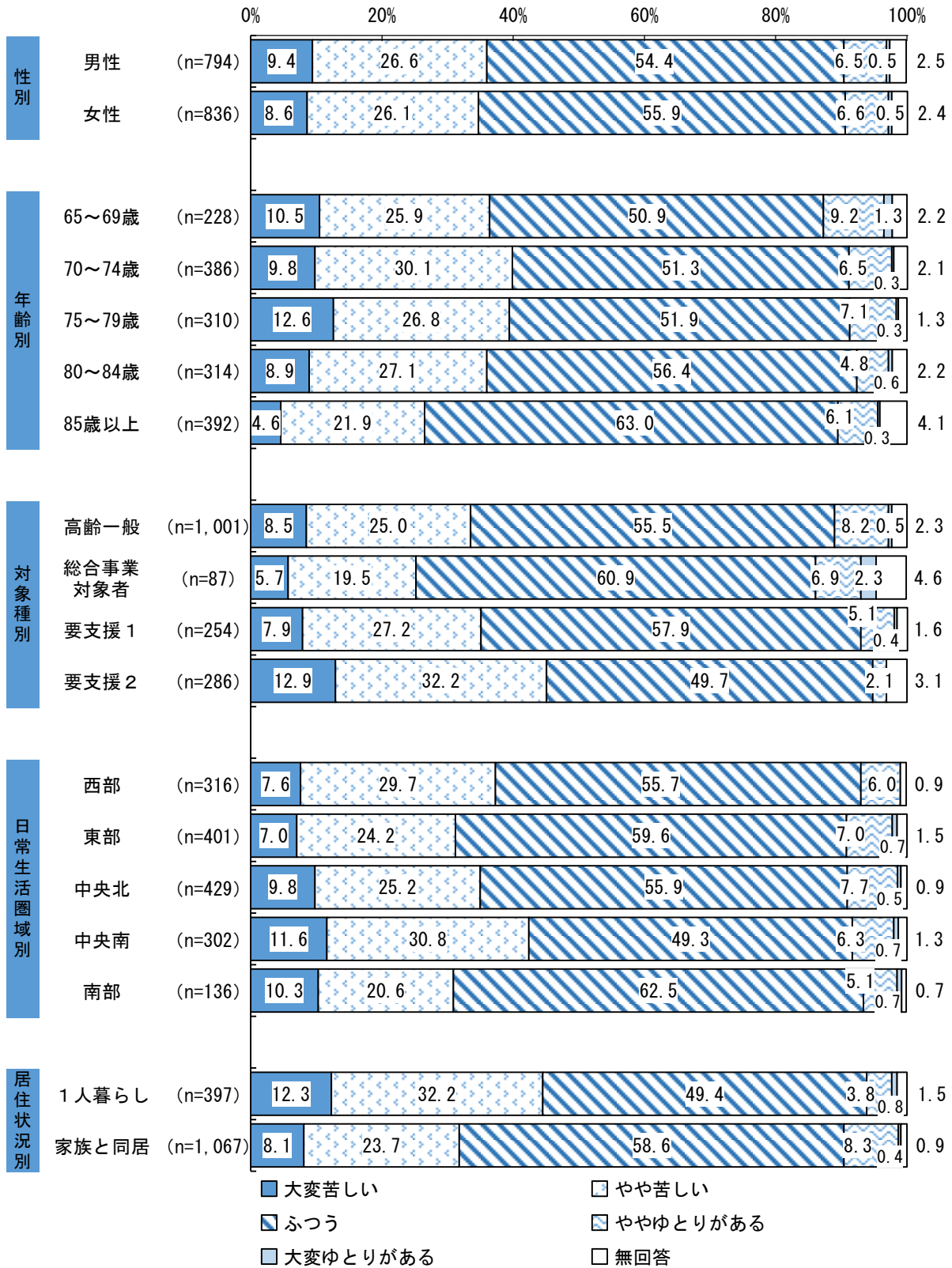
問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)



「ふつう」と答えた人がおよそ60%

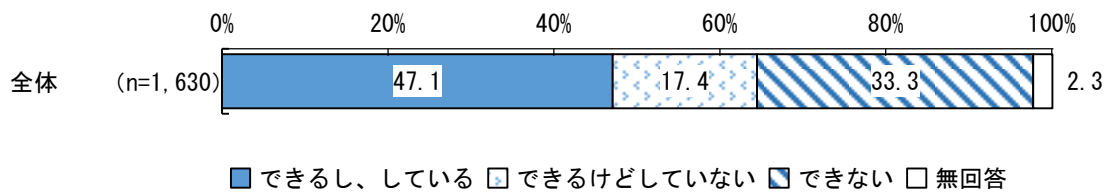
『苦しい』と答えた人がおよそ40%

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかにおいては、「ふつう」が55.2%と最も多く、次いで「やや苦しい」が26.3%、「大変苦しい」が9.0%などとなっています。



(2) からだを動かすことについて

問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(〇はひとつ)



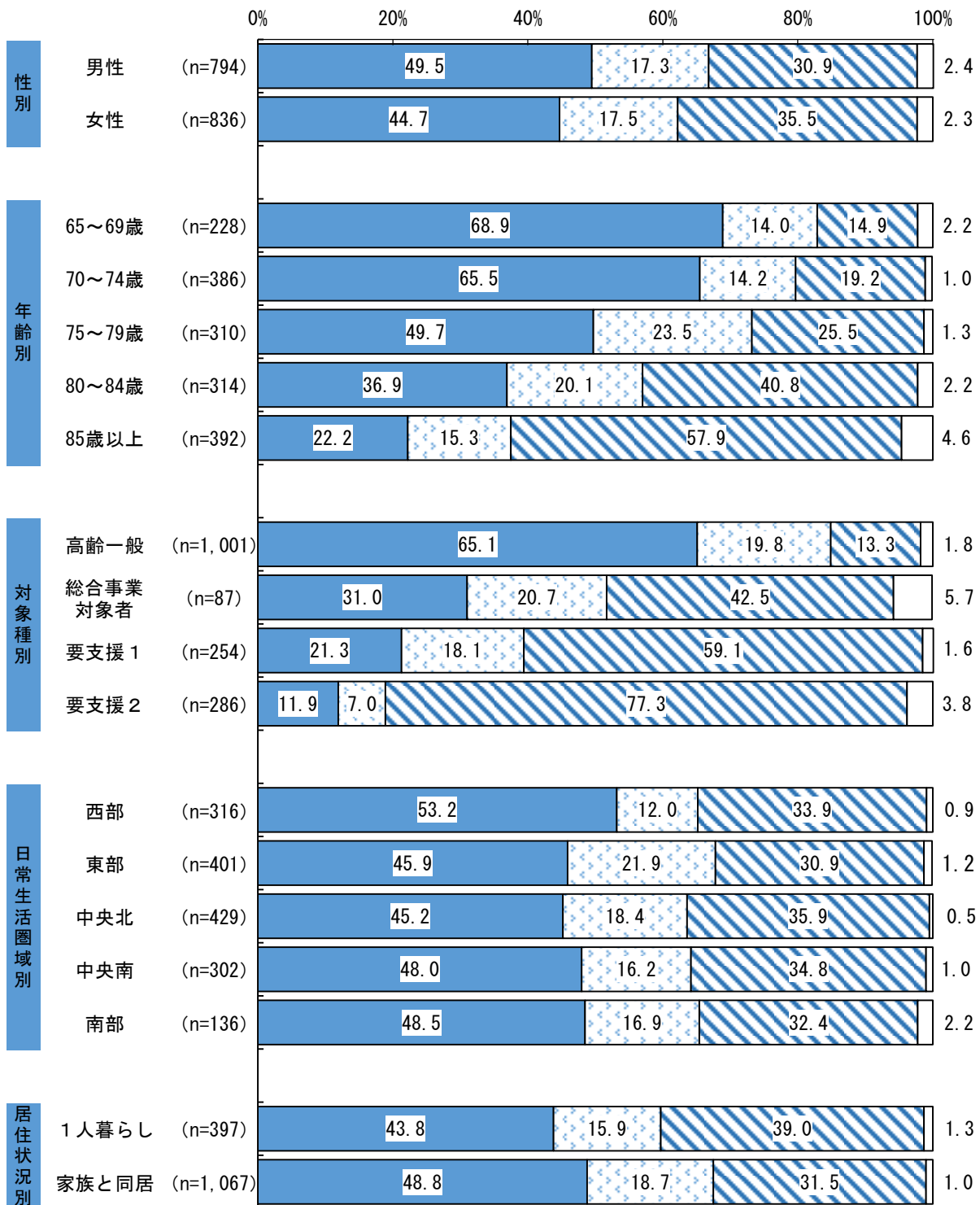
85歳以上では「できない」と答えた人がおよそ60%  
80～84歳では『していない』と答えた人がおよそ60%

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかにおいては、「できるし、している」が47.1%、「できるけどしていない」が17.4%、「できない」が33.3%となっています。「できるけどしていない」と「できない」を足した『していない』は50.7%となっています。

年齢別にみると、“80～84歳”、“85歳以上”では「できない」が最も多くなっています。

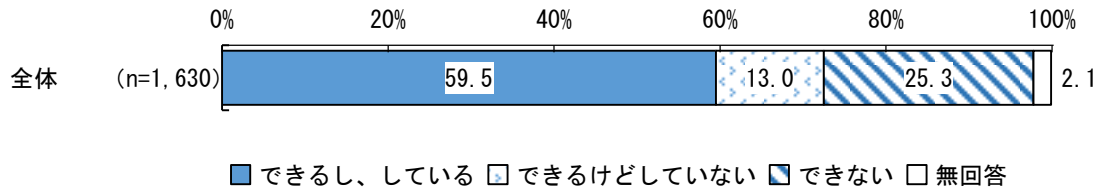
対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「できない」が最も多くなっています。





■ できるし、している □ できるけどしていない ▨ できない □ 無回答

問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

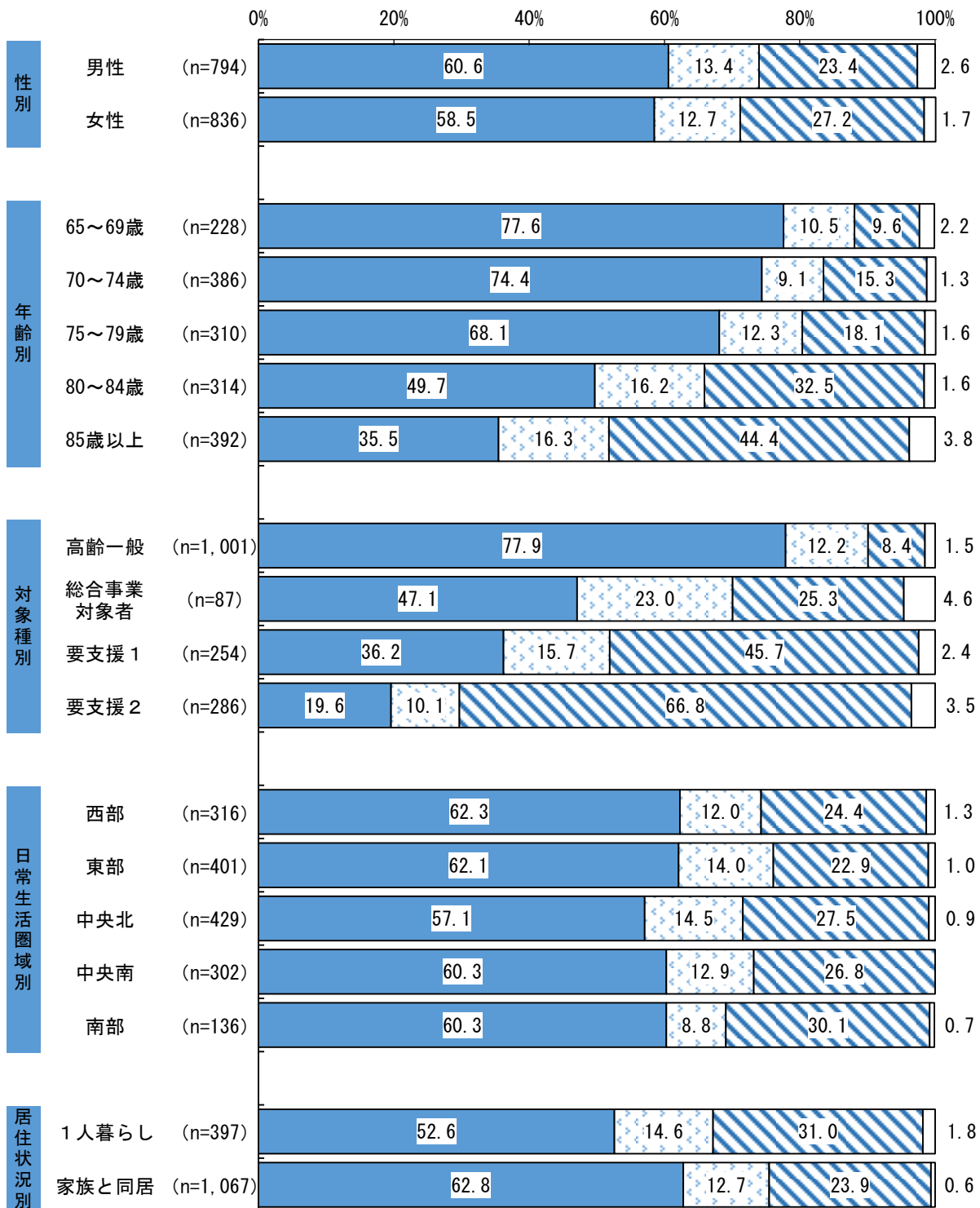


---

全体では「できるし、している」と答えた人がおよそ60%  
また、要支援2では「できない」と答えた人がおよそ70%

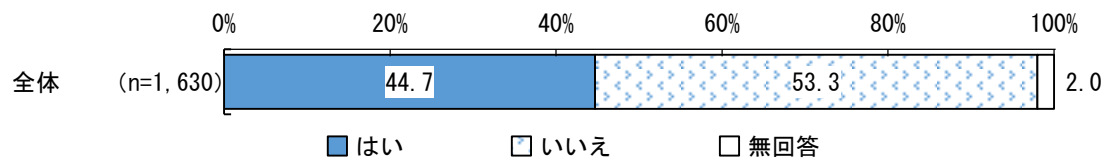
---

座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかにおいては、「できるし、している」が59.5%、「できるけどしていない」が13.0%、「できない」が25.3%となっています。  
年齢別にみると、“85歳以上”では「できない」が44.4%と最も多くなっています。  
対象種別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「できない」が最も多くなっています。



■ できるし、している □ できるけどしていない ▨ できない □ 無回答

問8 1回30分以上の汗をかく運動（散歩・畑仕事などを含む）を、週2回以上1年以上実施していますか。（○はひとつ）



---

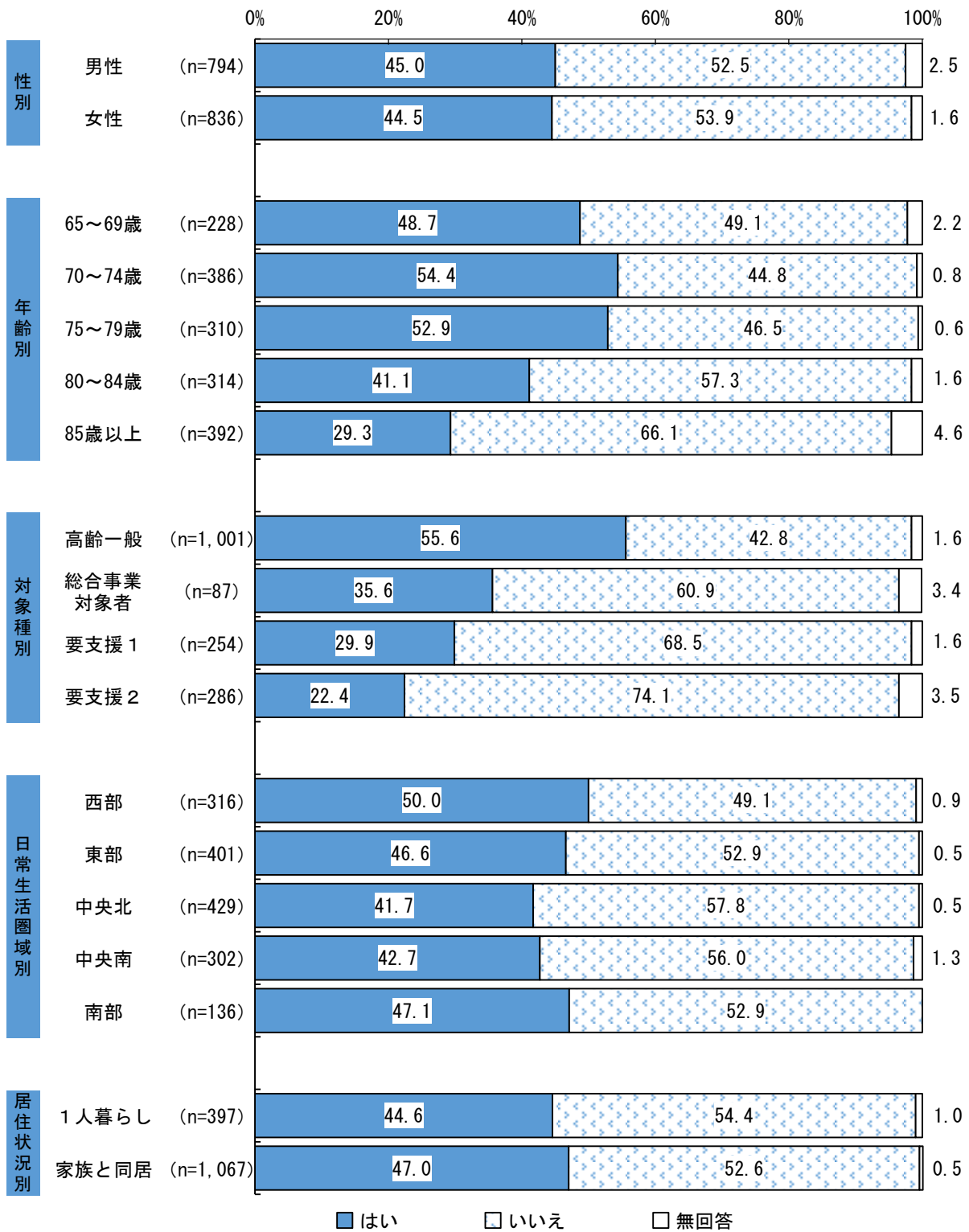
### 「いいえ」と答えた人がおよそ50%

---

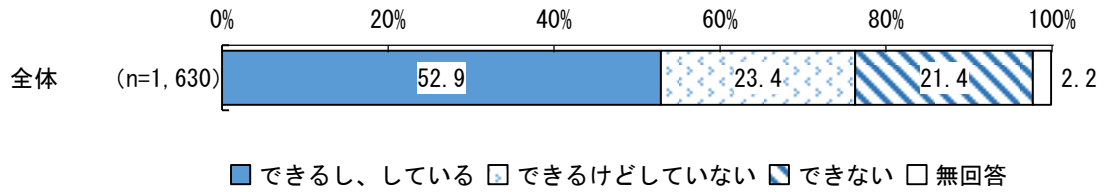
1回30分以上の運動を、週2回以上1年以上実施しているかにおいては、「はい」が44.7%、「いいえ」が53.3%となっています。

年齢別にみると、“70～74歳”、“75～79歳”では「はい」が最も多くなっています。

対象種別にみると、“高齢一般”では「はい」が55.6%と最も多くなっています。



問9 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)



---

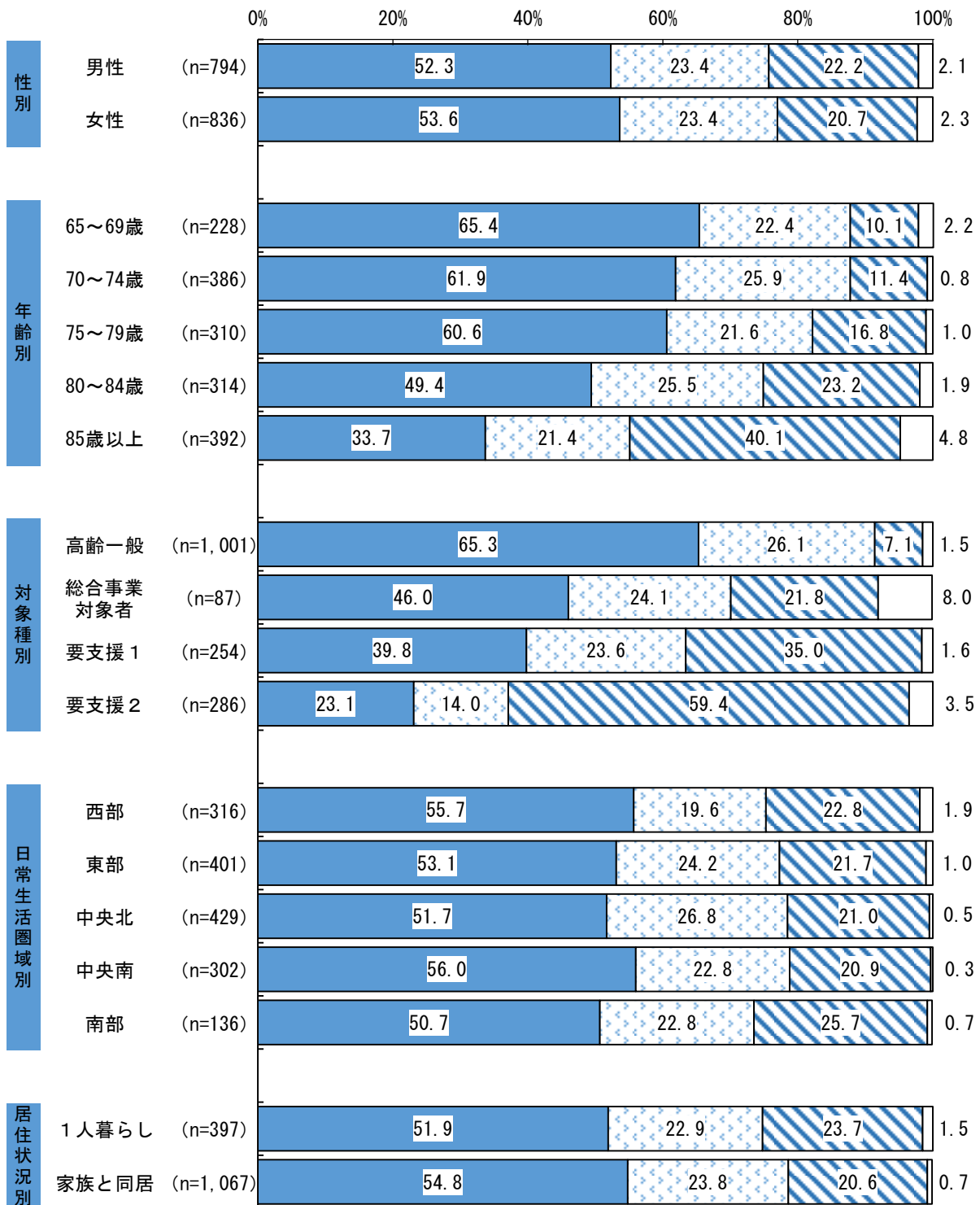
要支援1では「できない」と答えた人がおよそ40%  
要支援2ではおよそ60%

---

15分位続けて歩いているかにおいては、「できるし、している」が52.9%、「できるけどしていない」が23.4%、「できない」が21.4%となっています。

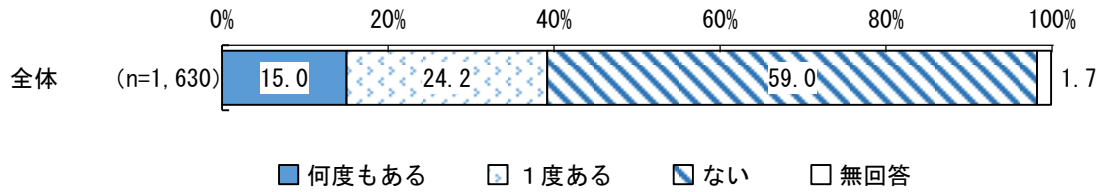
年齢別にみると、“85歳以上”では「できない」が40.1%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「できない」が59.4%と最も多くなっています。



■ できるし、している □ できるけどしていない ▨ できない □ 無回答

問 10 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)



---

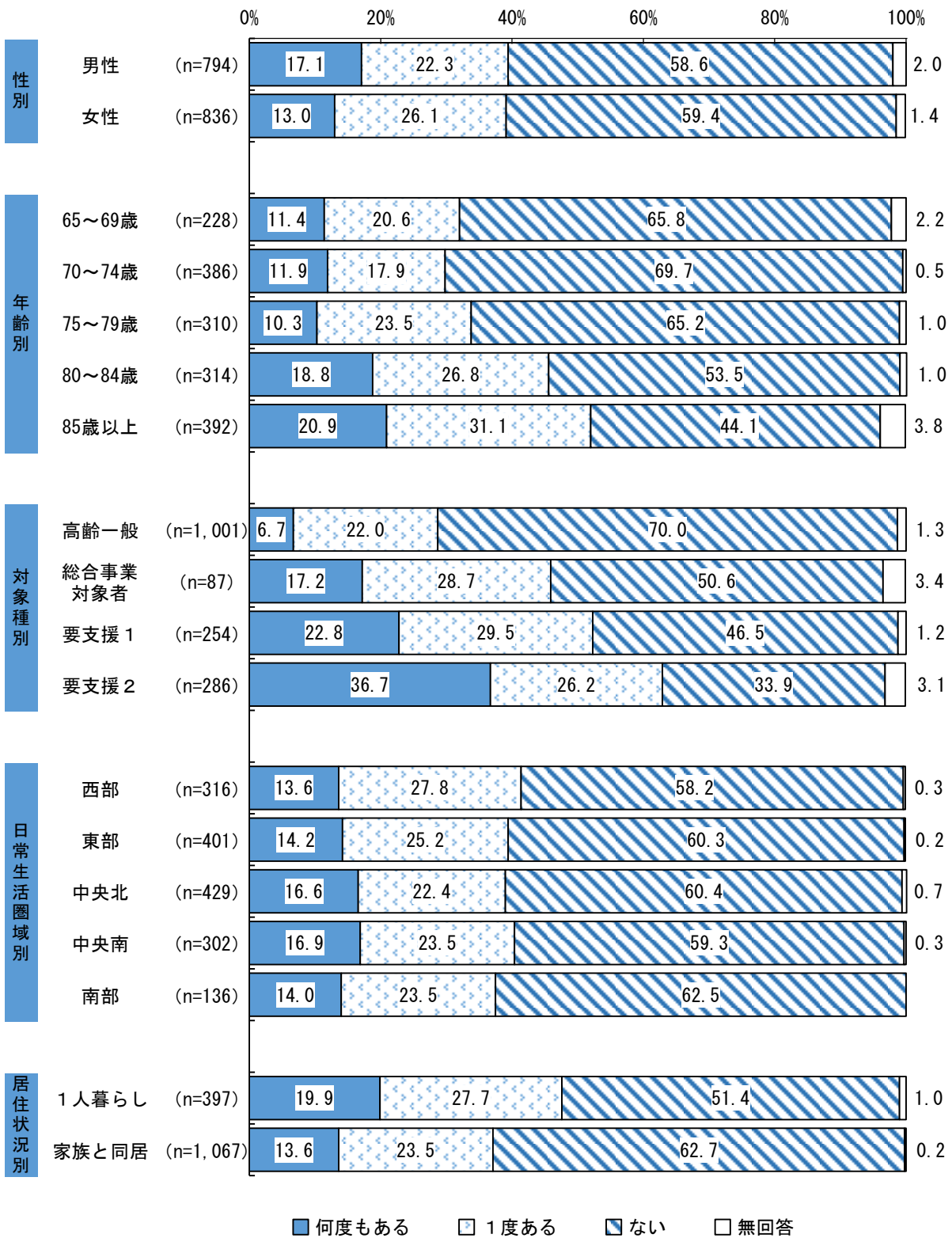
**要支援 2 では『ある』と答えた人がおよそ60%**

---

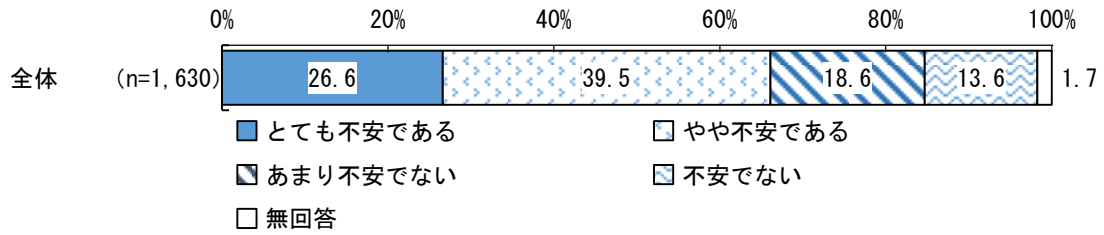
過去 1 年間の転倒経験の有無においては、「何度もある」が15.0%、「1度ある」が24.2%、「ない」が59.0%となっています。「何度もある」と「1度ある」を足した『ある』は39.2%となっています。

対象種別にみると、“要支援 2”では「何度もある」が36.7%と最も多くなっています。





問 11 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

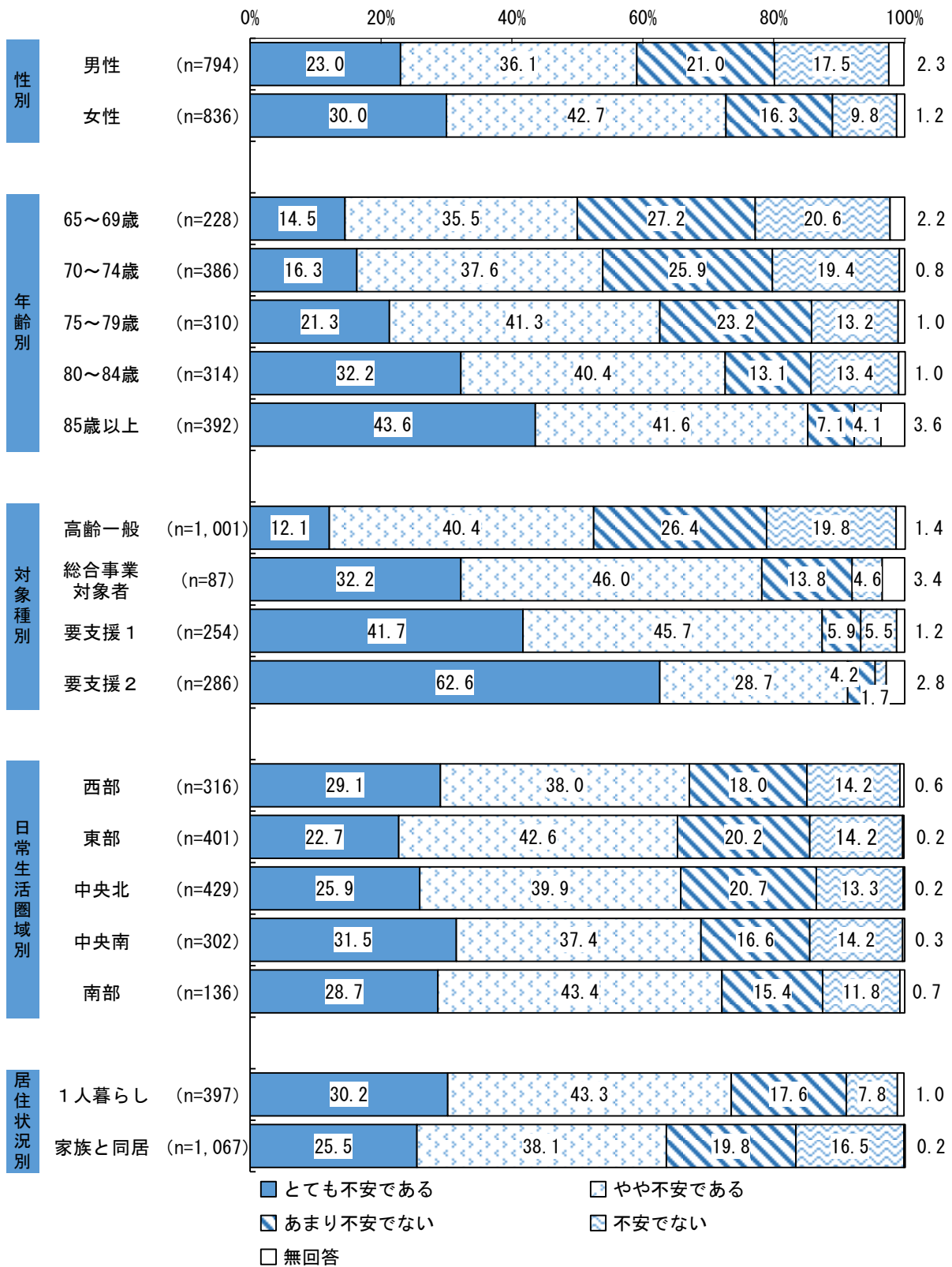


『不安である』と答えた人がおよそ70%

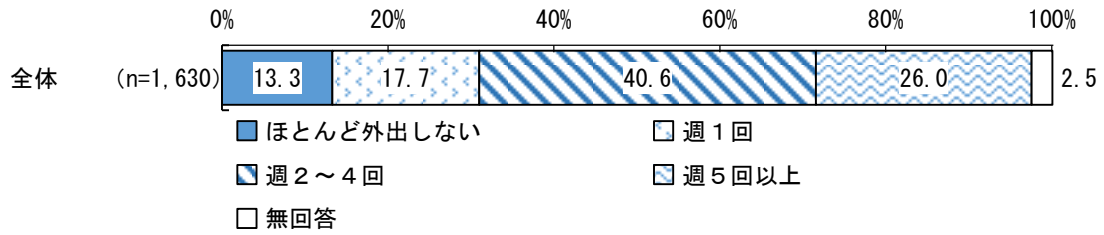
転倒に対する不安の有無においては、「とても不安である」が26.6%、「やや不安である」が39.5%、「あまり不安でない」が18.6%、「不安でない」が13.6%となっています。「とても不安である」と「やや不安である」を足した『不安である』は66.1%となっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「とても不安である」が43.6%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「とても不安である」が62.6%と最も多くなっています。



問 12 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)



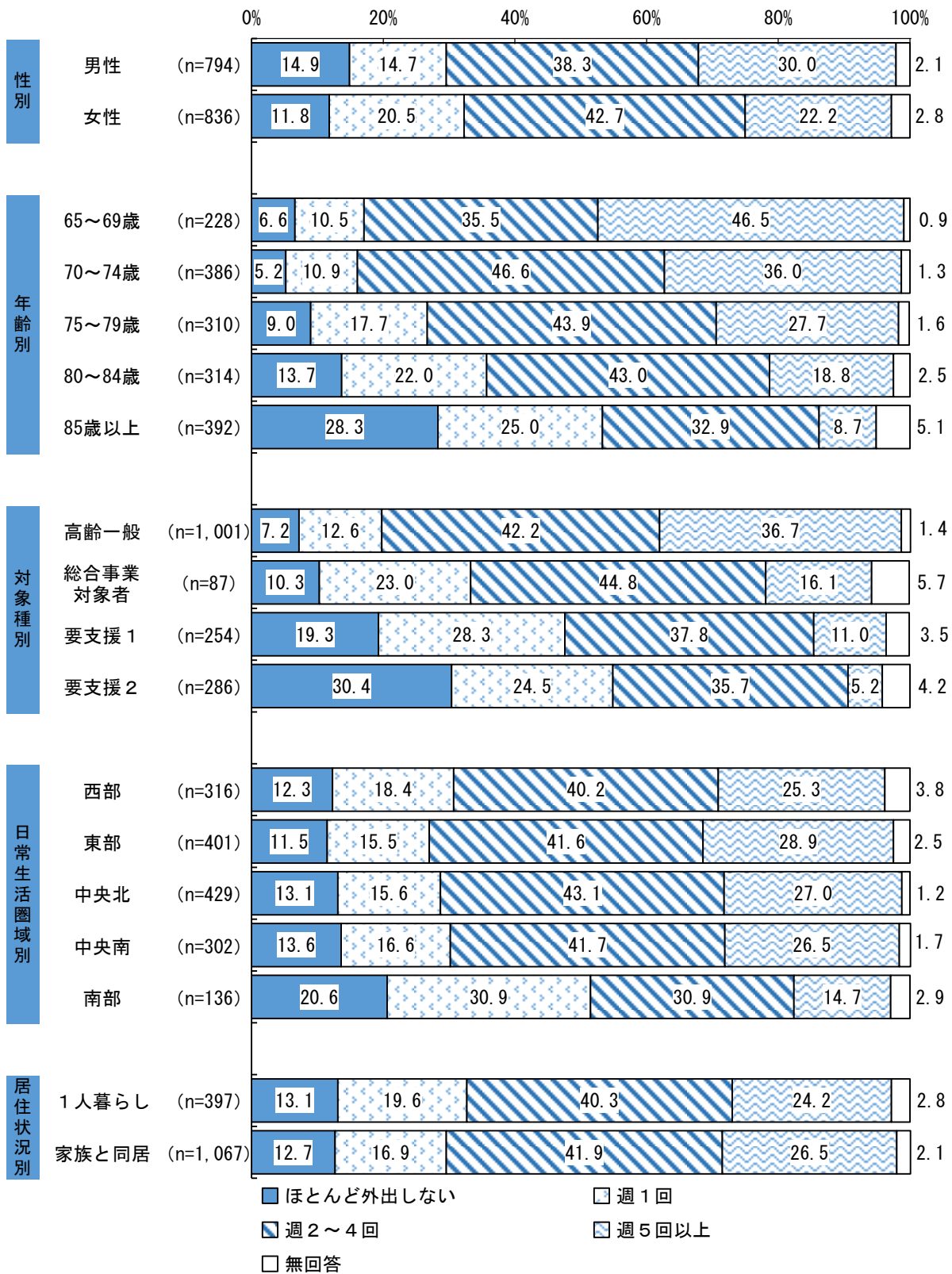
---

**要支援2では「ほとんど外出しない」と答えた人がおよそ30%**

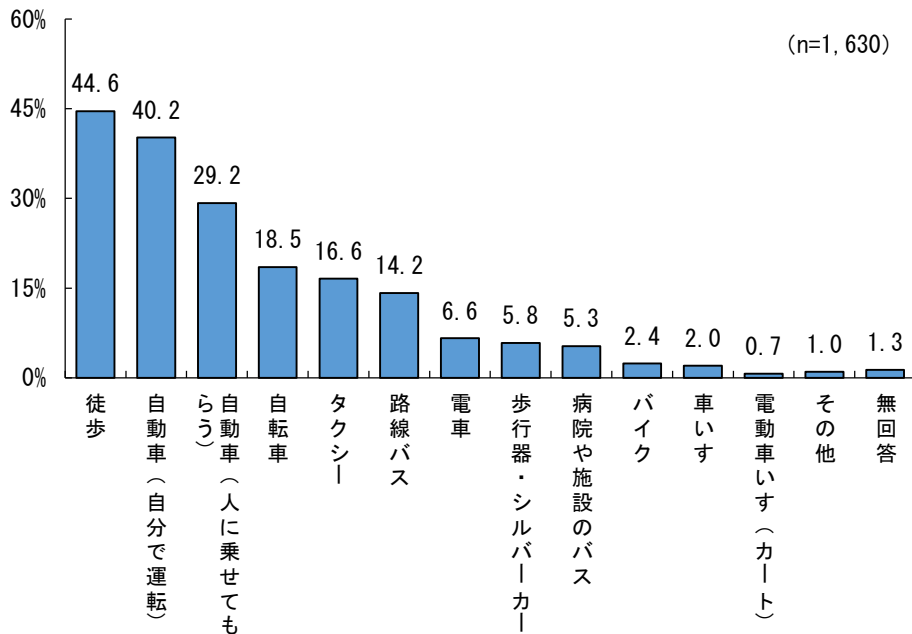
---

週に1回以上は外出しているかにおいては、「ほとんど外出しない」が13.3%、「週1回」が17.7%、「週2~4回」が40.6%、「週5回以上」が26.0%となっています。

年齢別にみると、“65~69歳”では「週5回以上」が46.5%と最も多くなっています。



問 13 外出する際の主な移動手段はどれですか。(〇はいくつでも)




---

**男性、及び年齢別の65～69歳、70～74歳では「自動車 (自分で運転)」と答えた人の割合が最も多い**

---

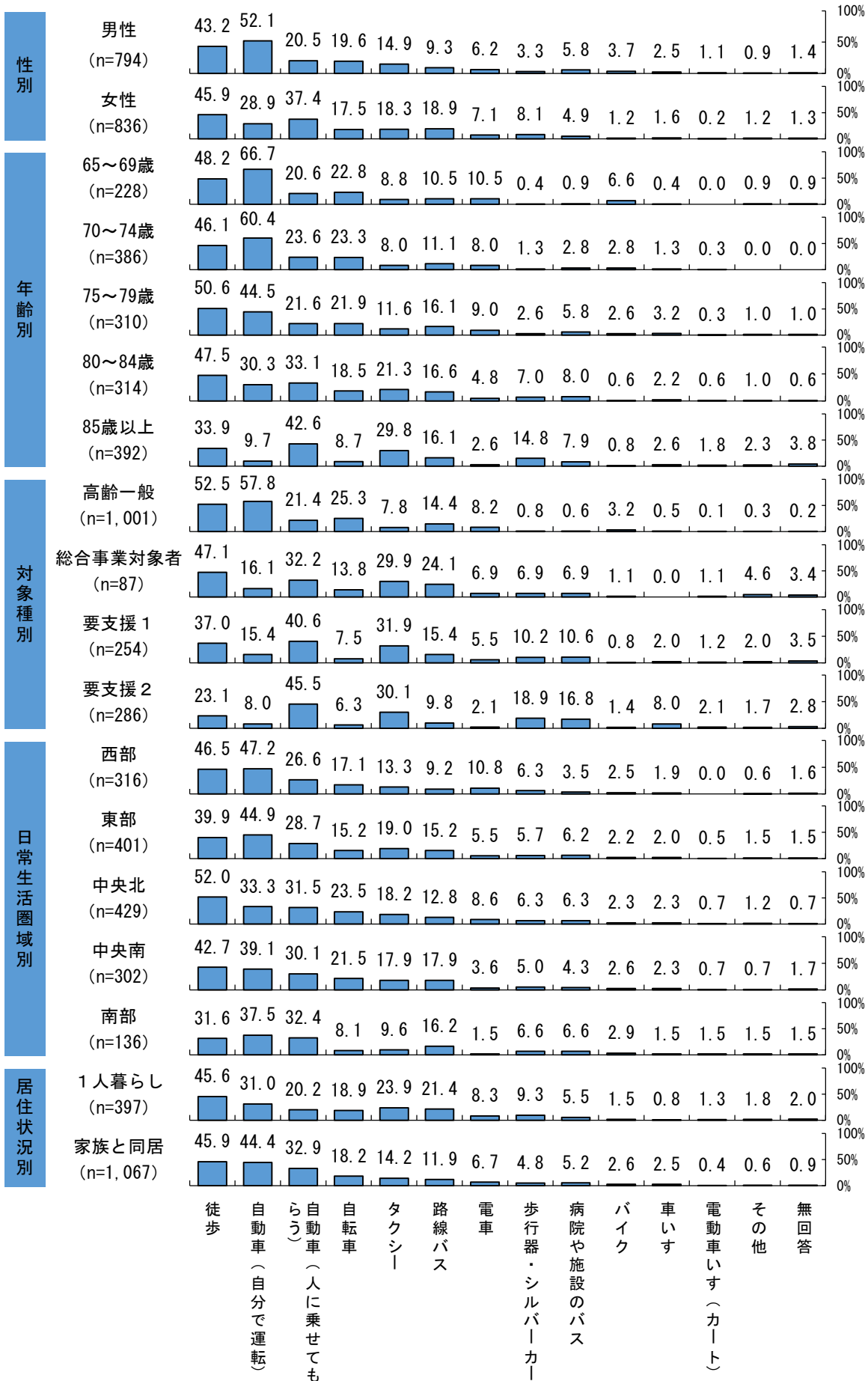
外出する際の主な移動手段においては、「徒歩」が44.6%と最も多く、次いで「自動車 (自分で運転)」が40.2%、「自動車 (人に乗せてもらう)」が29.2%などとなっています。

性別にみると、“男性”では「自動車 (自分で運転)」が52.1%と最も多くなっています。

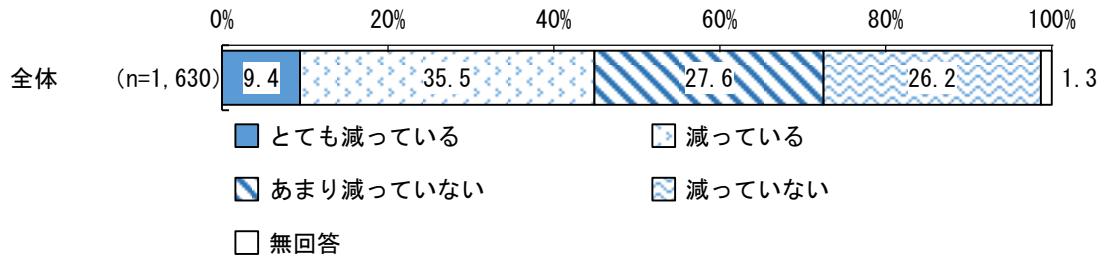
年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”では「自動車 (自分で運転)」が最も多くなっています。また、“85歳以上”では「自動車 (人に乗せてもらう)」が42.6%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“高齢一般”では「自動車 (自分で運転)」が57.8%と最も多くなっています。また、“要支援1”、“要支援2”では「自動車 (人に乗せてもらう)」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“東部”、“南部”では「自動車 (自分で運転)」が最も多くなっています。



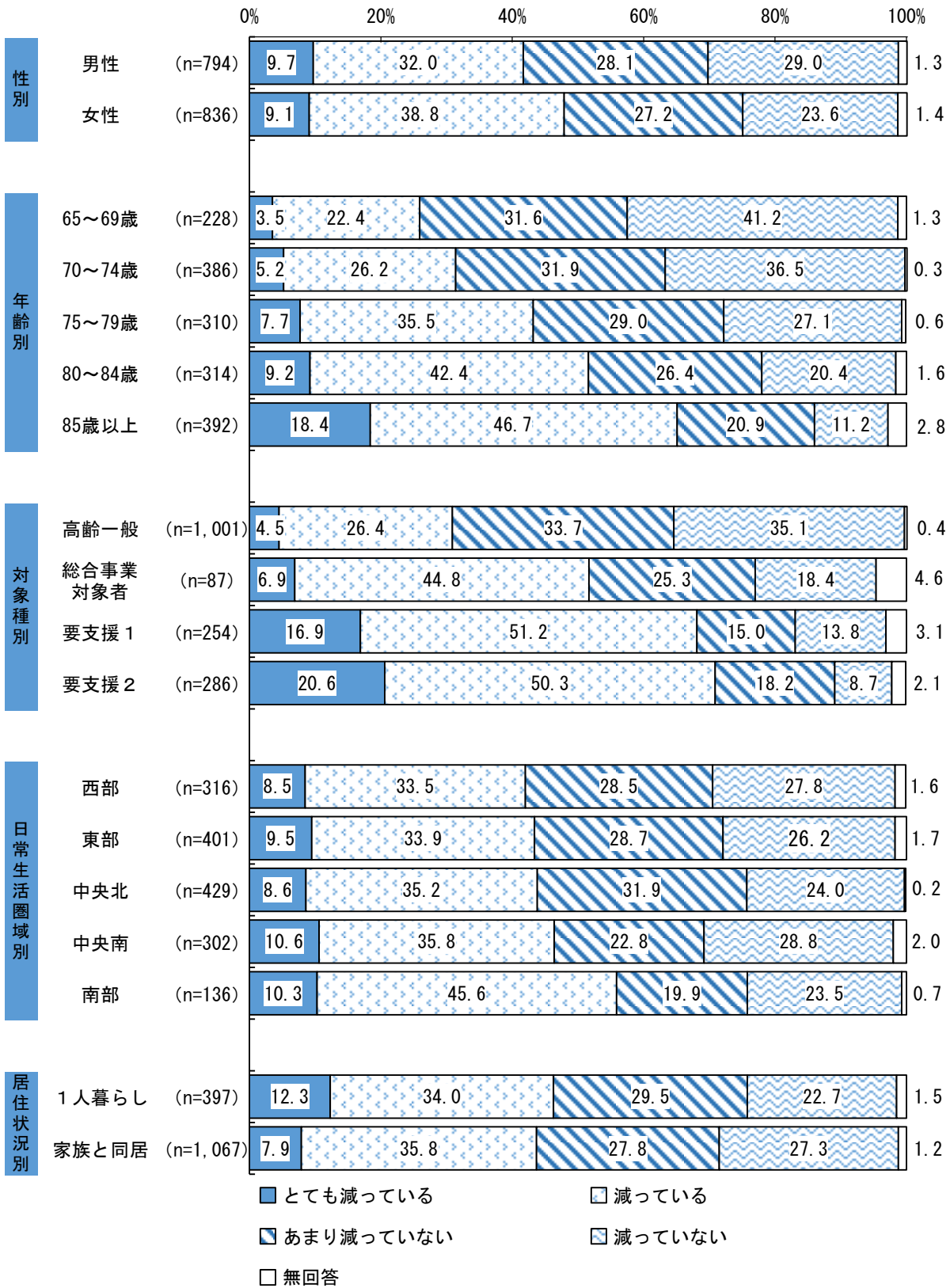
問 14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇はひとつ)



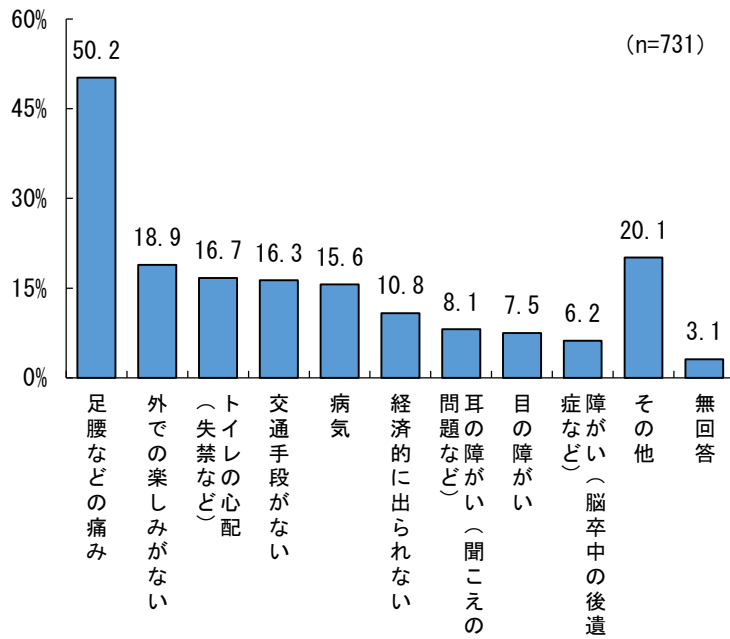
『減っていない』と答えた人がおよそ50%

昨年と比べて外出の回数が減っているかにおいては、「とても減っている」が9.4%、「減っている」が35.5%、「あまり減っていない」が27.6%、「減っていない」が26.2%となっています。年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”では「減っていない」が最も多くなっています。対象種別にみると、“高齢一般”では「減っていない」が35.1%と最も多くなっています。





問 15 外出が減っている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

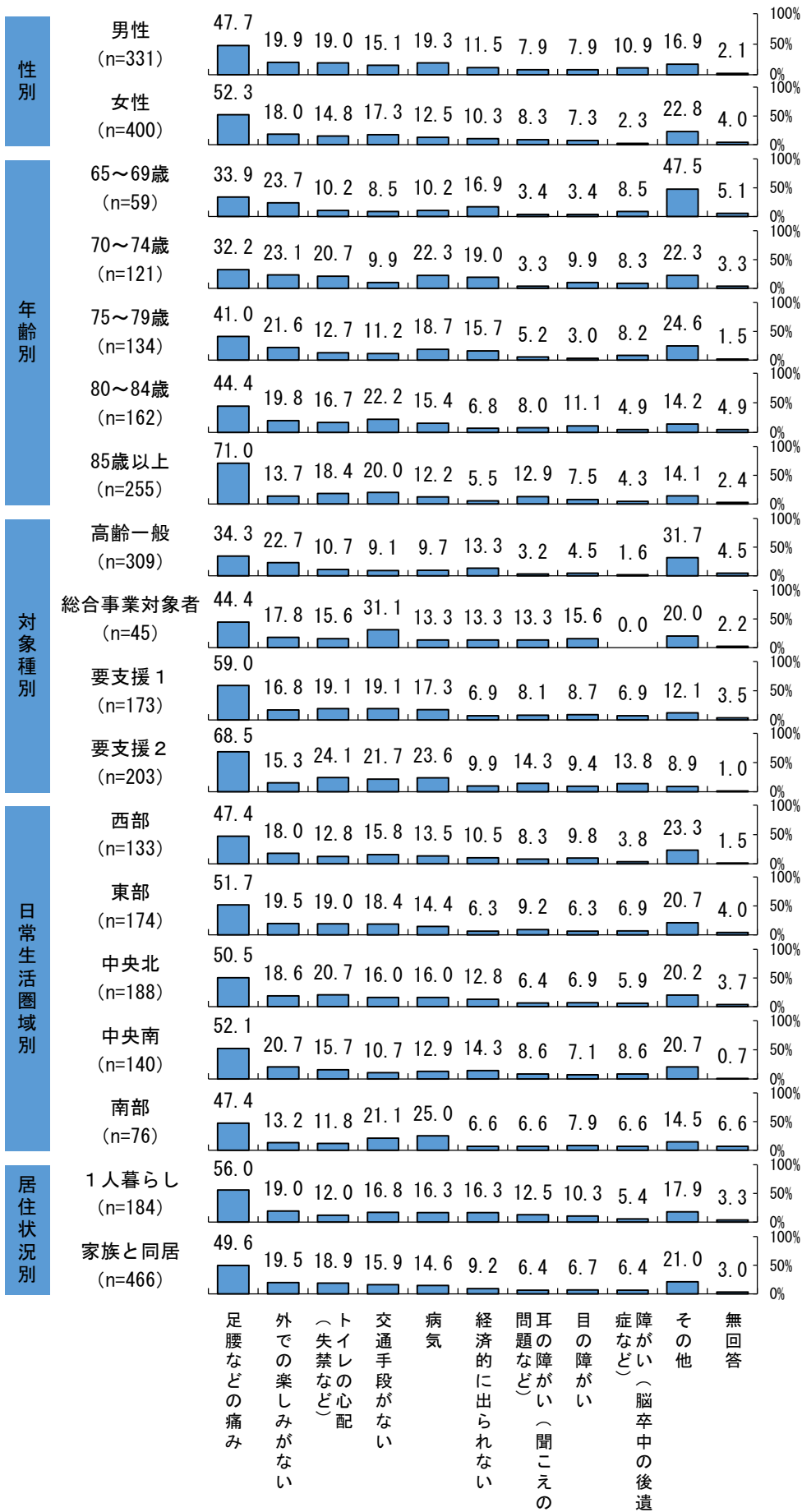


---

**「足腰などの痛み」と答えた人がおよそ50%**

---

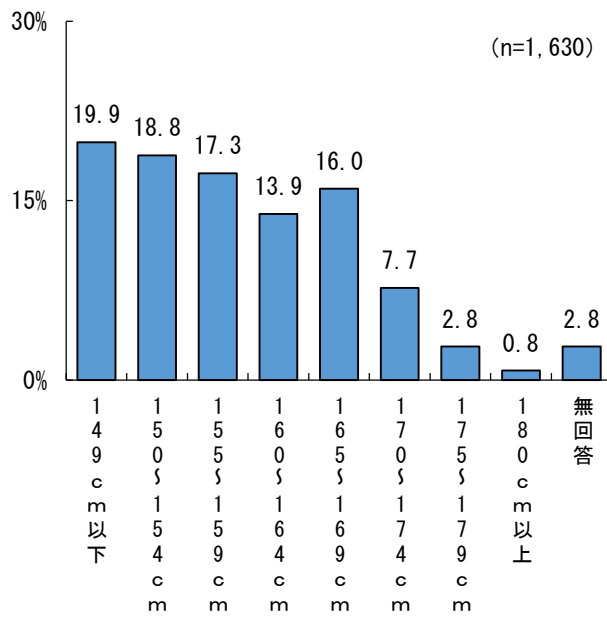
外出が減っている理由においては、「足腰などの痛み」が50.2%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」が18.9%、「トイレの心配 (失禁など)」が16.7%などとなっています。



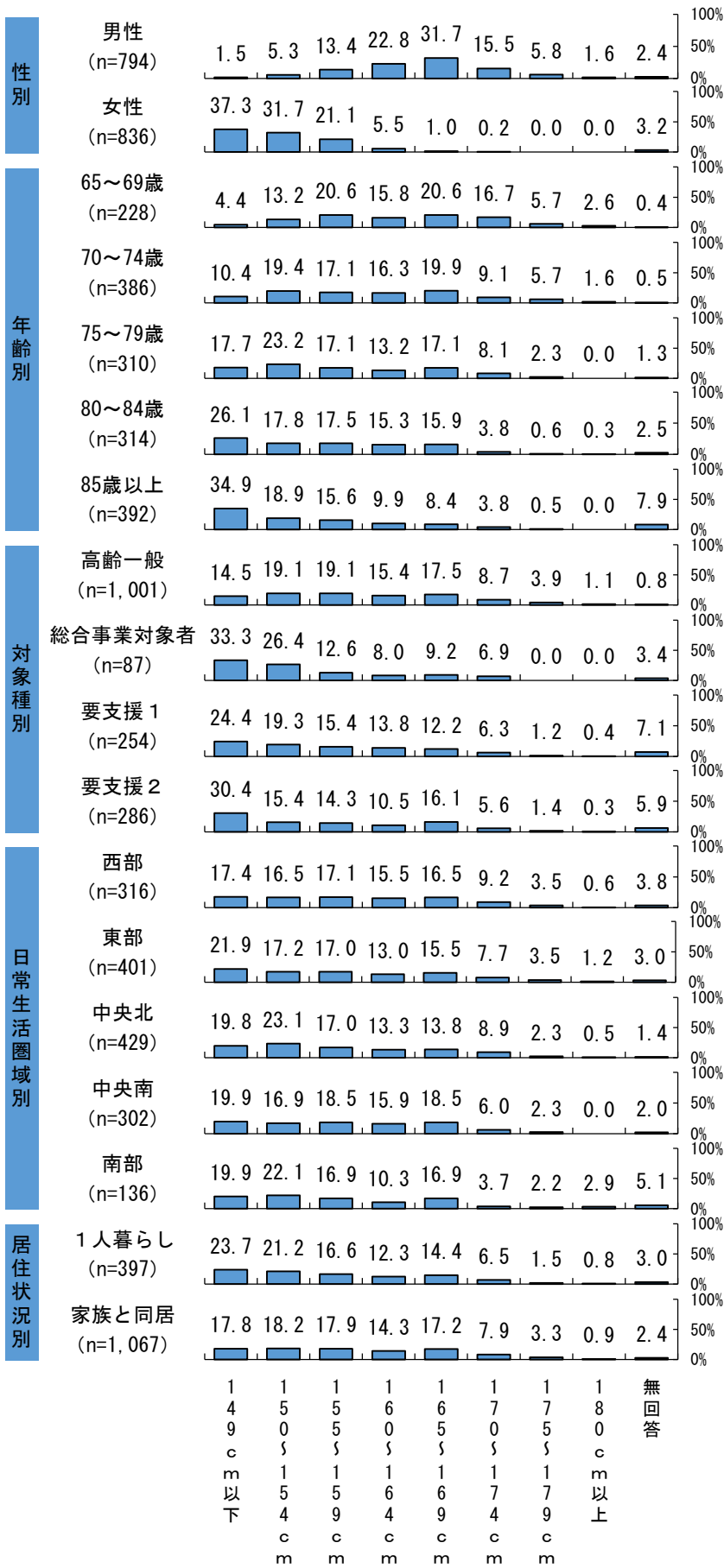
(3) 食べることについて

問 16 あなたの身長・体重をお教えてください。

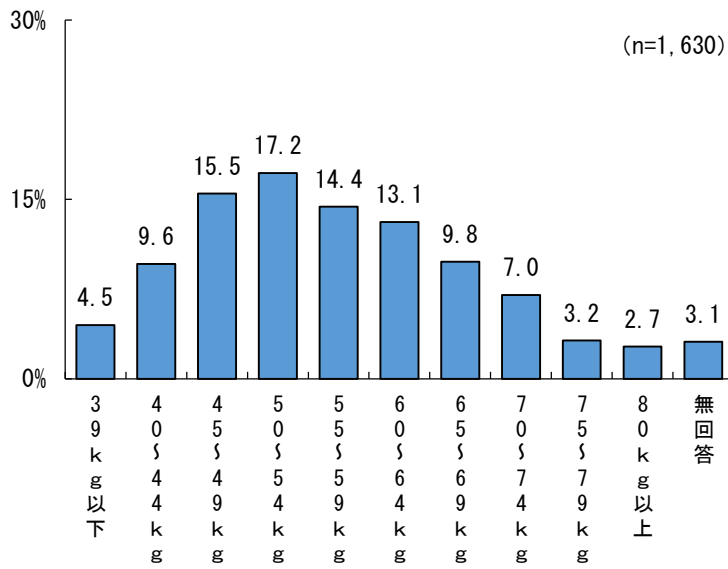
1. 身長



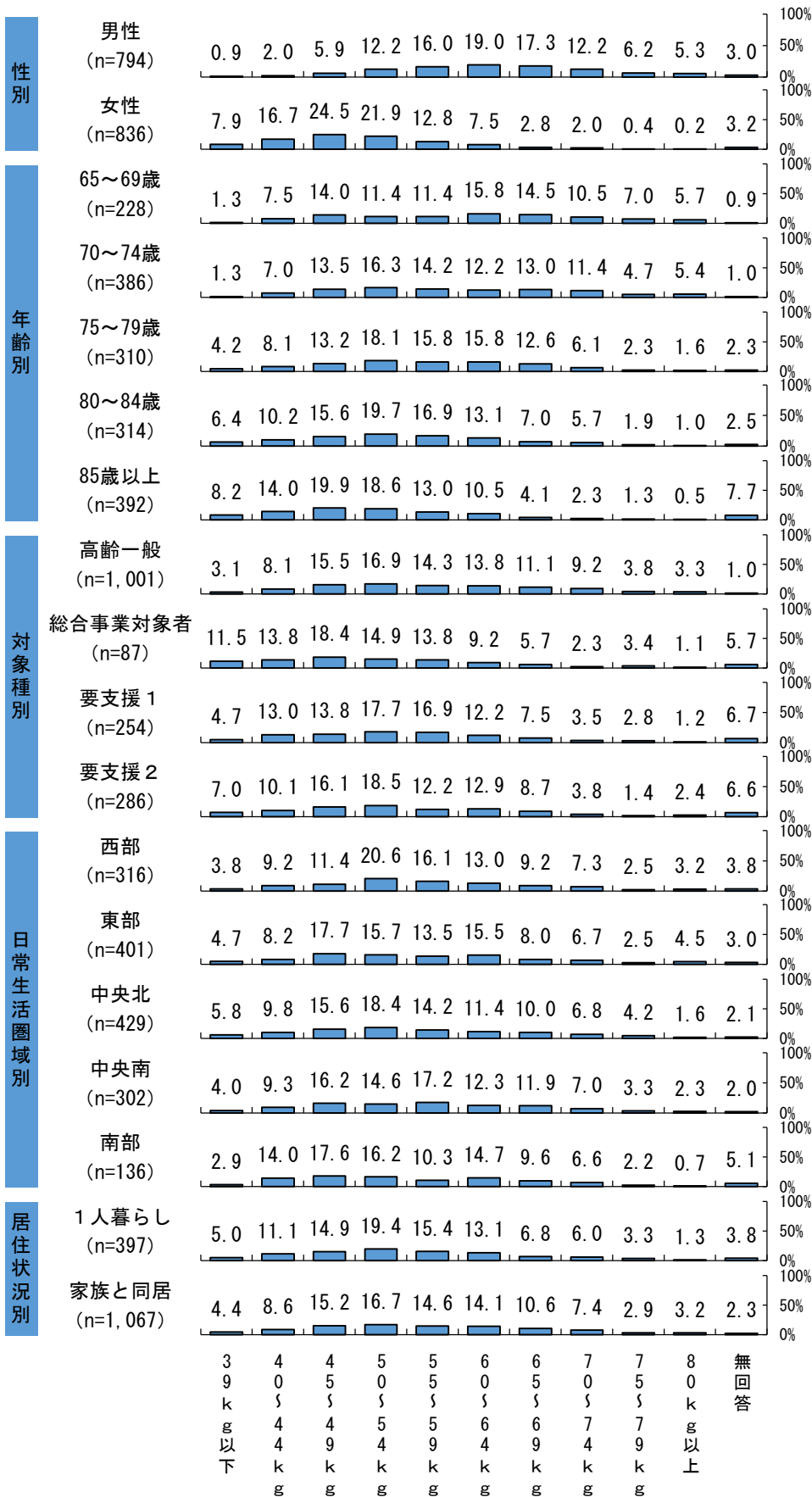
身長においては、「149cm以下」が19.9%と最も多く、次いで「150～154cm」が18.8%、「155～159cm」が17.3%などとなっています。



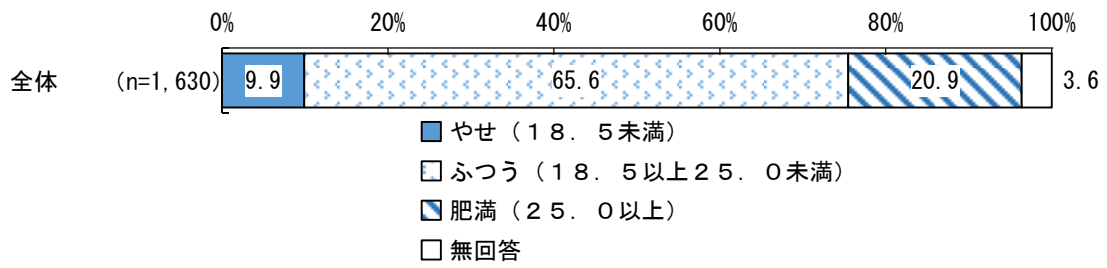
2. 体重



体重においては、「50～54kg」が17.2%と最も多く、次いで「45～49kg」が15.5%、「55～59kg」が14.4%などとなっています。



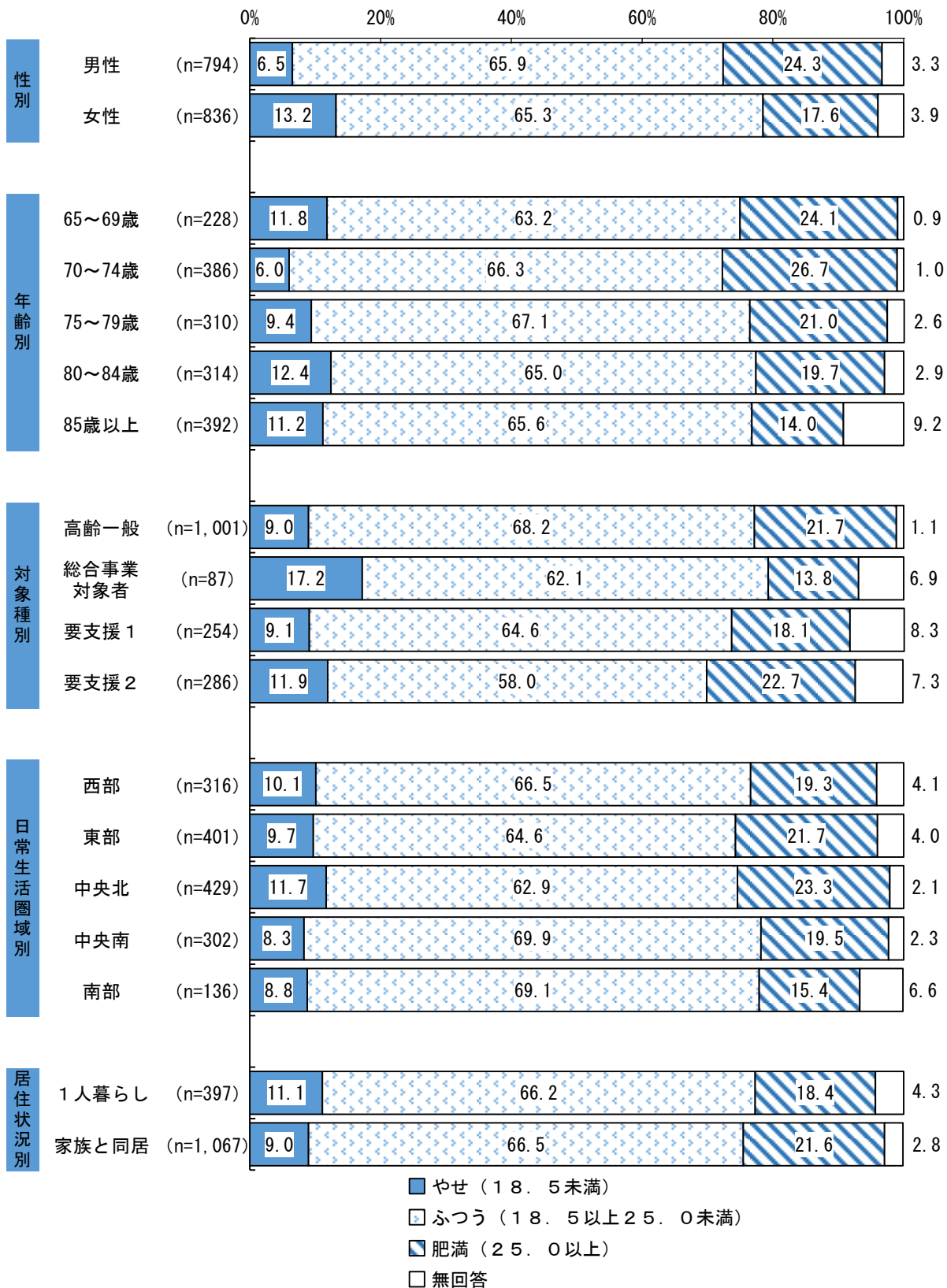
3. BMI



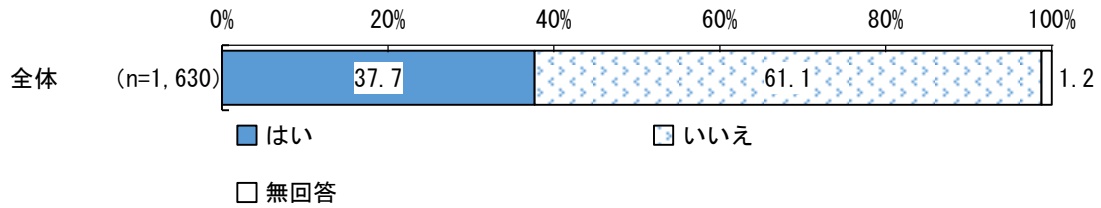
**総合事業対象者ではわずかに他の対象者より「やせ (18.5以下)」が多い**

BMIにおいては、「やせ」が9.9%、「普通」が65.6%、「肥満」が20.9%となっています。





問 17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇はひとつ)



---

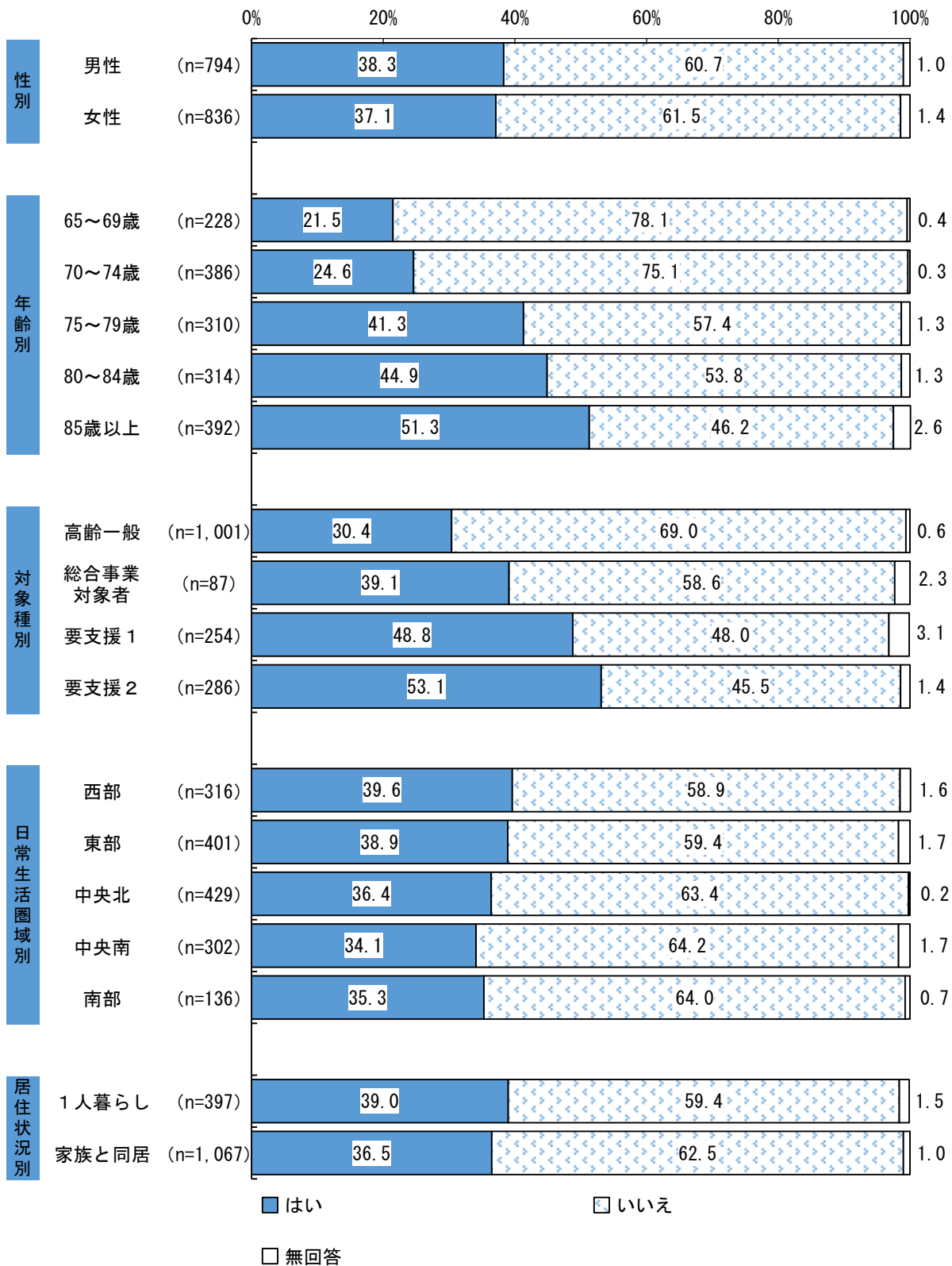
「はい」と答えた人がおよそ40%

---

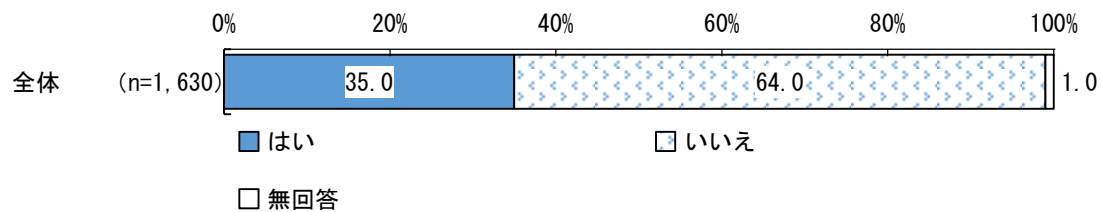
半年前に比べて固いものが食べにくくなっているかにおいては、「はい」が37.7%、「いいえ」が61.1%となっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「はい」が51.3%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「はい」が53.1%と最も多くなっています。



問 18 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○はひとつ)

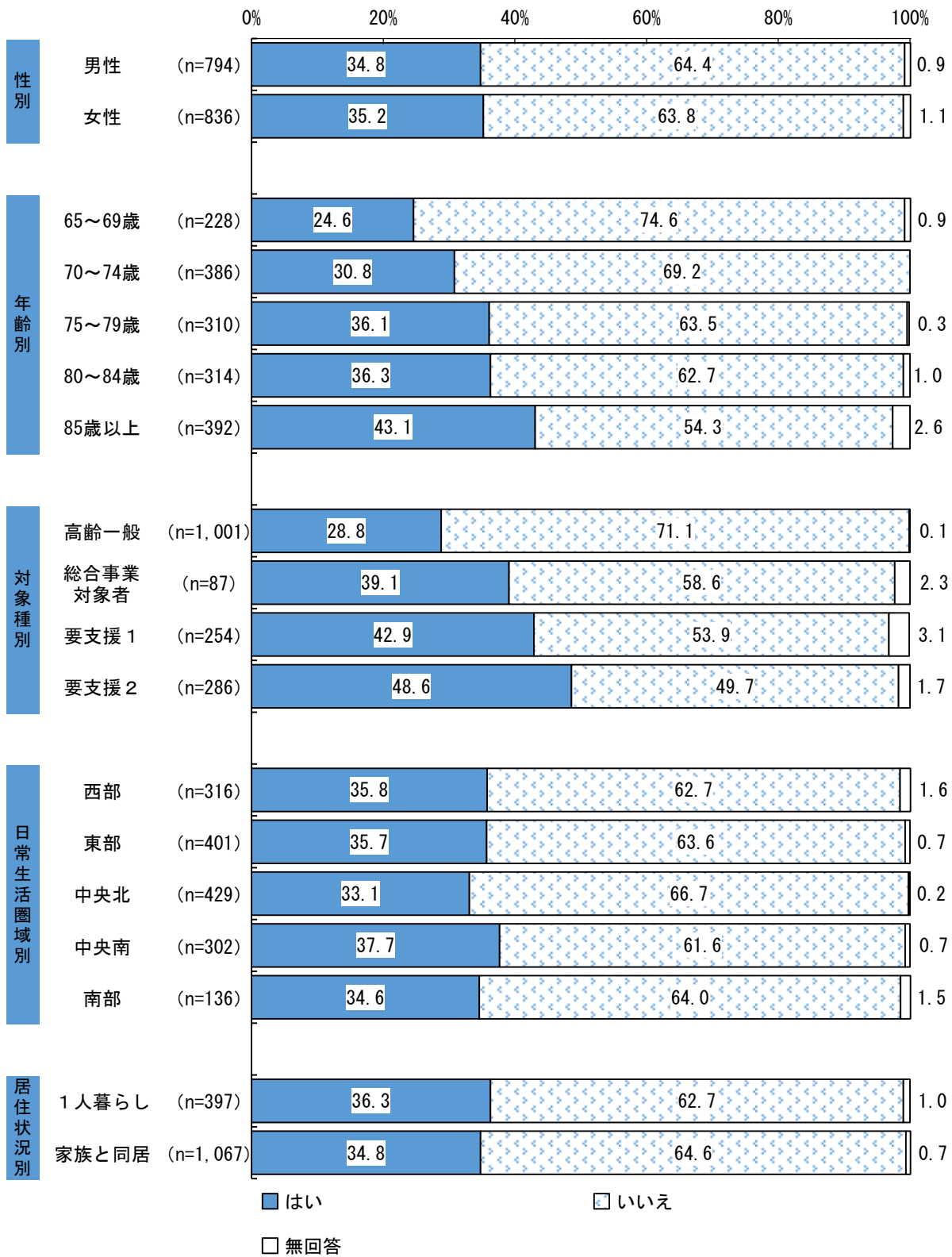


---

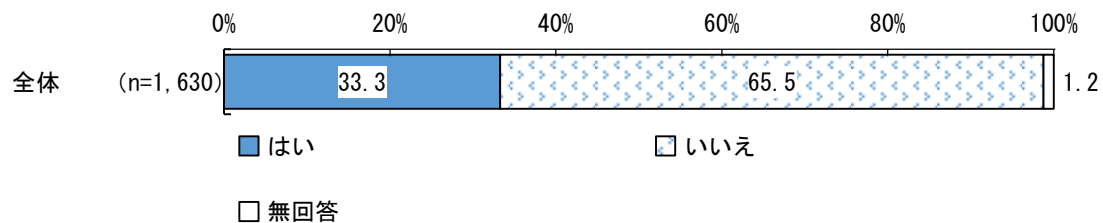
「はい」と答えた人がおよそ40%

---

お茶や汁物等でむせることがあるかにおいては、「はい」が35.0%、「いいえ」が64.0%となっています。



問 19 口の渇きが気になりますか。(〇はひとつ)

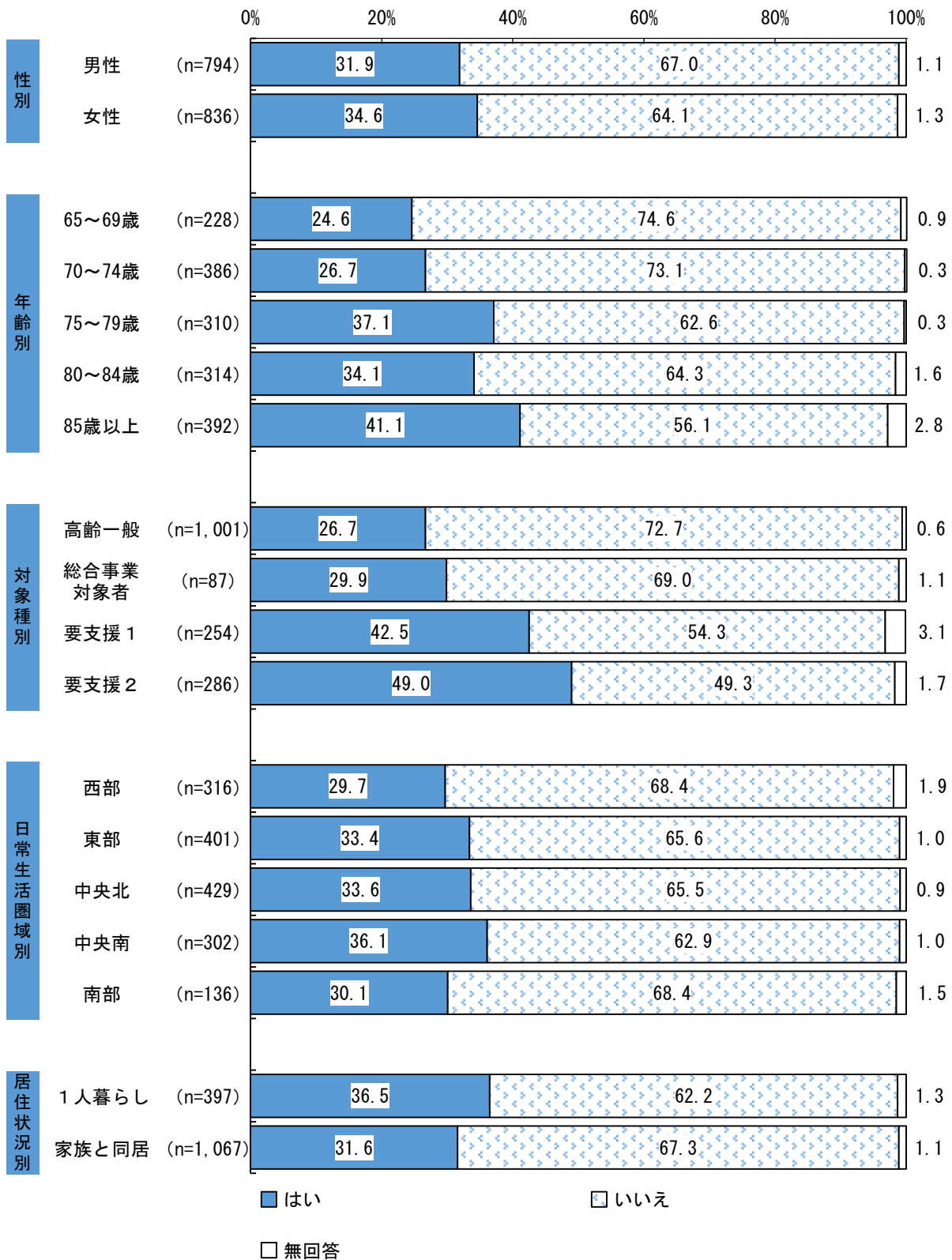


---

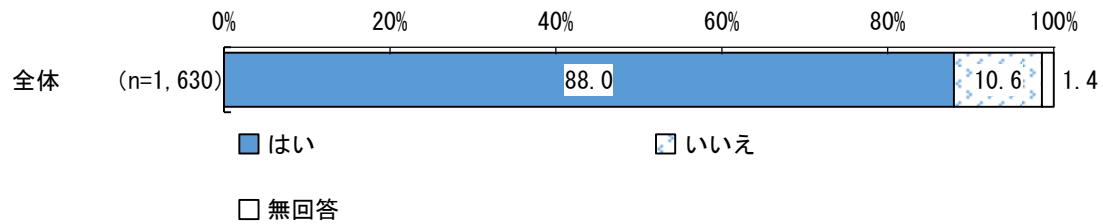
「はい」と答えた人がおよそ30%

---

口の渇きが気になるかにおいては、「はい」が33.3%、「いいえ」が65.5%となっています。



問 20 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○はひとつ）



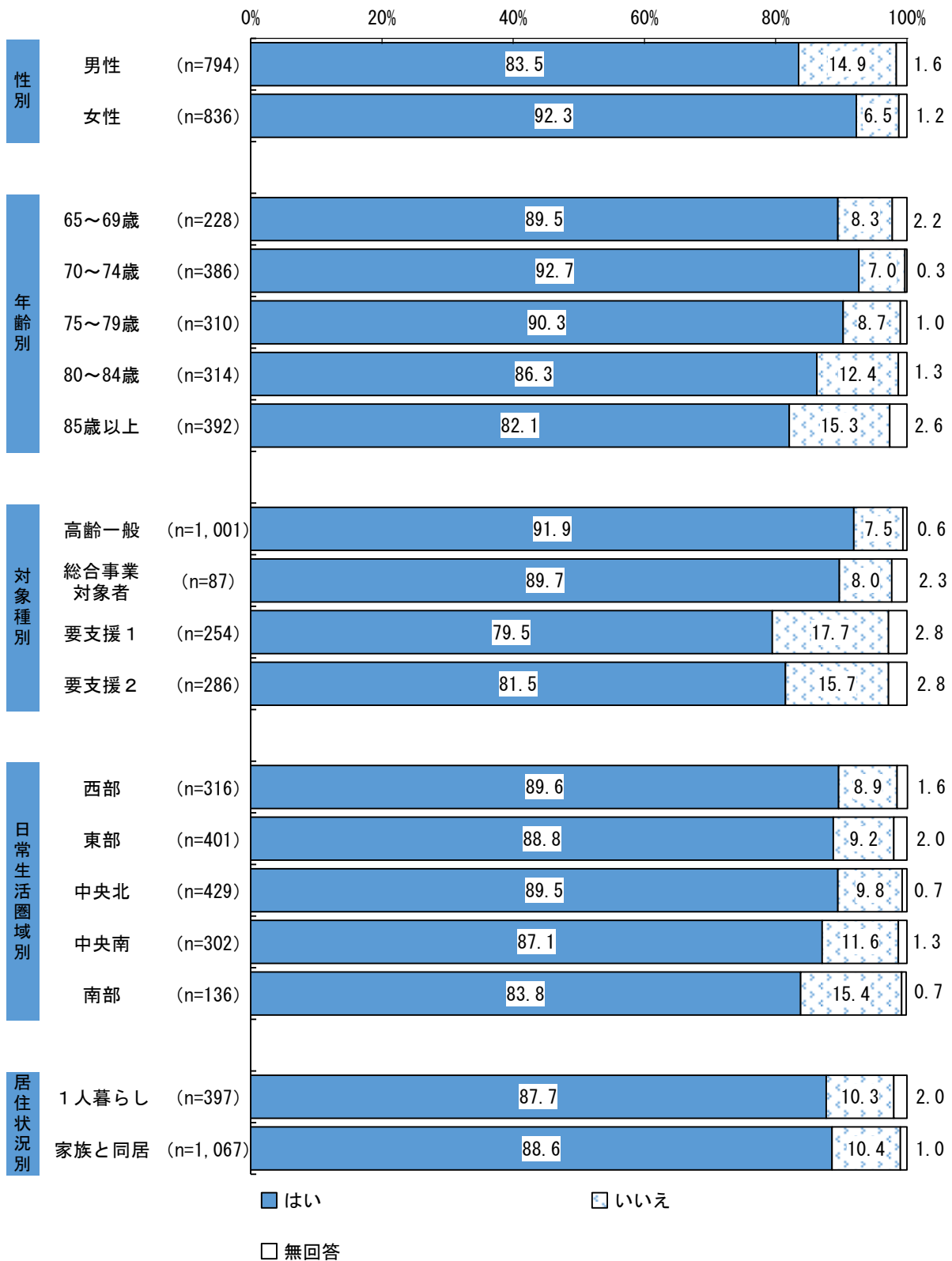
---

「はい」と答えた人がおよそ90%

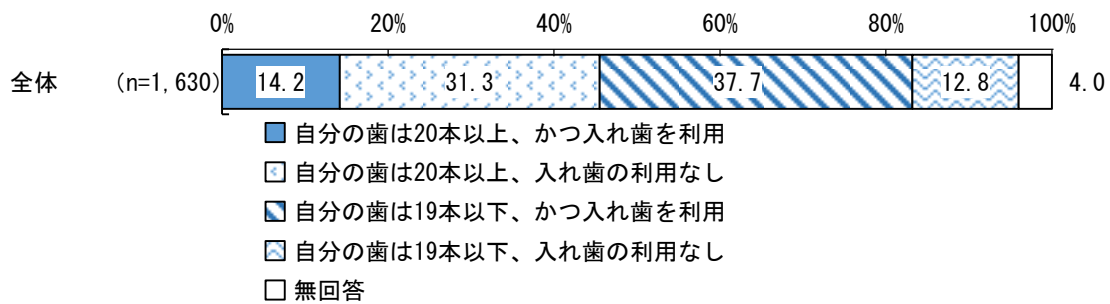
---

歯磨きを毎日しているかにおいては、「はい」が88.0%、「いいえ」が10.6%となっています。





問 21 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(〇はひとつ)  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

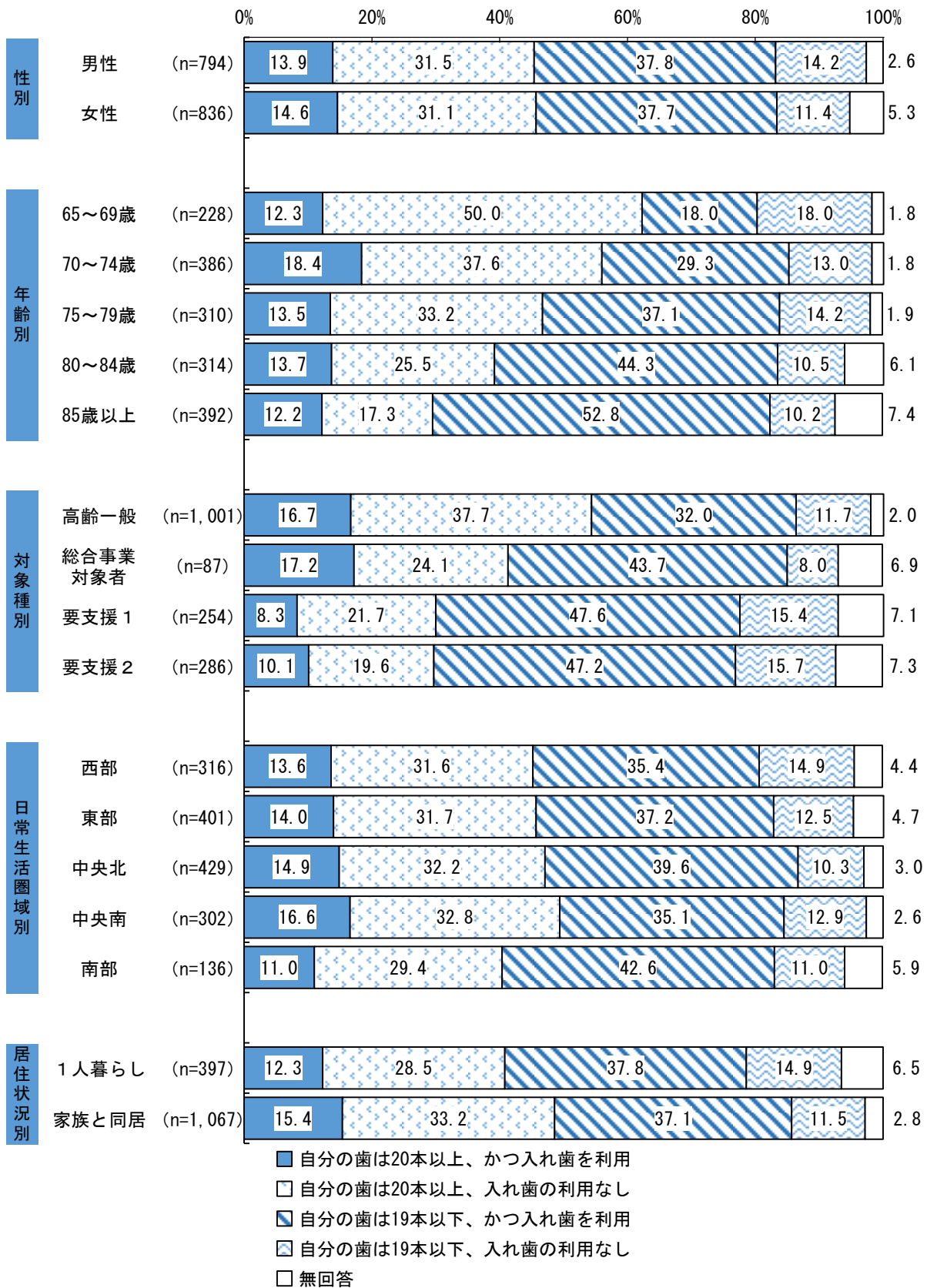


### 「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた人がおよそ40%

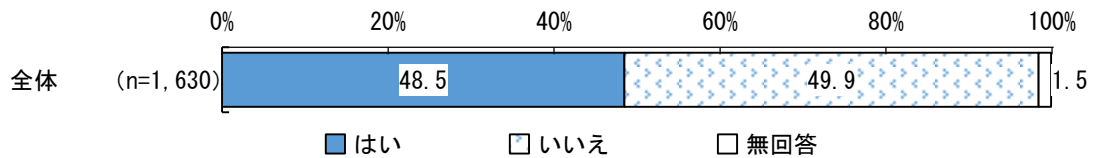
歯の数と入れ歯の利用状況においては、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.2%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が31.3%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.7%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が12.8%となっています。

年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が最も多くなっています。

対象種別にみると、“高齢一般”では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.7%と最も多くなっています。



問 22 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。（○はひとつ）



---

**要支援2では「いいえ」と答えた人がおよそ70%**

---

定期的に歯科受診をしているかにおいては、「はい」が48.5%、「いいえ」が49.9%となっています。

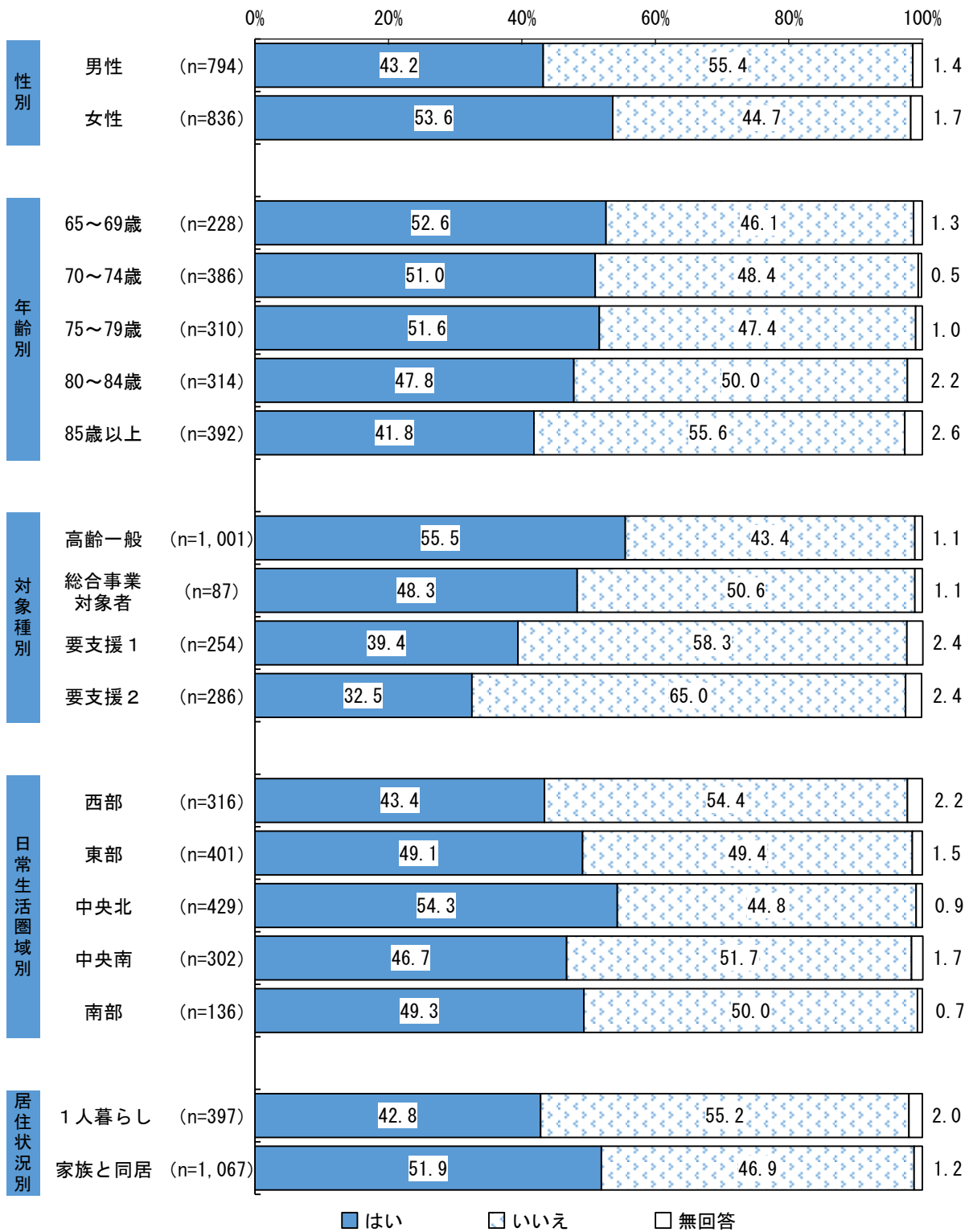
性別にみると、“女性”では「はい」が53.6%と多くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”、“75～79歳”では「はい」が多くなっています。

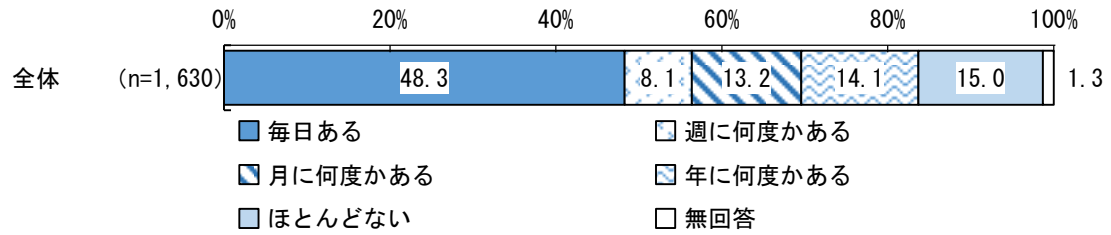
対象種別にみると、“高齢一般”では「はい」が55.5%と多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“中央北”では「はい」が54.3%と多くなっています。

居住状況別にみると、“家族と同居”では「はい」が51.9%と多くなっています。



問 23 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○はひとつ)

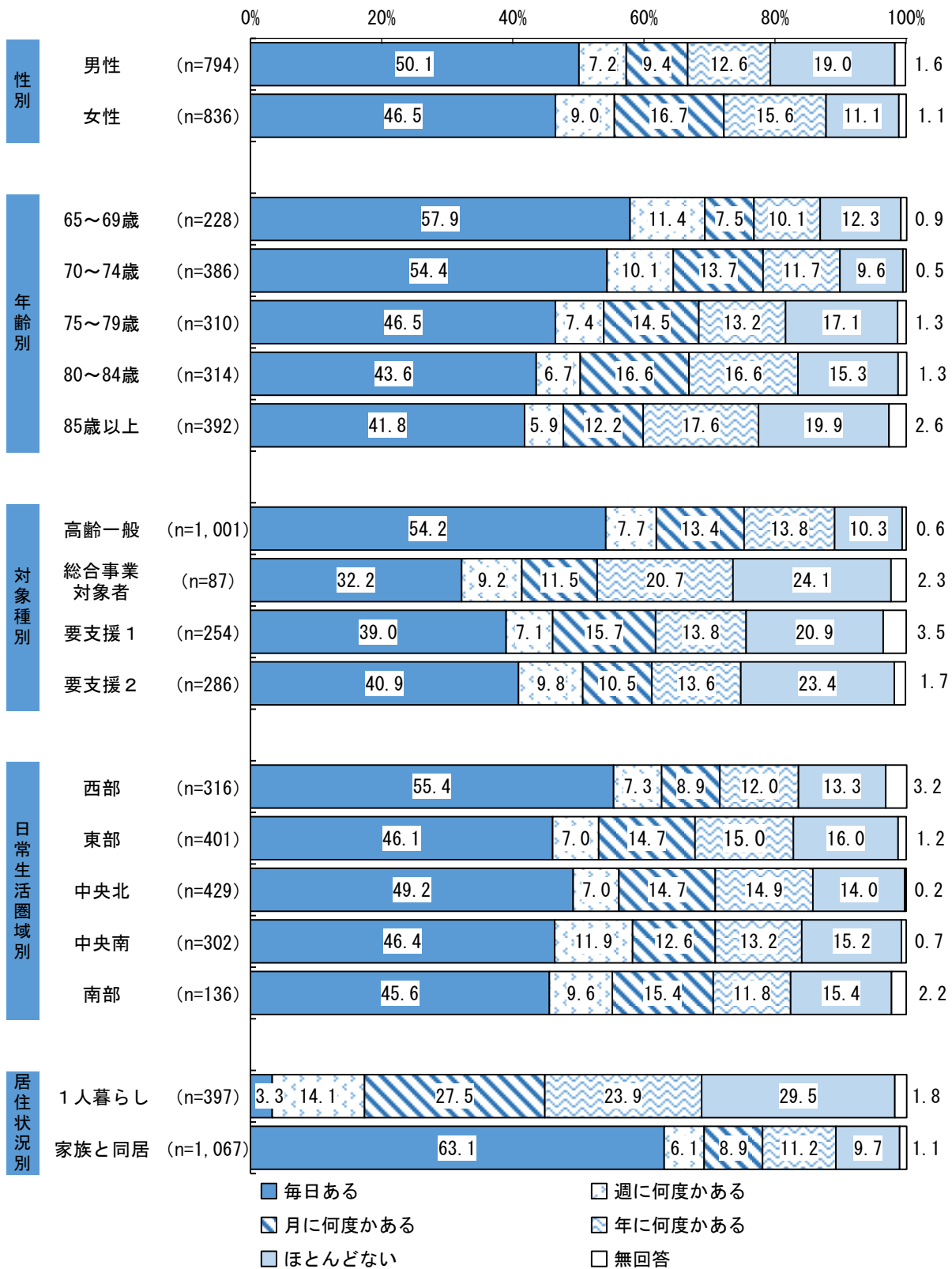



---

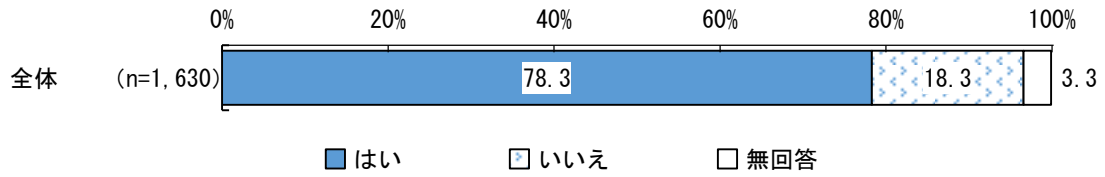
**1人暮らしでは「ほとんどない」と答えた人がおよそ30%**

---

誰かと食事をとる機会においては、「毎日ある」が48.3%と最も多く、次いで「ほとんどない」が15.0%、「年に何度かある」が14.1%などとなっています。  
 居住状況別にみると、“1人暮らし”では「ほとんどない」が29.5%と最も多くなっています。



問 24 健康に気をつけた食事（バランスなど）を心がけていますか。（○はひとつ）



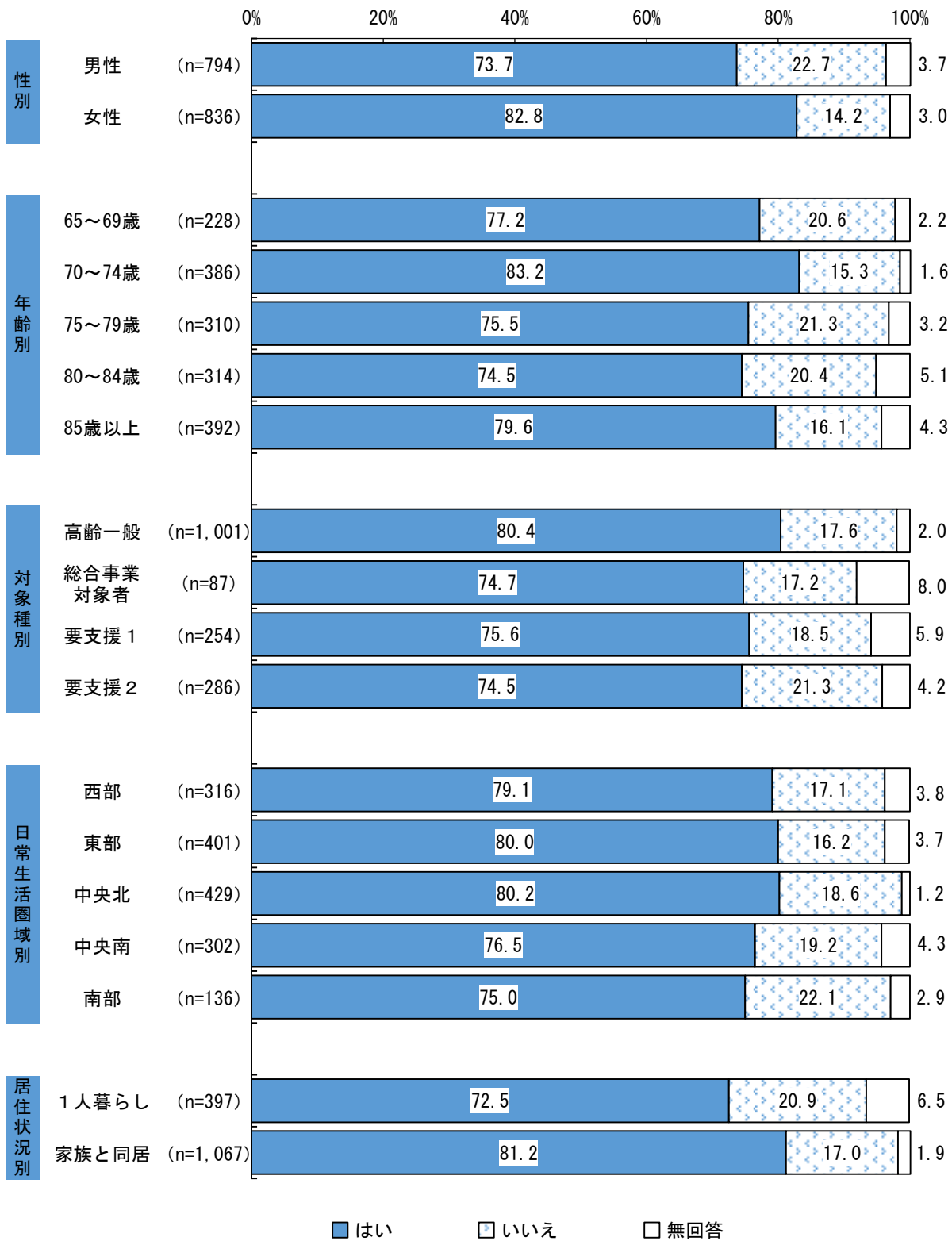
---

「はい」と答えた人がおよそ80%

---

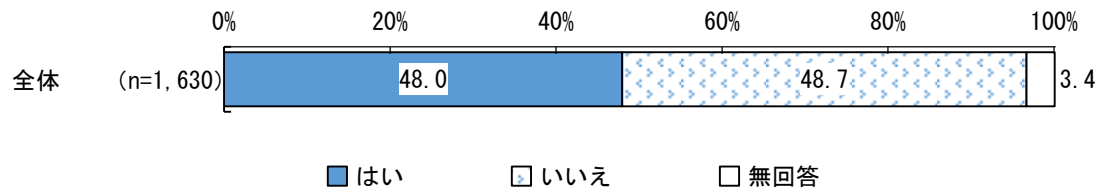
健康に気をつけた食事を心がけているかにおいては、「はい」が78.3%、「いいえ」が18.3%となっています。





#### (4) 毎日の生活について

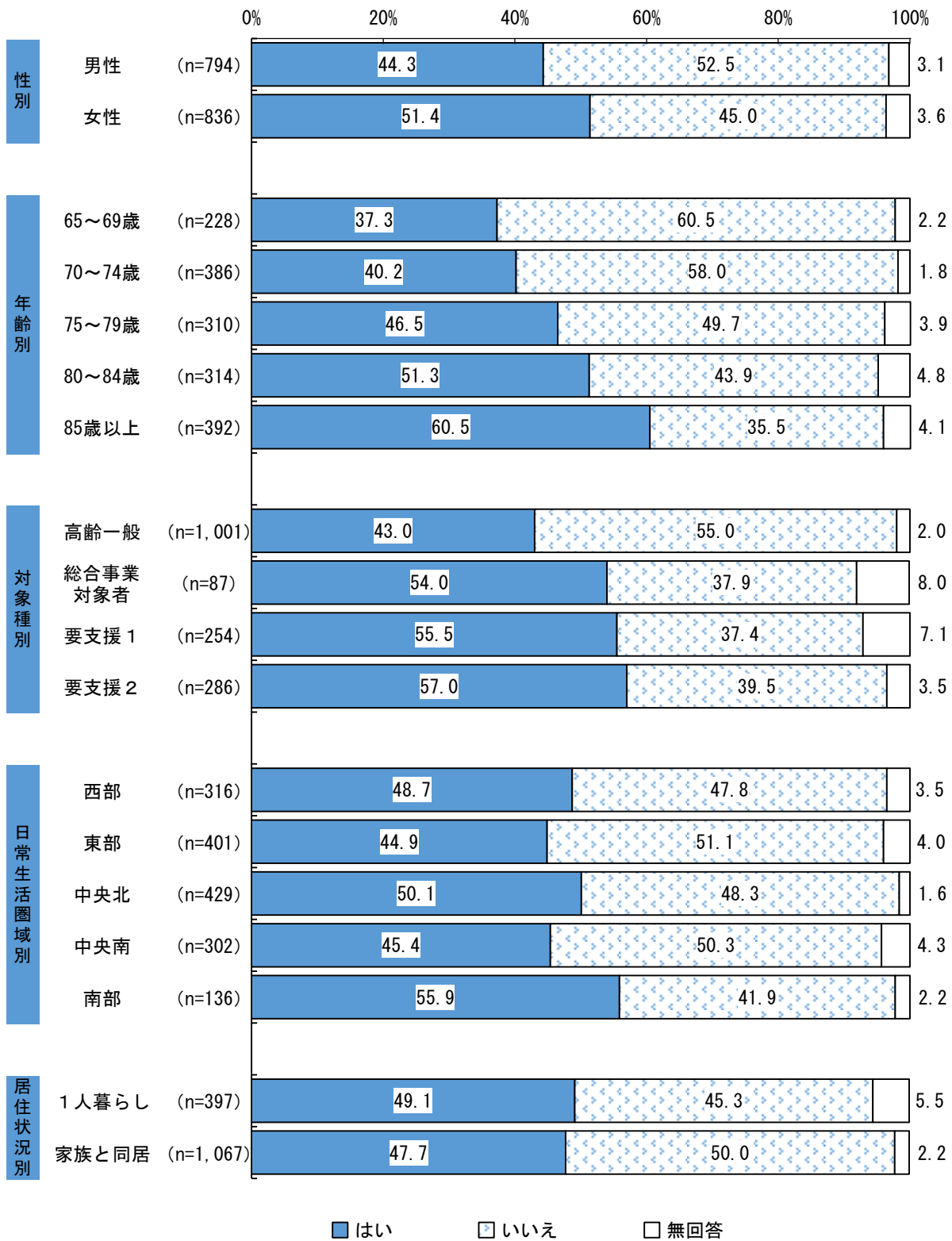
問 25 物忘れが多いと感じますか。(〇はひとつ)



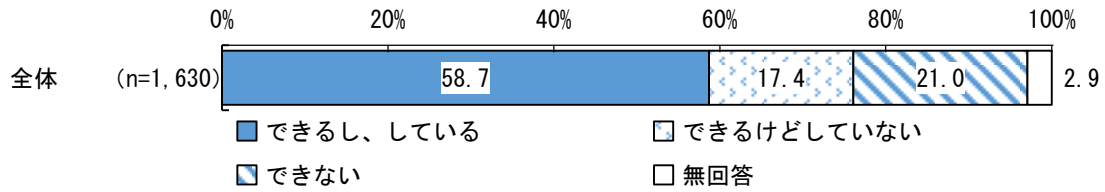
#### 「はい」、「いいえ」と答えた人がそれぞれおよそ50%

物忘れが多いと感じるかにおいては、「はい」が48.0%、「いいえ」が48.7%となっています。性別にみると、“女性”では「はい」が51.4%と多くなっています。年齢別にみると、“80～84歳”、“85歳以上”では「はい」が多くなっています。対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「はい」が多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“中央北”、“南部”では「はい」が多くなっています。居住状況別にみると、“1人暮らし”では「はい」が49.1%と多くなっています。



問 26 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○はひとつ)



---

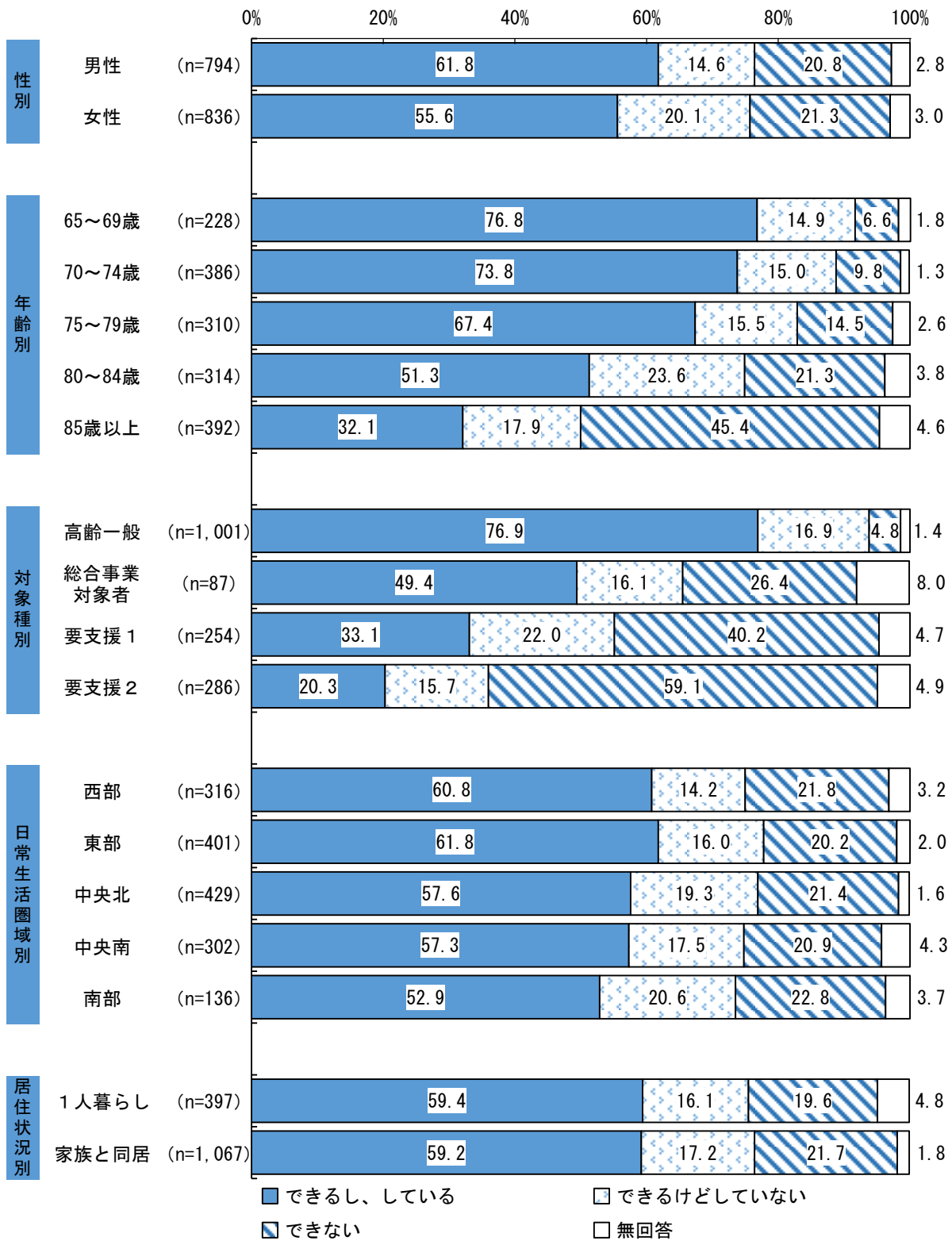
### 要支援2では「できない」と答えた人がおよそ60%

---

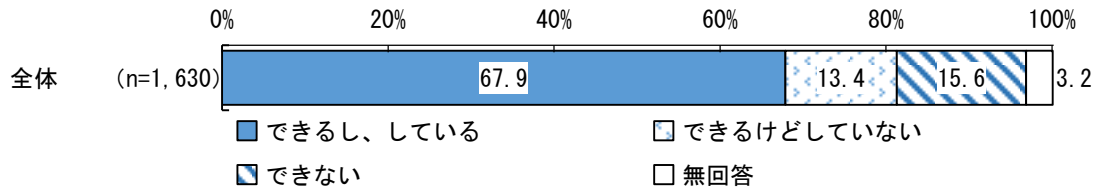
バスや電車を使って1人で外出しているかにおいては、「できるし、している」が58.7%、「できるけどしていない」が17.4%、「できない」が21.0%となっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「できない」が45.4%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「できない」が最も多くなっています。



問 27 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)



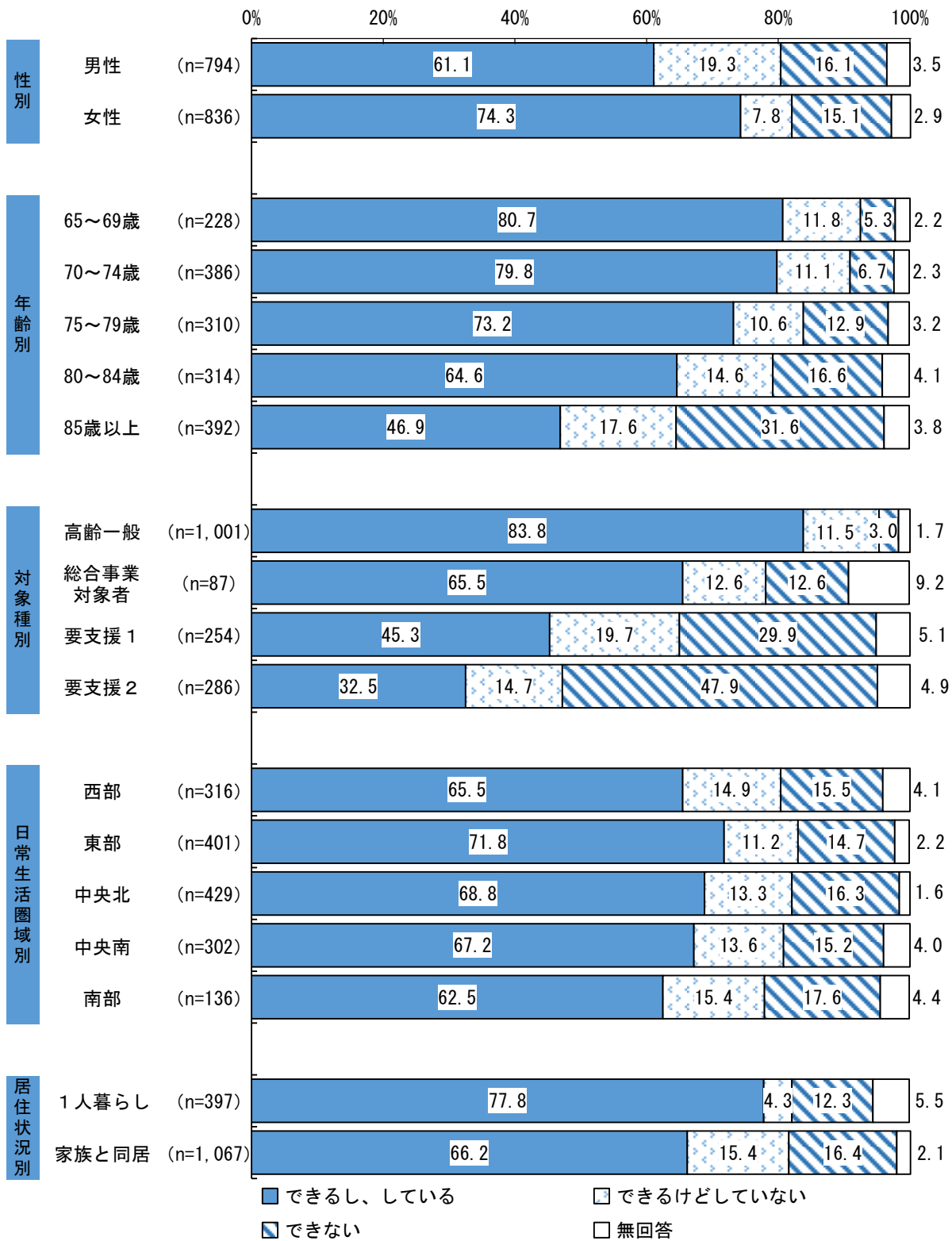
---

**要支援2では「できない」と答えた人がおよそ50%**

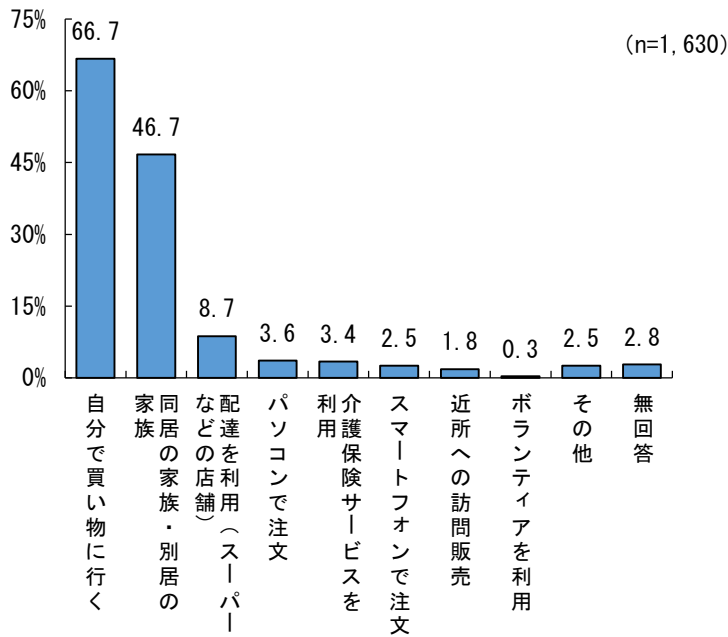
---

自分で食品・日用品の買物をしているかにおいては、「できるし、している」が67.9%、「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が15.6%となっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「できない」が47.9%と最も多くなっています。



問 28 どのように食品・日用品の買い物をしていますか。(〇はいくつでも)




---

**85歳以上、要支援2では「同居の家族・別居の家族」と答えた人が60%以上**

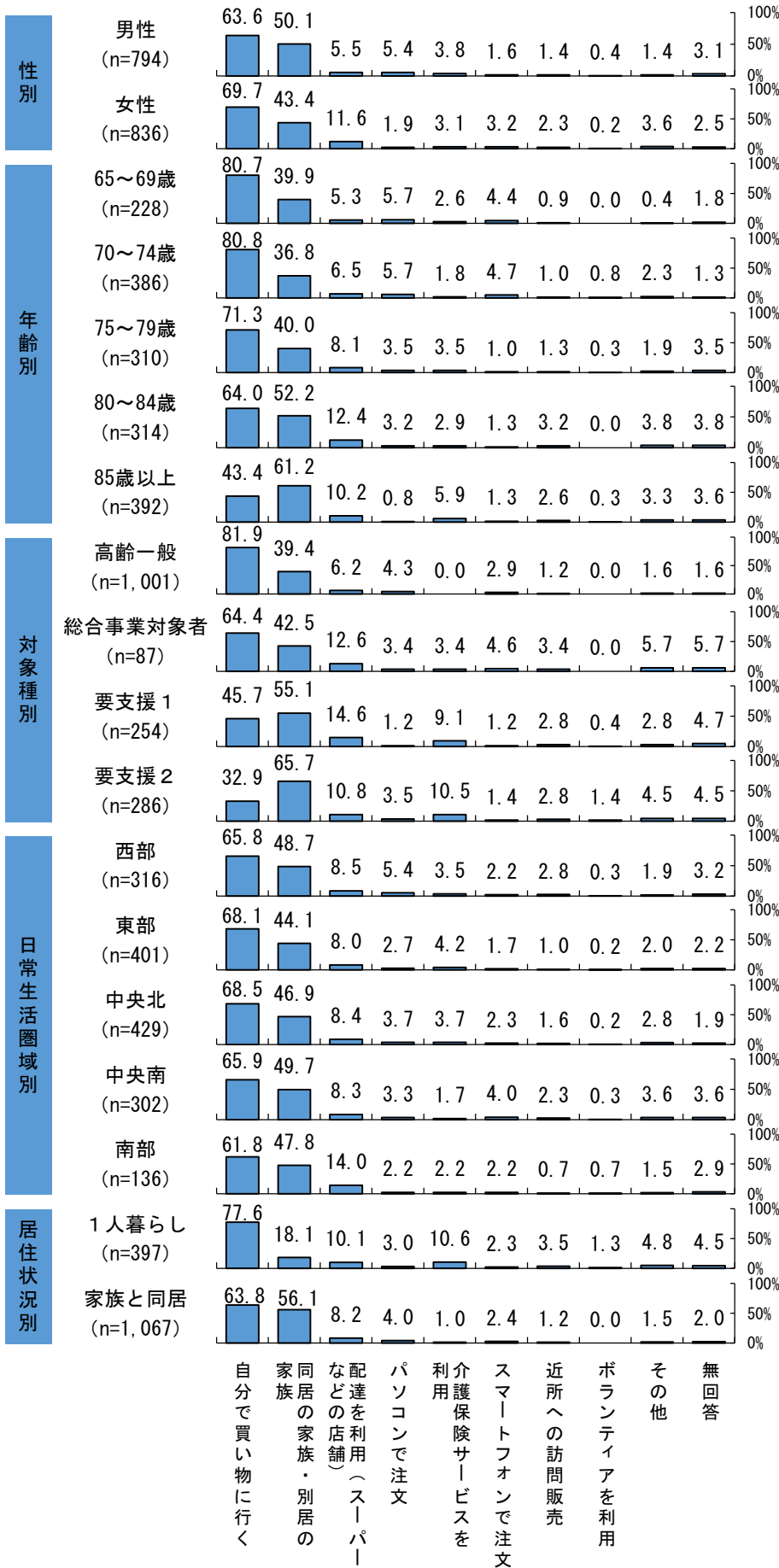
---

食品・日用品の買い物の手段においては、「自分で買い物に行く」が66.7%と最も多く、次いで「同居の家族・別居の家族」が46.7%、「配達を利用（スーパーなどの店舗）」が8.7%などとなっています。

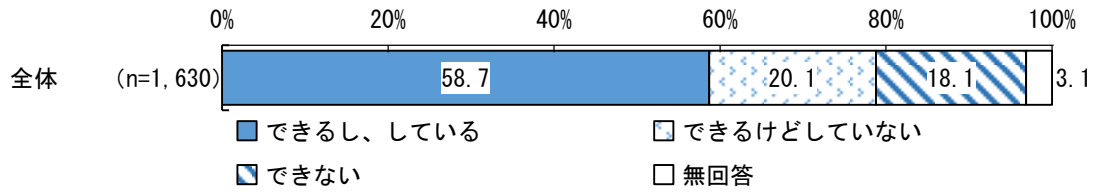
年齢別にみると、“85歳以上”では「同居の家族・別居の家族」が61.2%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「同居の家族・別居の家族」が最も多くなっています。





問 29 自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)



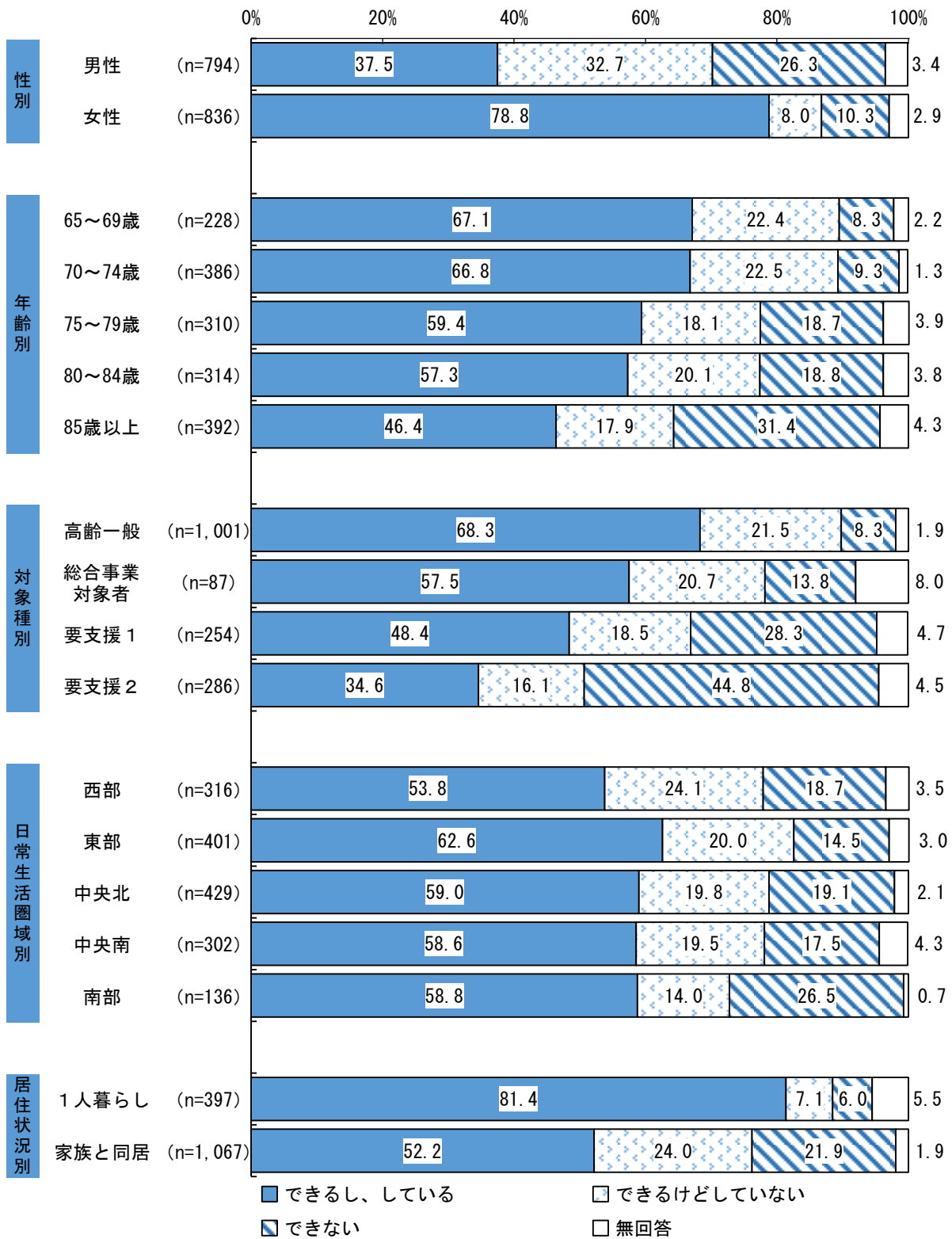
---

要支援2では「できない」と答えた人がおよそ40%

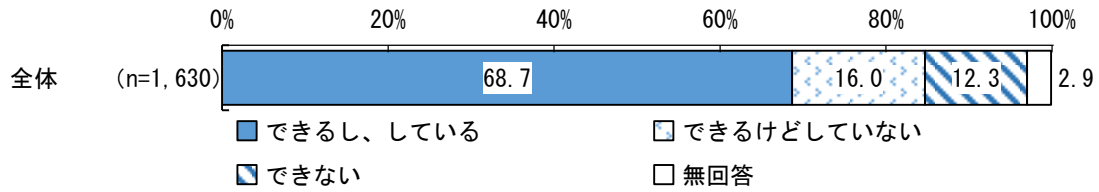
---

自分で食事の用意をしているかにおいては、「できるし、している」が58.7%、「できるけどしていない」が20.1%、「できない」が18.1%となっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「できない」が44.8%と最も多くなっています。



問 30 自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)

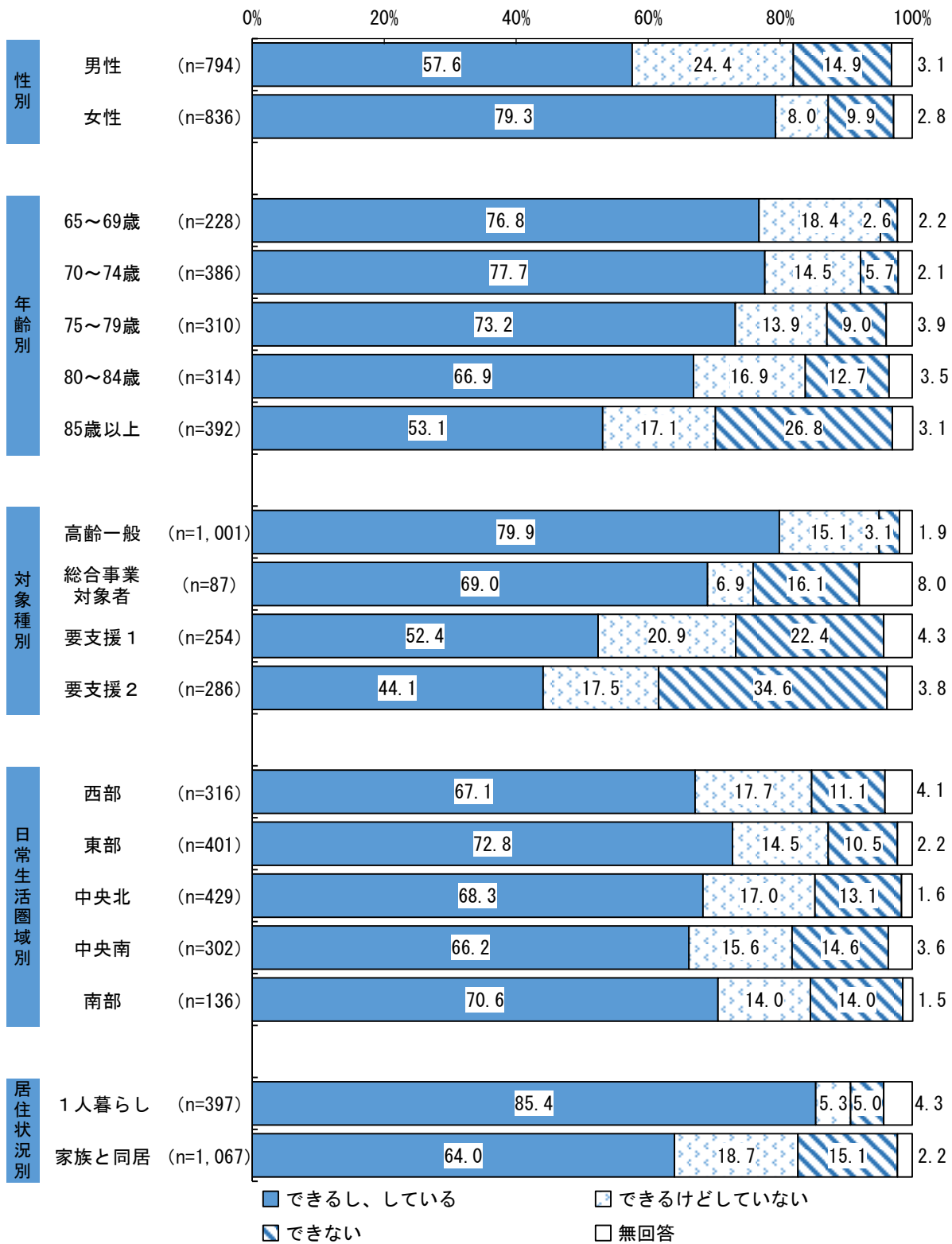


---

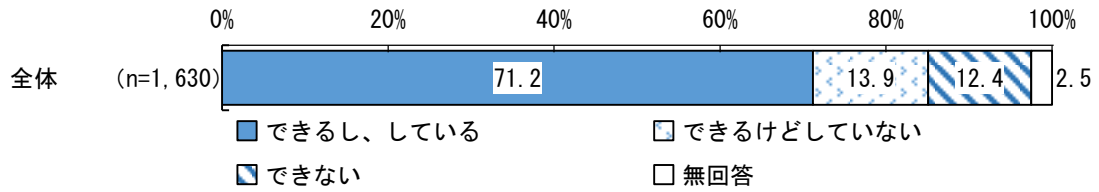
全体で「できない」と答えた人がおよそ10%  
ただし、要支援2では30%以上

---

自分で請求書の支払いをしているかにおいては、「できるし、している」が68.7%、「できるけどしていない」が16.0%、「できない」が12.3%となっています。



問 31 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(〇はひとつ)

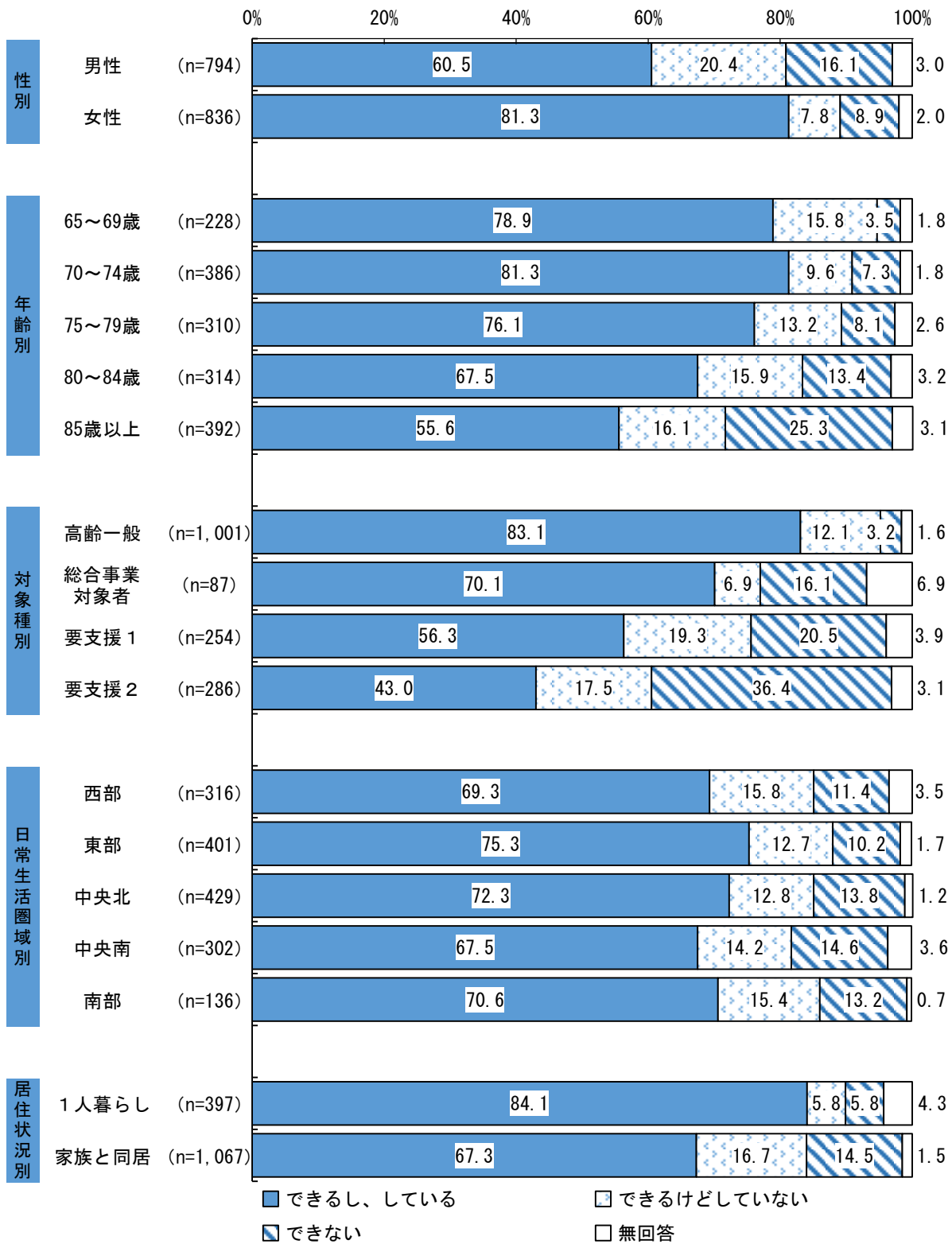


---

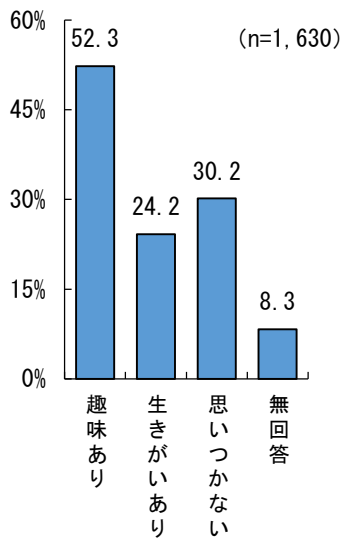
要支援2では「できない」と答えた人がおよそ40%

---

自分で預貯金の出し入れをしているかにおいては、「できるし、している」が71.2%、「できるけどしていない」が13.9%、「できない」が12.4%となっています。



問 32 趣味や生きがいはありますか。(ある方は、内容もお教えてください)  
(3. を選ぶ場合、○はひとつ)



---

**要支援2では「思いつかない」と答えた人がおよそ50%**

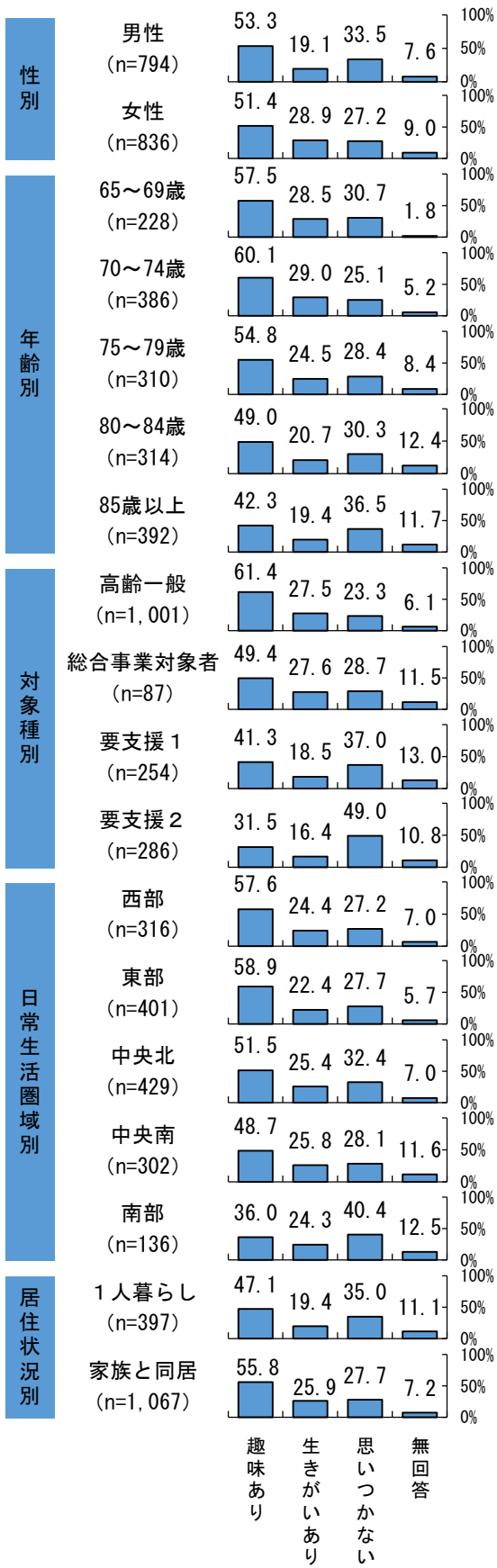
---

趣味や生きがいの有無においては、「趣味あり」が52.3%、「生きがいあり」が24.2%となっています。また、「思いつかない」が30.2%となっています。

対象種別にみると、「要支援2」では「思いつかない」が49.0%と最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、「南部」では「思いつかない」が40.4%と最も多くなっています。

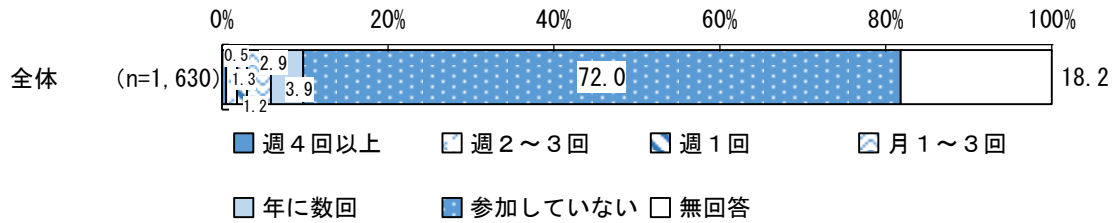




(5) 地域での活動について

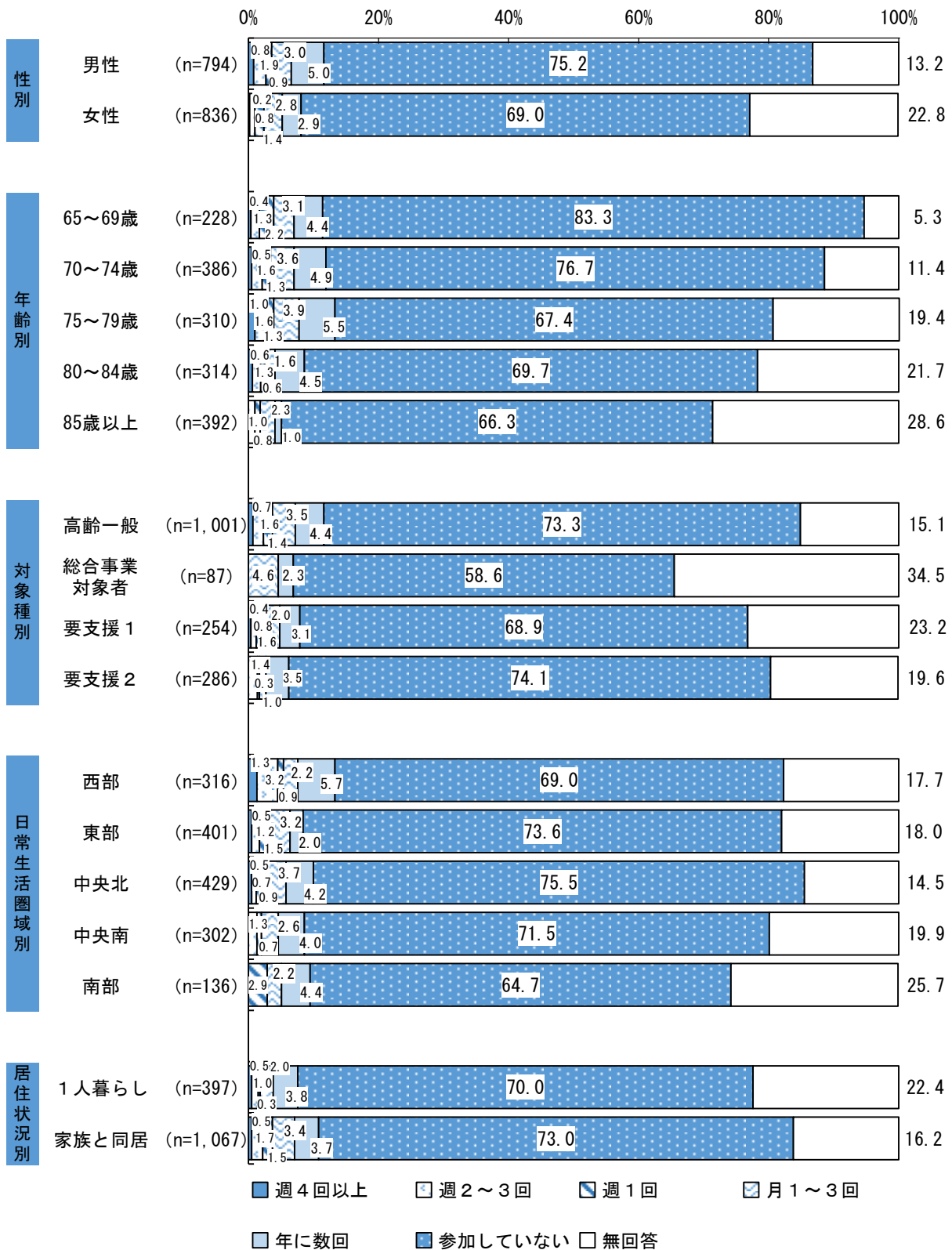
問 33 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。  
 ※① - ⑧それぞれに回答してください (〇はひとつずつ)

① ボランティアのグループ

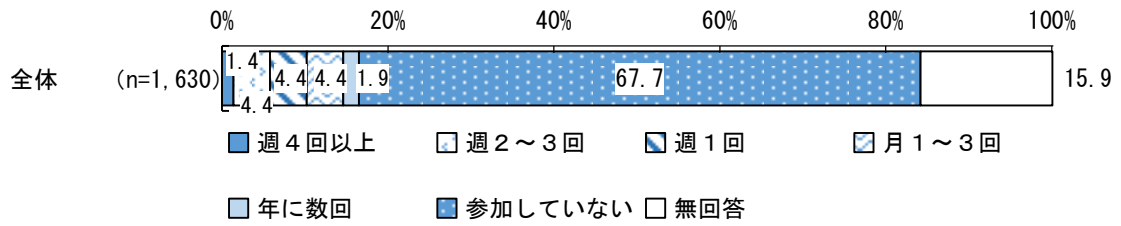


「参加していない」と答えた人がおよそ70%

ボランティアのグループにおいては、「参加していない」が72.0%と最も多く、次いで「年に数回」が3.9%、「月1~3回」が2.9%などとなっています。

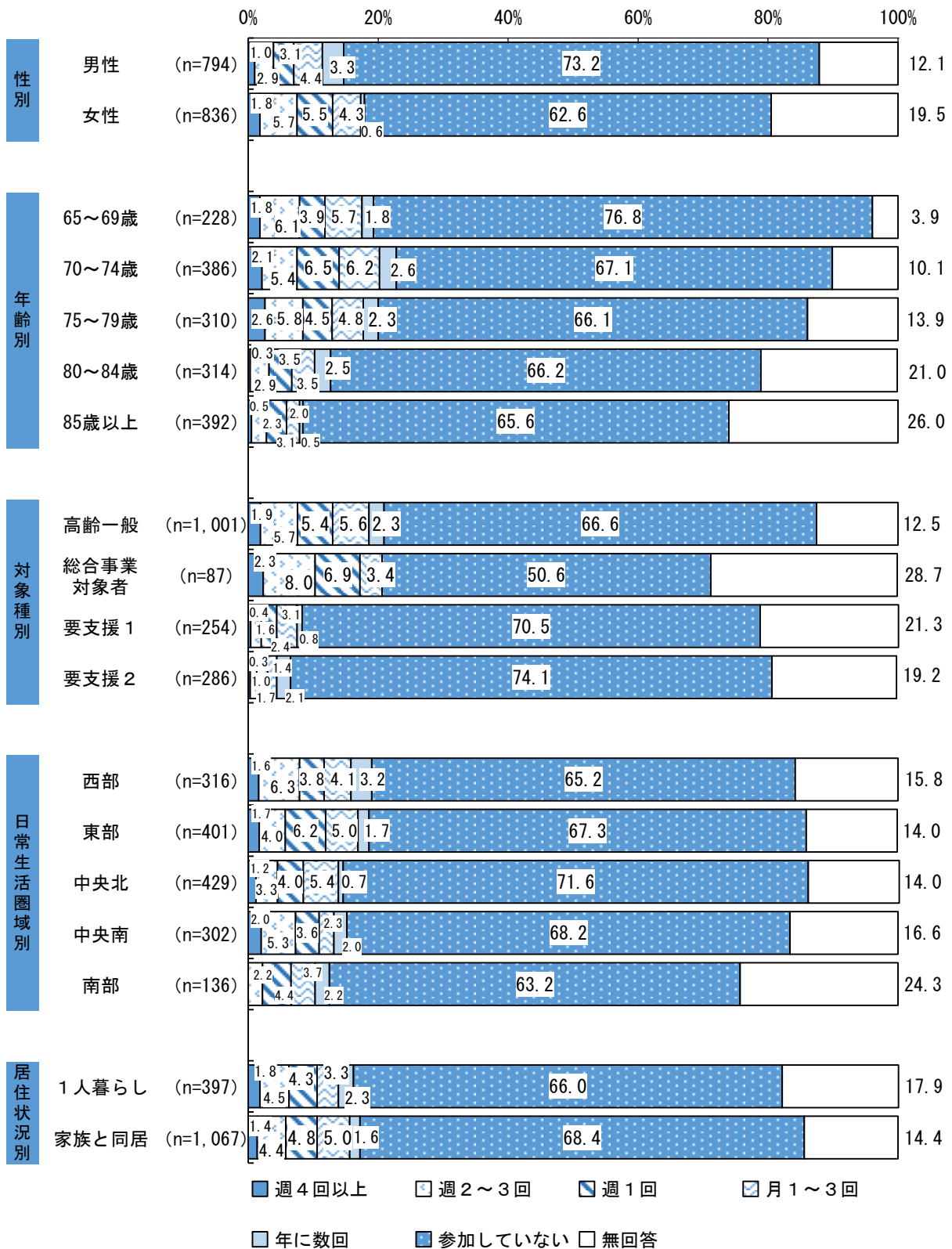


②スポーツ関係のグループやクラブ

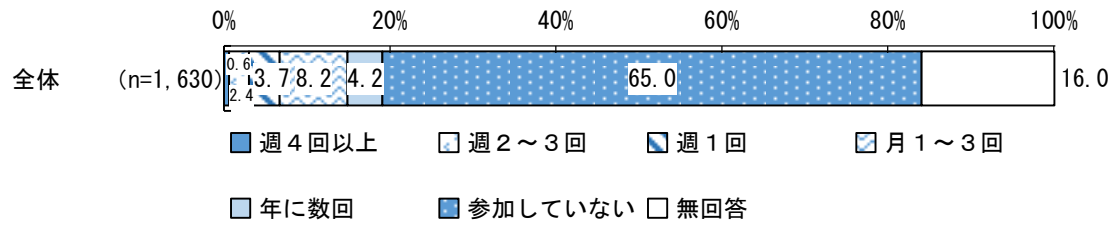


「参加していない」と答えた人がおよそ70%

スポーツ関係のグループやクラブにおいては、「参加していない」が67.7%と最も多く、次いで「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」が4.4%、「年に数回」が1.9%などとなっています。

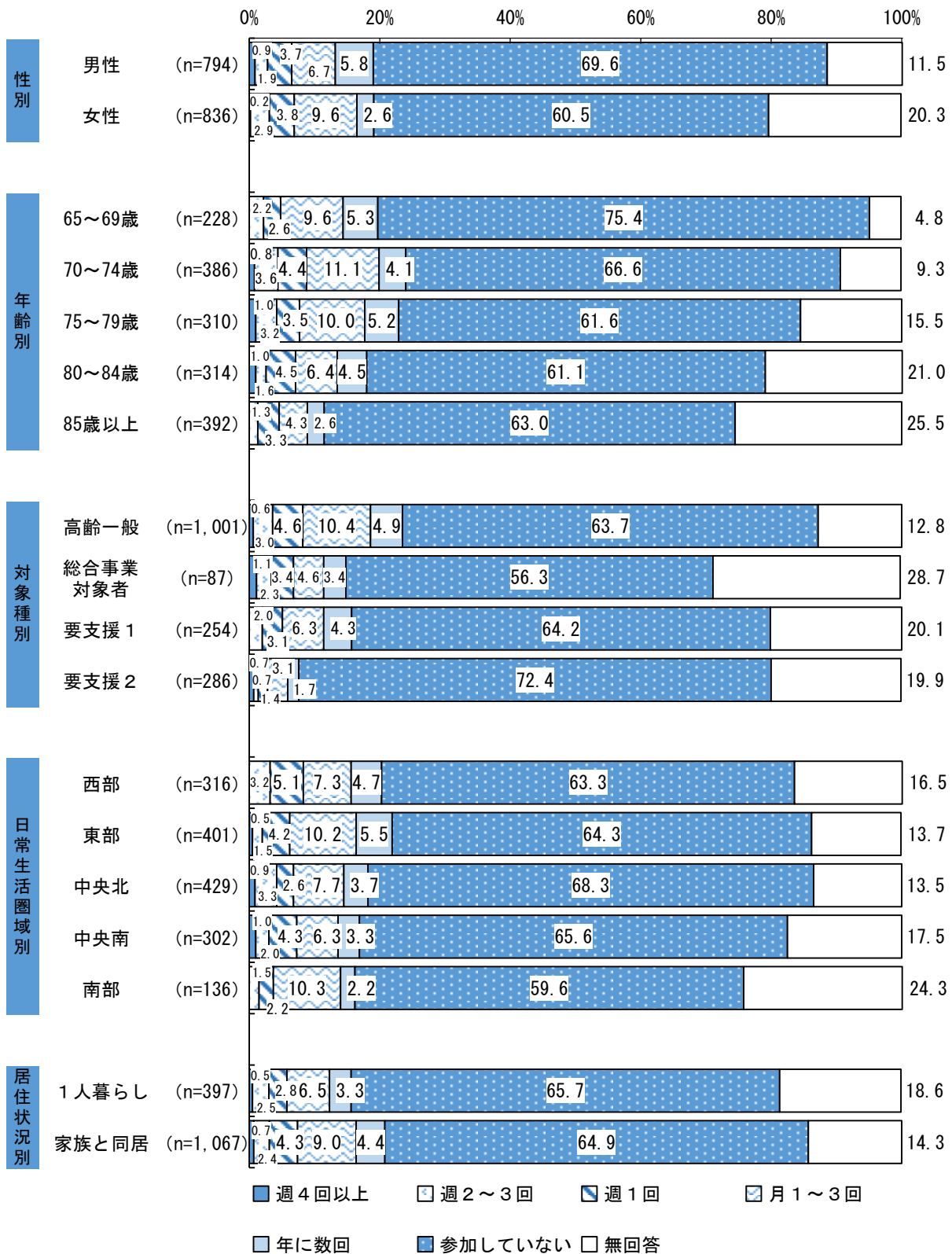


③趣味関係のグループ

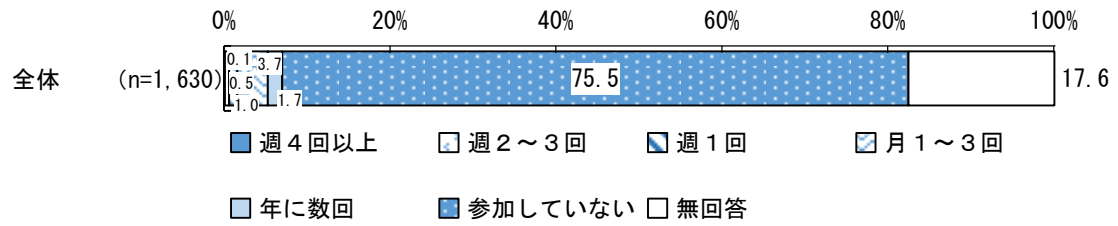


「参加していない」と答えた人がおよそ70%

趣味関係のグループにおいては、「参加していない」が65.0%と最も多く、次いで「月1～3回」が8.2%、「年に数回」が4.2%などとなっています。



④学習・教養サークル



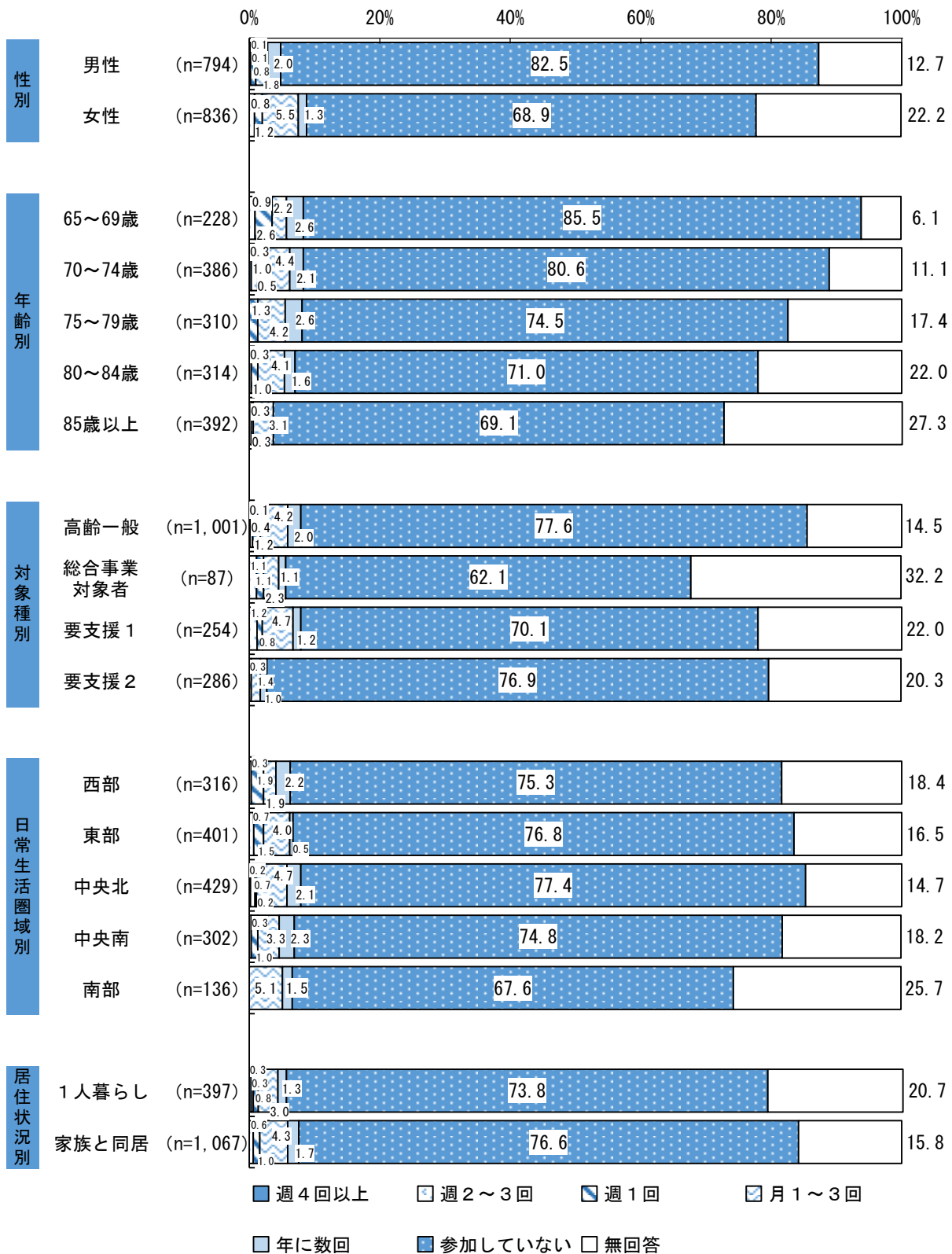
---

「参加していない」と答えた人がおよそ80%

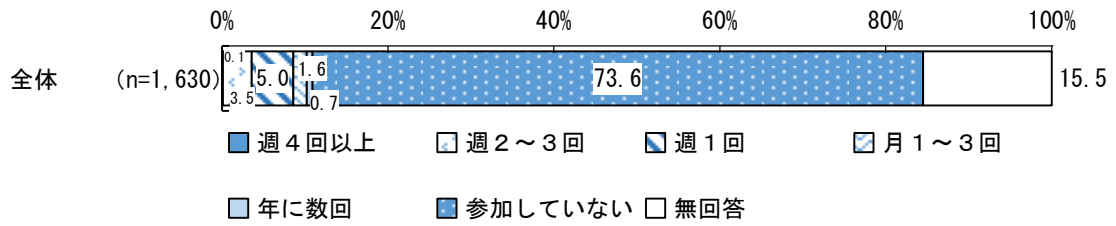
---

学習・教養サークルにおいては、「参加していない」が75.5%と最も多く、次いで「月1~3回」が3.7%、「年に数回」が1.7%などとなっています。



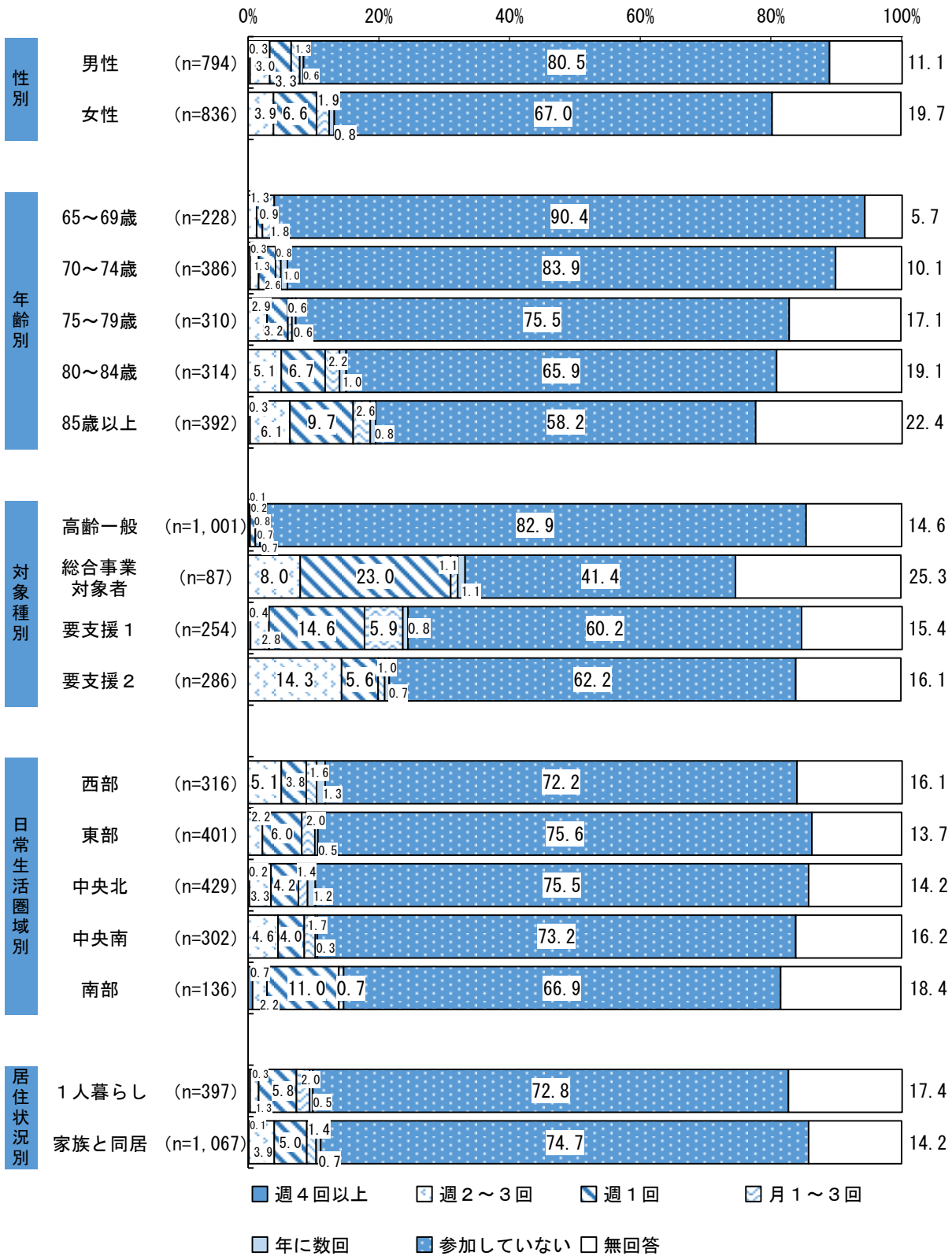


⑤高齢者サロンなど介護予防のための通いの場

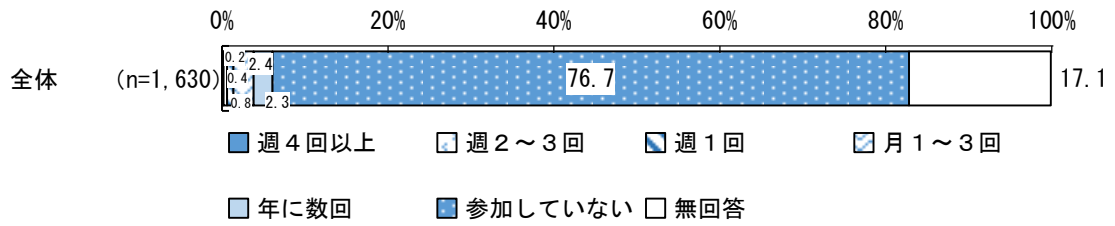


「参加していない」と答えた人がおよそ70%

高齢者サロンなど介護予防のための通いの場においては、「参加していない」が73.6%と最も多く、次いで「週1回」が5.0%、「週2～3回」が3.5%などとなっています。

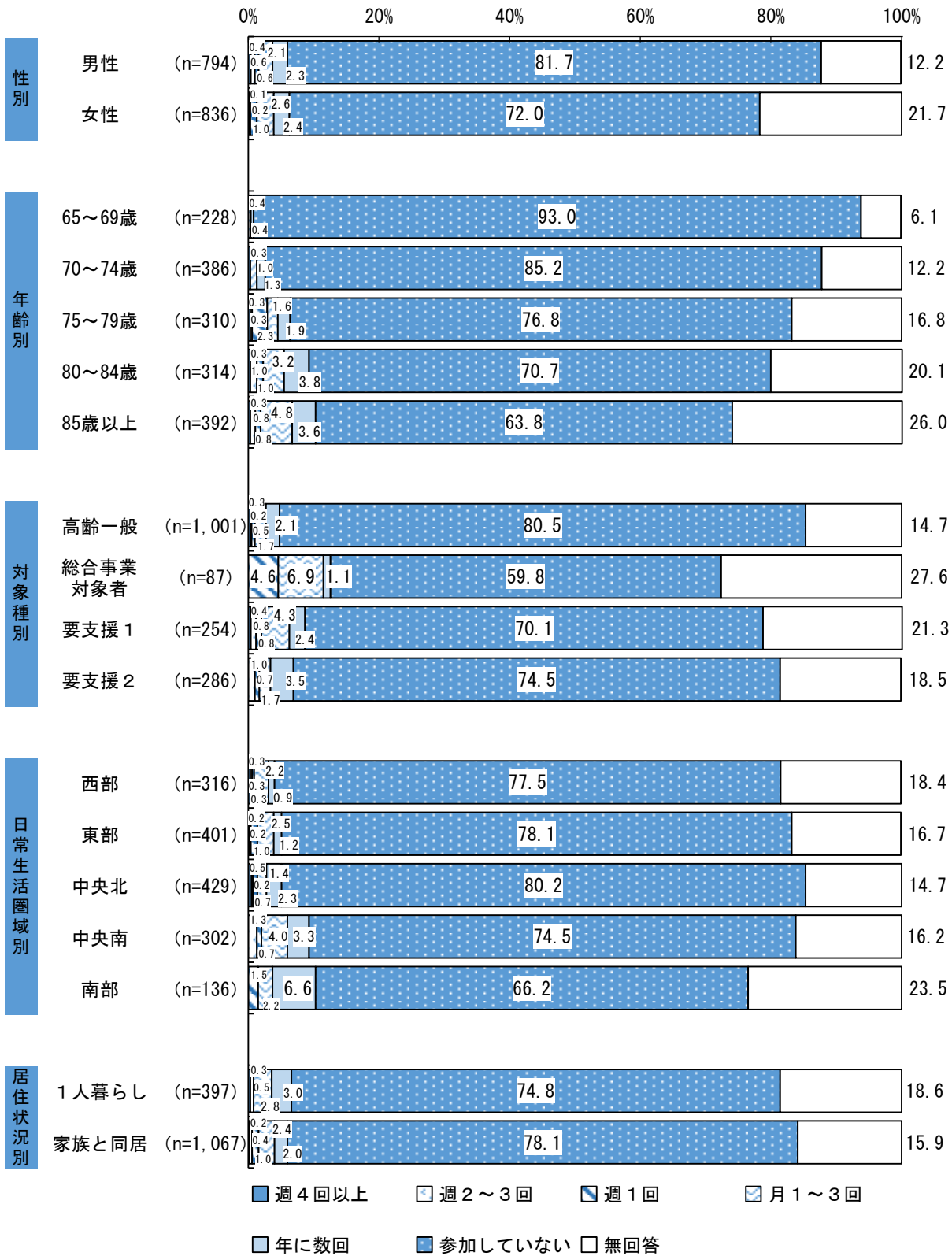


⑥シニアクラブ・老人クラブ

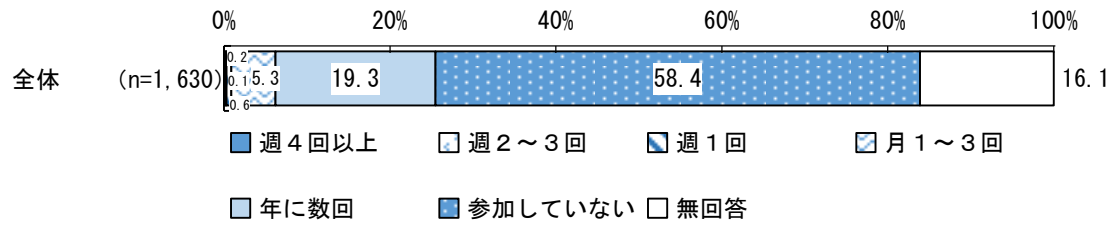


「参加していない」と答えた人がおよそ80%

シニアクラブ・老人クラブにおいては、「参加していない」が76.7%と最も多く、次いで「月1～3回」が2.4%、「年に数回」が2.3%などとなっています。

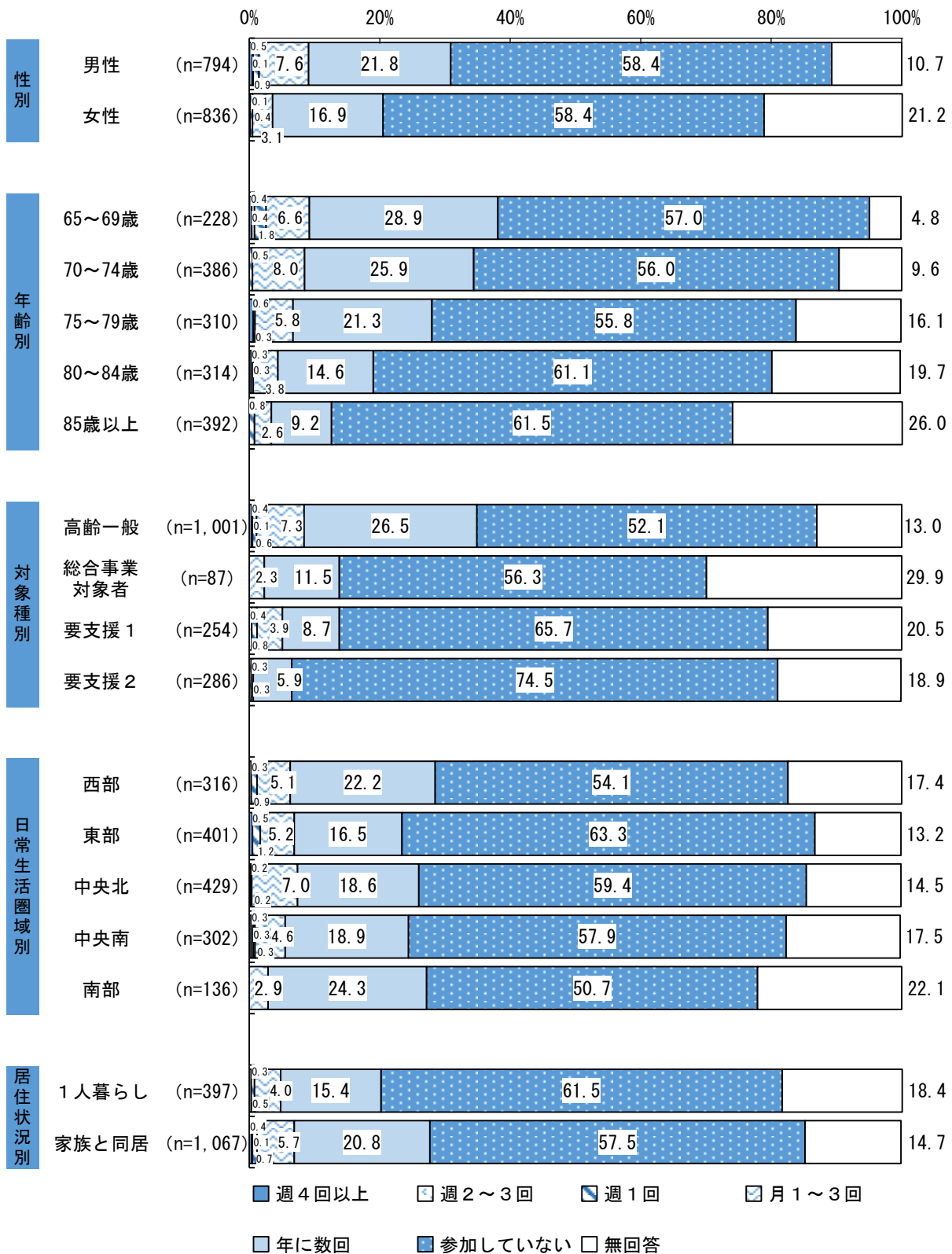


⑦町内会・自治会

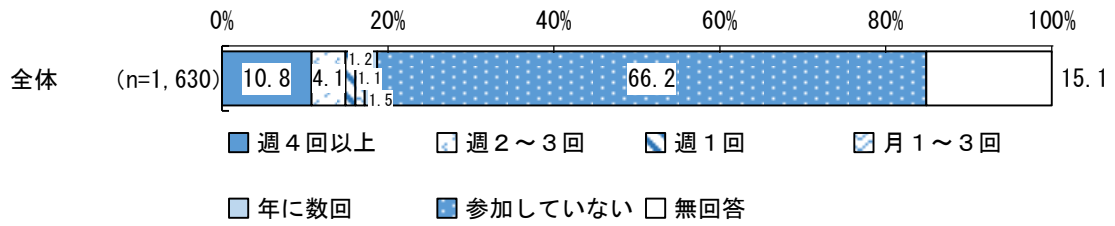


「参加していない」と答えた人がおよそ60%

町内会・自治会においては、「参加していない」が58.4%と最も多く、次いで「年に数回」が19.3%、「月1~3回」が5.3%などとなっています。



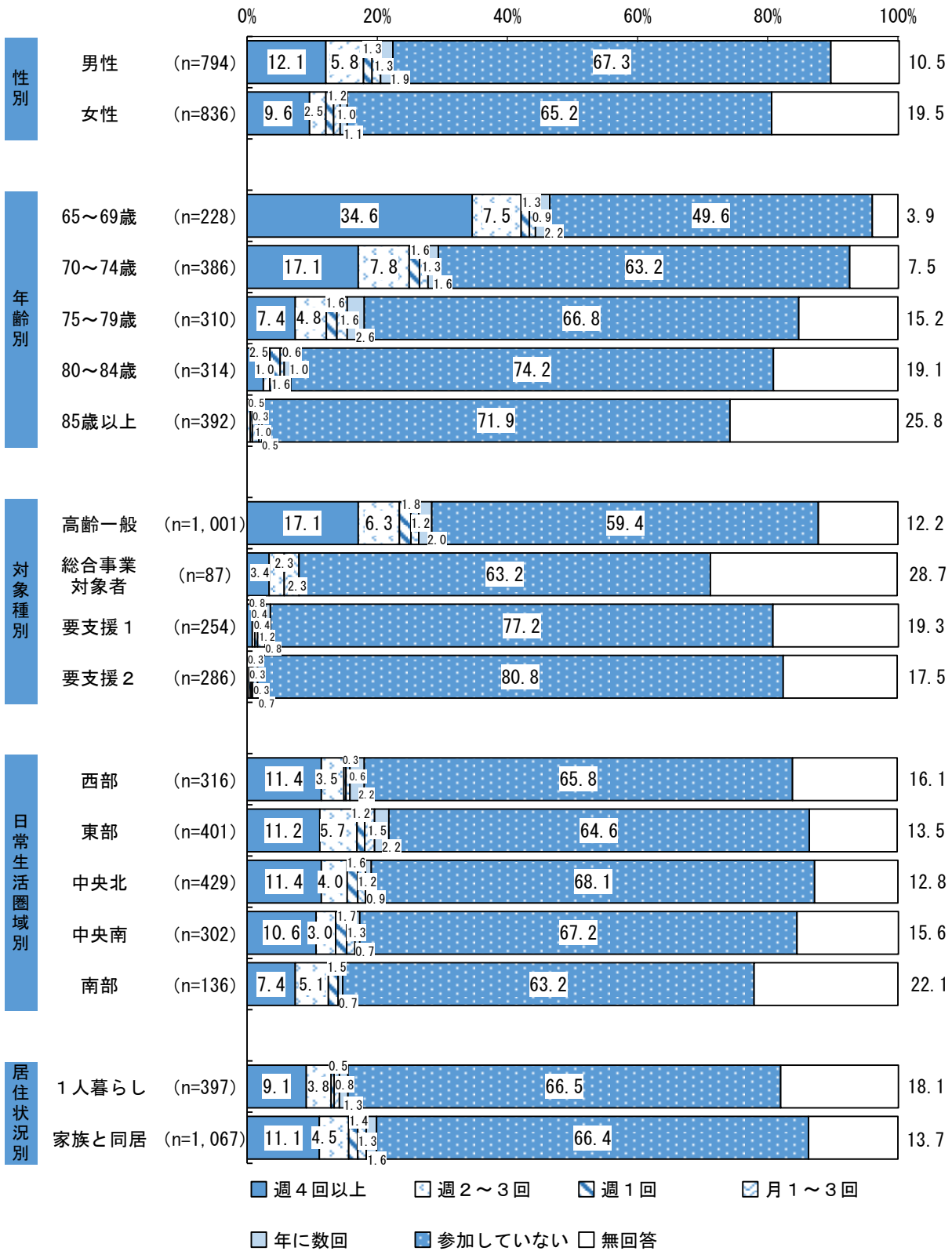
⑧収入のある仕事



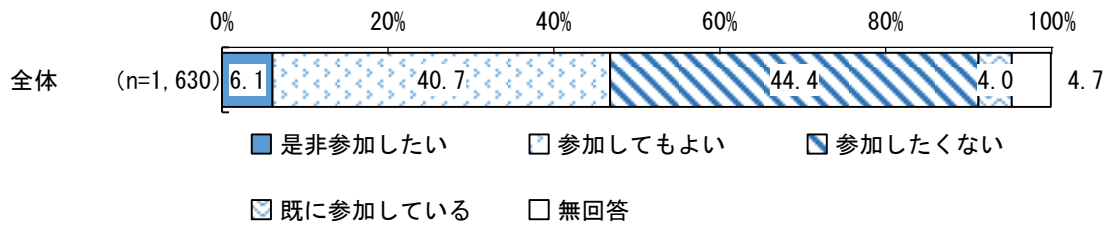
「参加していない」と答えた人がおよそ70%

収入のある仕事においては、「参加していない」が66.2%と最も多く、次いで「週4回以上」が10.8%、「週2～3回」が4.1%などとなっています。





問 34 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)




---

**85歳以上、要支援1、要支援2では  
「参加したくない」と答えた人が半数以上**

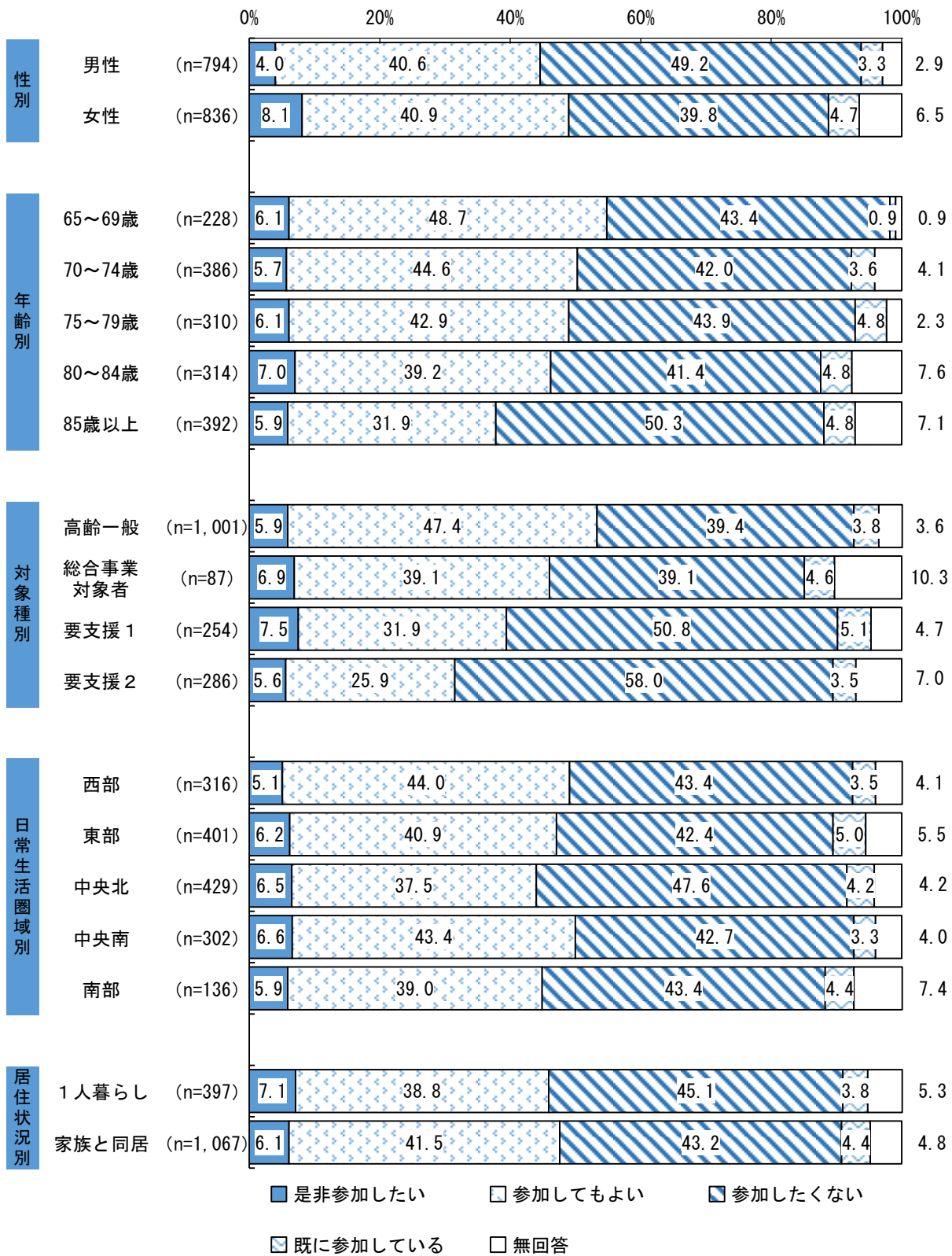
---

地域づくりの推進の活動に参加者としての参加意向においては、「是非参加したい」が6.1%、「参加してもよい」が40.7%、「参加したくない」が44.4%、「既に参加している」が4.0%となっています。

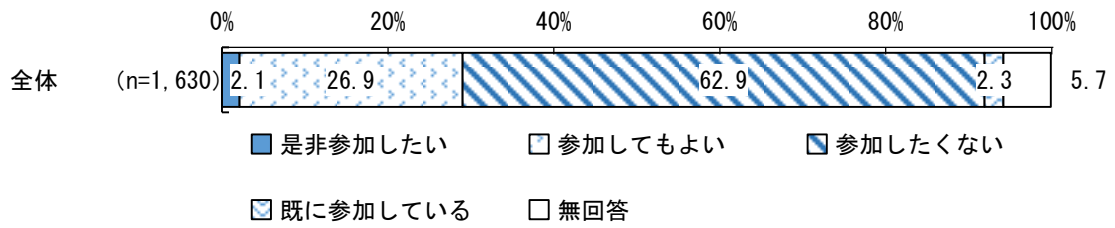
性別にみると、“女性”では「参加してもよい」が40.9%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”では「参加してもよい」が最も多くなっています。

対象種別にみると、“高齢一般”では「参加してもよい」が47.4%と最も多くなっています。

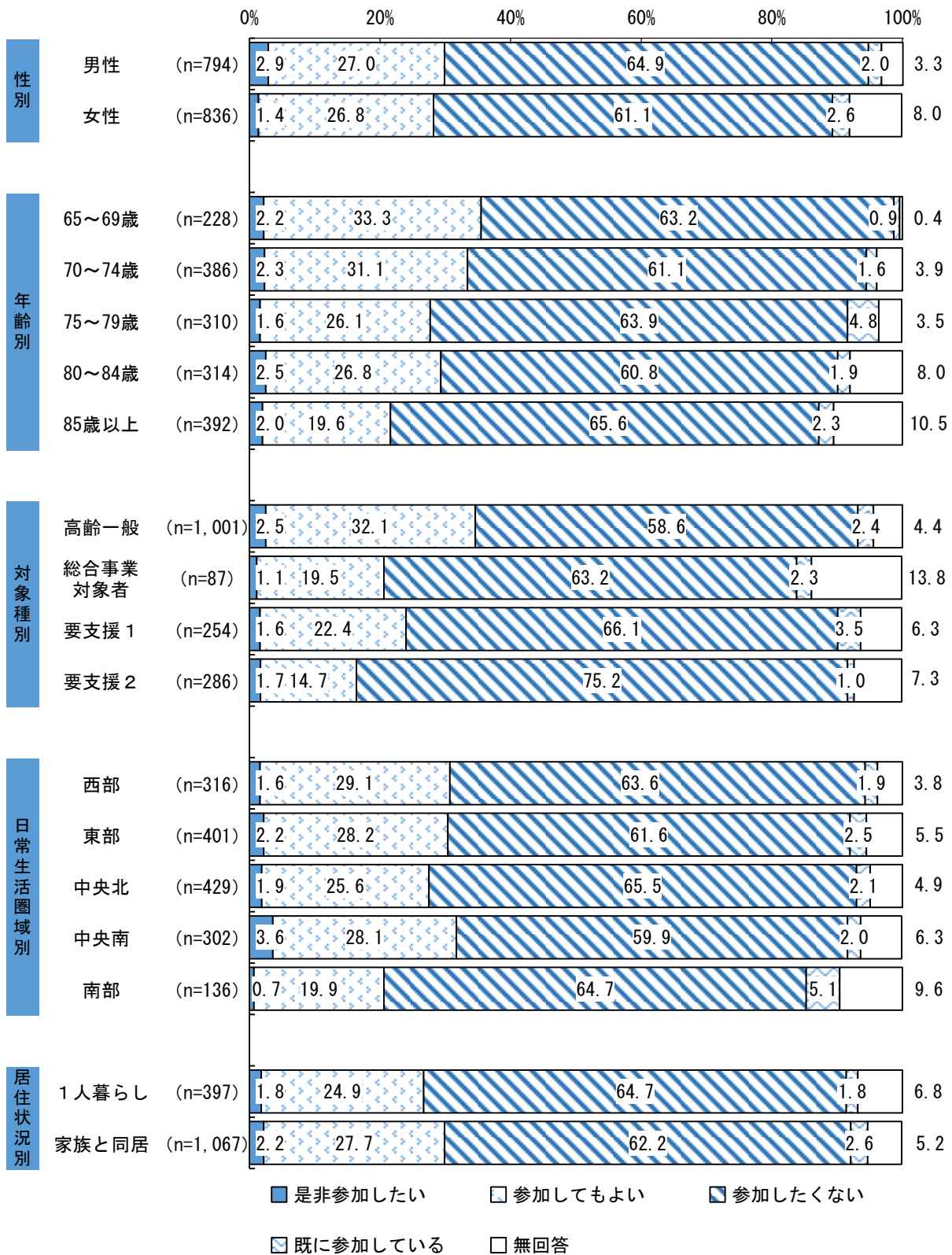


問 35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇はひとつ）

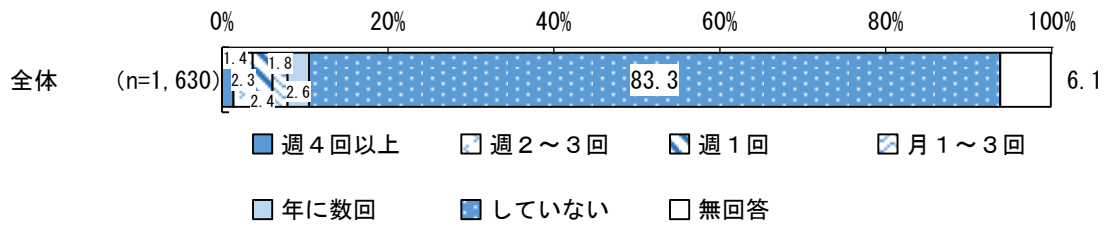


### 「参加したくない」と答えた人がおよそ60%

地域づくりの推進の活動に企画・運営役としての参加意向においては、「是非参加したい」が2.1%、「参加してもよい」が26.9%、「参加したくない」が62.9%、「既に参加している」が2.3%となっています。



問 36 見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動をどのくらいの頻度でしていますか。  
 (〇はひとつ)

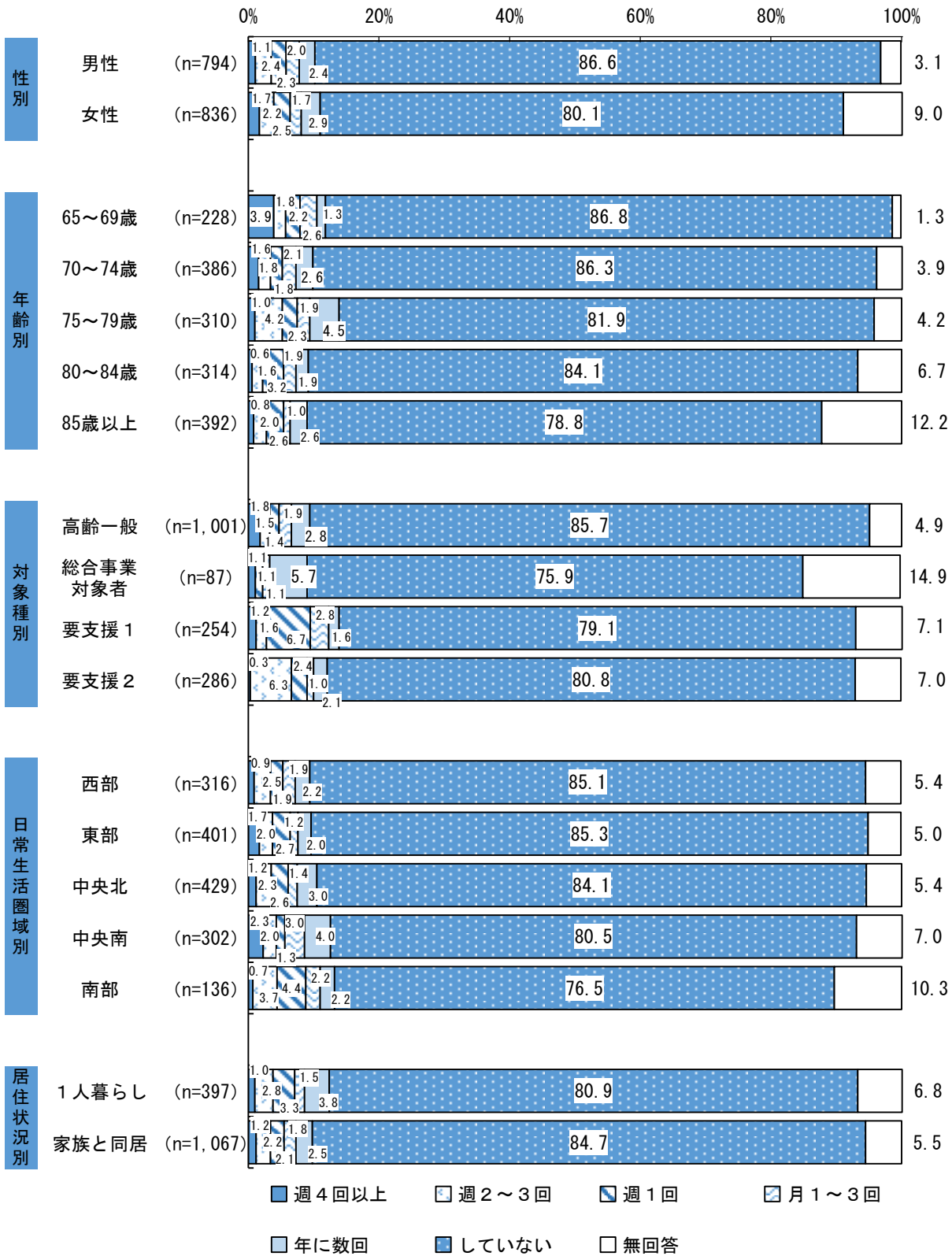



---

『している』と答えた人がおよそ10%

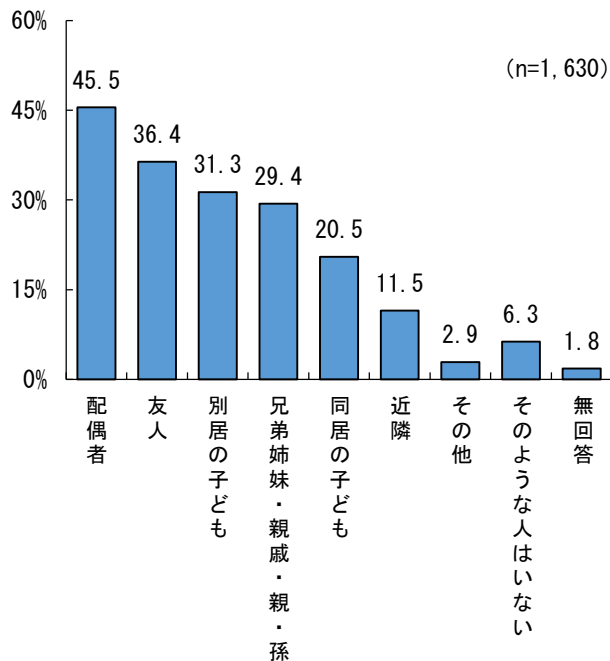
---

見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動の頻度においては、「していない」が83.3%と最も多く、次いで「年に数回」が2.6%、「週1回」が2.4%などとなっています。



(6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問 37 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）



男性では「配偶者」と答えた人がおよそ60%  
女性では「友人」と答えた人がおよそ50%

心配事や愚痴を聞いてくれる人においては、「配偶者」が45.5%と最も多く、次いで「友人」が36.4%、「別居の子ども」が31.3%などとなっています。

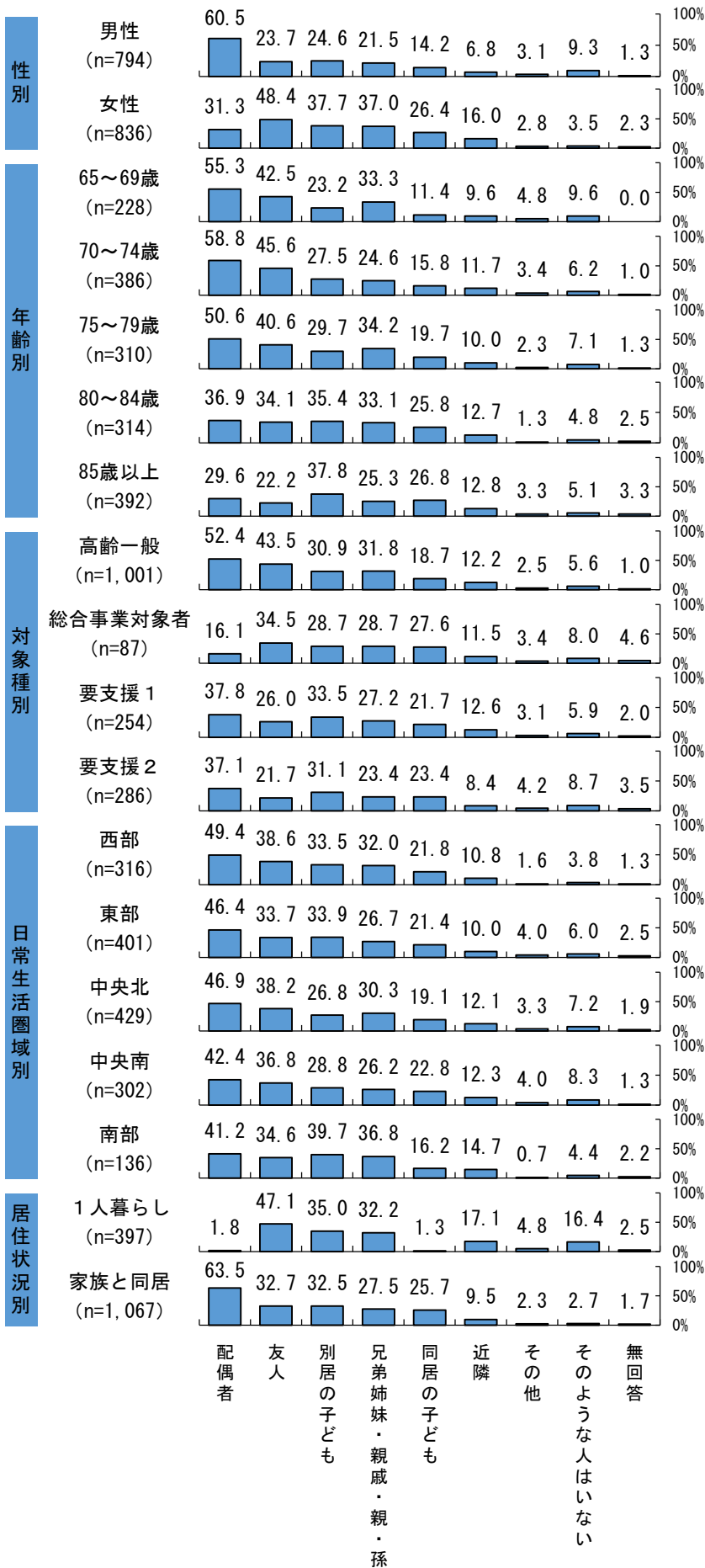
性別にみると、“女性”では「友人」が48.4%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「別居の子ども」が37.8%と最も多くなっています。

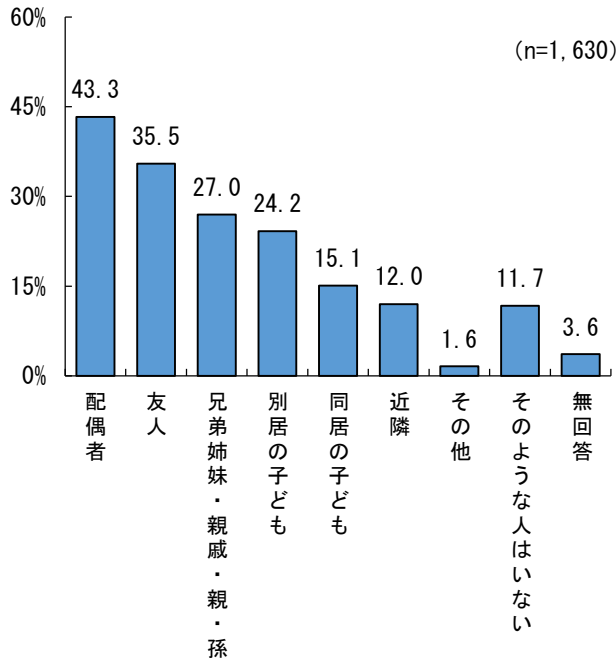
対象種別にみると、“総合事業対象者”では「友人」が34.5%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「友人」が47.1%と最も多くなっています。





問 38 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）




---

男性では「配偶者」と答えた人がおよそ60%  
女性では「友人」と答えた人がおよそ50%

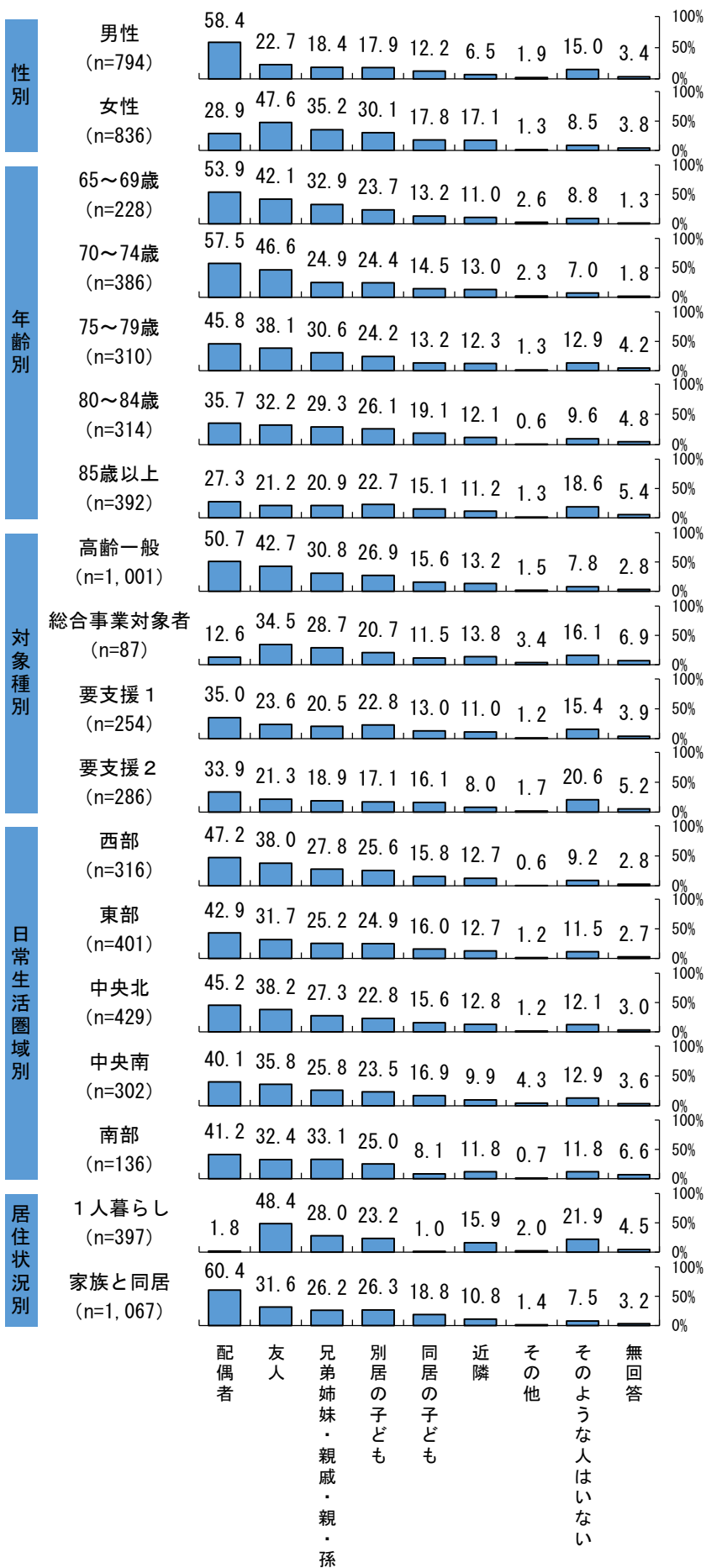
---

心配事や愚痴を聞いてあげる人においては、「配偶者」が43.3%と最も多く、次いで「友人」が35.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.0%などとなっています。

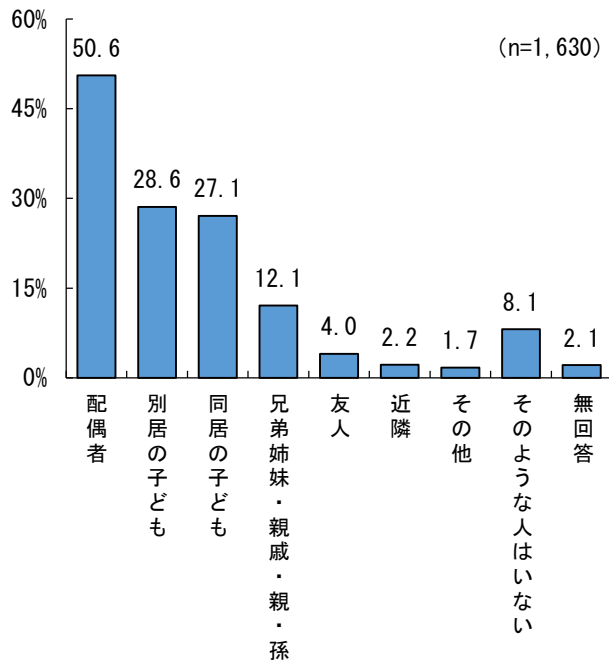
性別にみると、“女性”では「友人」が47.6%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”では「友人」が34.5%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「友人」が48.4%と最も多くなっています。



問 39 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（〇はいくつでも）




---

**85歳以上では「別居の子ども」と回答した人がおよそ40%**

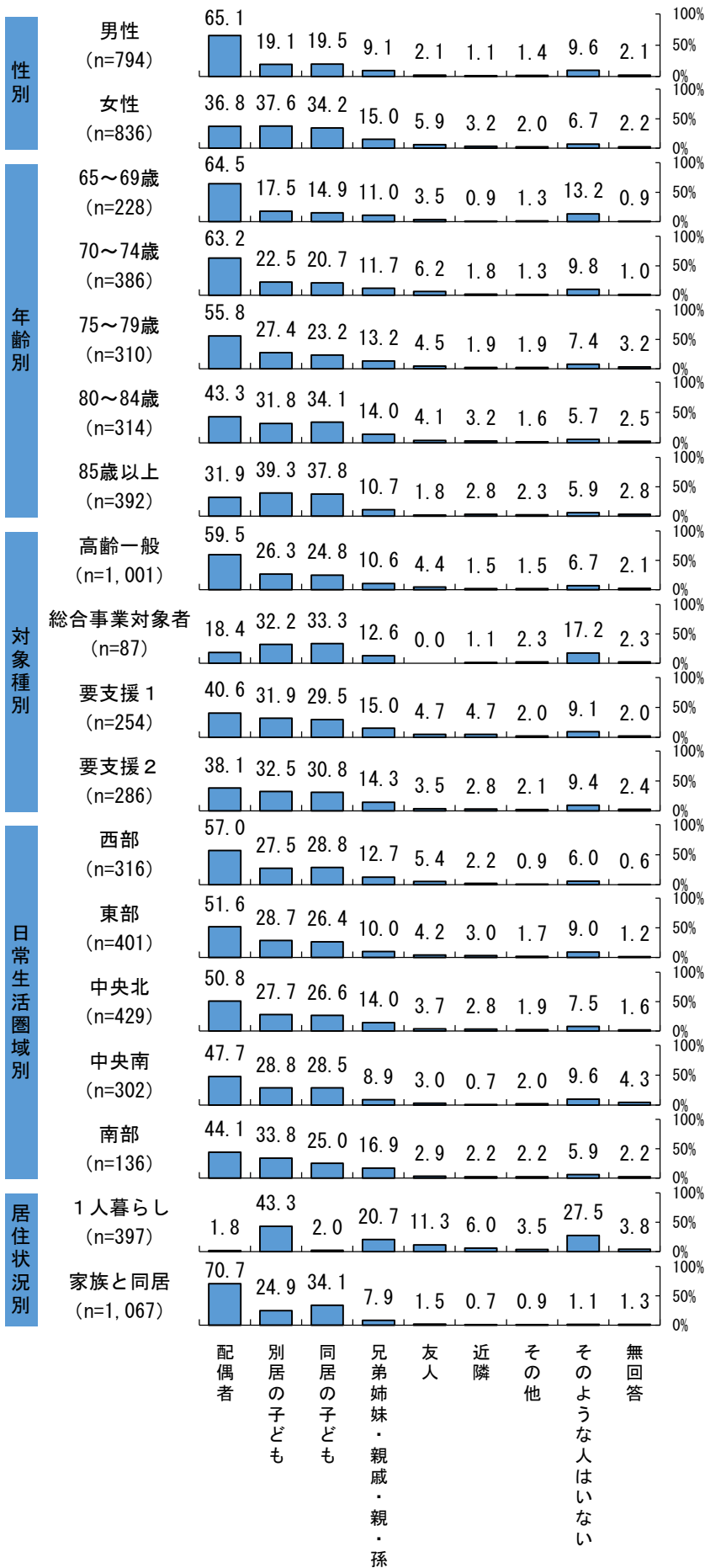
---

看病や世話をしてくれる人においては、「配偶者」が50.6%と最も多く、次いで「別居の子ども」が28.6%、「同居の子ども」が27.1%などとなっています。

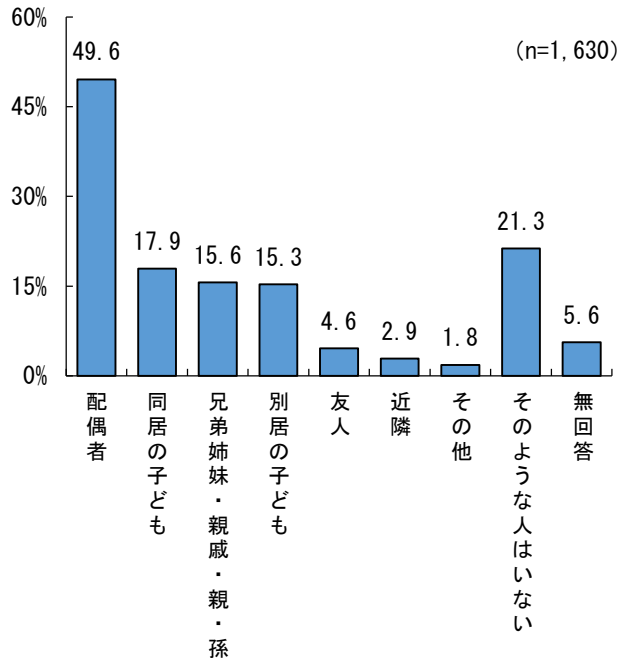
年齢別にみると、“85歳以上”では「別居の子ども」が39.3%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”では「同居の子ども」が33.3%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「別居の子ども」が43.3%と最も多くなっています。



問 40 反対に、看病や世話をしあける人（〇はいくつでも）




---

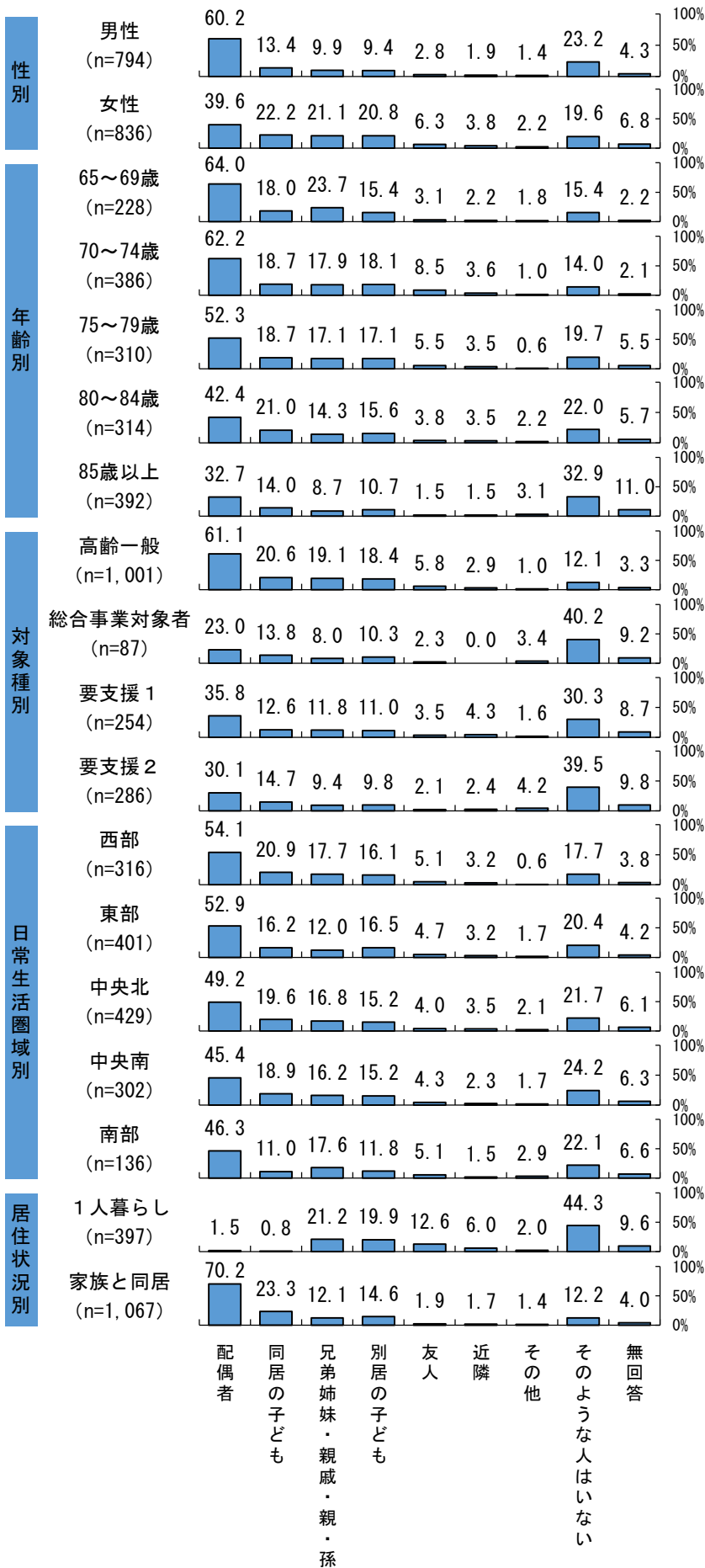
**「配偶者」と答えた人が  
男性ではおよそ60%、女性ではおよそ40%**

---

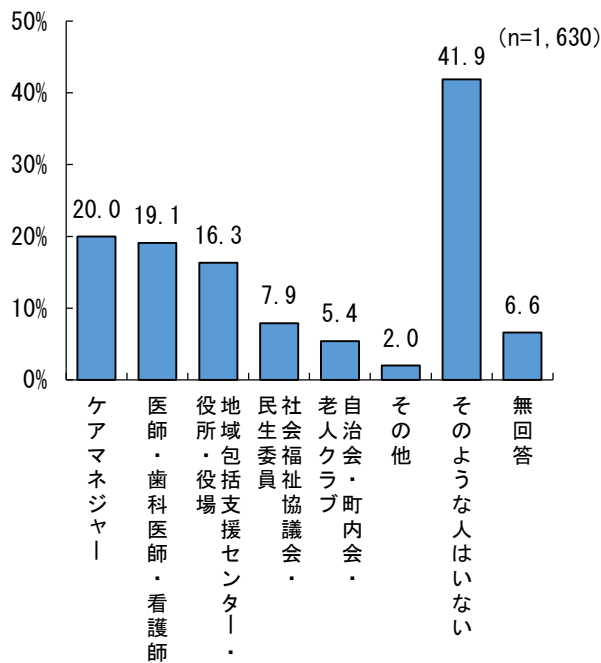
看病や世話をしあける人においては、「配偶者」が49.6%と最も多く、次いで「同居の子ども」が17.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が15.6%などとなっています。また、「そのような人はいない」が21.3%となっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援2”では「そのような人はいない」が最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「そのような人はいない」が44.3%と最も多くなっています。



問 41 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(○はいくつでも)



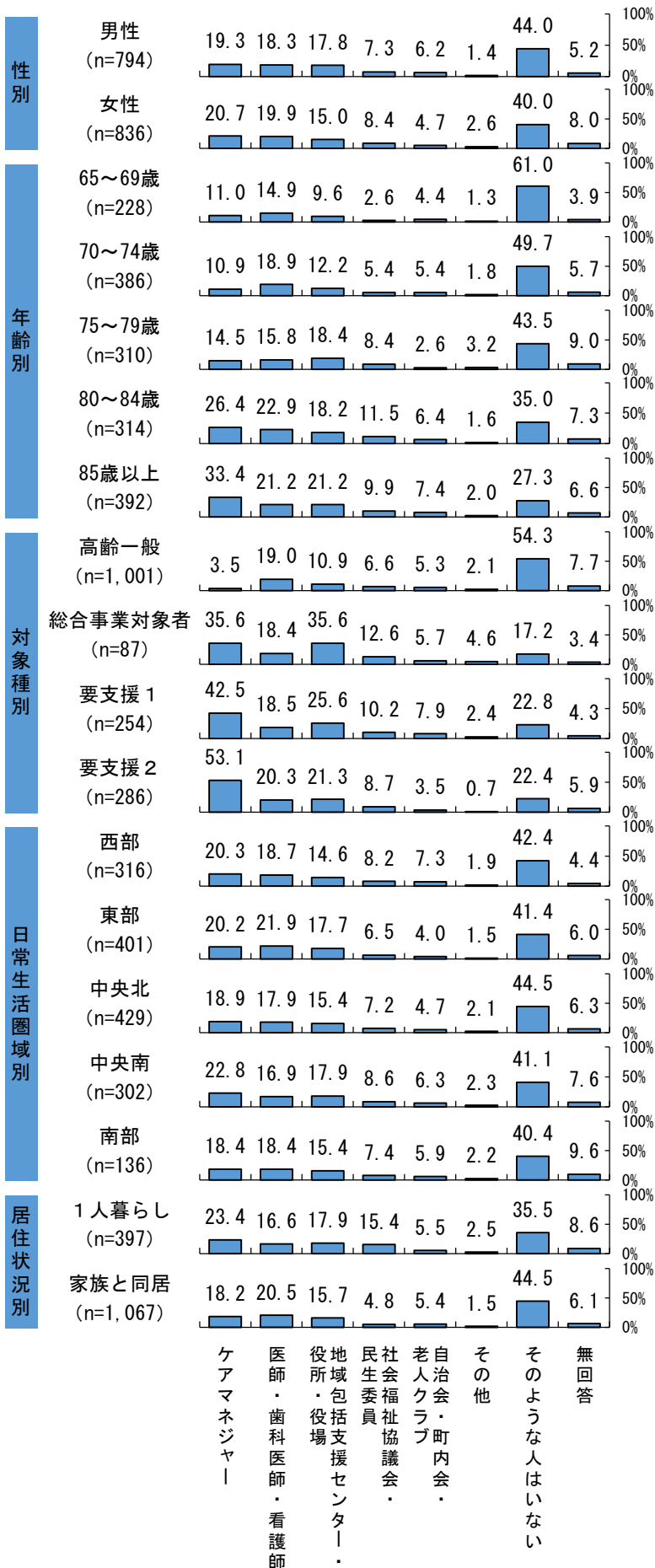
---

「そのような人はいない」と答えた人がおよそ40%

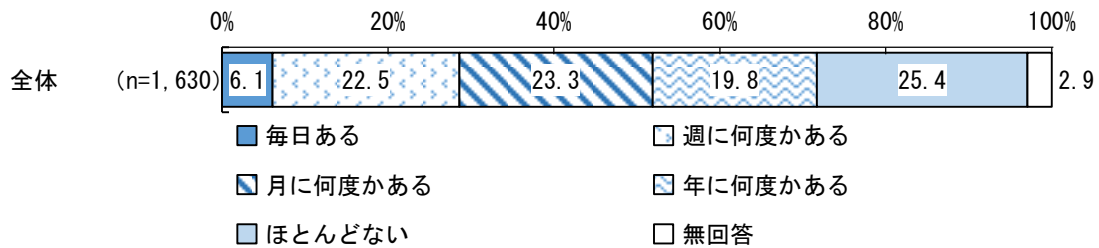
---

家族や友人・知人以外で、相談する相手においては、「ケアマネジャー」が20.0%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が19.1%、「地域包括支援センター・役所・役場」が16.3%などとなっています。また、「そのような人はいない」が41.9%となっています。





問 42 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○はひとつ)



「ほとんどない」と答えた人がおよそ30%

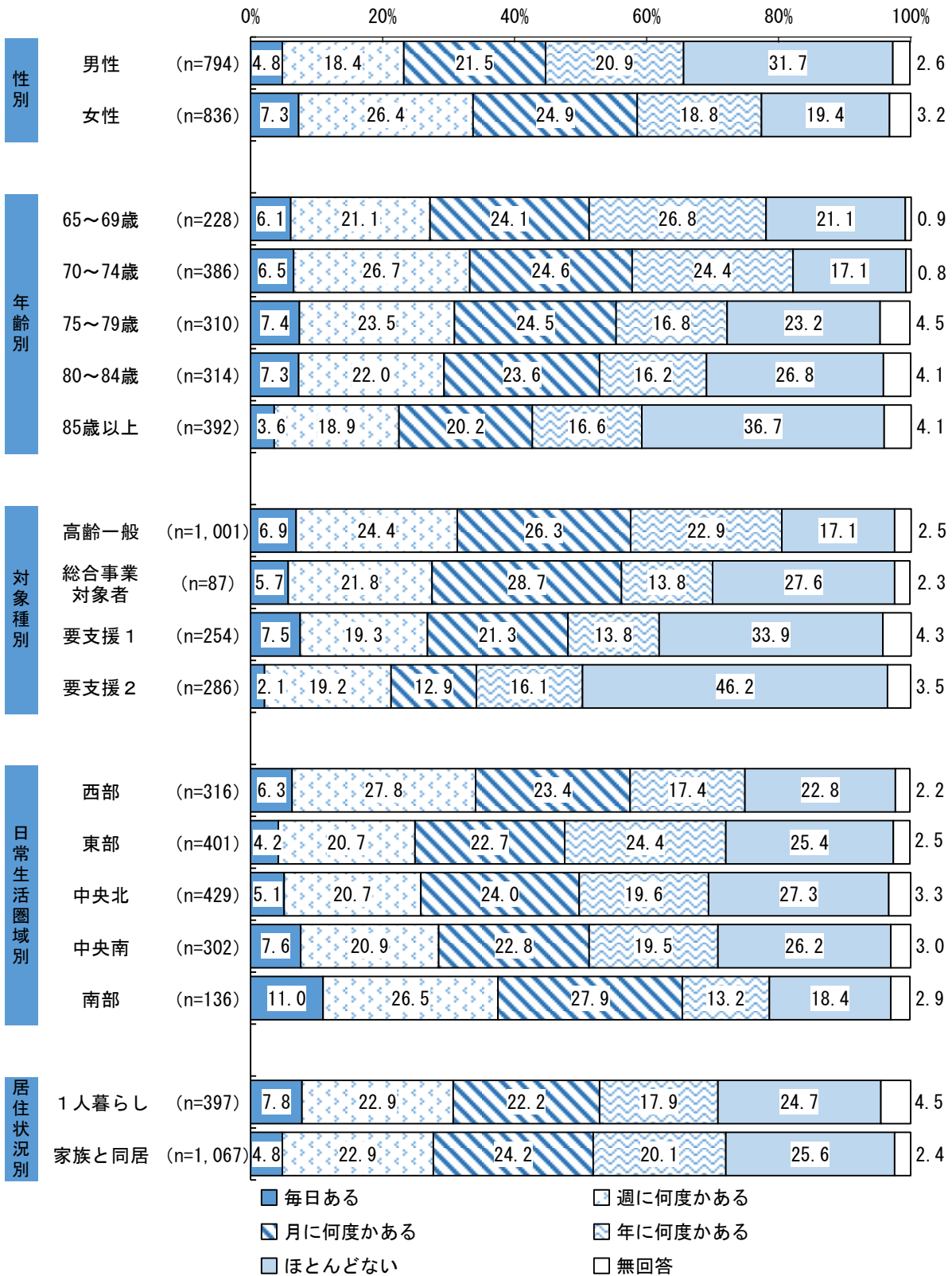
友人・知人に会う頻度においては、「ほとんどない」が25.4%と最も多く、次いで「月に何度かある」が23.3%、「週に何度かある」が22.5%などとなっています。

性別にみると、“女性”では「週に何度かある」が26.4%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”では「年に何度かある」が26.8%と最も多くなっています。また、“70～74歳”では「週に何度かある」が26.7%と最も多くなっています。また、“75～79歳”では「月に何度かある」が24.5%と最も多くなっています。

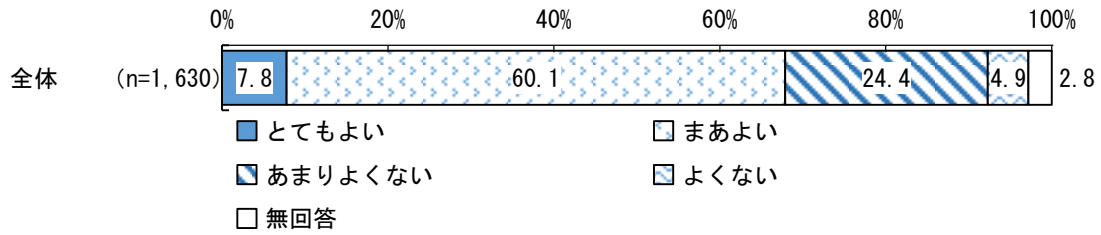
対象種別にみると、“高齢一般”、“総合事業対象者”では「月に何度かある」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“西部”では「週に何度かある」が27.8%と最も多くなっています。また、“南部”では「月に何度かある」が27.9%と最も多くなっています。



(7) 健康について

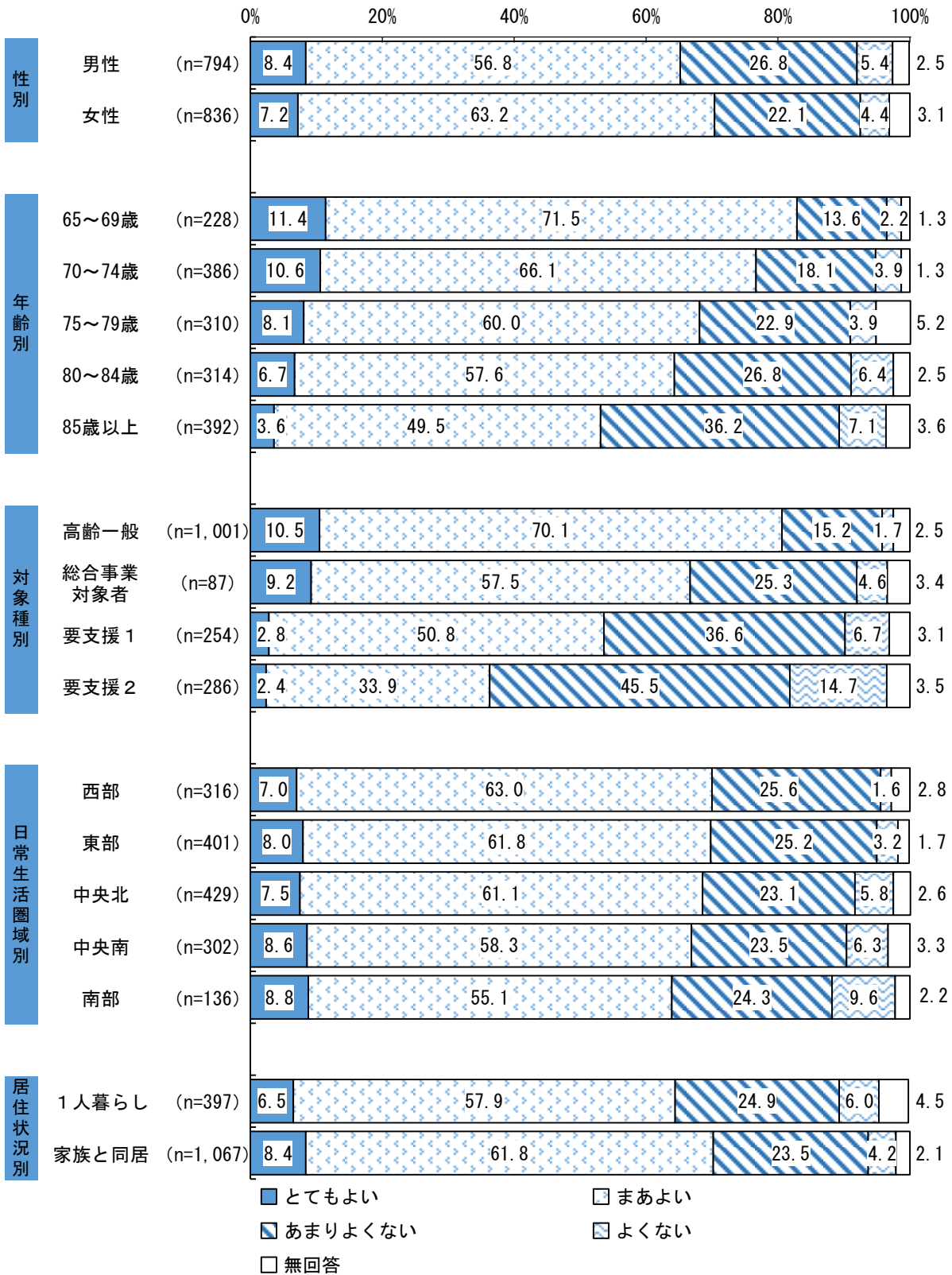
問 43 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)



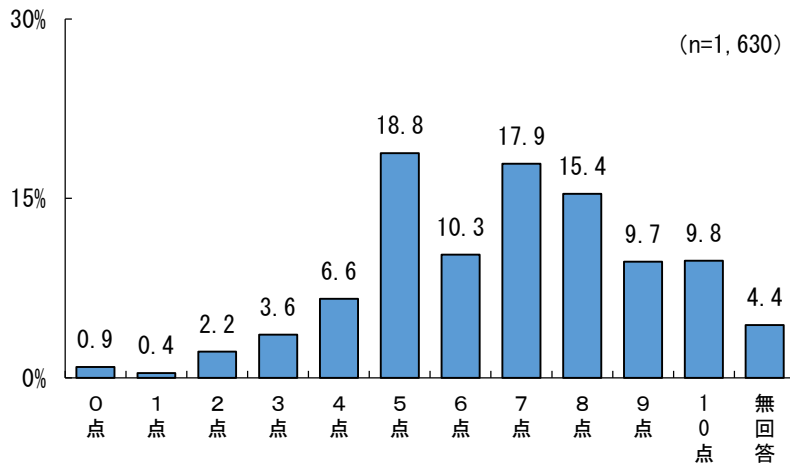
『よい』と答えた人がおよそ70%

現在の健康状態においては、「とてもよい」が7.8%、「まあよい」が60.1%、「あまりよくない」が24.4%、「よくない」が4.9%となっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「あまりよくない」が45.5%と最も多くなっています。



問 44 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○はひとつ)



---

「5点」と答えた人がおよそ20%

---

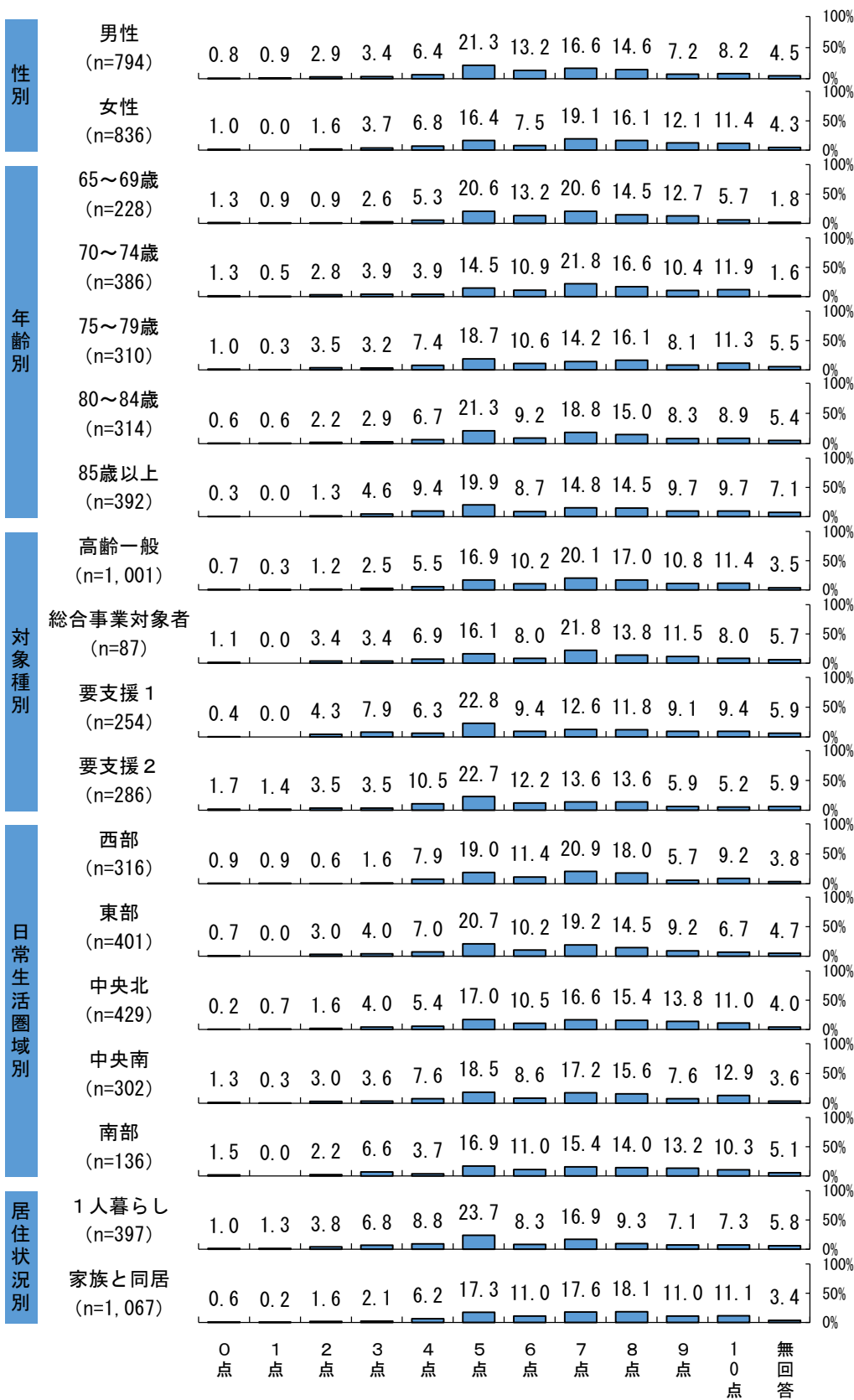
現在どの程度幸せかにおいては、「5点」が18.8%と最も多く、次いで「7点」が17.9%、「8点」が15.4%などとなっています。

性別にみると、「女性」では「7点」が19.1%と最も多くなっています。

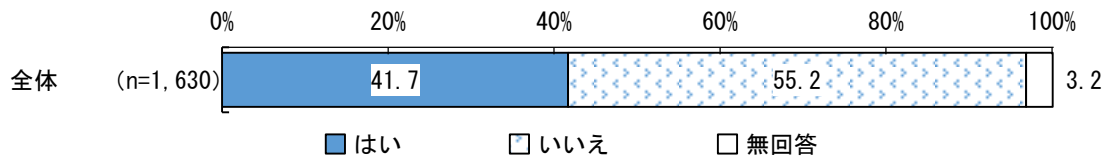
年齢別にみると、「70～74歳」では「7点」が21.8%と最も多くなっています。

対象種別にみると、「高齢一般」、「総合事業対象者」では「7点」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、「西部」では「7点」が20.9%と最も多くなっています。



問 45 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。  
(○はひとつ)



---

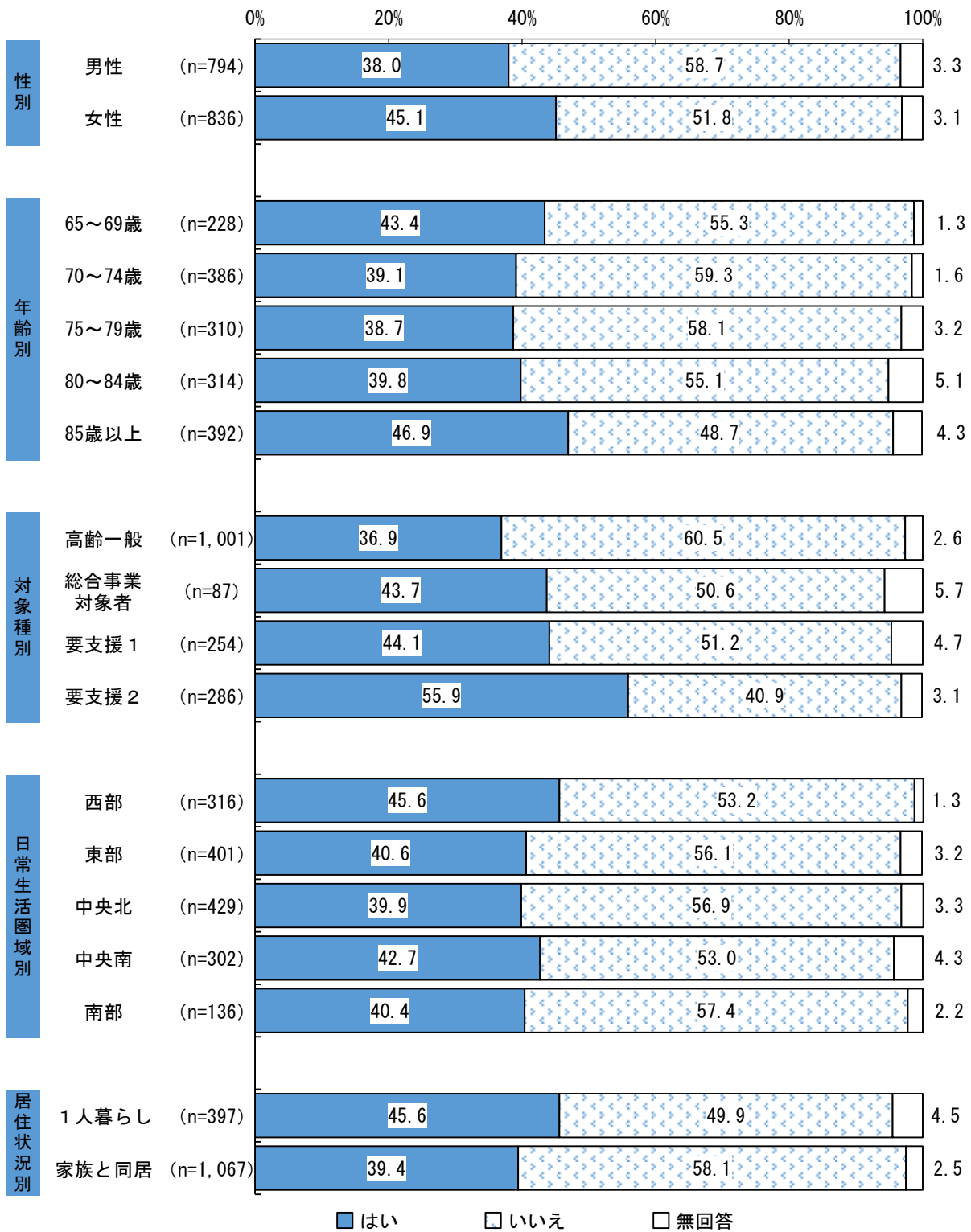
### 要支援2では「はい」と答えた人がおよそ60%

---

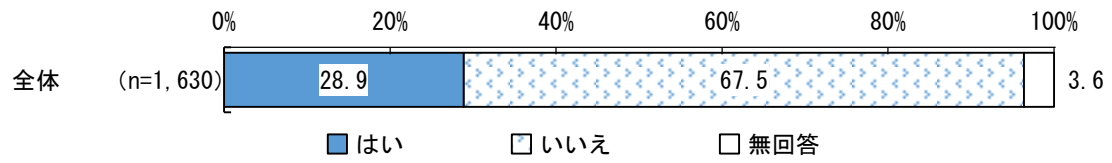
この1か月間、気分の沈みや、ゆううつな気持ちになったかにおいては、「はい」が41.7%、「いいえ」が55.2%となっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「はい」が55.9%と多くなっています。





問 46 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇はひとつ)

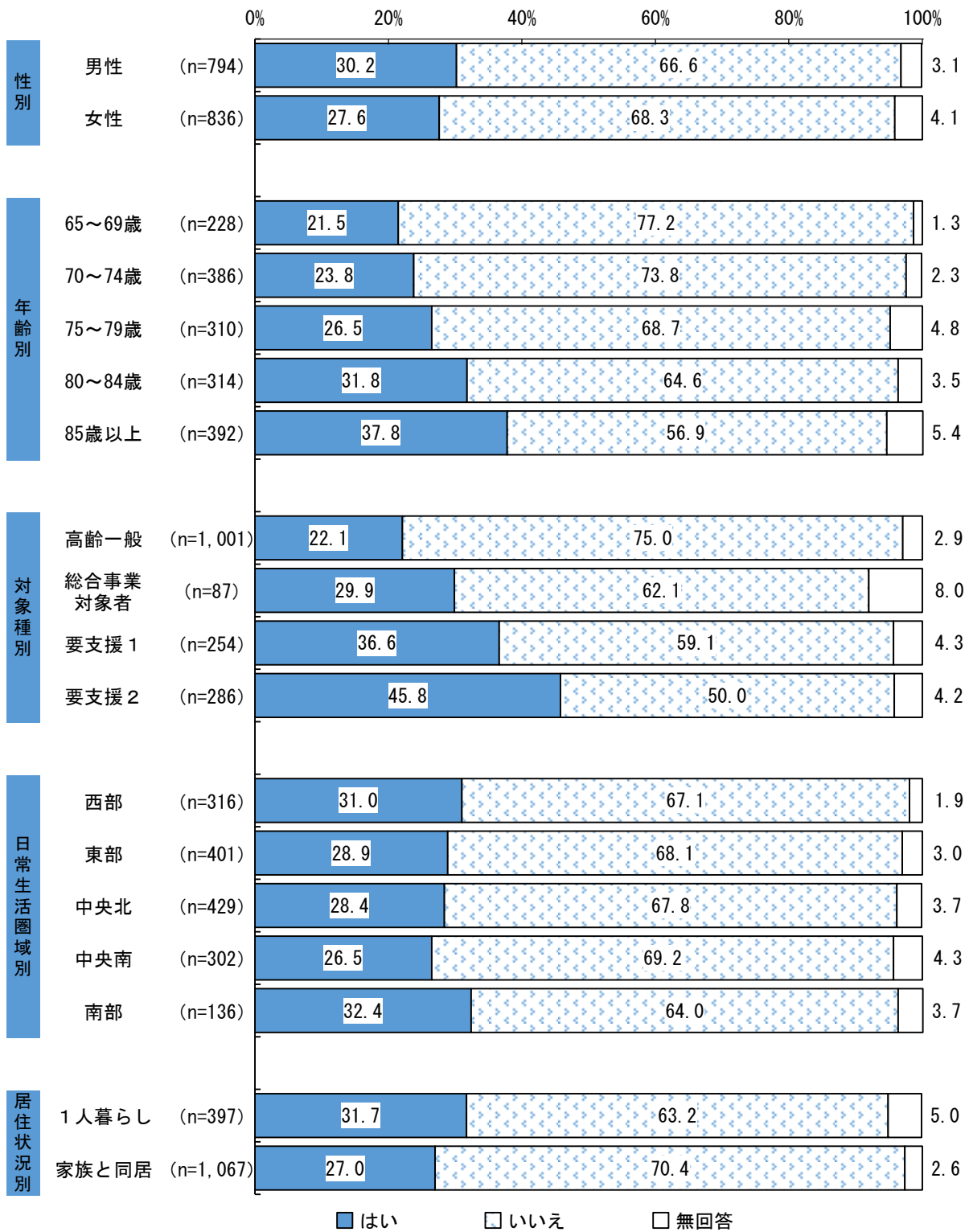


---

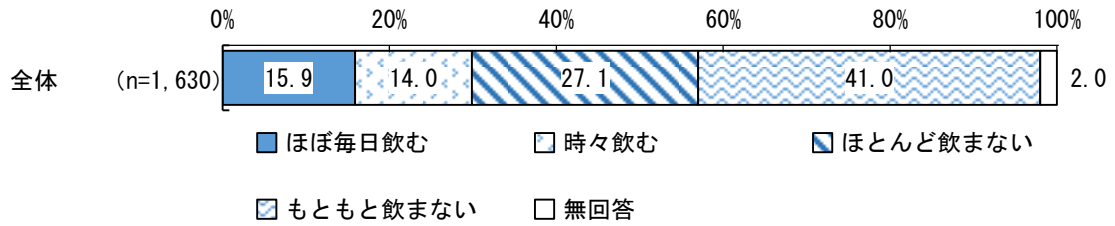
### 「はい」と答えた人がおよそ30%

---

この1か月間、物事に対して興味のなさ、心から楽しめないことがあったかにおいては、「はい」が28.9%、「いいえ」が67.5%となっています。



問 47 お酒は飲みますか。(○はひとつ)



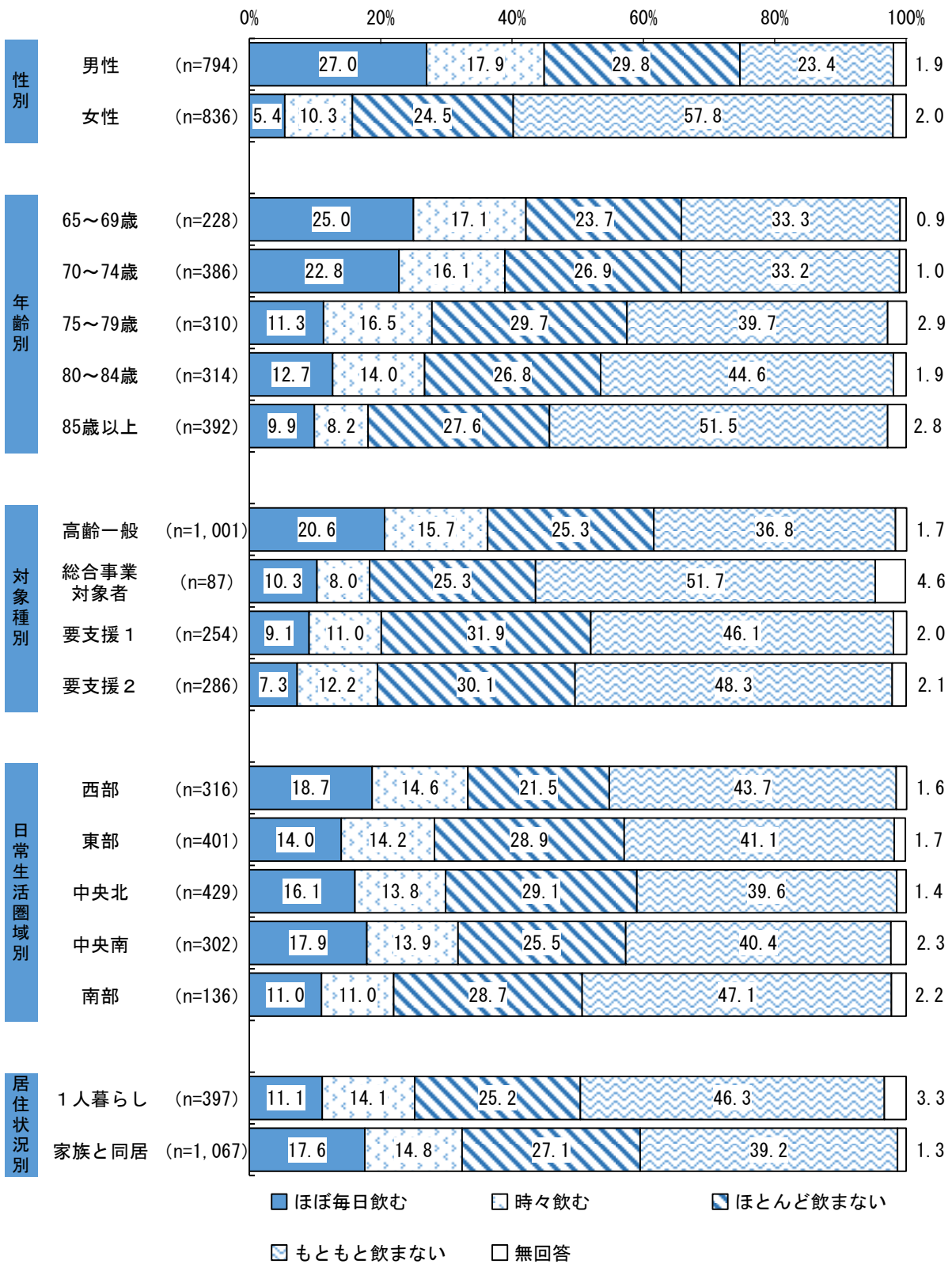
---

『飲む』と答えた人がおよそ30%

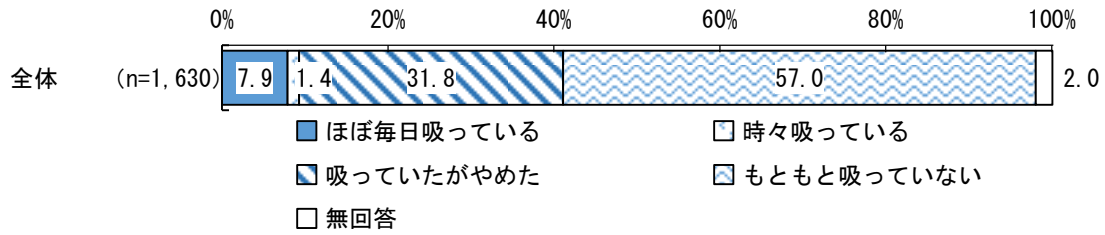
---

飲酒有無においては、「ほぼ毎日飲む」が15.9%、「時々飲む」が14.0%、「ほとんど飲まない」が27.1%、「もともと飲まない」が41.0%となっています。

性別にみると、“男性”では「ほとんど飲まない」が29.8%と最も多くなっています。



問 48 タバコは吸っていますか。(○はひとつ)



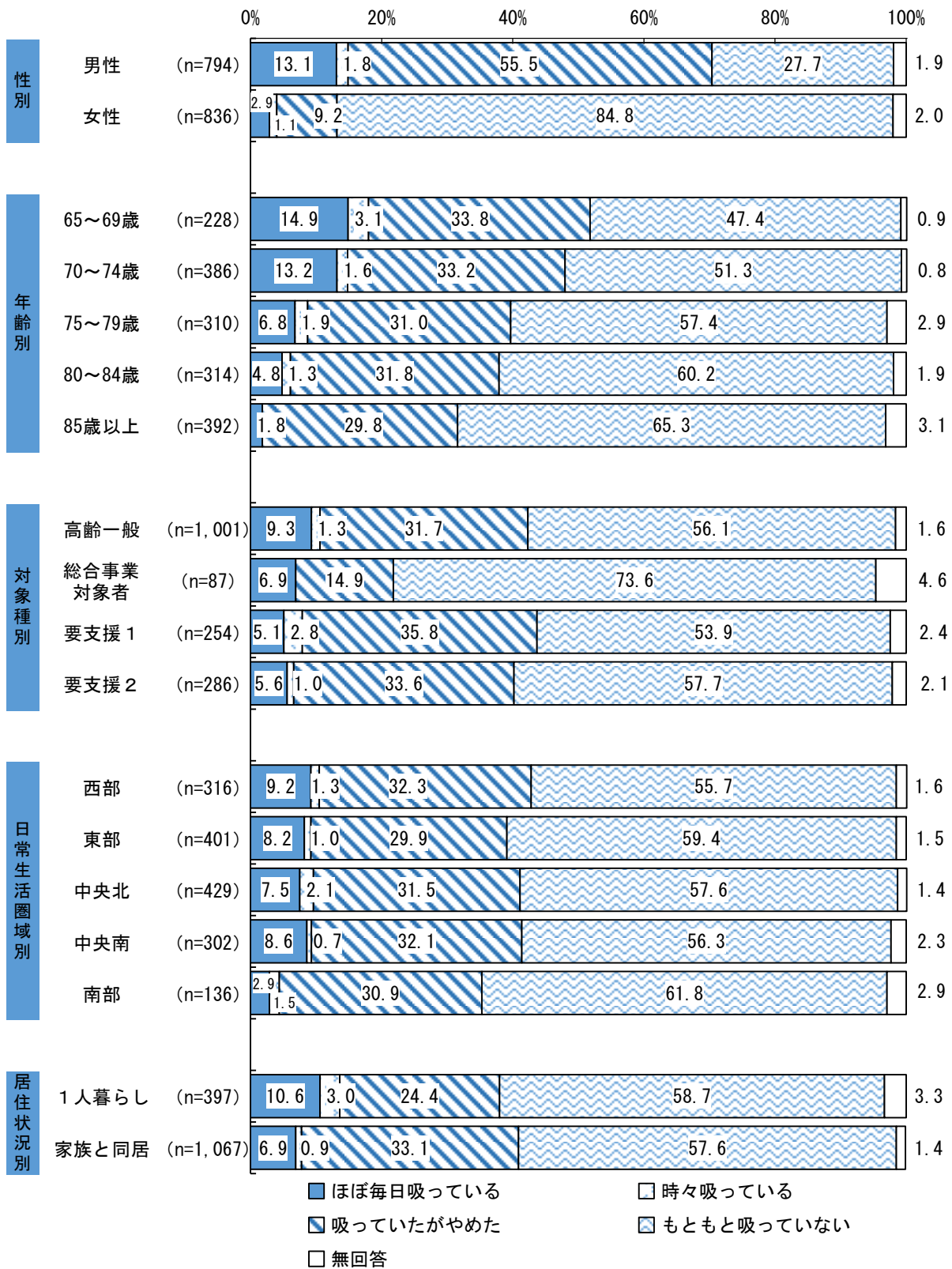
---

**男性では「吸っていたがやめた」と答えた人がおよそ60%**

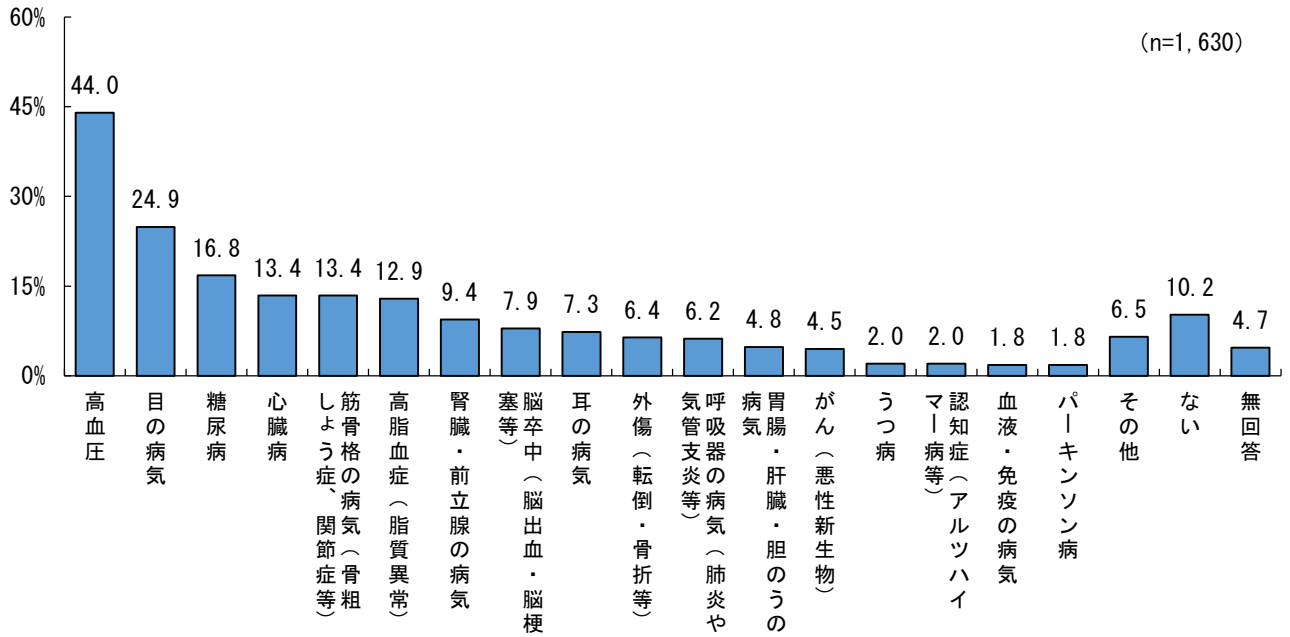
---

タバコの喫煙有無においては、「ほぼ毎日吸っている」が7.9%、「時々吸っている」が1.4%、「吸っていたがやめた」が31.8%、「もともと吸っていない」が57.0%となっています。

性別にみると、“男性”では「吸っていたがやめた」が55.5%と最も多くなっています。



問 49 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)



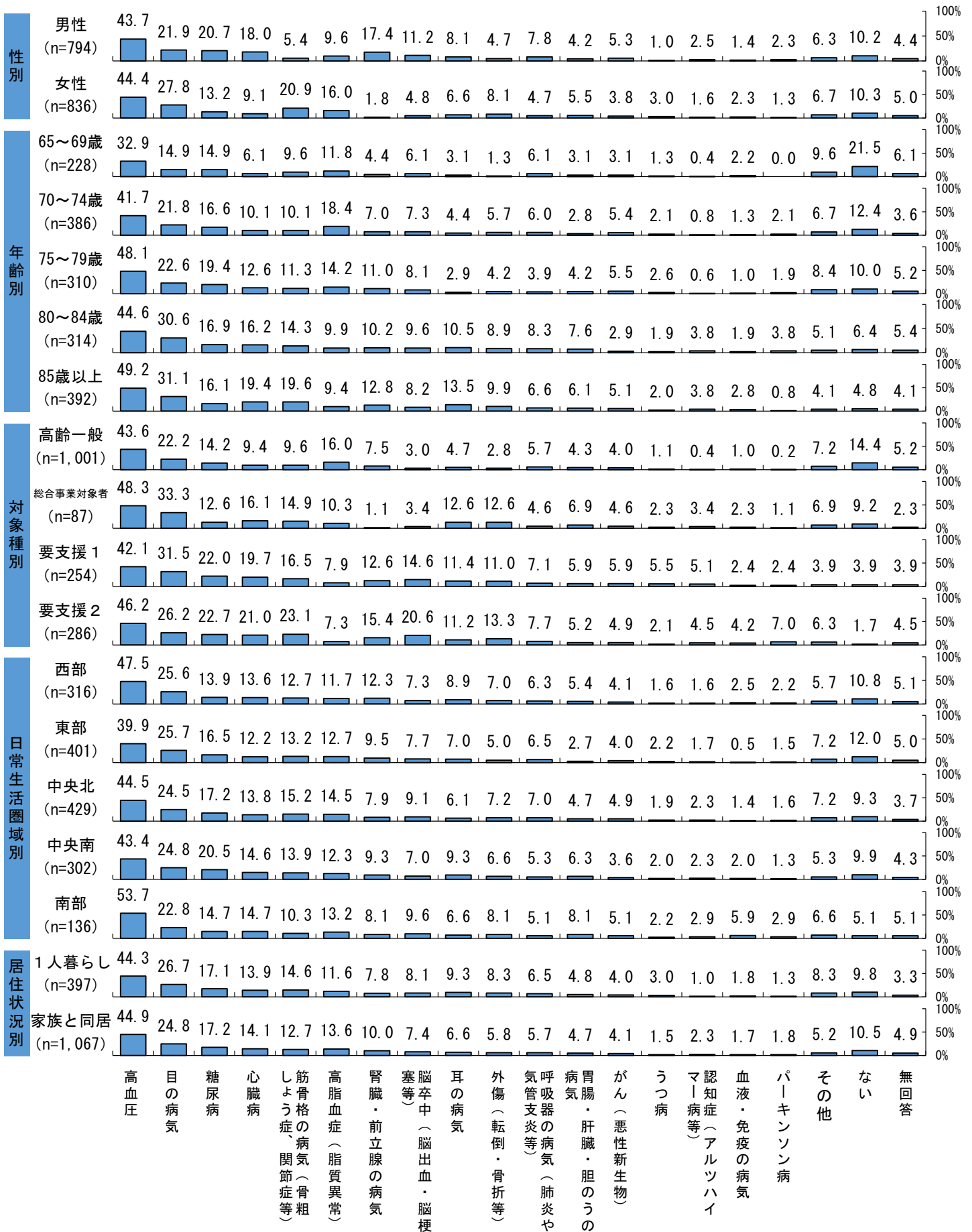

---

**「高血圧」と答えた人がおよそ40%**

---

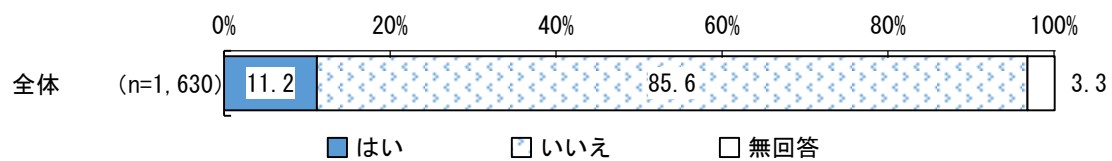
現在治療中、または後遺症のある病気においては、「高血圧」が44.0%と最も多く、次いで「目の病気」が24.9%、「糖尿病」が16.8%などとなっています。



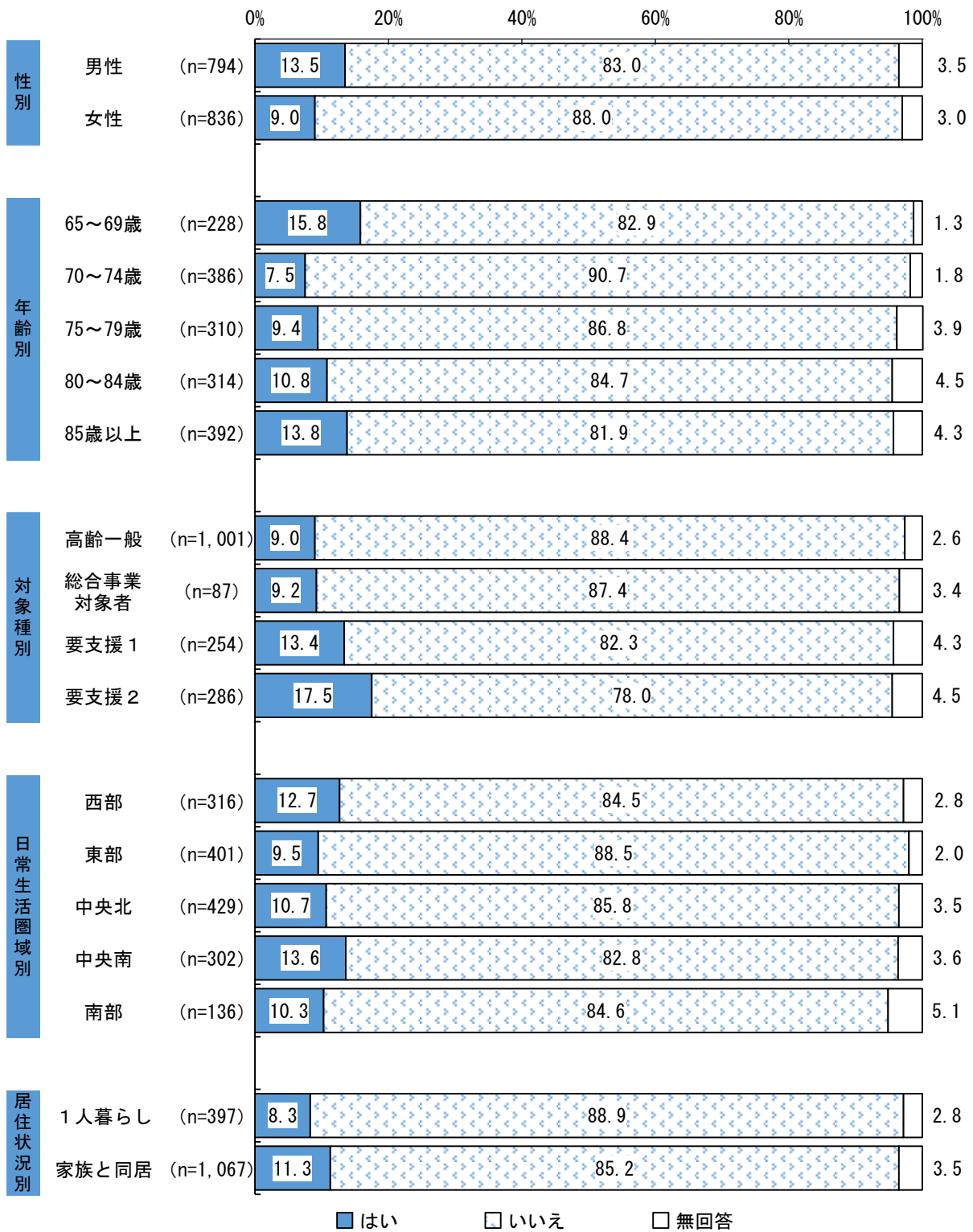


### (8) 認知症にかかる相談窓口の把握について

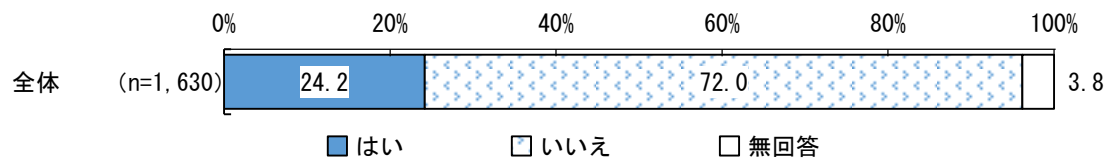
問 50 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○はひとつ)



認知症の症状がある又は家族に認知症の症状があるにおいては、「はい」が11.2%、「いいえ」が85.6%となっています。



問 51 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇はひとつ)

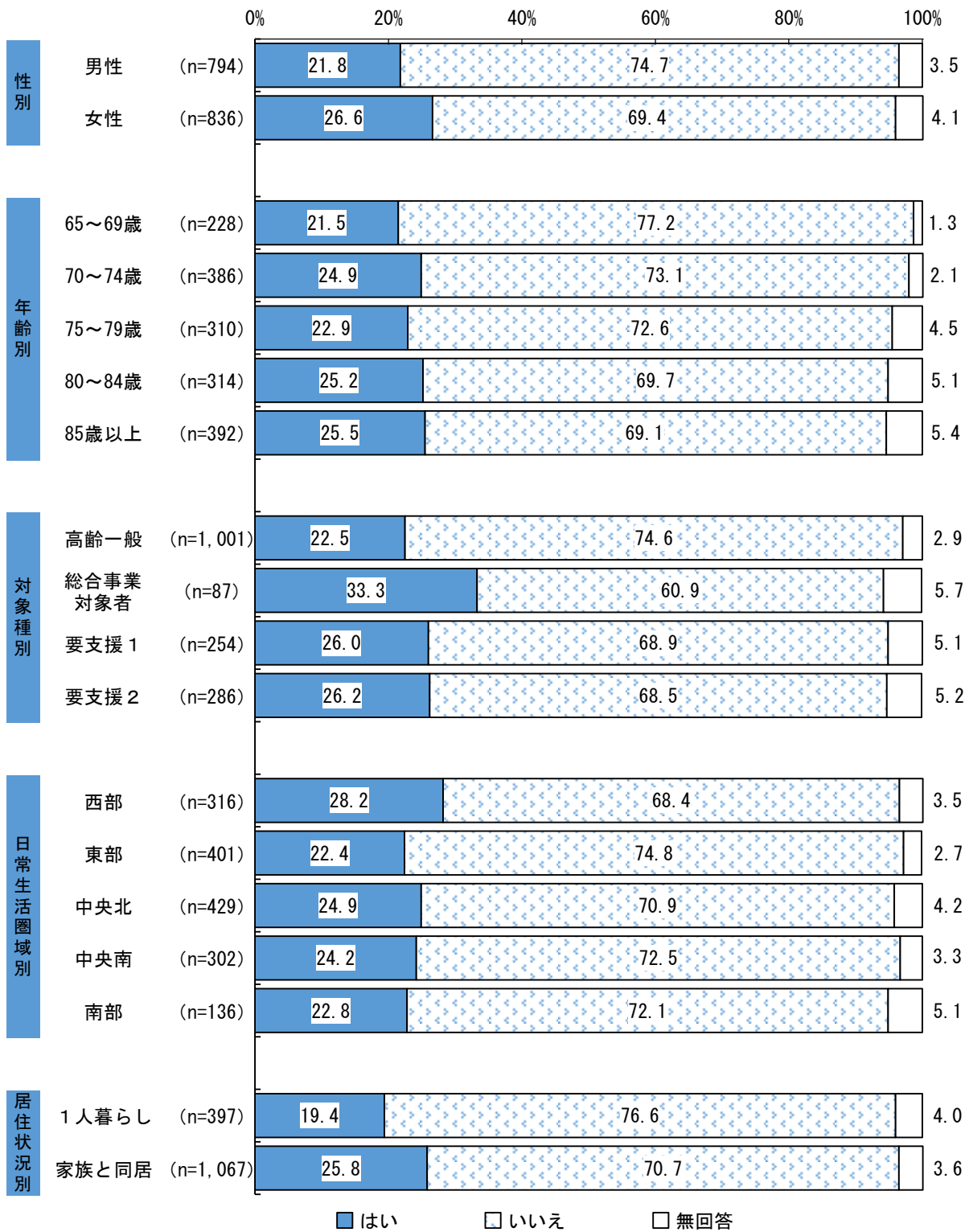


---

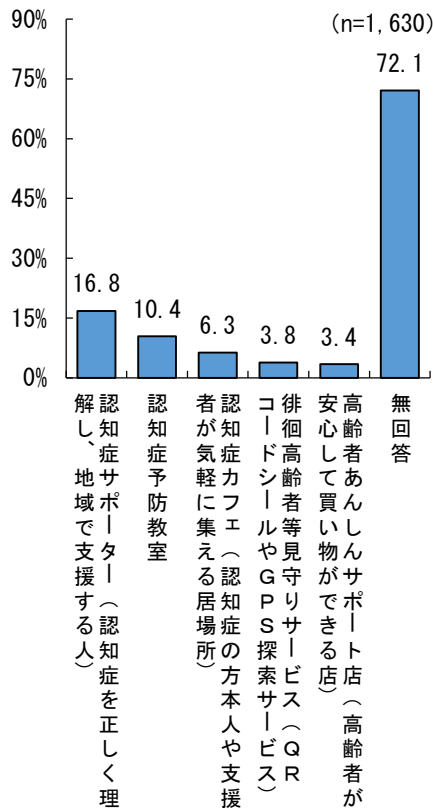
「いいえ」と答えた人がおよそ70%

---

認知症に関する相談窓口を知っているかにおいては、「はい」が24.2%、「いいえ」が72.0%となっています。



問 52 市や民間事業者が実施している、認知症の方々を支える以下のサービス等を知っていますか。(〇はいくつでも)

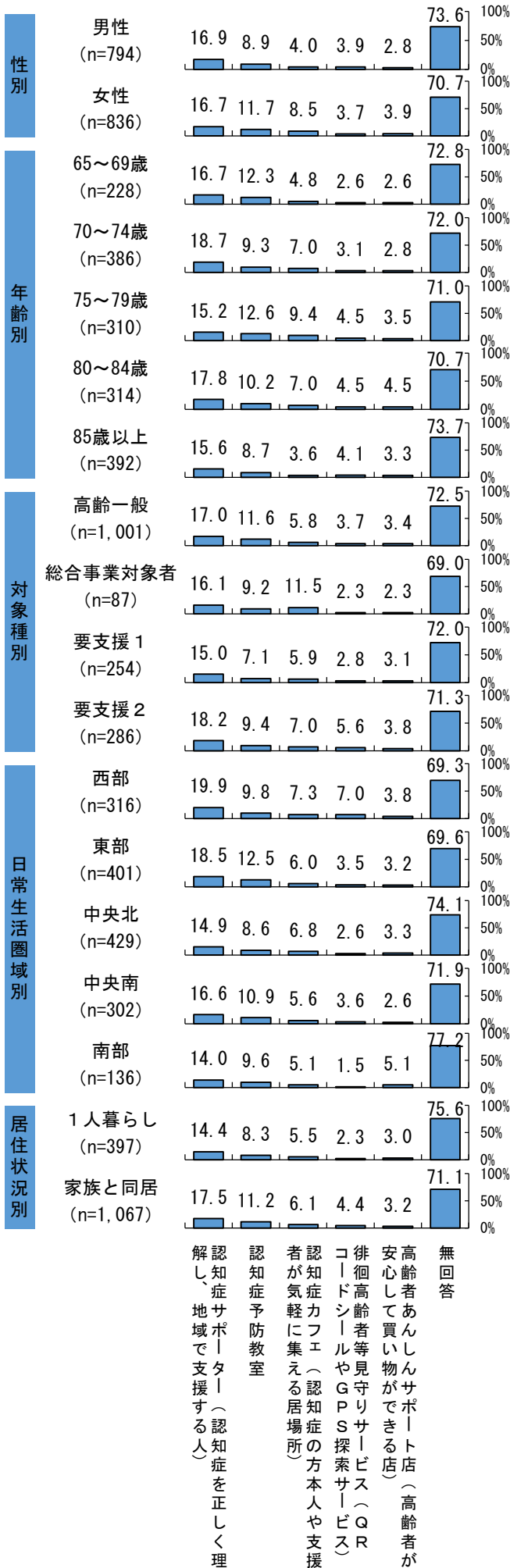



---

**「認知症サポーター（認知症を正しく理解し、地域で支援する人）」  
と答えた人がおよそ20%**

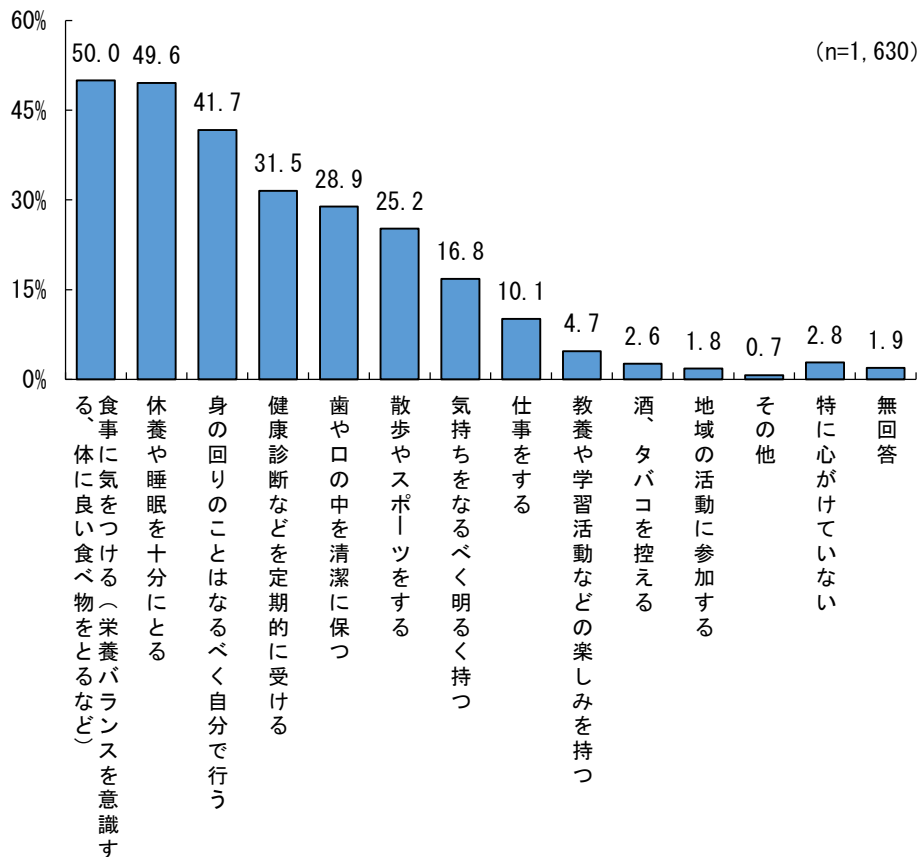
---

認知症の方々を支えるサービス等を知っているかにおいては、「認知症サポーター（認知症を正しく理解し、地域で支援する人）」が16.8%と最も多く、次いで「認知症予防教室」が10.4%、「認知症カフェ（認知症の方本人や支援者が気軽に集える居場所）」が6.3%などとなっています。



(9) その他について

問 56 ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(〇は3つまで)



「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」、「休養や睡眠を十分にとる」と答えた人がおよそ50%

健康のために心がけていることにおいては、「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」が50.0%と最も多く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」が49.6%、「身の回りのことはなるべく自分で行う」が41.7%などとなっています。

性別にみると、“男性”では「休養や睡眠を十分にとる」が51.3%と最も多くなっています。

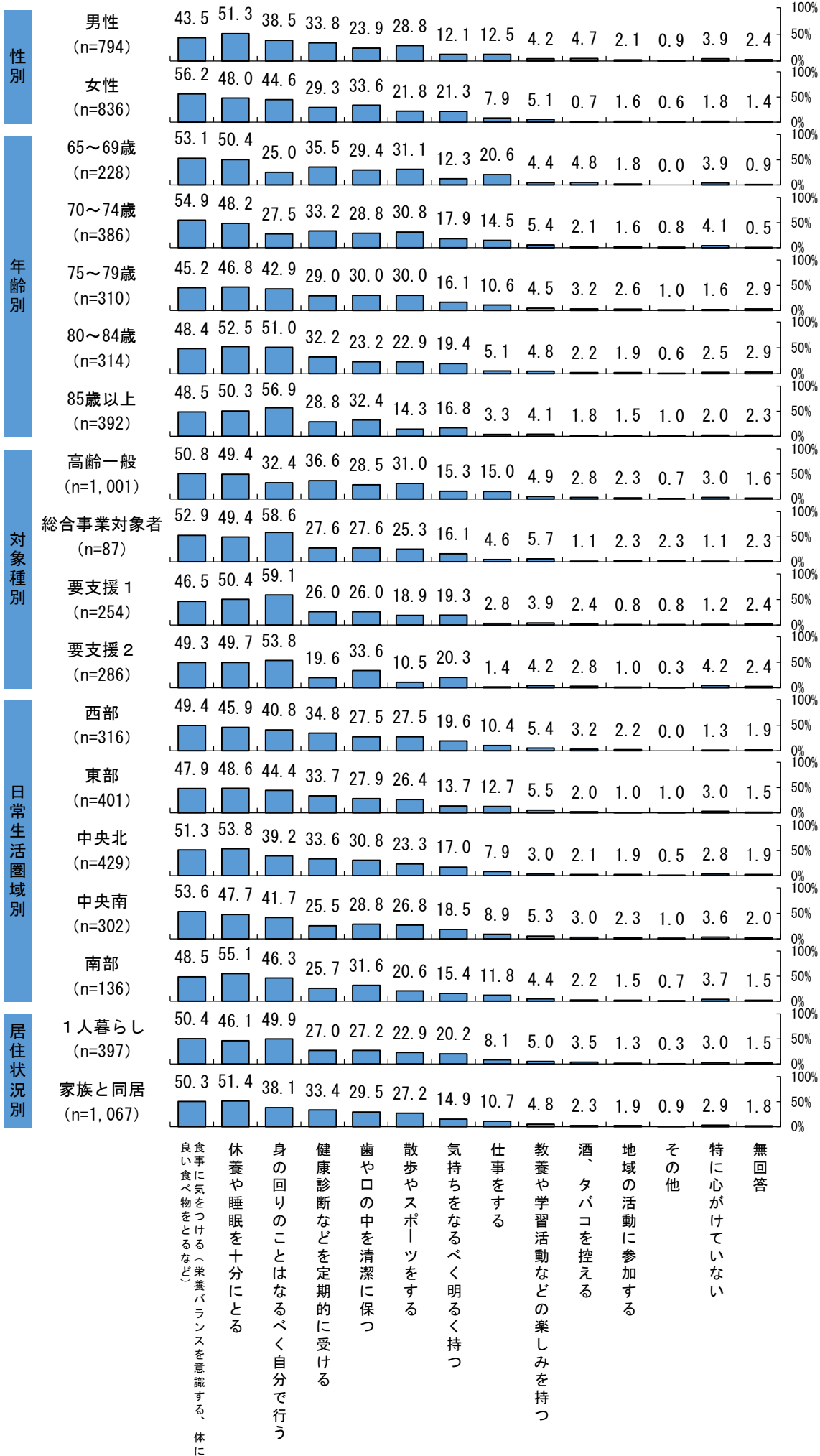
年齢別にみると、“75～79歳”、“80～84歳”では「休養や睡眠を十分にとる」が最も多くなっています。また、“85歳以上”では「身の回りのことはなるべく自分で行う」が56.9%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「身の回りのことはなるべく自分で行う」が最も多くなっています。

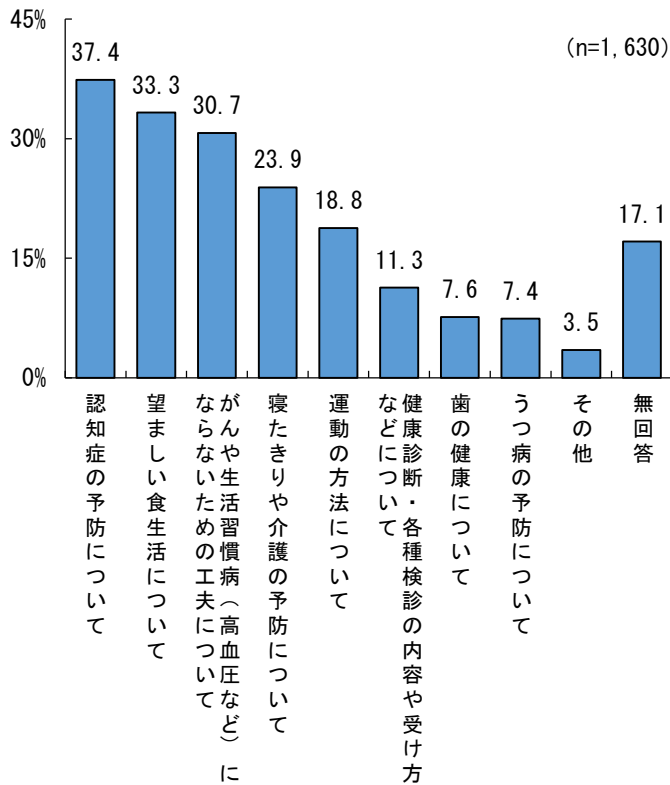
日常生活圏域別にみると、“中央北”、“南部”では「休養や睡眠を十分にとる」が最も多くなっています。

居住状況別にみると、“家族と同居”では「休養や睡眠を十分にとる」が51.4%と最も多くなっています。





問 57 健康についてどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)




---

**「認知症の予防について」と答えた人がおよそ40%**

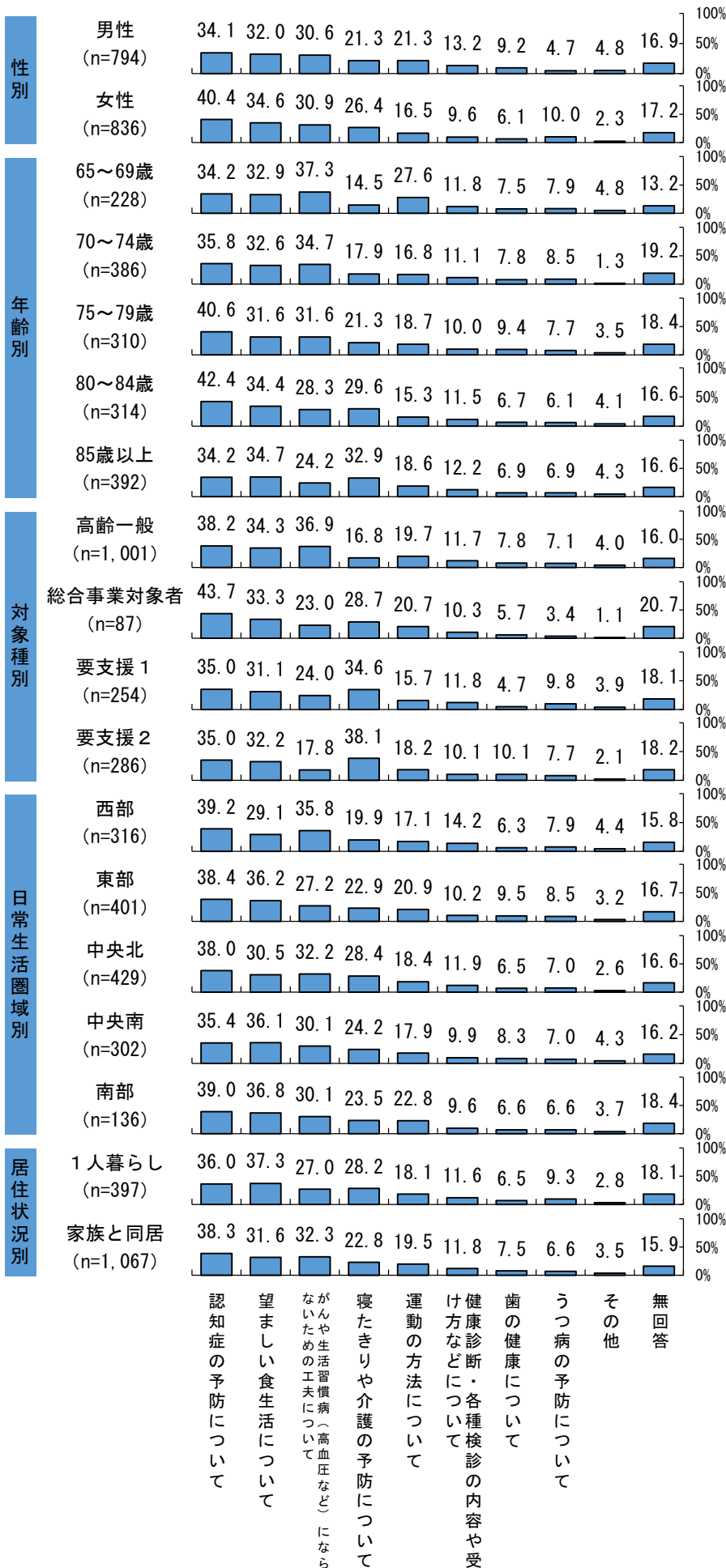
---

健康について知りたいことにおいては、「認知症の予防について」が37.4%と最も多く、次いで「望ましい食生活について」が33.3%、「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が30.7%などとなっています。

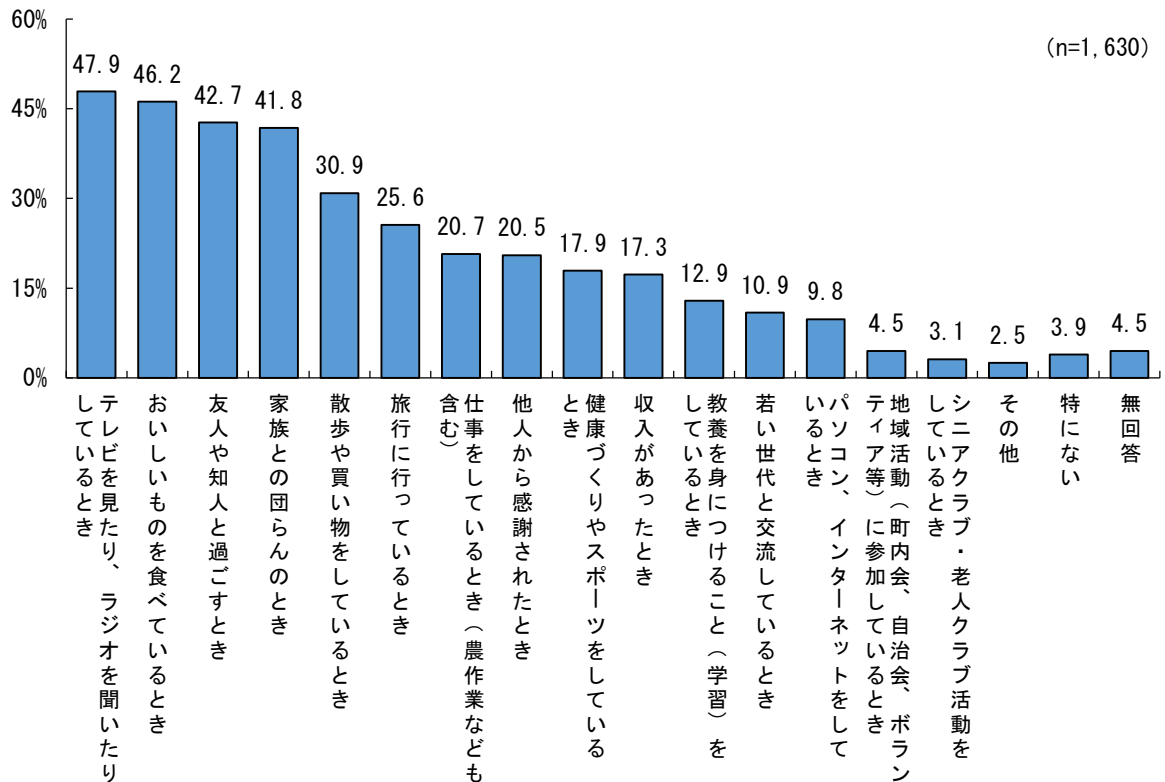
年齢別にみると、“65～69歳”では「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が37.3%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「寝たきりや介護の予防について」が38.1%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「望ましい食生活について」が37.3%と最も多くなっています。



問 58 生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのはどのような時ですか。（〇はいくつでも）



「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」、  
「おいしいものを食べているとき」、と答えた人がおよそ50%

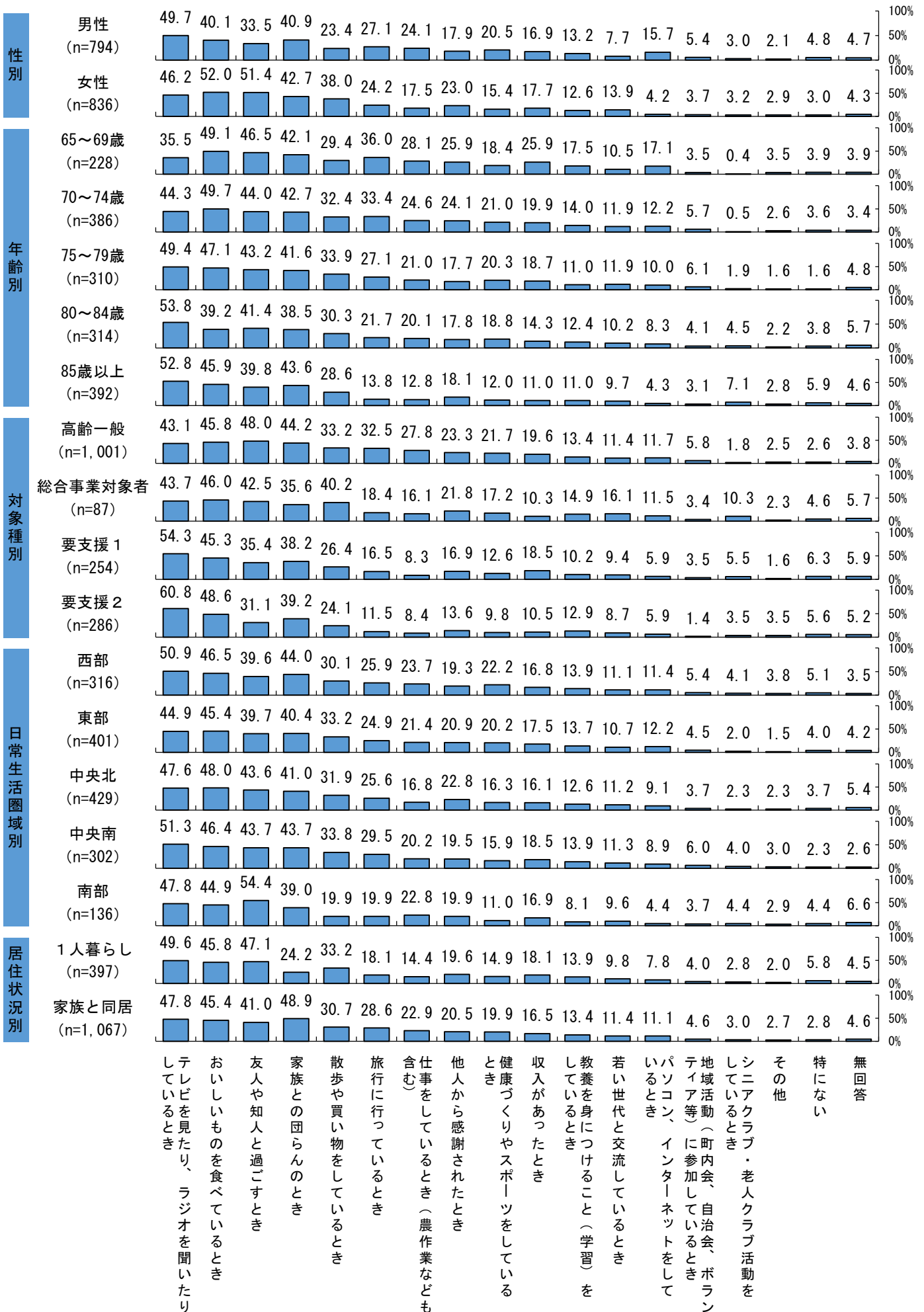
どのようなときに生きがいを感じるかにおいては、「テレビを見たり、ラジオを聞いたりしているとき」が47.9%と最も多く、次いで「おいしいものを食べているとき」が46.2%、「友人や知人と過ごすとき」が42.7%などとなっています。

年齢別にみると、「65～69歳」、「70～74歳」では「おいしいものを食べているとき」が最も多くなっています。

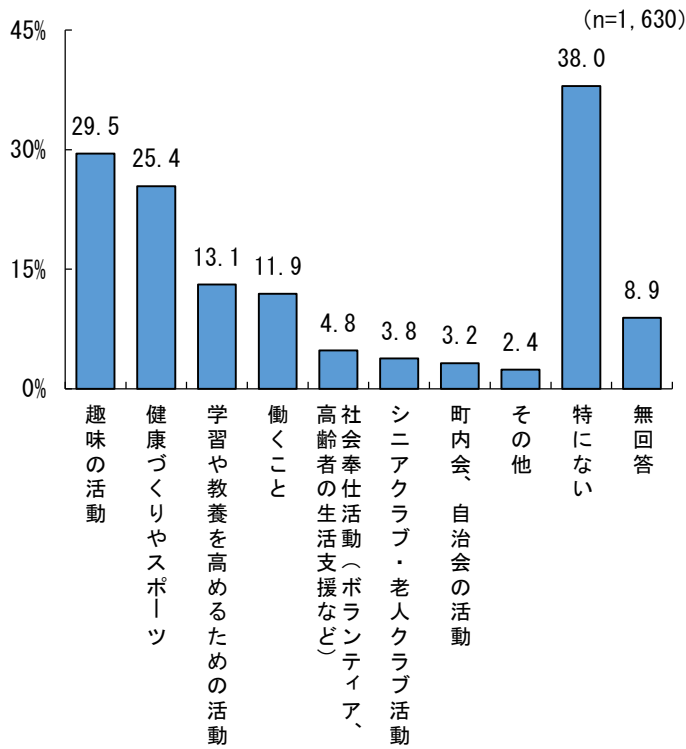
対象種別にみると、「高齢一般」では「友人や知人と過ごすとき」が48.0%と最も多くなっています。また、「総合事業対象者」では「おいしいものを食べているとき」が46.0%と最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、「南部」では「友人や知人と過ごすとき」が54.4%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、「家族と同居」では「家族との団らんのとき」が48.9%と最も多くなっています。



問 59 今後やってみたいと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

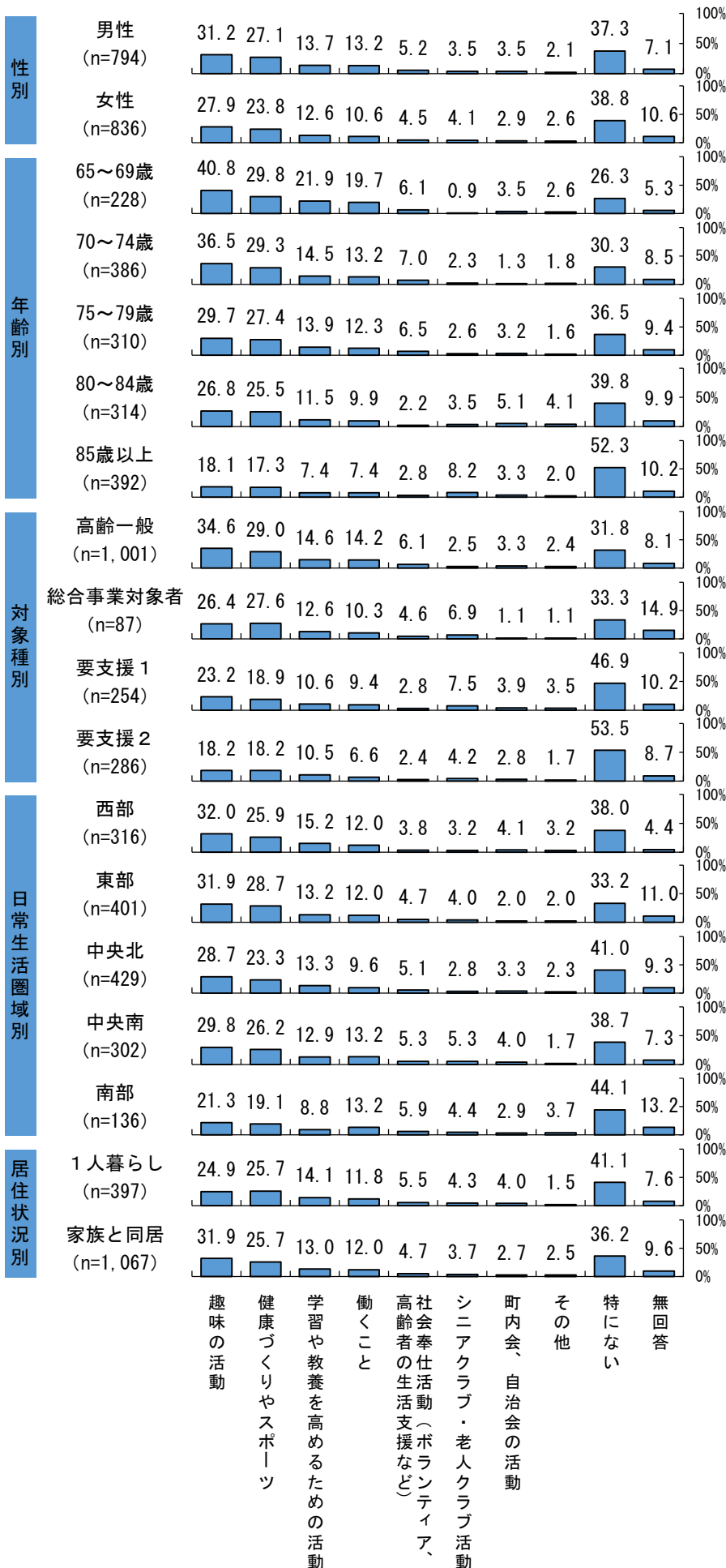



---

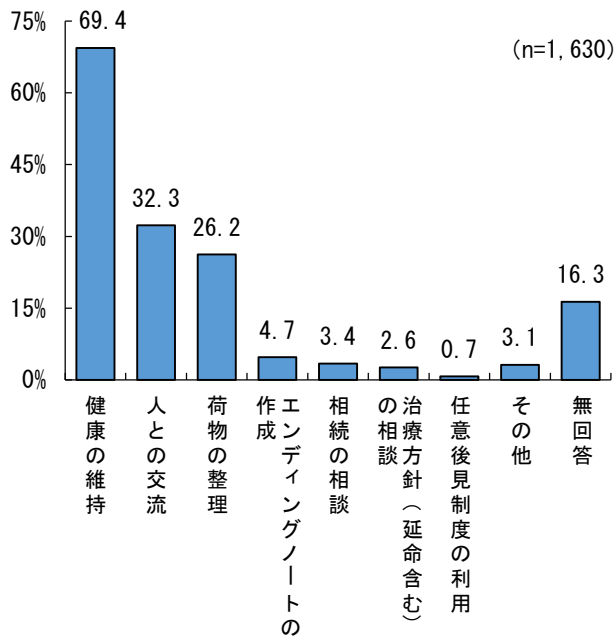
**「趣味の活動」、「健康づくりやスポーツ」と答えた人がおよそ30%**

---

今後やってみたいと思うものにおいては、「趣味の活動」が29.5%と最も多く、次いで「健康づくりやスポーツ」が25.4%、「学習や教養を高めるための活動」が13.1%などとなっています。また、「特にない」が38.0%となっています。



問 60 安心して生活を送るために、行っていることがありましたら教えてください。  
(〇はいくつでも)



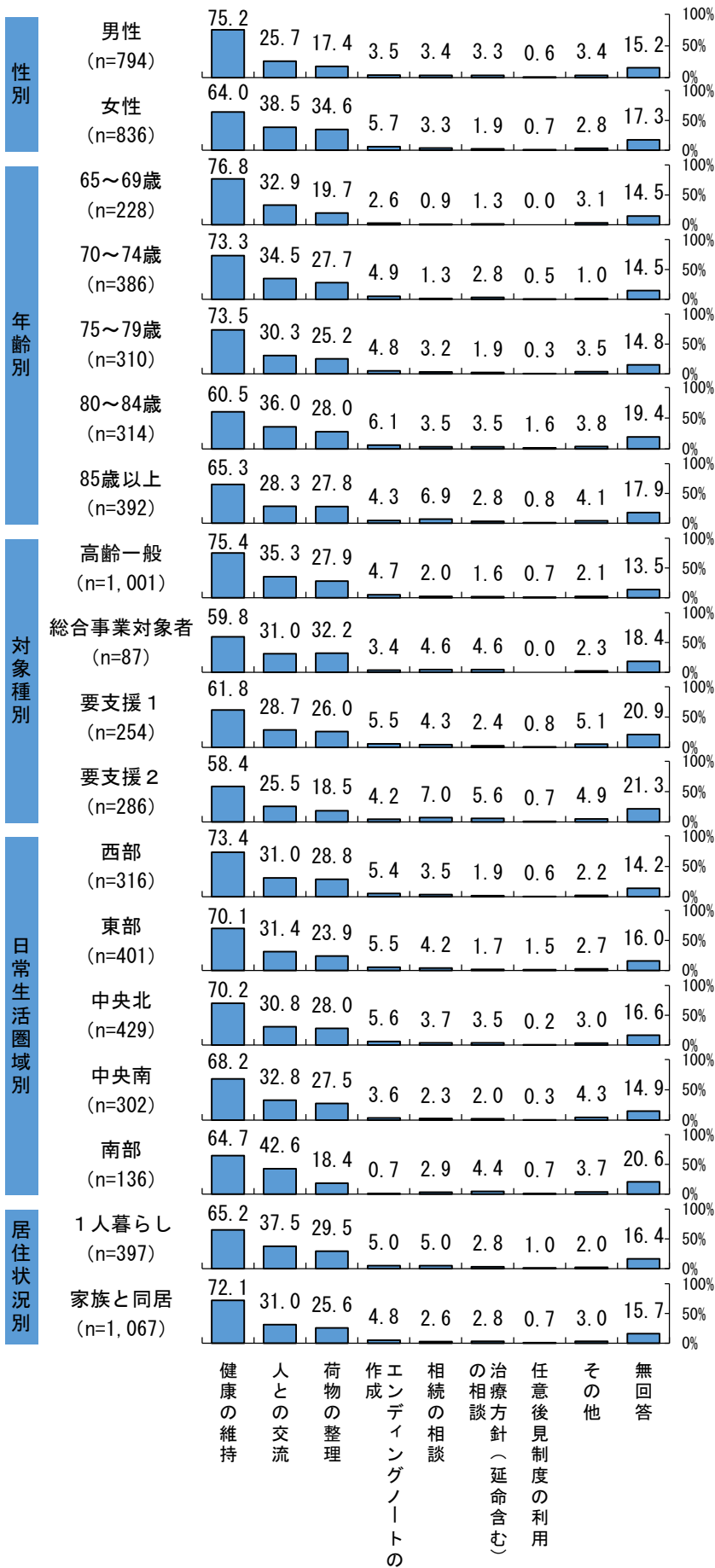
---

### 「健康の維持」と答えた人がおよそ70%

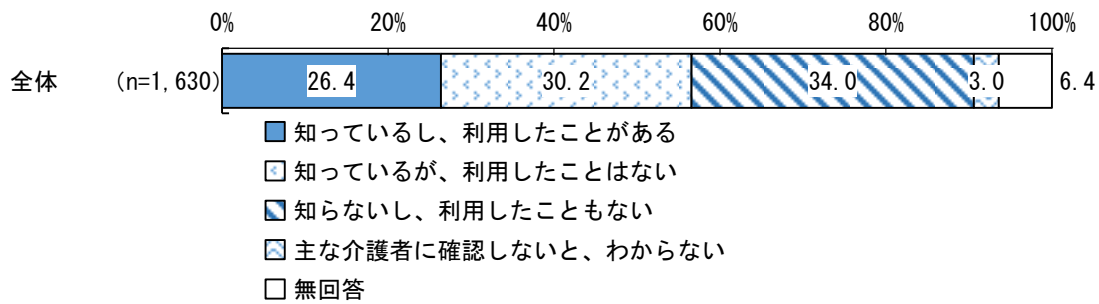
---

安心して生活を送るために行っていることにおいては、「健康の維持」が69.4%と最も多く、次いで「人との交流」が32.3%、「荷物の整理」が26.2%などとなっています。





問 61 地域包括支援センターが、高齢者の生活全般の相談ができる場所であることを知っていますか。また、利用したことがありますか。(○はひとつ)



### 「知っているし、利用したことがある」と答えた人がおよそ30%

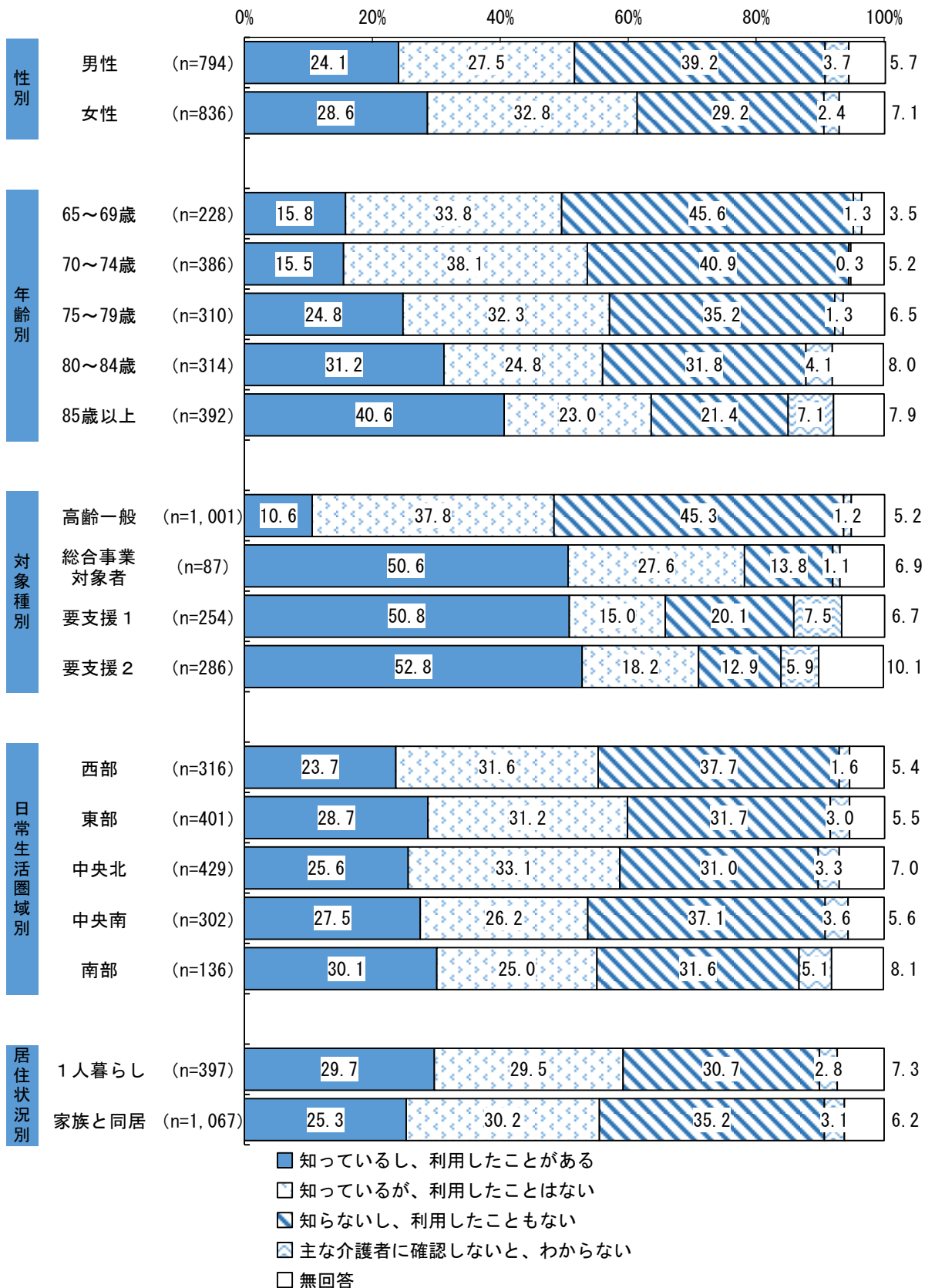
地域包括支援センターの役割を知っているか、また利用したことがあるかにおいては、「知っているし、利用したことがある」が26.4%、「知っているが、利用したことはない」が30.2%、「知らないし、利用したこともない」が34.0%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が3.0%となっています。

性別にみると、“女性”では「知っているが、利用したことはない」が32.8%と最も多くなっています。

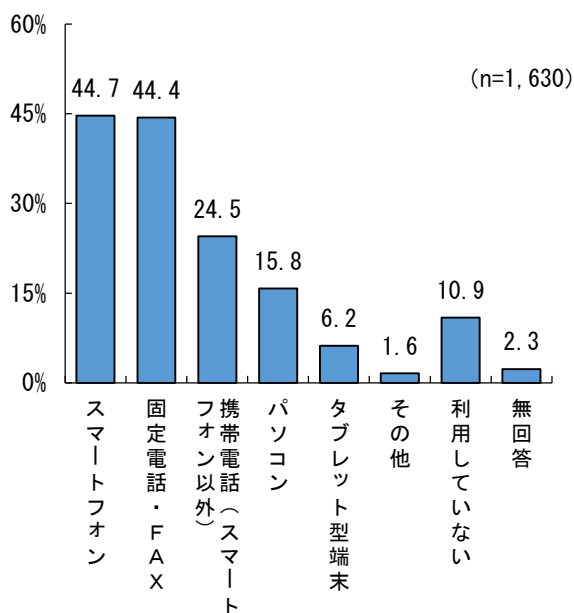
年齢別にみると、“85歳以上”では「知っているし、利用したことがある」が40.6%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「知っているし、利用したことがある」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“中央北”では「知っているが、利用したことはない」が33.1%と最も多くなっています。



問 62 あなたは、連絡や相談、情報を得るときなどに、どのような情報通信機器を利用していますか。(〇はいくつでも)



### 「スマートフォン」、「固定電話・FAX」と答えた人がおよそ40%

連絡や相談、情報を得るときなどに利用している通信手段においては、「スマートフォン」が44.7%と最も多く、次いで「固定電話・FAX」が44.4%、「携帯電話(スマートフォン以外)」が24.5%などとなっています。

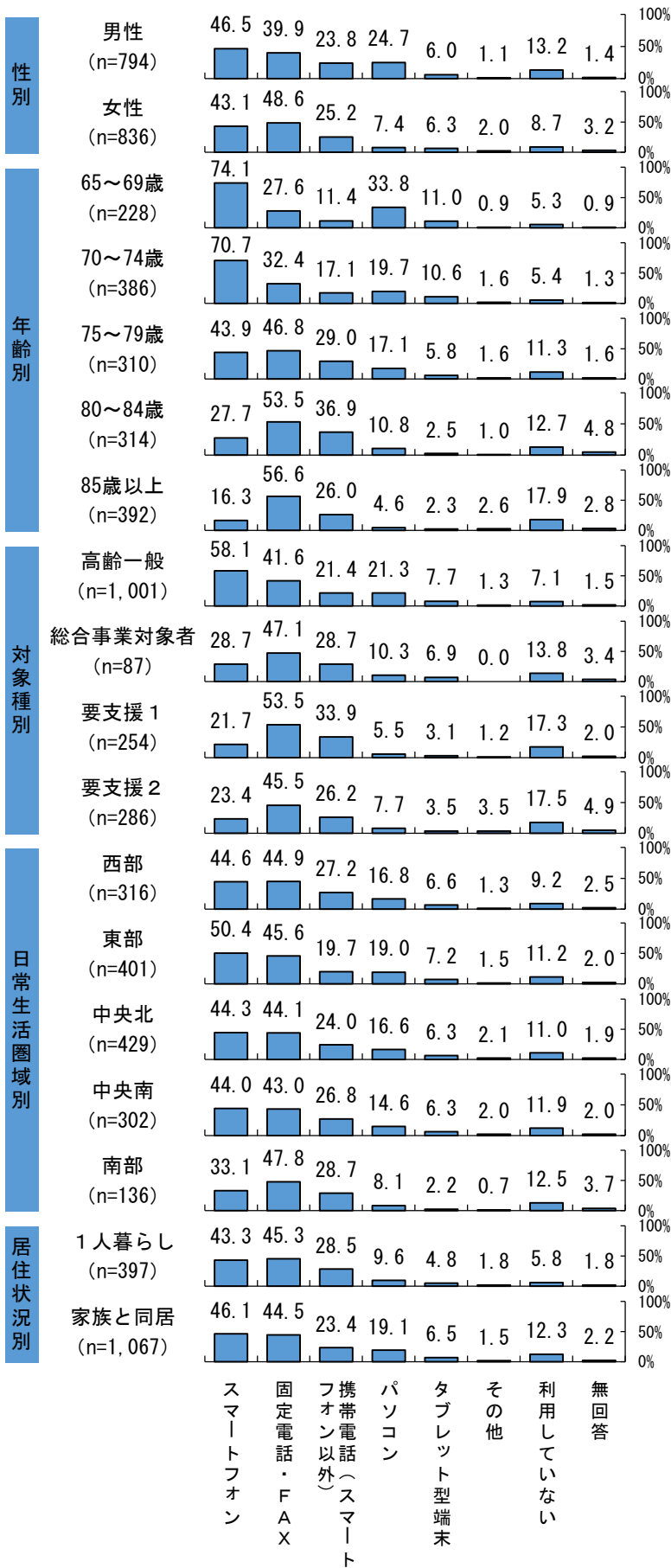
性別にみると、“女性”では「固定電話・FAX」が48.6%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“75～79歳”、“80～84歳”、“85歳以上”では「固定電話・FAX」が最も多くなっています。

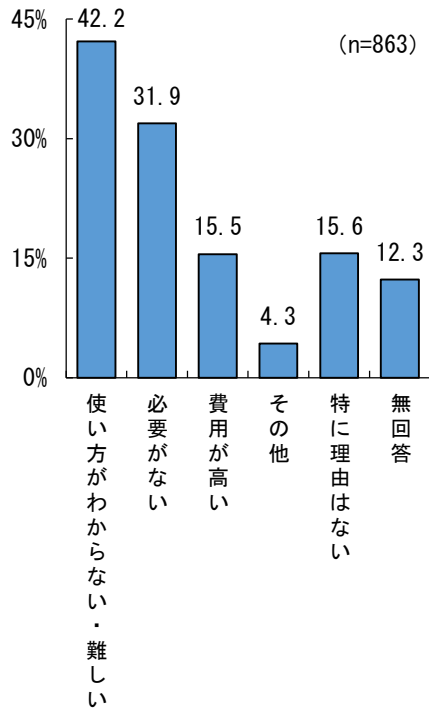
対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「固定電話・FAX」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部”では「固定電話・FAX」が47.8%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「固定電話・FAX」が45.3%と最も多くなっています。



問 63 スマートフォンを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

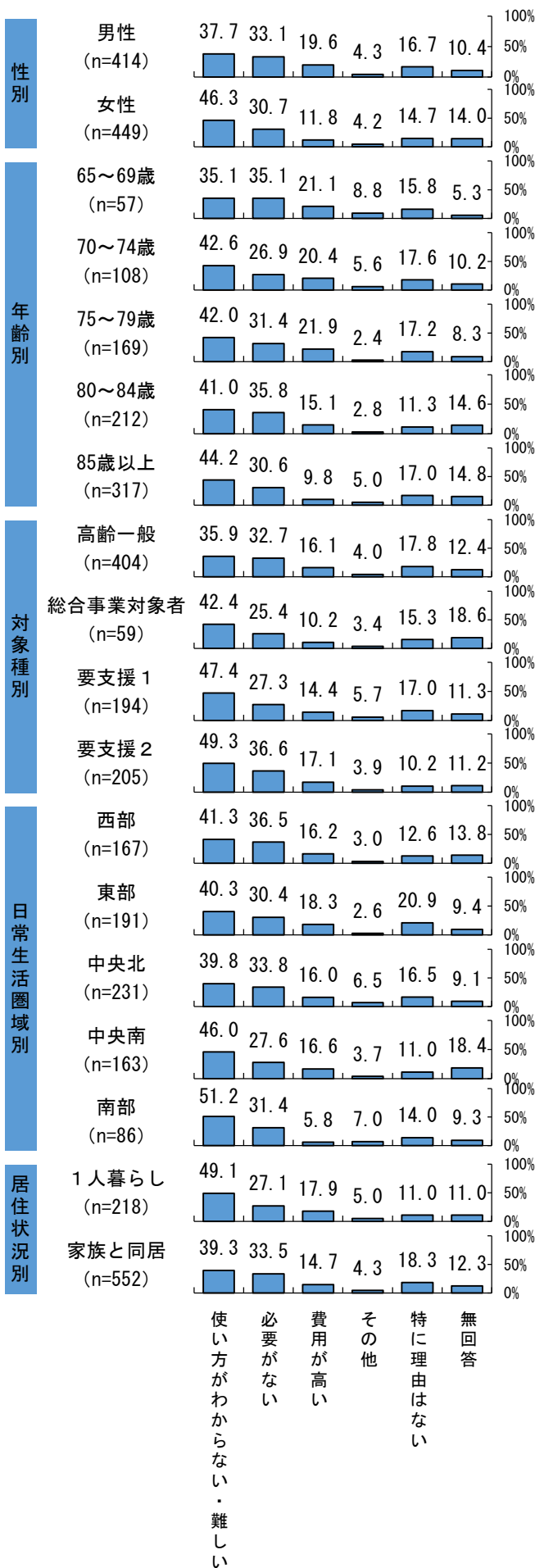


---

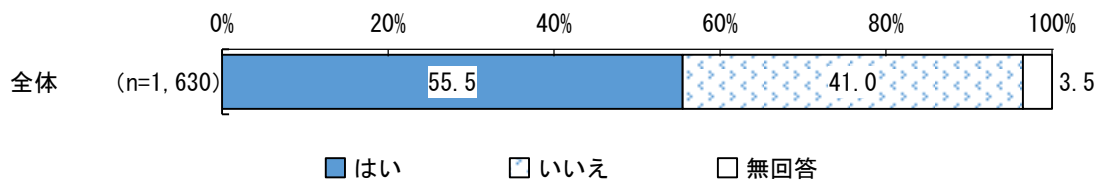
**「使い方がわからない・難しい」と答えた人がおよそ40%**

---

スマートフォンを利用していない理由においては、「使い方がわからない・難しい」が42.2%と最も多く、次いで「必要がない」が31.9%、「費用が高い」が15.5%となっています。また、「特に理由はない」が15.6%となっています。



問 64 あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、これまでに考えたことはありますか。(〇はひとつ)



---

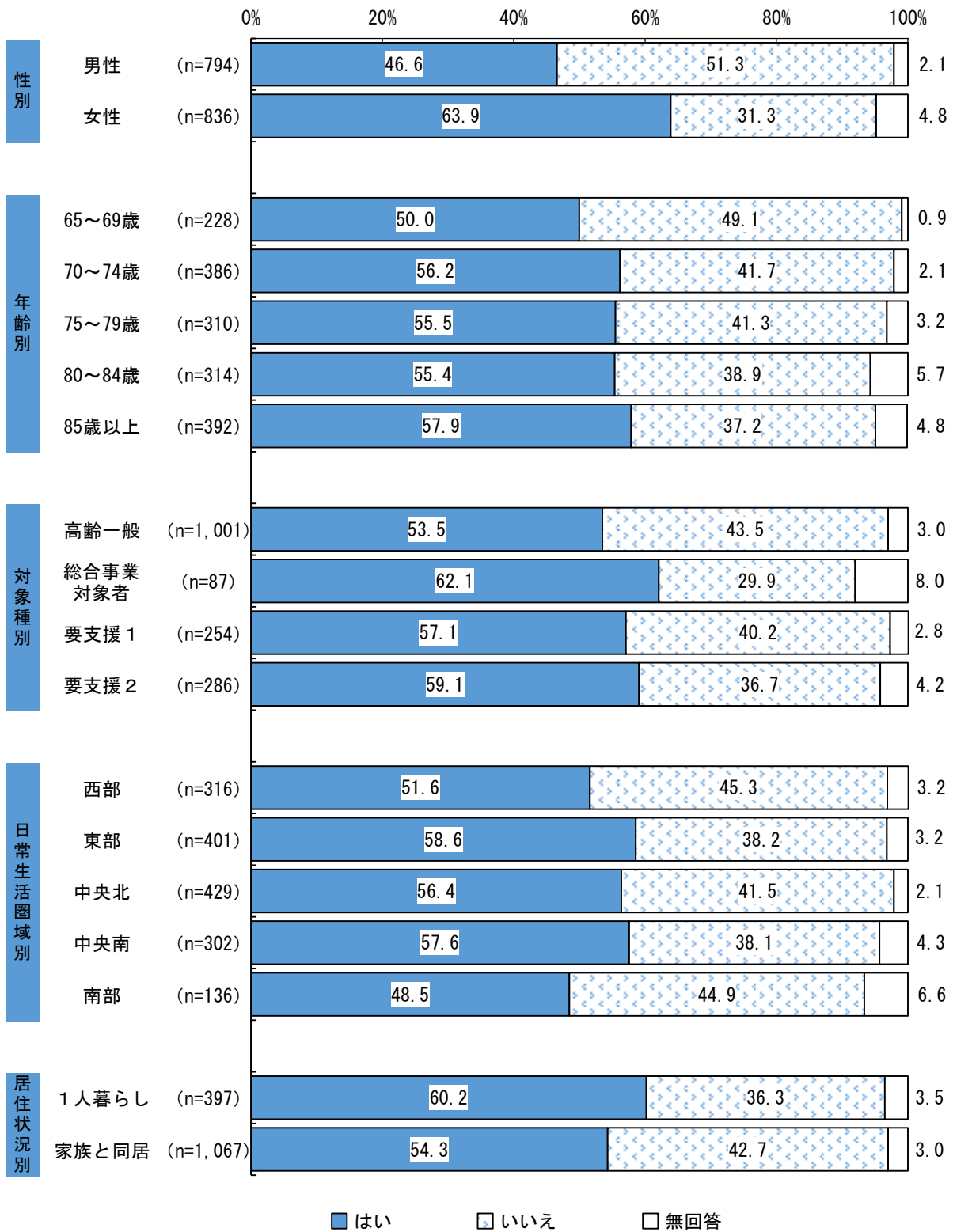
「はい」と答えた人がおよそ60%  
男性では「いいえ」と答えた人がおよそ50%

---

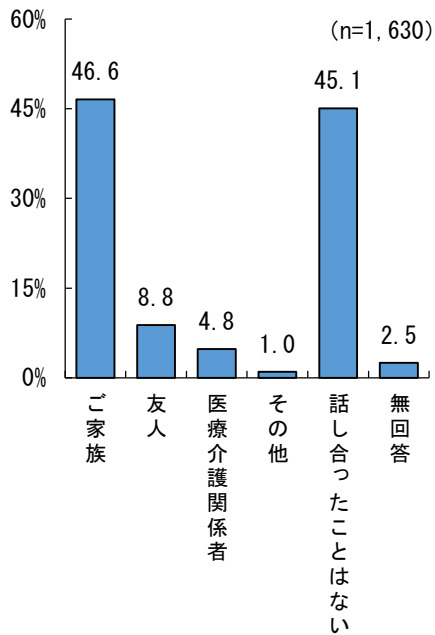
死期が迫ったときの世話や治療について考えたことがあるかにおいては、「はい」が55.5%、「いいえ」が41.0%となっています。

性別にみると、“男性”では「いいえ」が51.3%と多くなっています。





問 65 あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、だれかと話し合ったことがありますか。(〇はいくつでも)

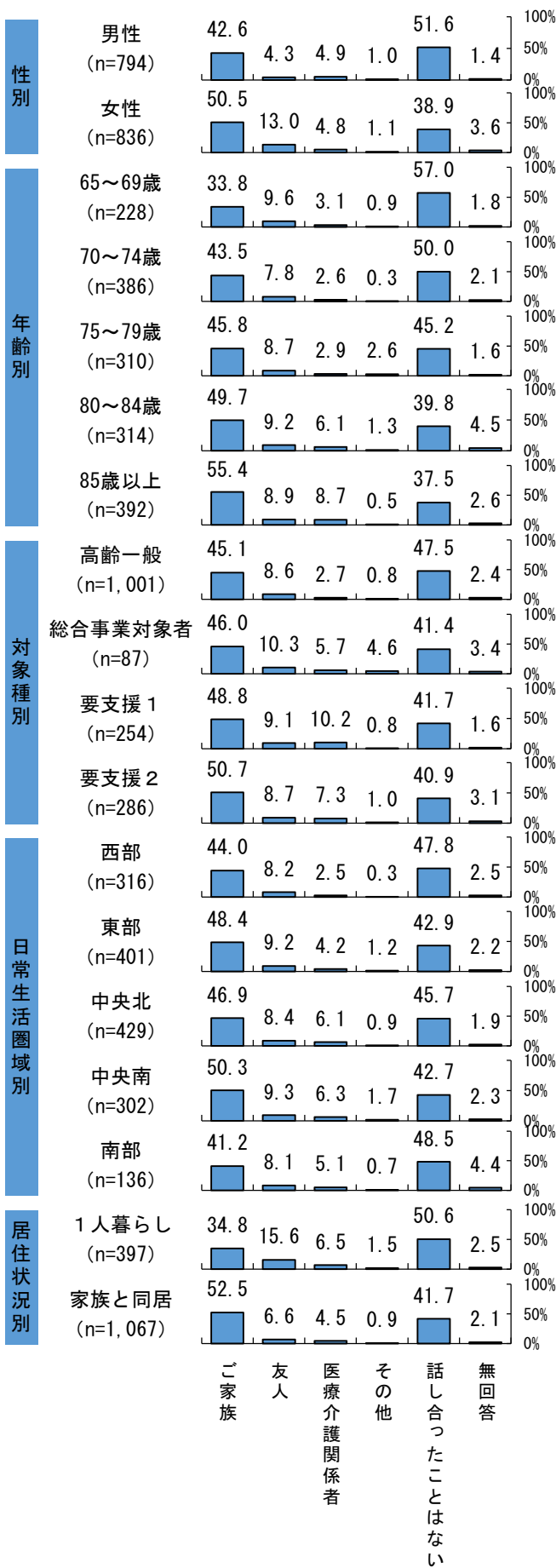


---

「ご家族」と答えた人がおよそ50%  
1人暮らしでは「友人」と答えた人がおよそ20%

---

死期が迫ったときの世話や治療について話し合ったことがある人においては、「ご家族」が46.6%と最も多く、次いで「友人」が8.8%、「医療介護関係者」が4.8%となっています。また、「話し合ったことはない」が45.1%となっています。



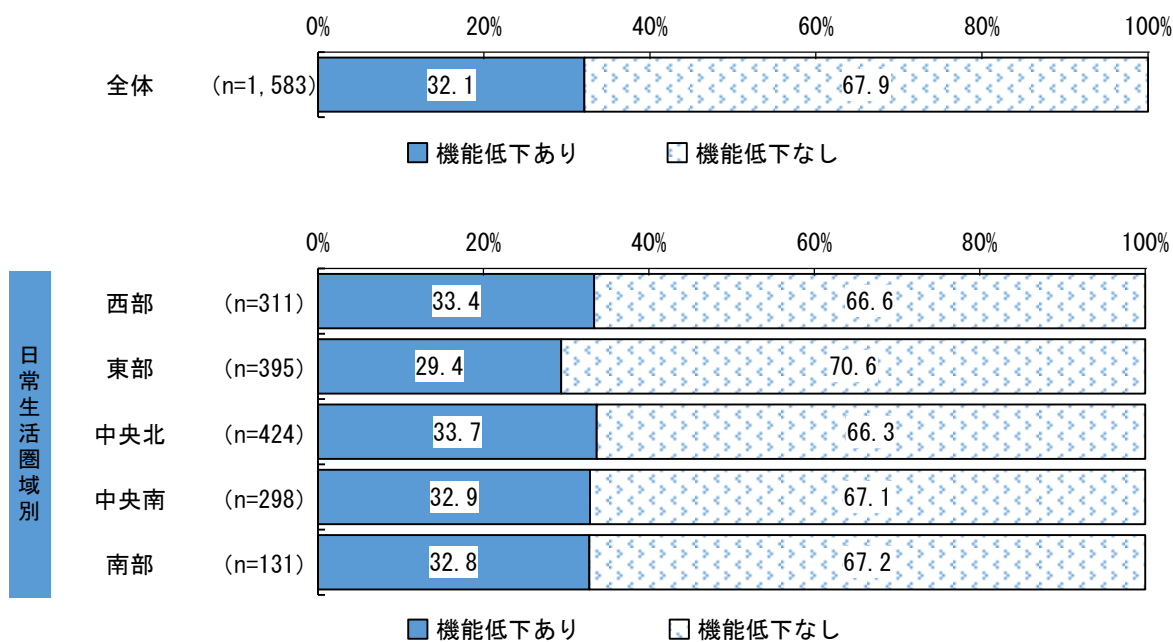
### (10) 日常生活圏域ごとの高齢者の身体機能の状況の分析

本市が実施した実態調査のうち、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では高齢者の心身の状況等のリスクを分析するための調査項目が設定されています。ここでは、日常生活圏域別にその結果を示します。

#### 1 運動器機能の低下

以下の5つの設問のうち、3問以上で該当する選択肢を回答した場合、運動器機能が低下している高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問6	階段を手すりや壁を伝わらずに昇れるか	3 できない
問7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	3 できない
問9	15分くらい続けて歩いているか	3 できない
問10	転倒経験	1 何度もある 2 1度ある
問11	転倒に対する不安	1 とても不安である 2 やや不安である



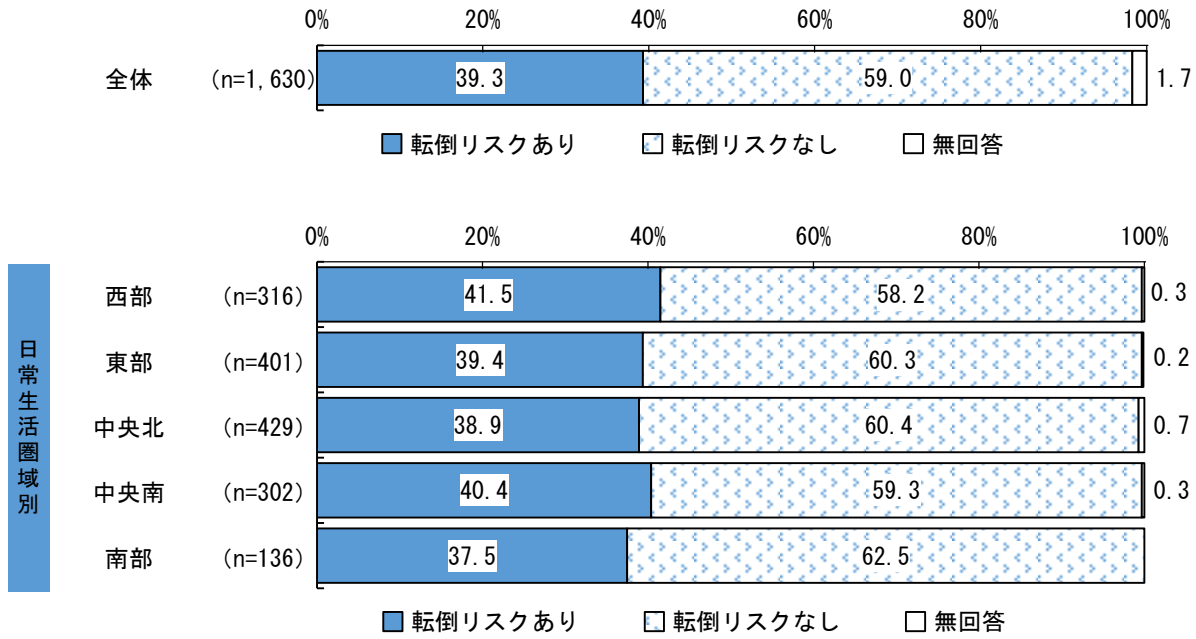
### 「機能低下あり」の人がおよそ30%

運動器機能の低下においては、「機能低下あり」が32.1%、「機能低下なし」が67.9%となっています。

## 2 転倒リスク

以下の設問で該当する選択肢を回答した場合、転倒リスクのある高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問10	転倒経験	1 何度もある 2 1度ある



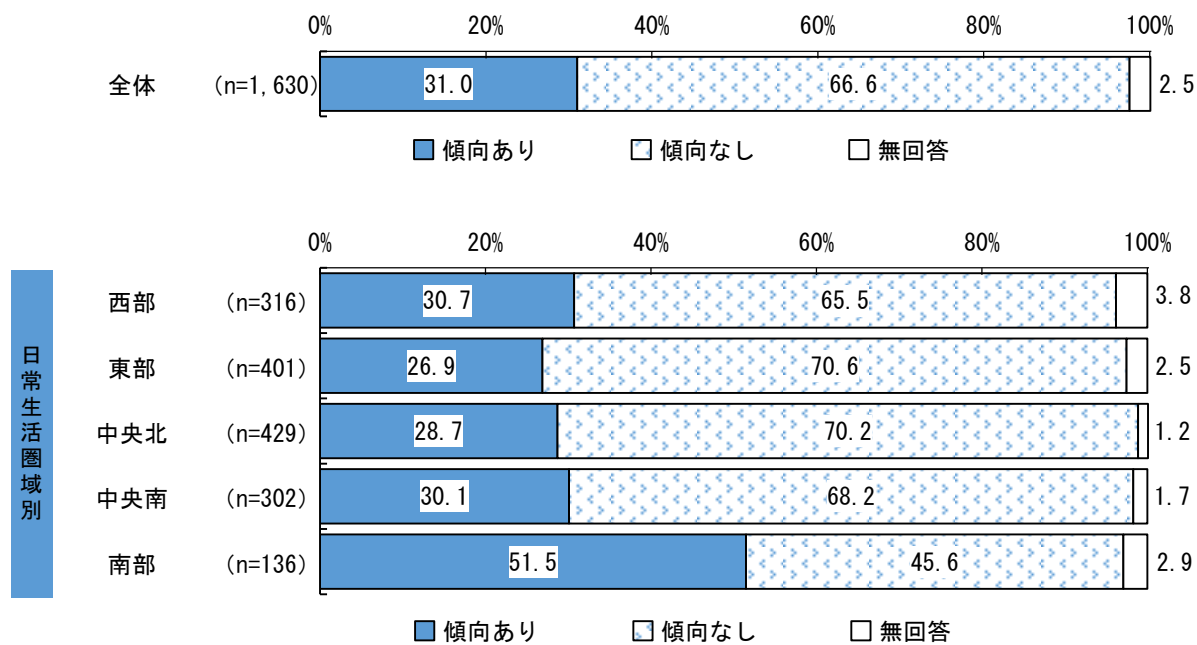
### 「転倒リスクあり」の人がおよそ40%

転倒リスクにおいては、「転倒リスクあり」が39.3%、「転倒リスクなし」が59.0%となっています。

### 3 閉じこもり傾向

以下の設問で該当する選択肢を回答した場合、閉じこもり傾向にある高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問12	外出頻度	1 ほとんど外出しない 2 週1回



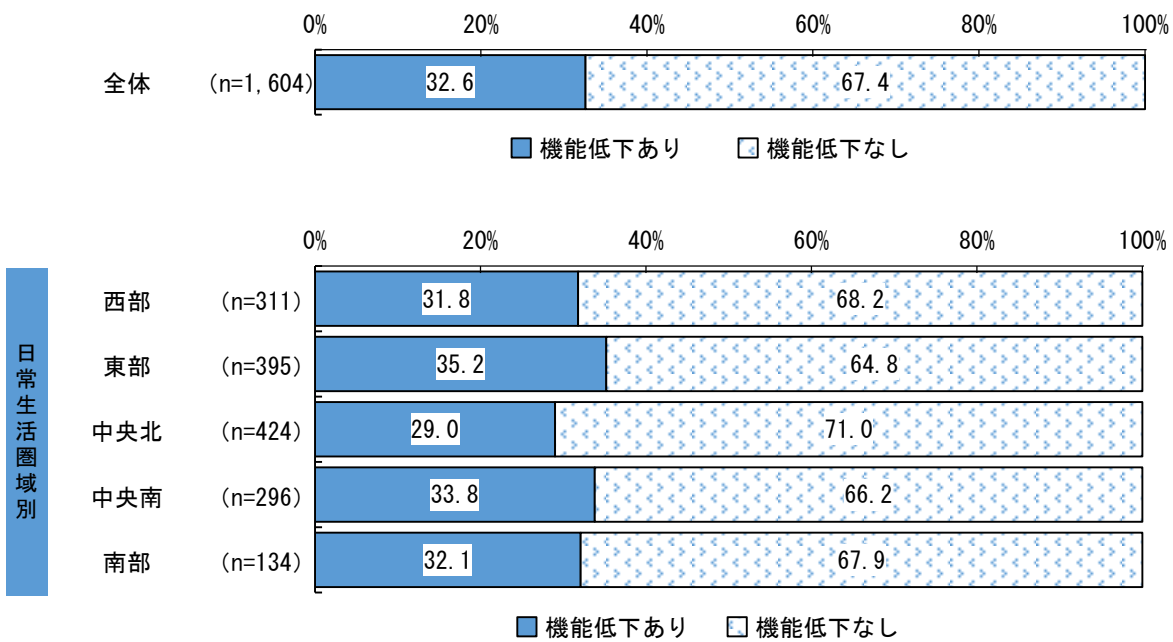
#### 「傾向あり」の人がおよそ30%

閉じこもり傾向においては、「傾向あり」が31.0%、「傾向なし」が66.6%となっています。日常生活圏域別にみると、“南部”では「傾向あり」が51.5%と多くなっています。

#### 4 口腔機能の低下

以下の3問のうち、2問以上で該当する選択肢を回答した場合、口腔機能が低下している高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問17	固いものを食べにくくなったか	1 はい
問18	お茶や汁物等でむせることの有無	1 はい
問19	口の渇きが気になるか	1 はい



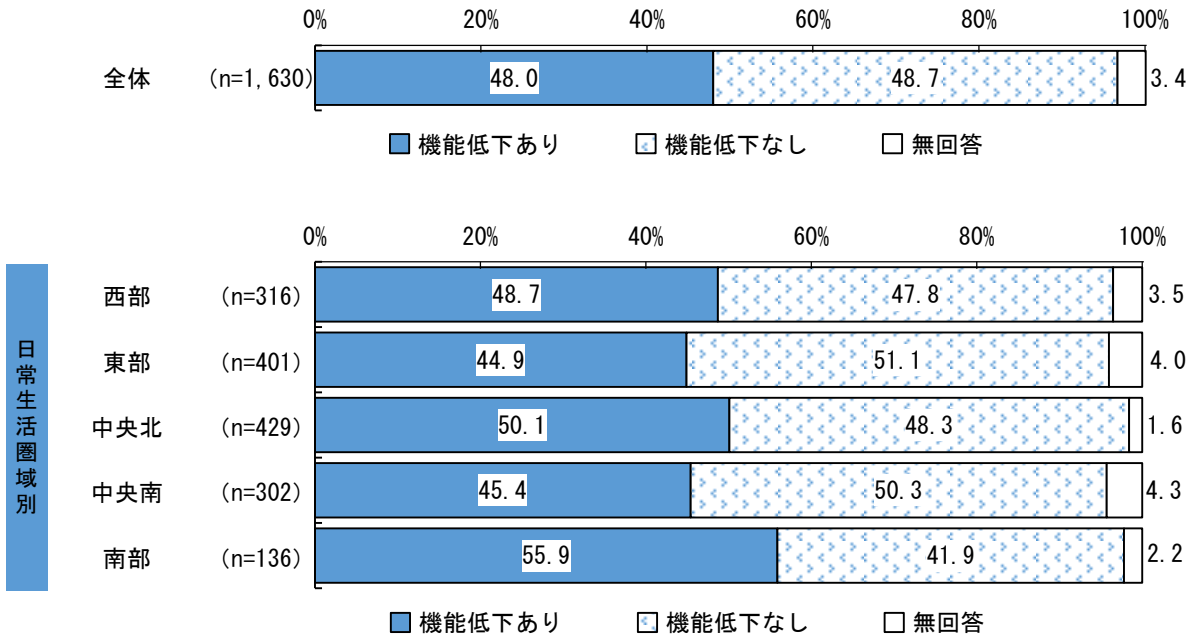
### 「機能低下あり」の人がおよそ30%

口腔機能の低下においては、「機能低下あり」が32.6%、「機能低下なし」が67.4%となっています。

### 5 認知機能の低下

以下の設問で該当する選択肢を回答した場合、認知機能が低下している高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問25	物忘れが多いと感じるか	1 はい



### 「機能低下あり」の人がおよそ50%

認知機能の低下においては、「機能低下あり」が48.0%、「機能低下なし」が48.7%となっています。

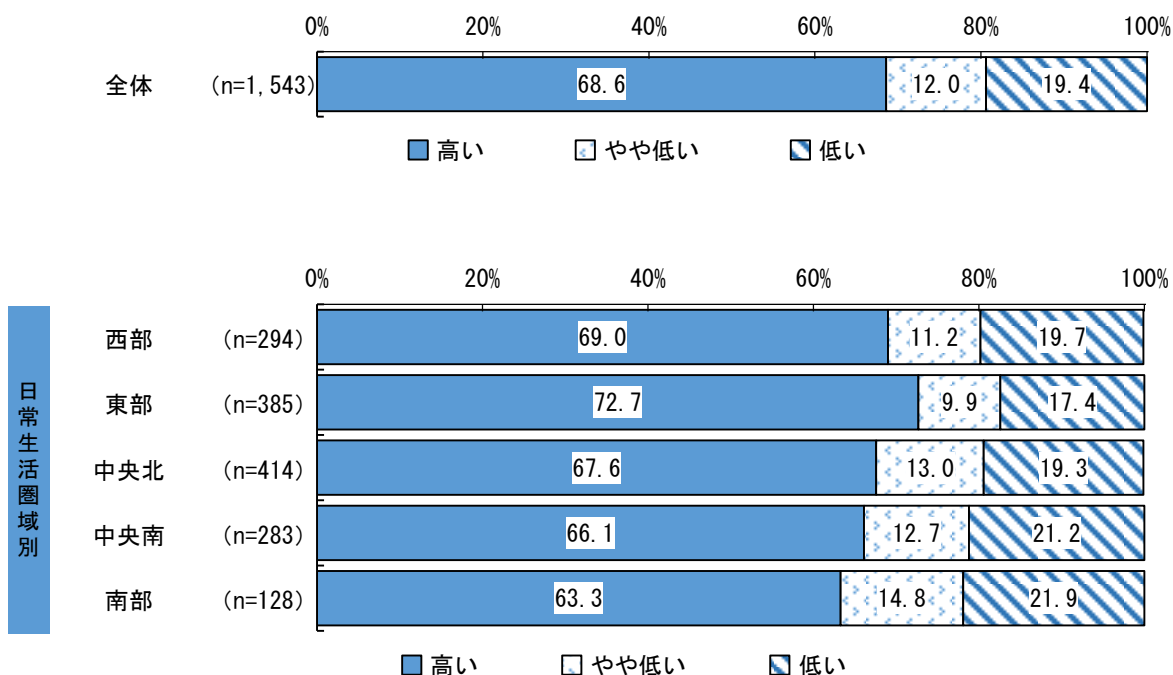
日常生活圏域別にみると、“中央北”、“南部”では「機能低下あり」が多くなっています。



## 6 IADL<sup>3</sup>の状況

以下の5問で、選択肢1「できるし、している」または選択肢2「できるけどしていない」を選択した場合を1点、選択肢3「できない」を選択した場合を0点として、5問の合計点を算出します。合計点が5点の場合をIADLが「高い」、4点の場合をIADLが「やや低い」、3点以下の場合をIADLが「低い」と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢	点数
問26	バスや電車で1人で外出しているか	1 できるし、している	1点
		2 できるけどしていない	
		3 できない	
問27	食品・日用品の買物をしているか	1 できるし、している	1点
		2 できるけどしていない	
		3 できない	
問29	自分で食事の用意をしているか	1 できるし、している	1点
		2 できるけどしていない	
		3 できない	
問30	請求書の支払いをしているか	1 できるし、している	1点
		2 できるけどしていない	
		3 できない	
問31	預貯金の出し入れをしているか	1 できるし、している	1点
		2 できるけどしていない	
		3 できない	



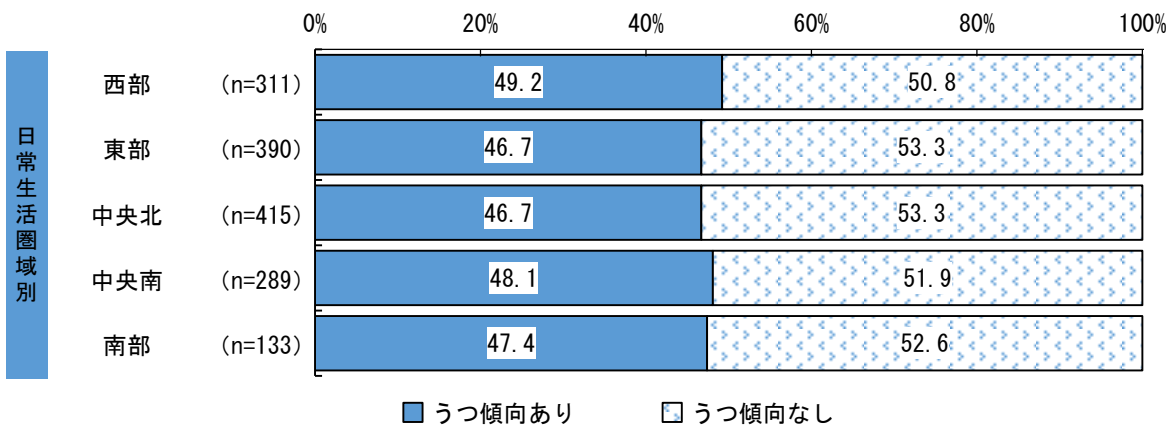
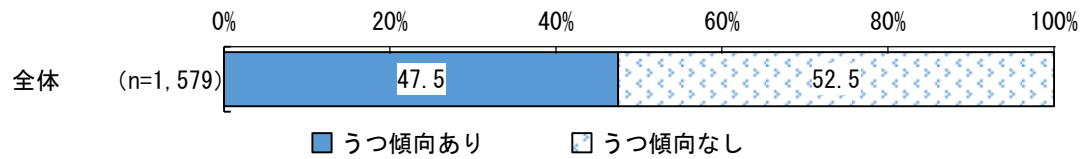
IADLの状況においては、「高い」が68.6%、「やや低い」が12.0%、「低い」が19.4%となっています。

<sup>3</sup>IADL (instrumental activities of dairy living scale) : 具体的には食事の準備、買い物、掃除、洗濯などの家事、金銭管理、交通機関の利用、服薬管理、電話の使用、書類を書く、趣味や余暇活動などです。

## 7 うつ傾向

以下の2問のうち、いずれかの設問で該当する選択肢を回答した場合、うつ傾向がある高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問45	気分が沈んだり、ゆううつになることがあるか	1 はい
問46	どうしても物事に興味がわかなくなったか	1 はい



うつ傾向においては、「うつ傾向あり」が47.5%、「うつ傾向なし」が52.5%となっています。

**調査結果**  
**【在宅介護実態調査】**

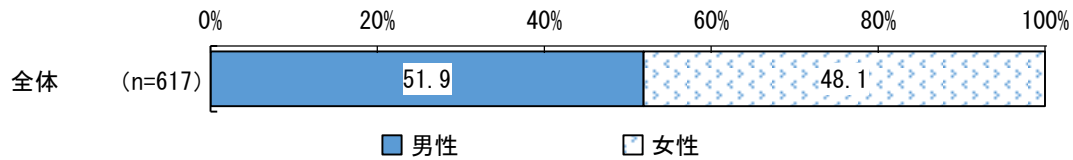


## Ⅲ. 調査結果【在宅介護実態調査】

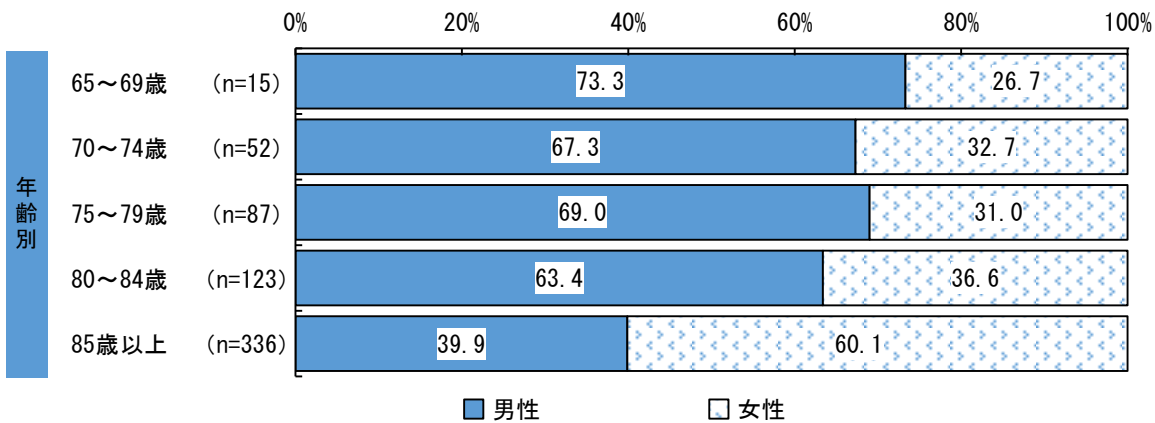
A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします。

### (1) あなたのご家族や生活について

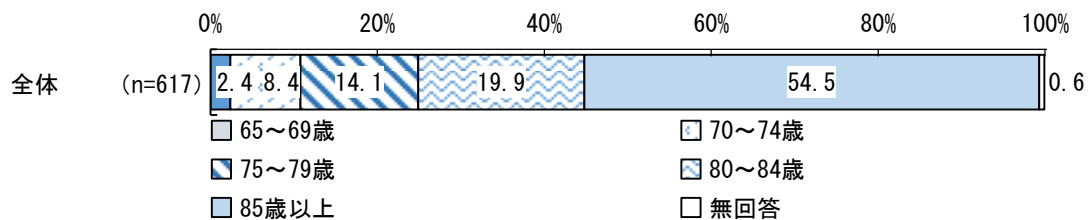
#### F 1 調査対象者の性別



性別においては、「男性」が51.9%、「女性」が48.1%となっています。

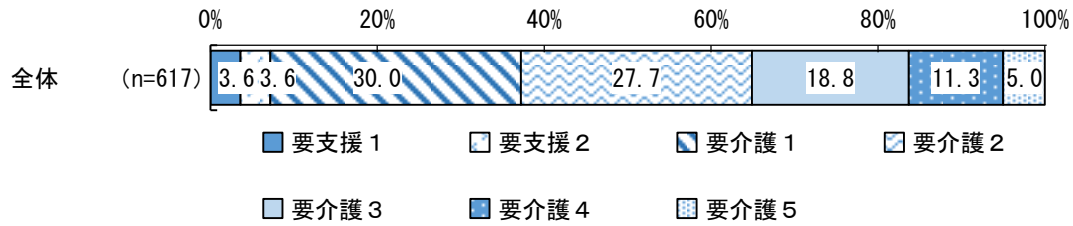


#### F 2 調査対象者の年齢

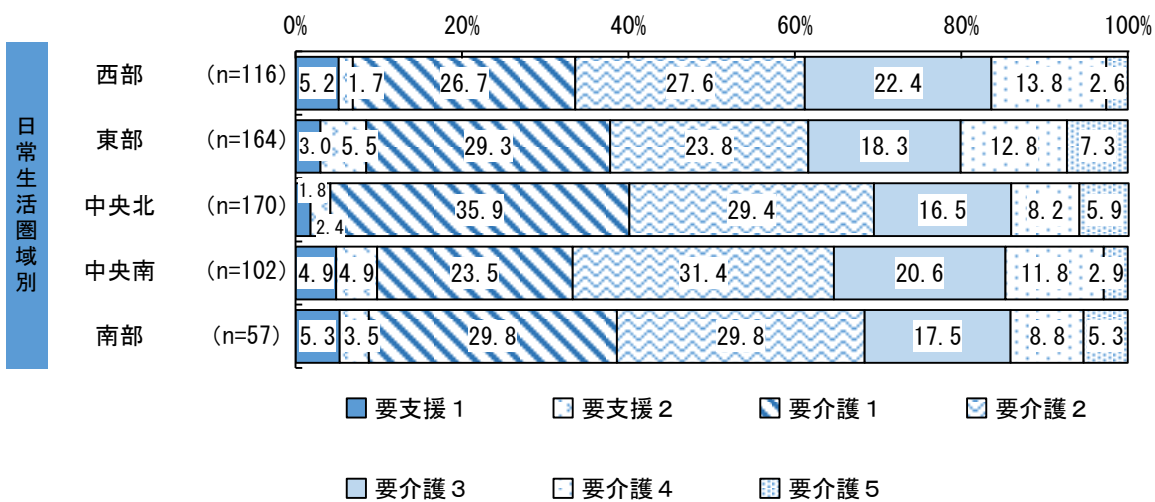


年齢においては、「85歳以上」が54.5%と最も多く、次いで「80~84歳」が19.9%、「75~79歳」が14.1%などとなっています。

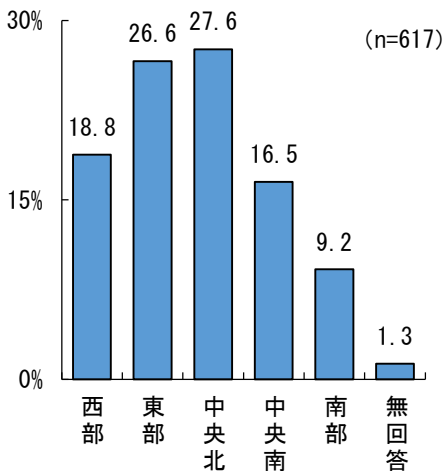
F 3 調査対象者の要介護度



要介護度においては、「要介護 1」が30.0%と最も多く、次いで「要介護 2」が27.7%、「要介護 3」が18.8%などとなっています。



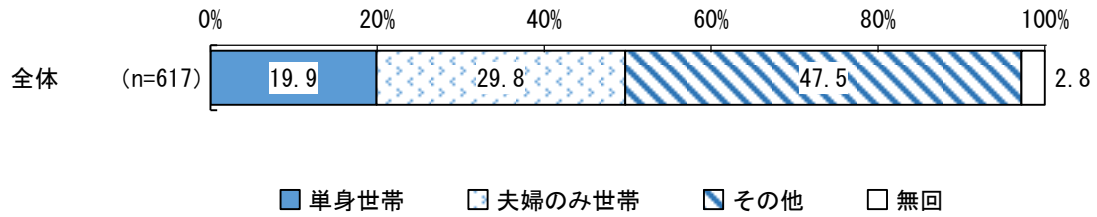
F 4 居住地区・日常生活圏域



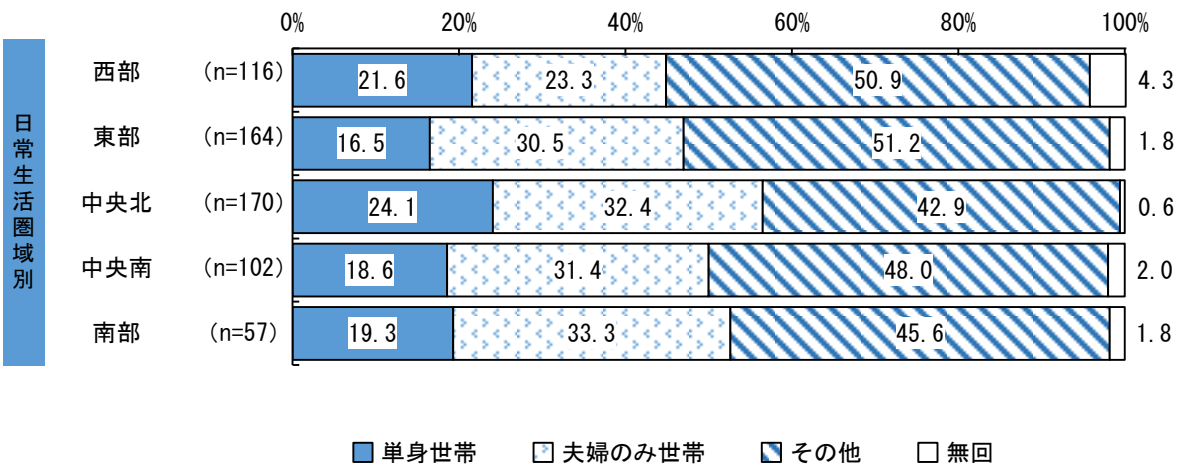
圏域名	居住地区名
西部	愛鷹・原・浮島
東部	金岡・大岡・門池
中央北	第一・第二・第五・片浜・今沢
中央南	第三・第四・大平
南部	静浦・内浦・西浦・戸田

日常生活圏域においては、「中央北」が27.6%と最も多く、次いで「東部」が26.6%、「西部」が18.8%などとなっています。

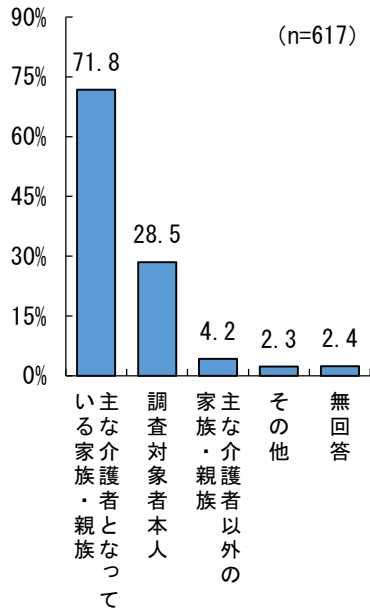
F 5 居住状況



居住状況においては、「単身世帯」が19.9%、「夫婦のみ世帯」が29.8%、「その他」が47.5%となっています。



問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(〇はいくつでも)



---

### 「主な介護者となっている家族・親族」と答えた人がおよそ70%

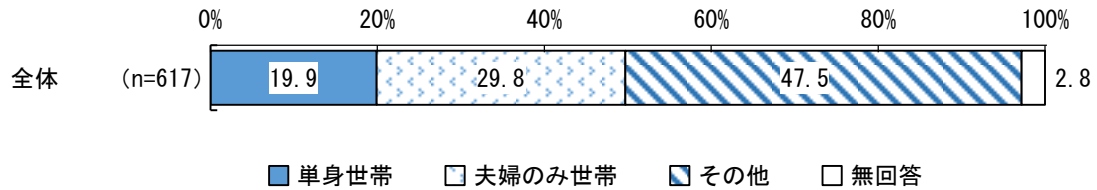
---

調査票の回答者においては、「主な介護者となっている家族・親族」が71.8%と最も多く、次いで「調査対象者本人」が28.5%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.2%などとなっています。年齢別にみると、“65～69歳”では「調査対象者本人」が66.7%と最も多くなっています。要介護度別にみると、“要支援2”では「調査対象者本人」が50.0%と最も多くなっています。





問2 世帯類型について、ご回答ください。(〇はひとつ)



---

### 「単身世帯」と答えた人がおよそ20%

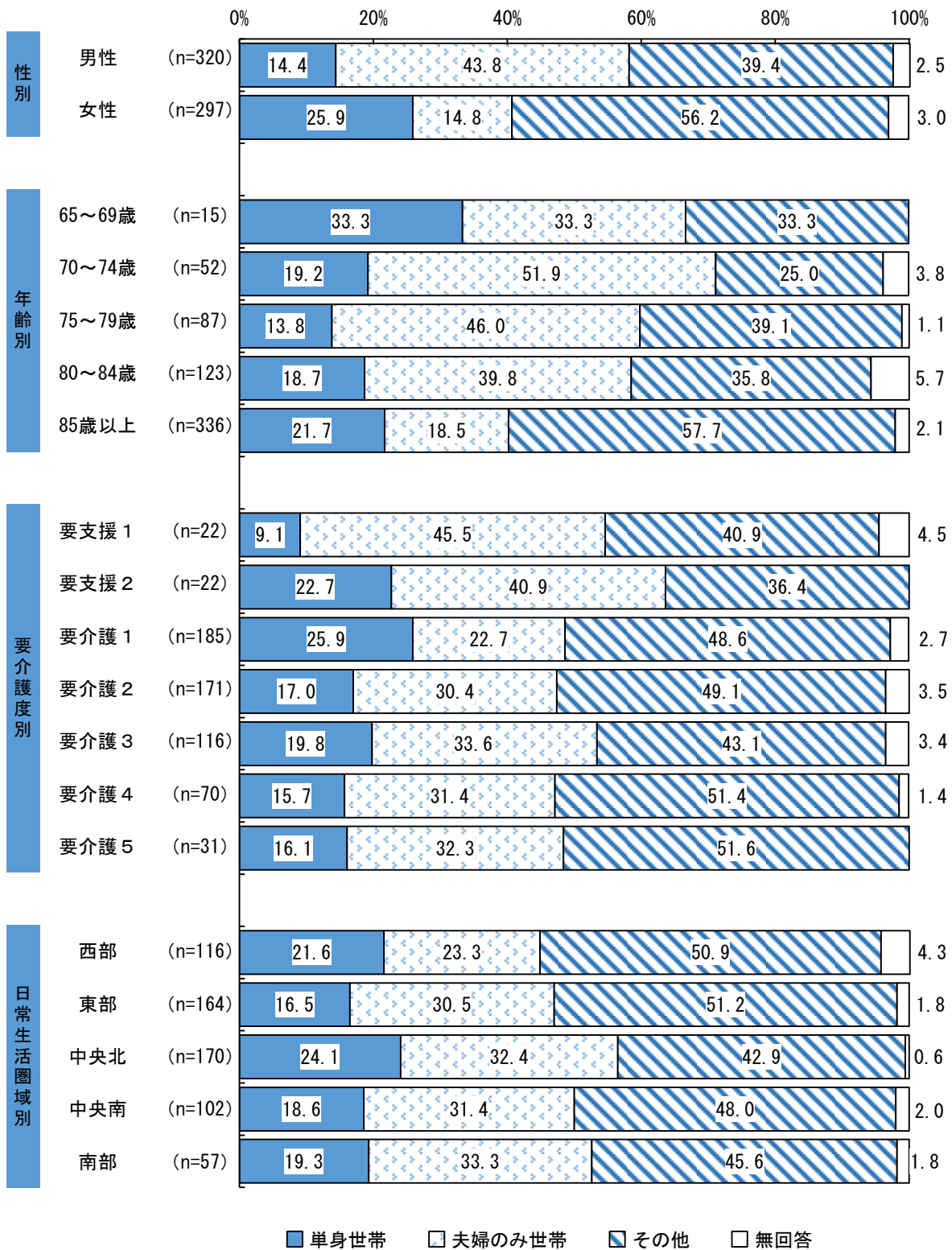
---

世帯類型においては、「単身世帯」が19.9%、「夫婦のみ世帯」が29.8%、「その他」が47.5%となっています。

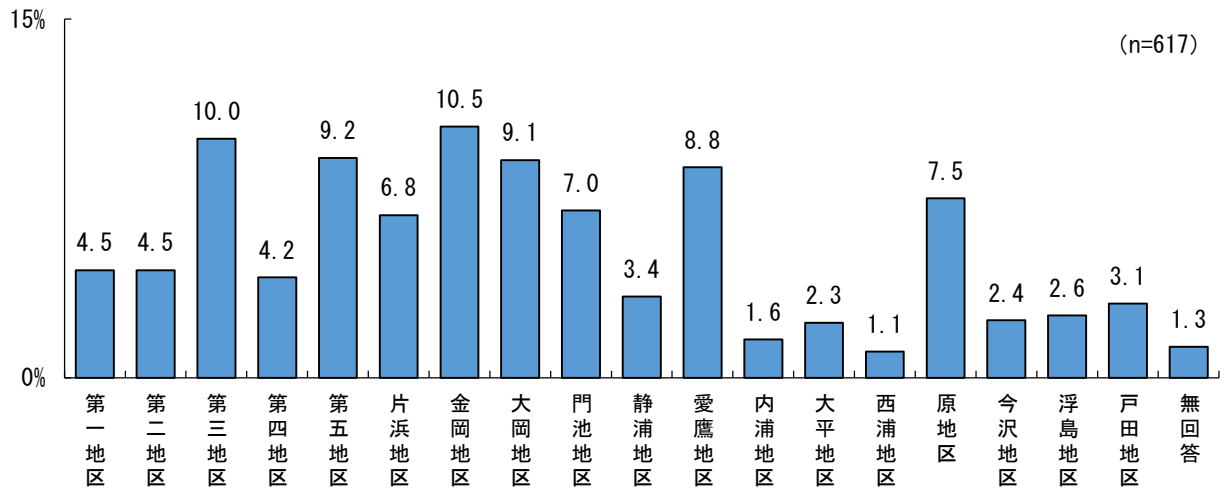
性別にみると、“男性”では「夫婦のみ世帯」が43.8%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“70～74歳”、“75～79歳”、“80～84歳”では「夫婦のみ世帯」が最も多くなっています。

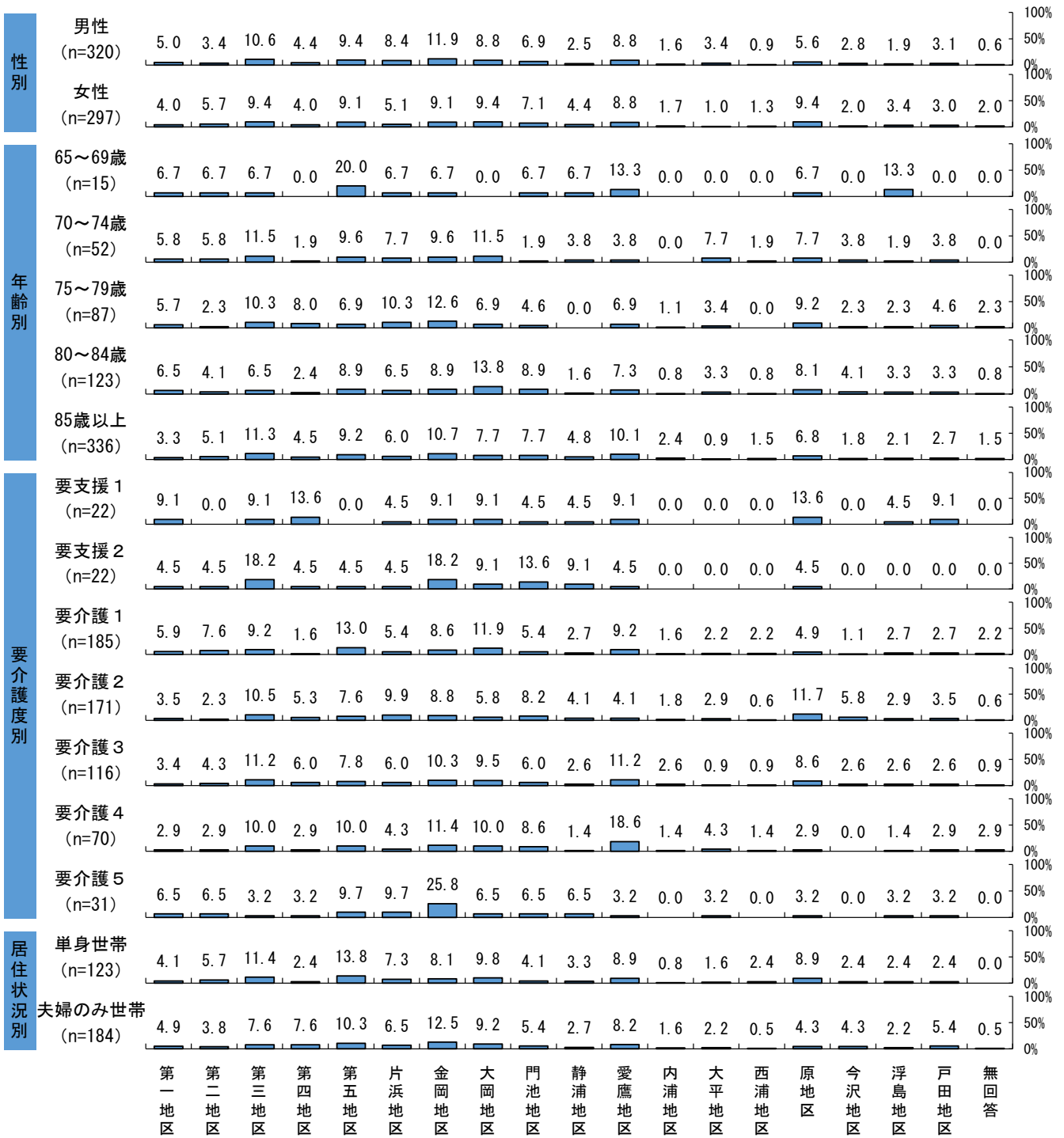
要介護度別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「夫婦のみ世帯」が最も多くなっています。



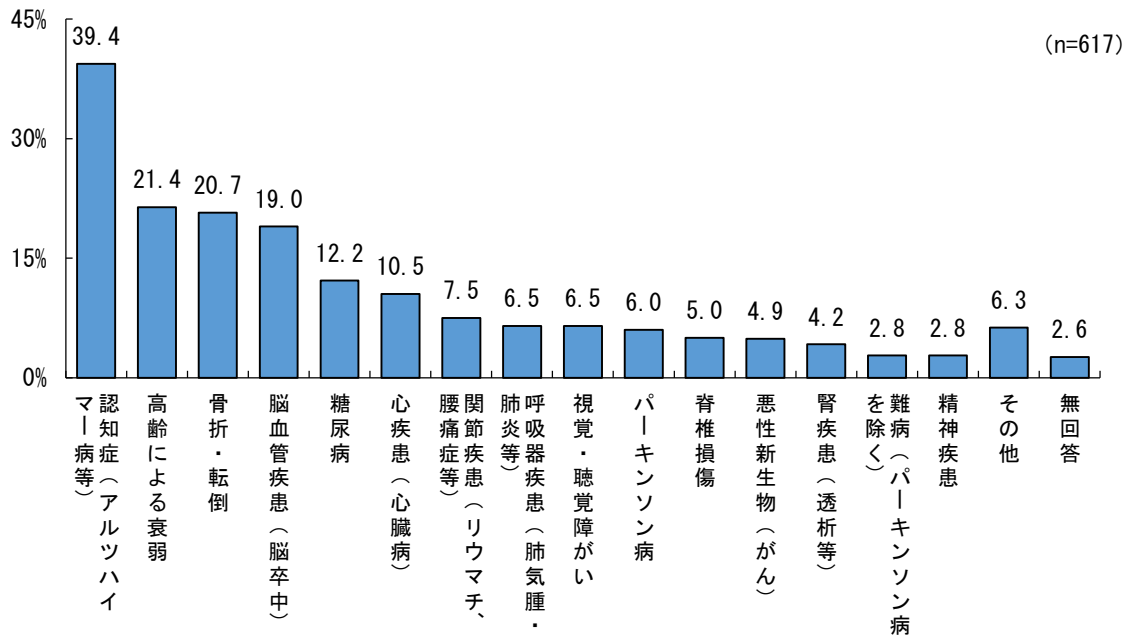
問3 ご本人の住所地の地区を教えてください。(〇はひとつ)



居住地区においては、「金岡地区」が10.5%と最も多く、次いで「第三地区」が10.0%、「第五地区」が9.2%などとなっています。



問7 介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

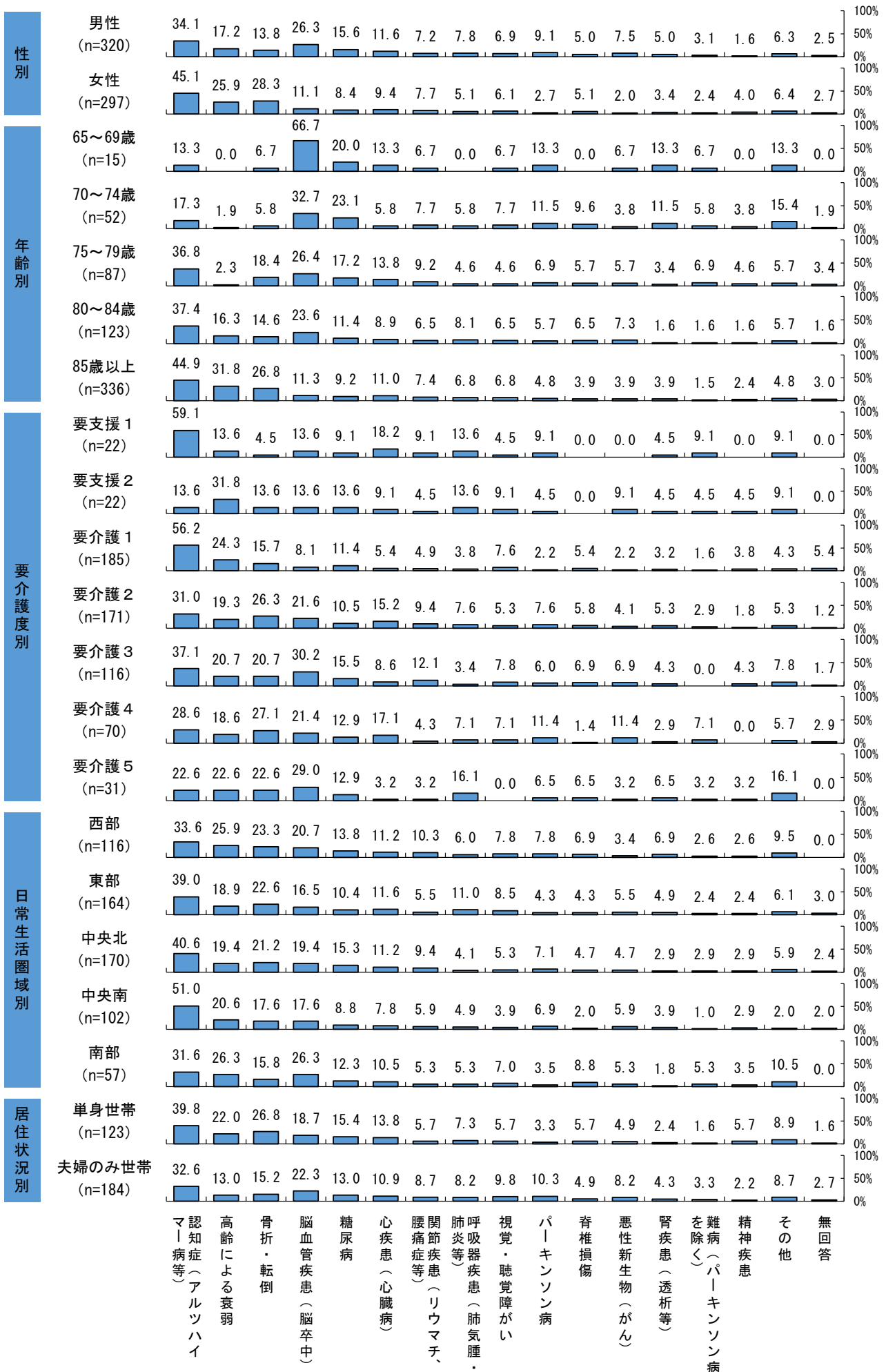


「認知症（アルツハイマー病等）」と答えた人がおよそ40%

介護・介助が必要になった原因においては、「認知症（アルツハイマー病等）」が39.4%と最も多く、次いで「高齢による衰弱」が21.4%、「骨折・転倒」が20.7%などとなっています。

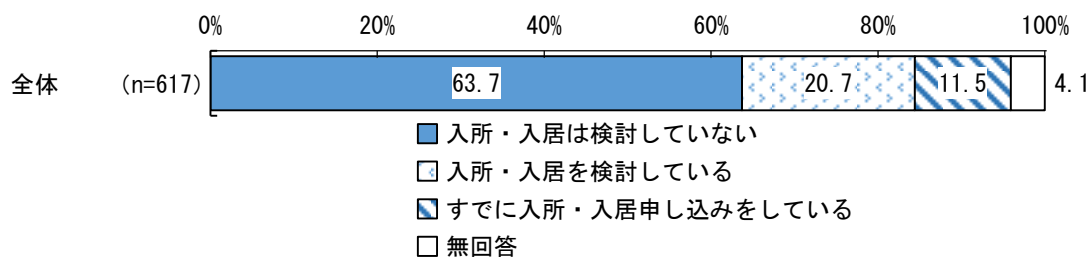
年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”では「脳血管疾患（脳卒中）」が最も多くなっています。

要介護度別にみると、“要支援2”では「高齢による衰弱」が31.8%と最も多くなっています。また、“要介護5”では「脳血管疾患（脳卒中）」が29.0%と最も多くなっています。



## (2) 介護・介助の状況について

問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○はひとつ)



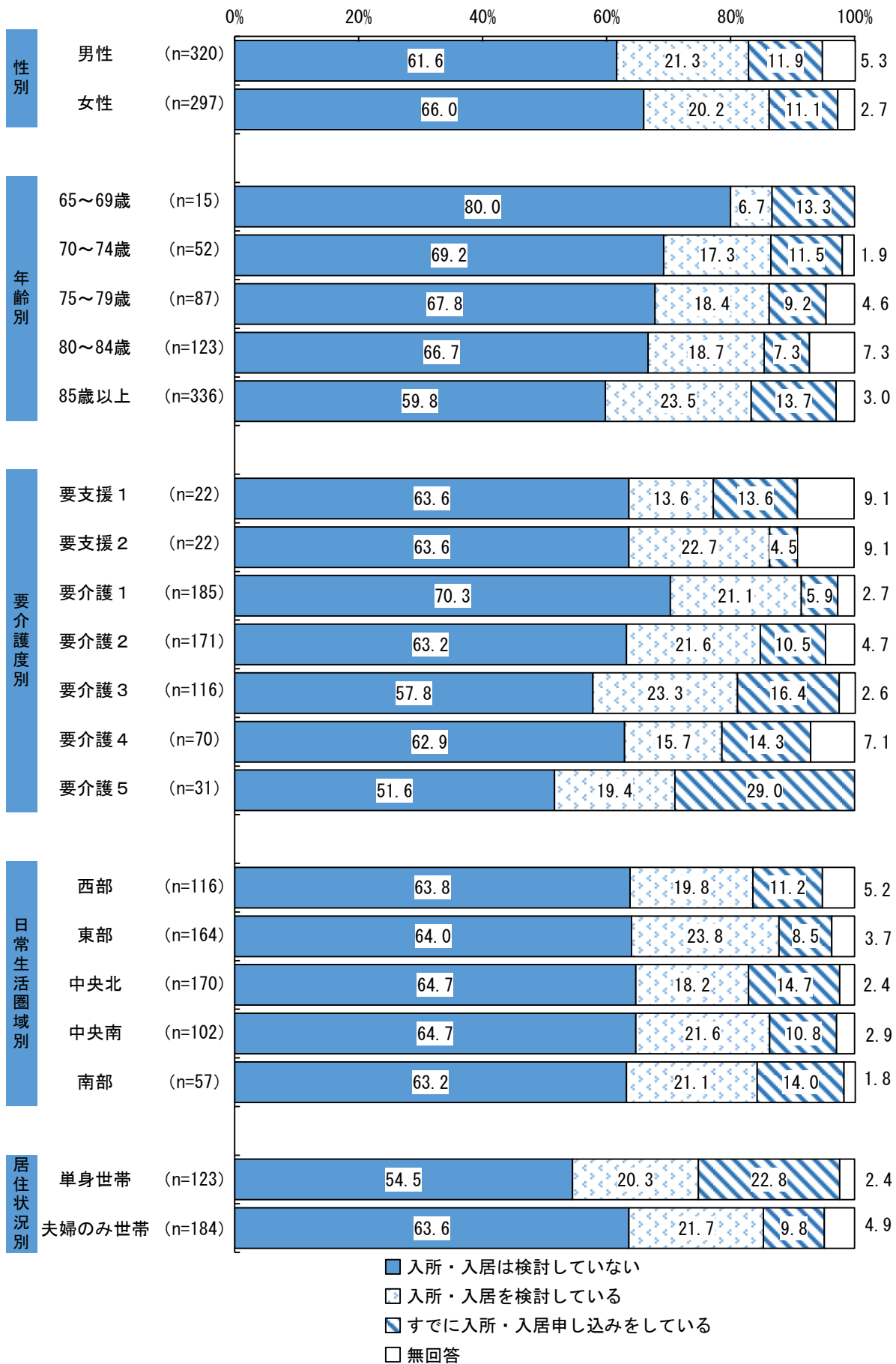
---

全体では「入所・入居は検討していない」と答えた人がおよそ60%  
要介護5では「すでに入所・入居申し込みをしている」と  
答えた人がおよそ30%

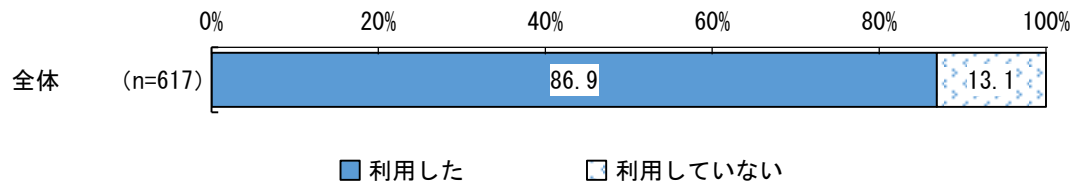
---

現時点の施設等への入所・入居状況においては、「入所・入居は検討していない」が63.7%、「入所・入居を検討している」が20.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.5%となっています。





問9 令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(〇はひとつ)

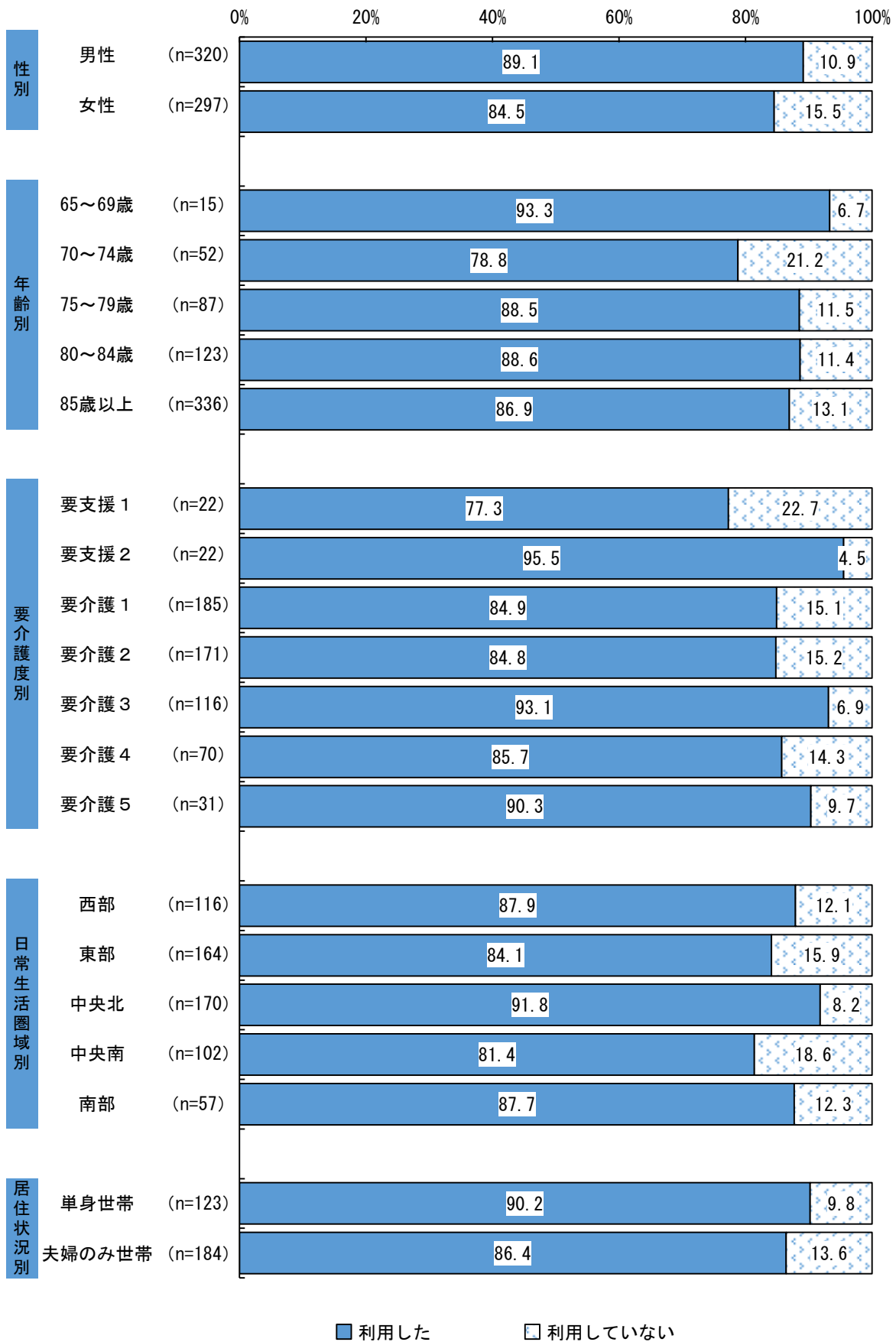


---

**「利用した」と答えた人がおよそ90%**

---

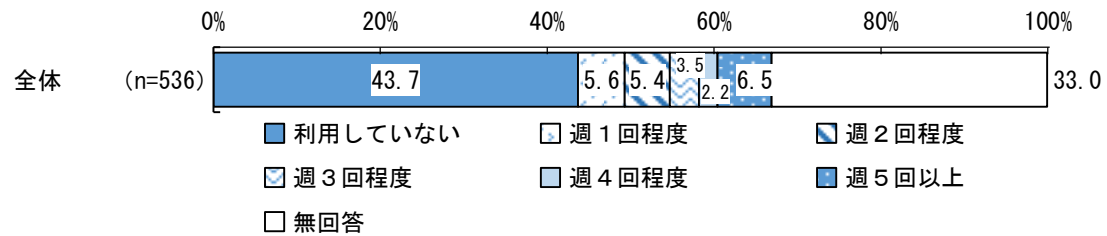
1 か月間の介護保険サービス利用有無においては、「利用した」が86.9%、「利用していない」が13.1%となっています。



問10 問9で「1.」と回答した方にお伺いします。

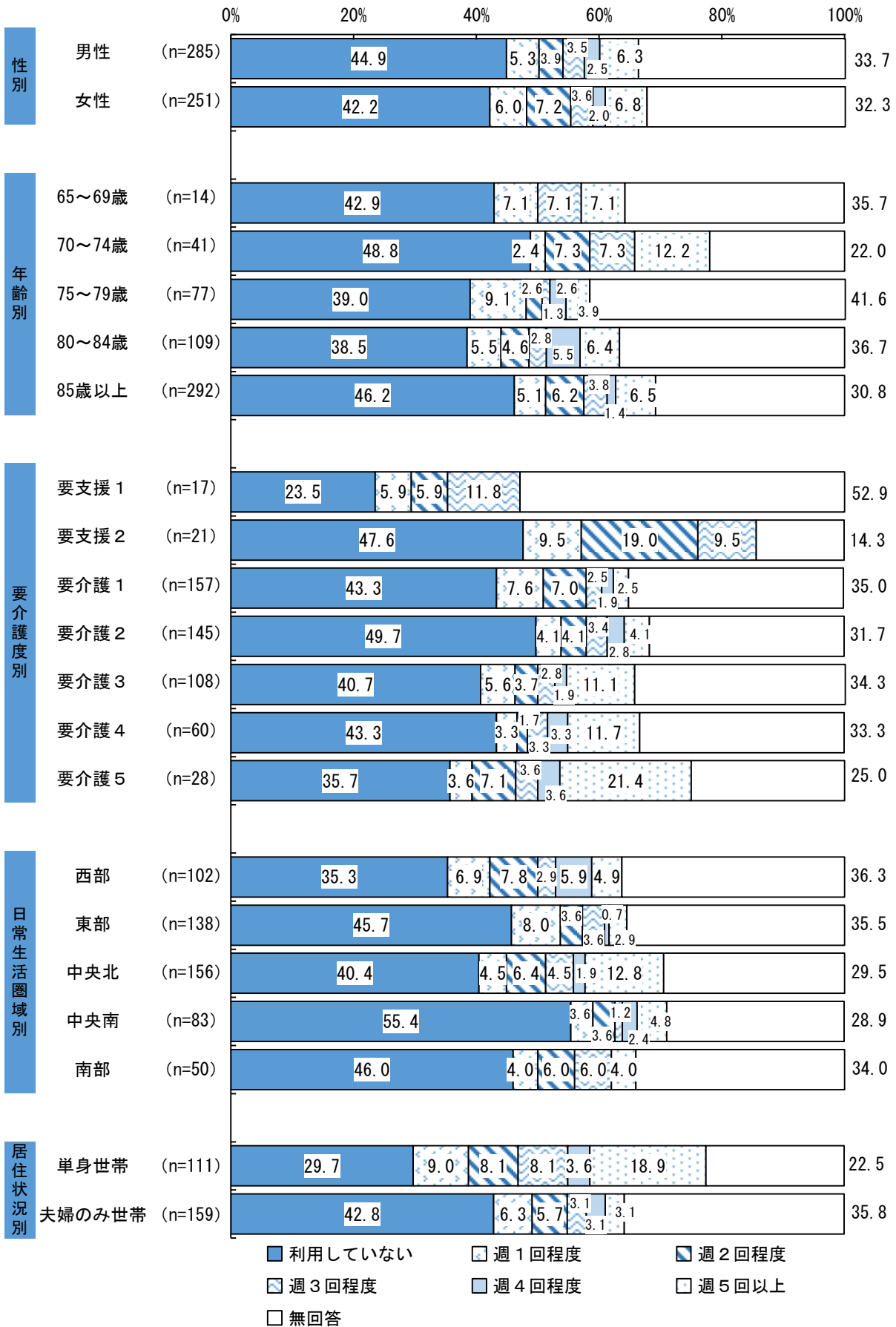
以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。（それぞれに○はひとつ）

A. 訪問介護（ホームヘルパーサービス）

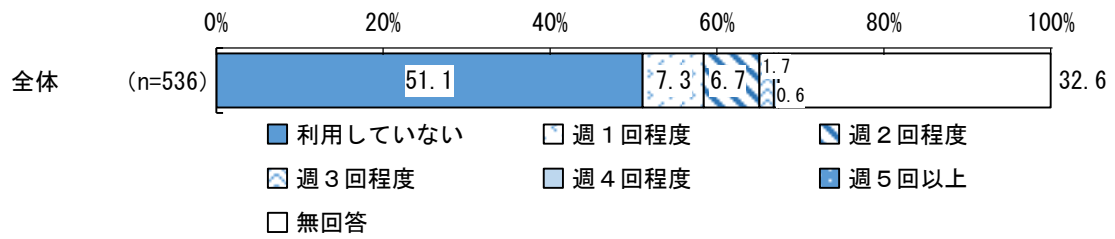


「週5回以上」と答えた人が要介護5、単身世帯ではおよそ20%

訪問介護（ホームヘルプサービス）においては、「利用していない」が43.7%と最も多く、次いで「週5回以上」が6.5%、「週1回程度」が5.6%などとなっています。



**B. 訪問入浴介護**

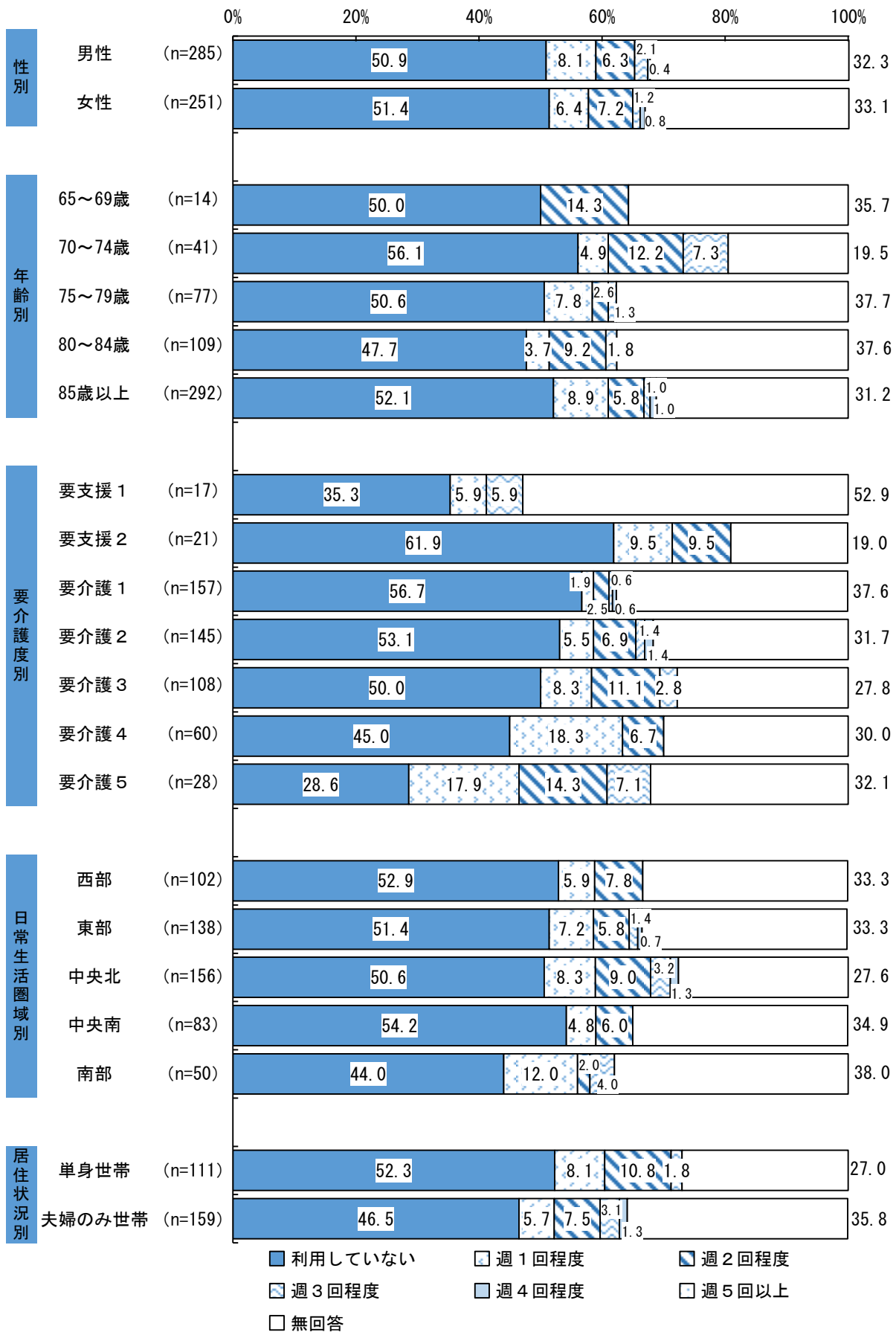


---

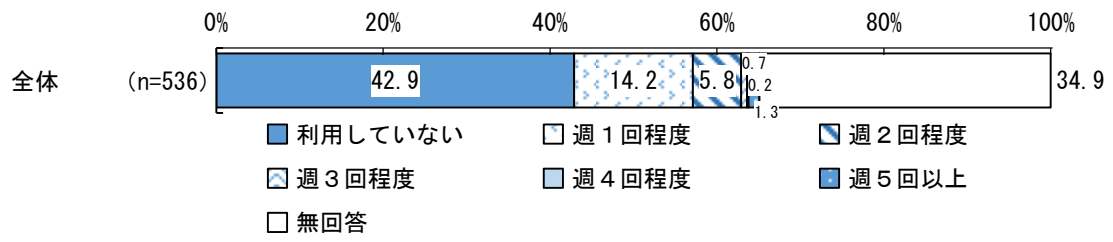
**70～74歳では「利用していない」と答えた人がおよそ60%**

---

訪問入浴介護においては、「利用していない」が51.1%と最も多く、次いで「週 1 回程度」が7.3%、「週 2 回程度」が6.7%などとなっています。



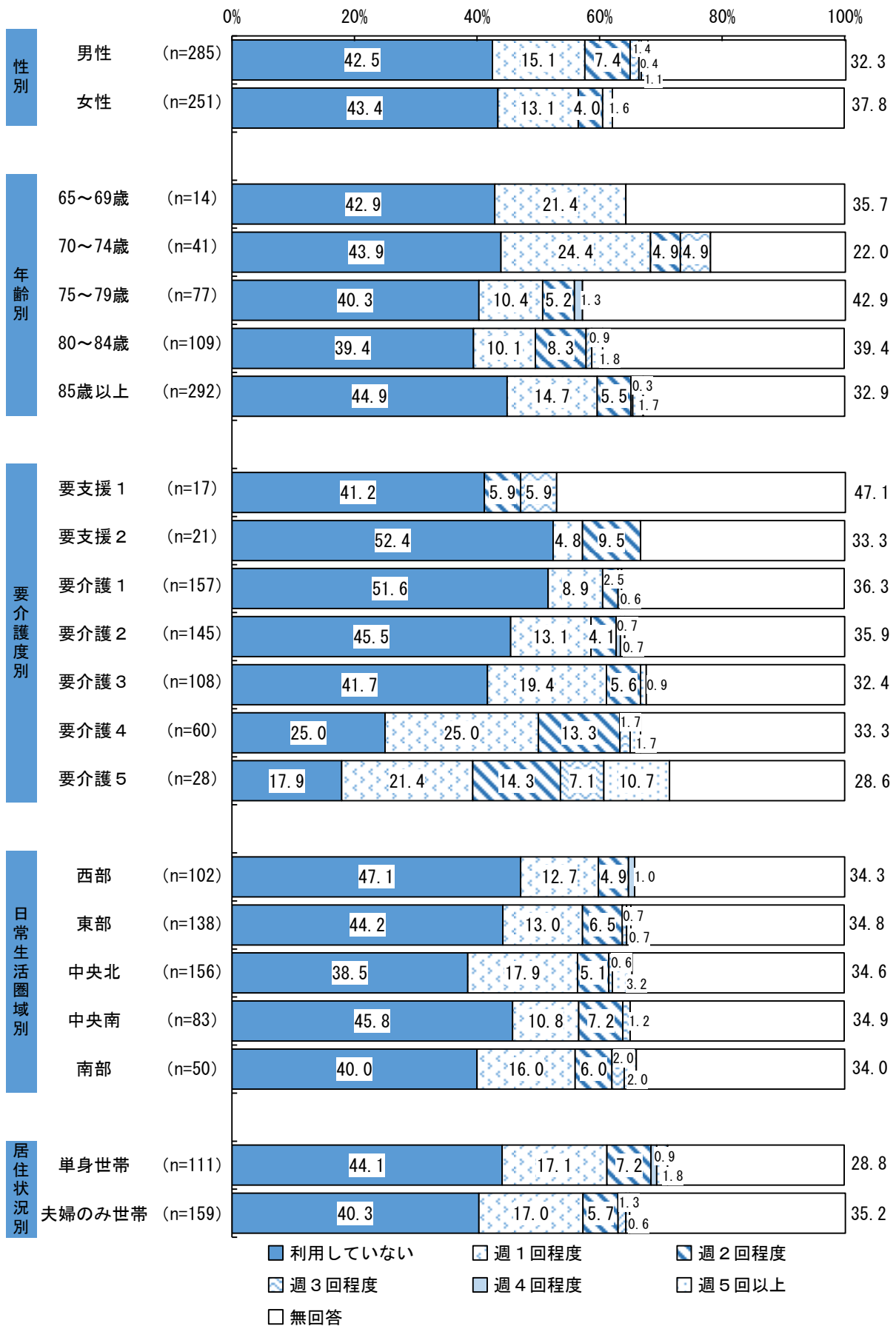
C. 訪問看護



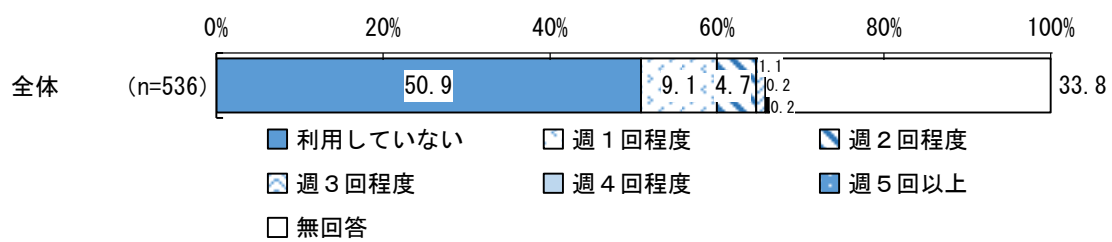
訪問看護においては、「利用していない」が42.9%と最も多く、次いで「週 1 回程度」が14.2%、「週 2 回程度」が5.8%などとなっています。

要介護度別にみると、“要介護 5”では「週 1 回程度」が21.4%と最も多くなっています。

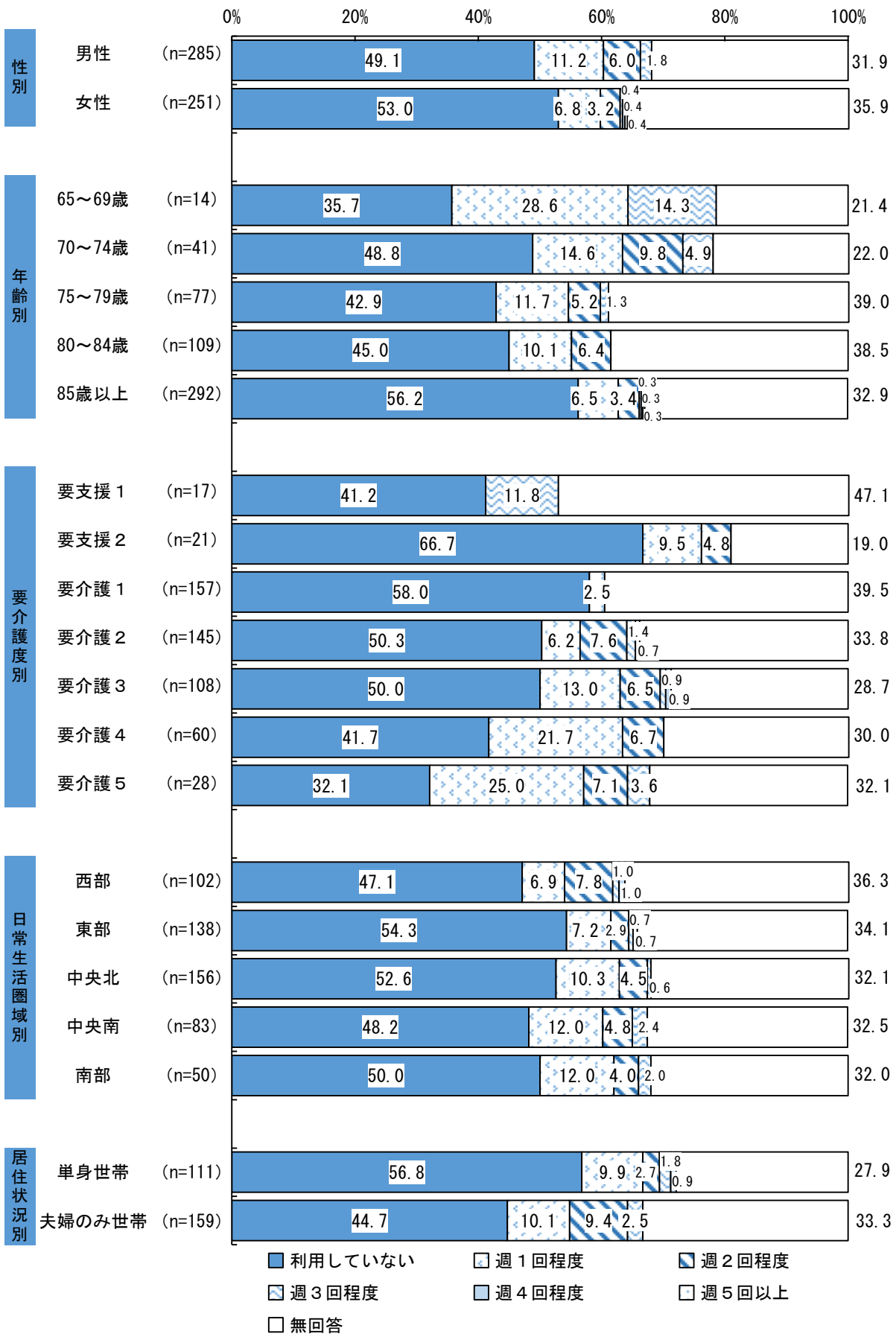




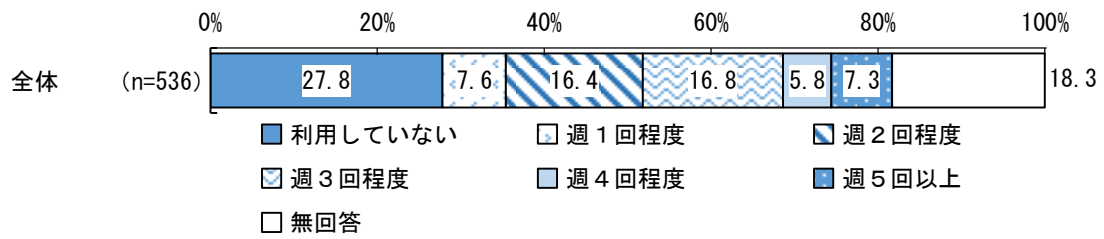
D. 訪問リハビリテーション



訪問リハビリテーションにおいては、「利用していない」が50.9%と最も多く、次いで「週 1 回程度」が9.1%、「週 2 回程度」が4.7%などとなっています。



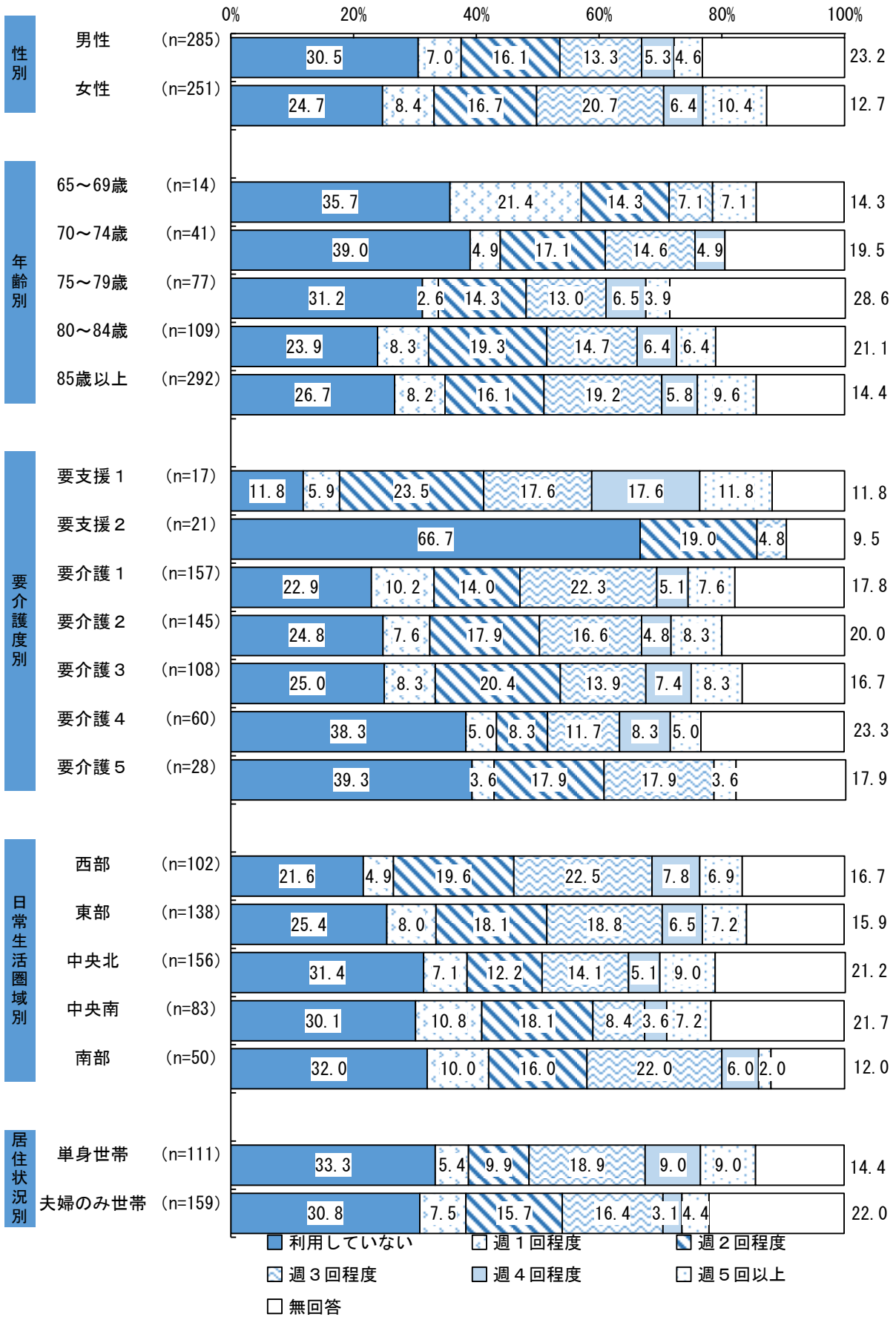
**E. 通所介護（デイサービス）**



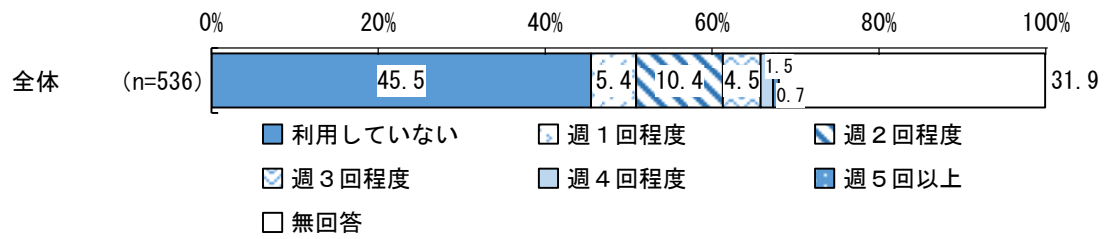
**「利用していない」と答えた人がおよそ30%**

通所介護（デイサービス）においては、「利用していない」が27.8%と最も多く、次いで「週3回程度」が16.8%、「週2回程度」が16.4%などとなっています。

要介護度別にみると、“要支援1”では「週2回程度」が23.5%と最も多くなっています。



F. 通所リハビリテーション（デイケア）

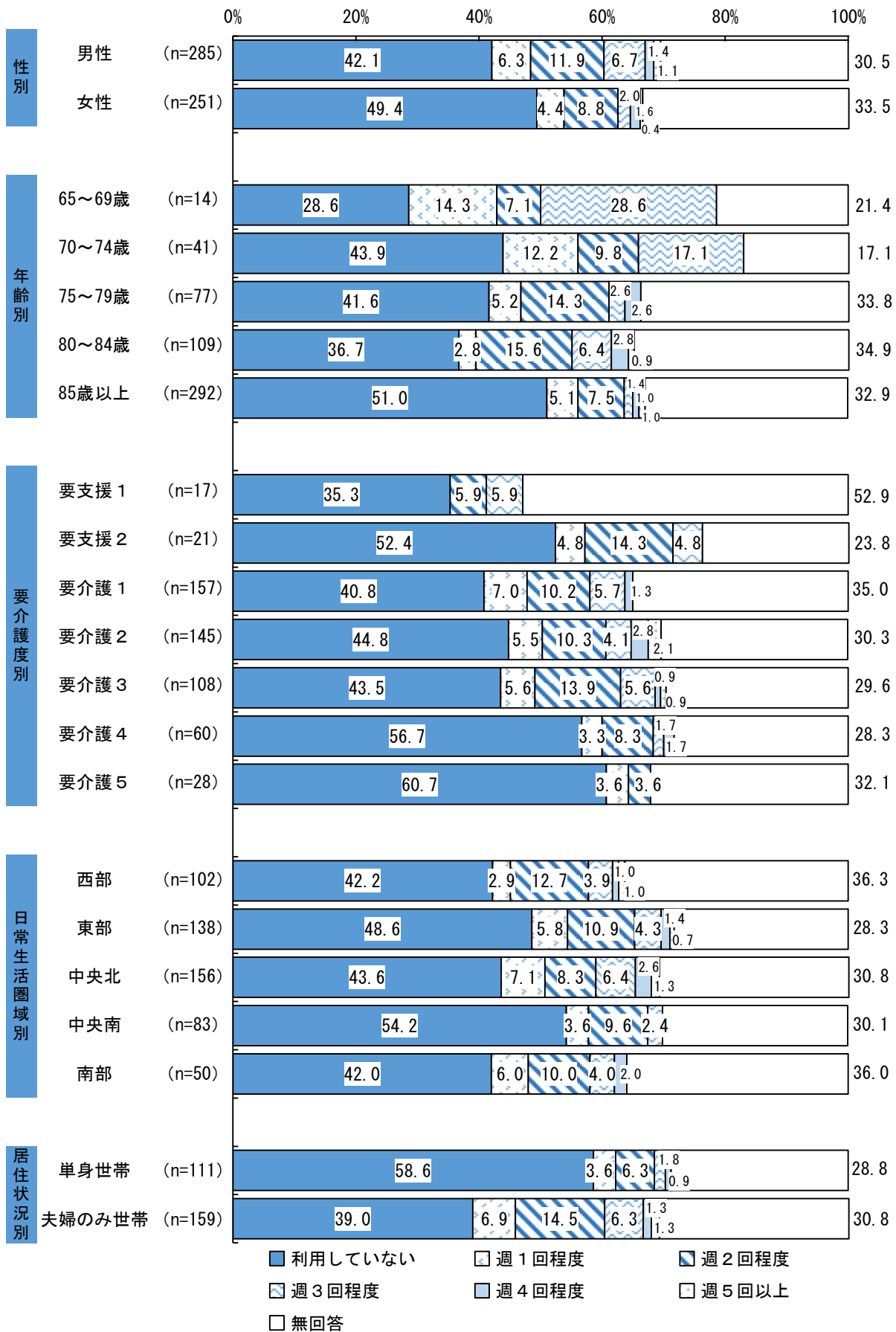


---

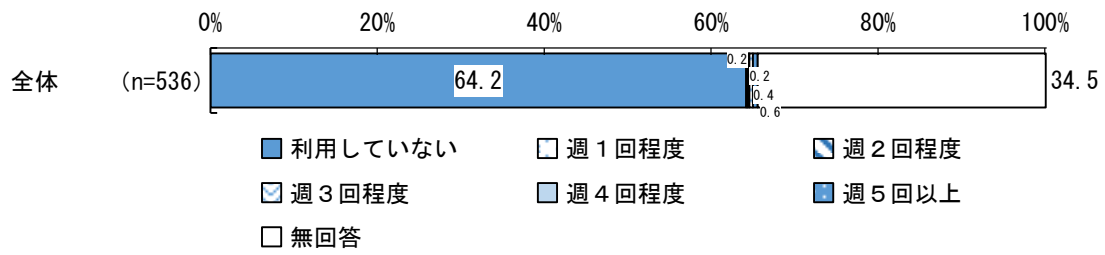
「利用していない」と答えた人がおよそ50%

---

通所リハビリテーション（デイケア）においては、「利用していない」が45.5%と最も多く、次いで「週2回程度」が10.4%、「週1回程度」が5.4%などとなっています。



G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）



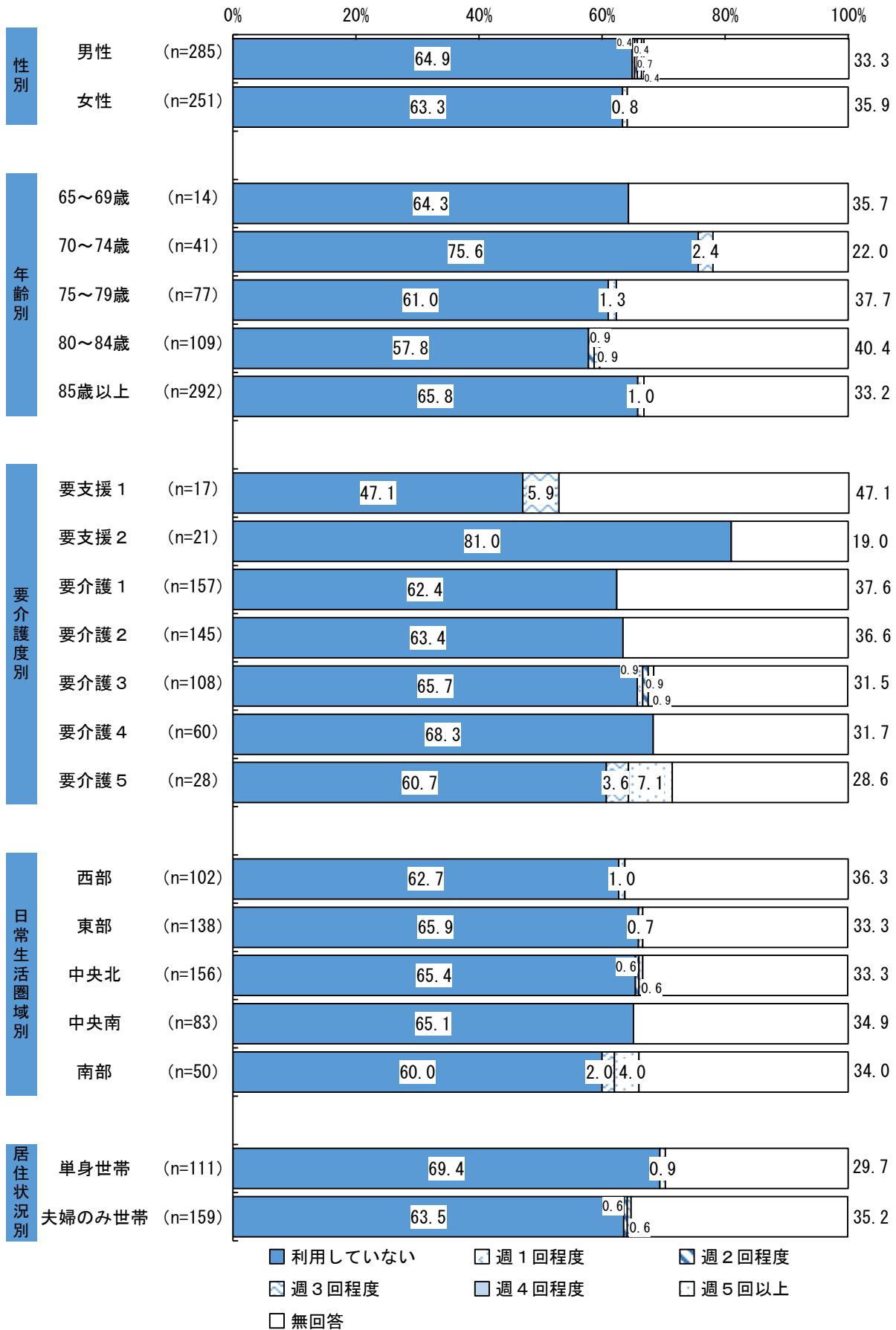
---

「利用していない」と答えた人がおよそ60%

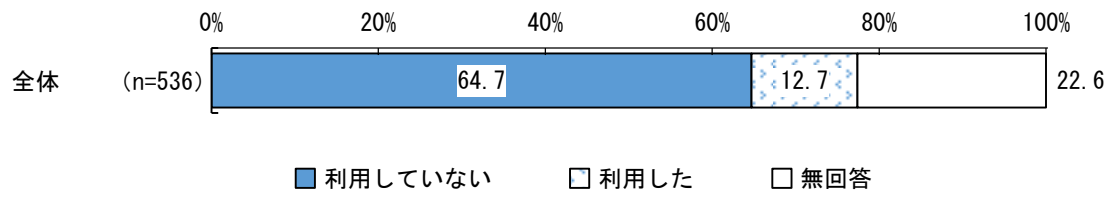
---

夜間対応型訪問介護においては、「利用していない」が64.2%と最も多く、次いで「週 5 回以上」が0.6%、「週 3 回程度」が0.4%などとなっています。

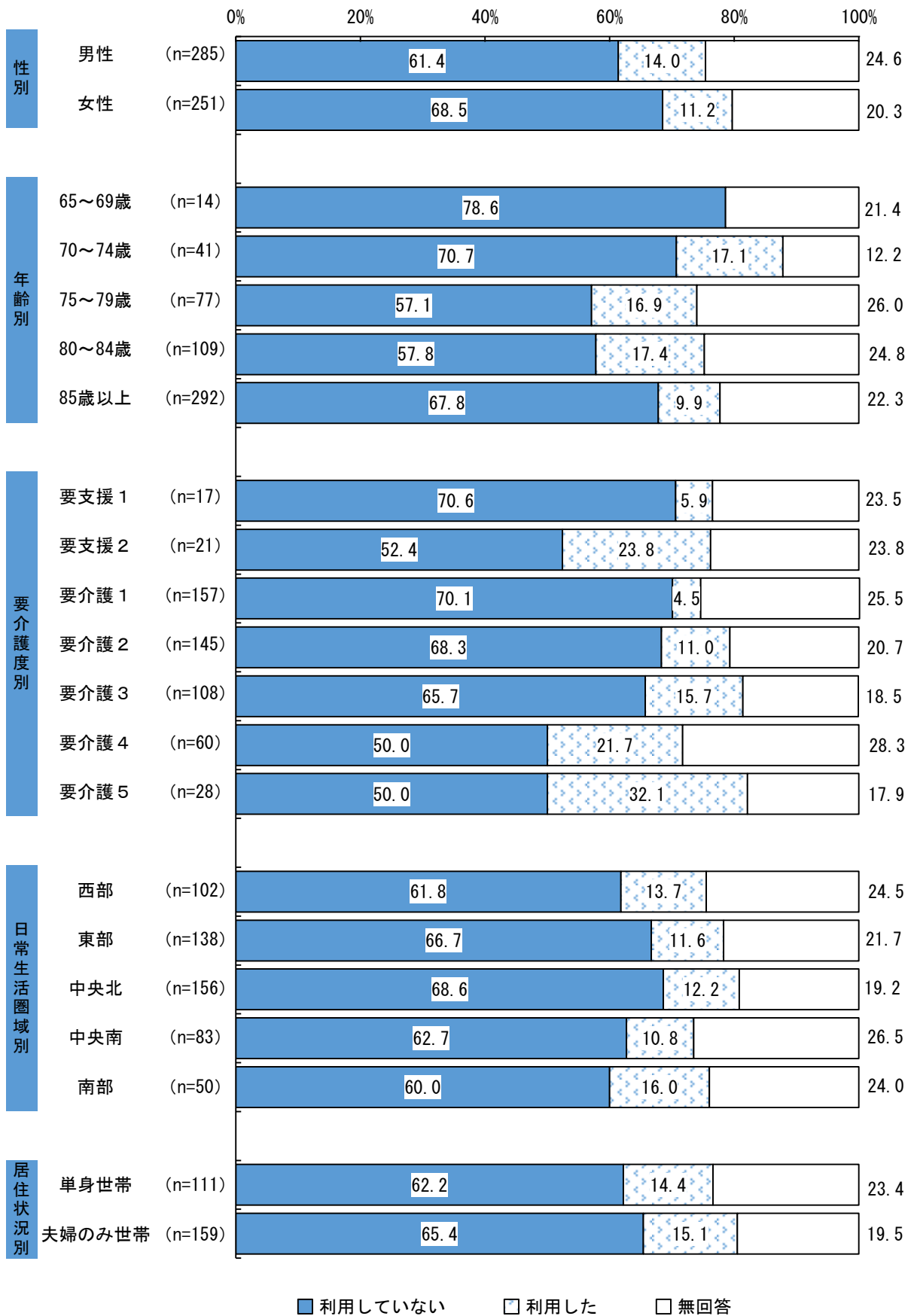




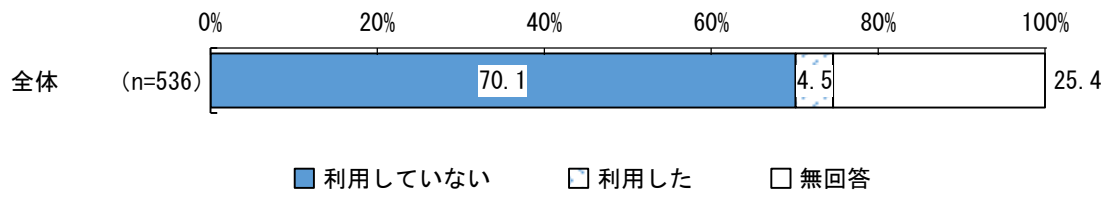
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護



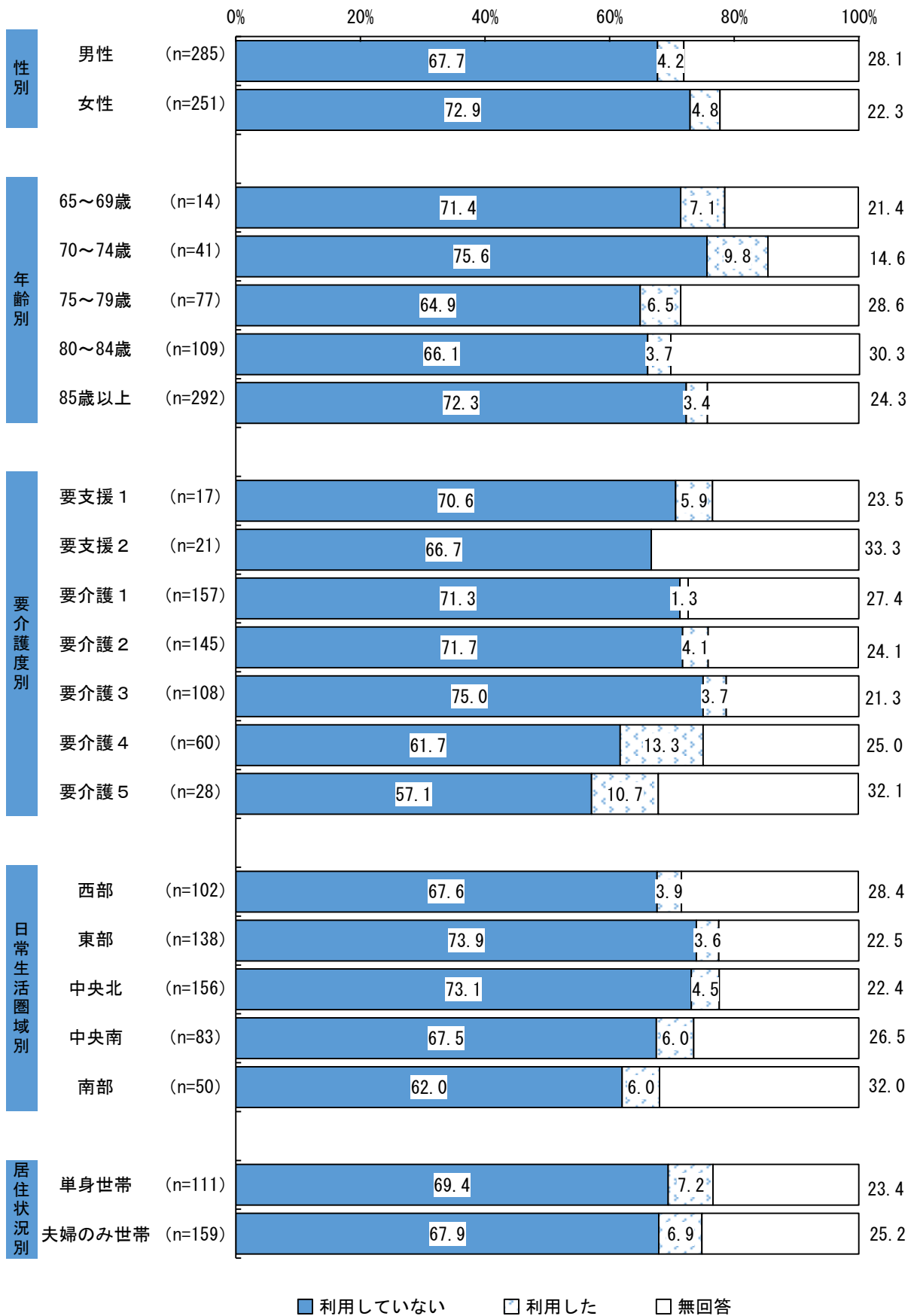
定期巡回・随時対応型訪問介護看護においては、「利用していない」が64.7%、「利用した」が12.7%となっています。



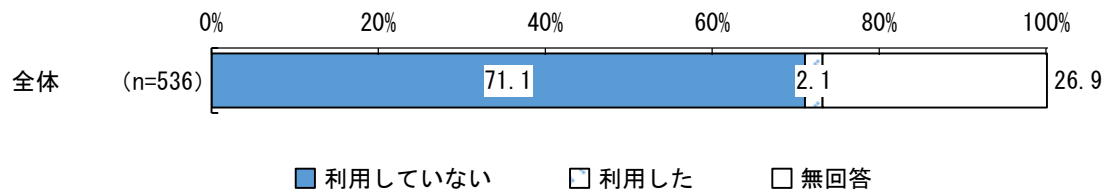
I. 小規模多機能型居宅介護



小規模多機能型居宅介護においては、「利用していない」が70.1%、「利用した」が4.5%となっています。



J. 看護小規模多機能型居宅介護

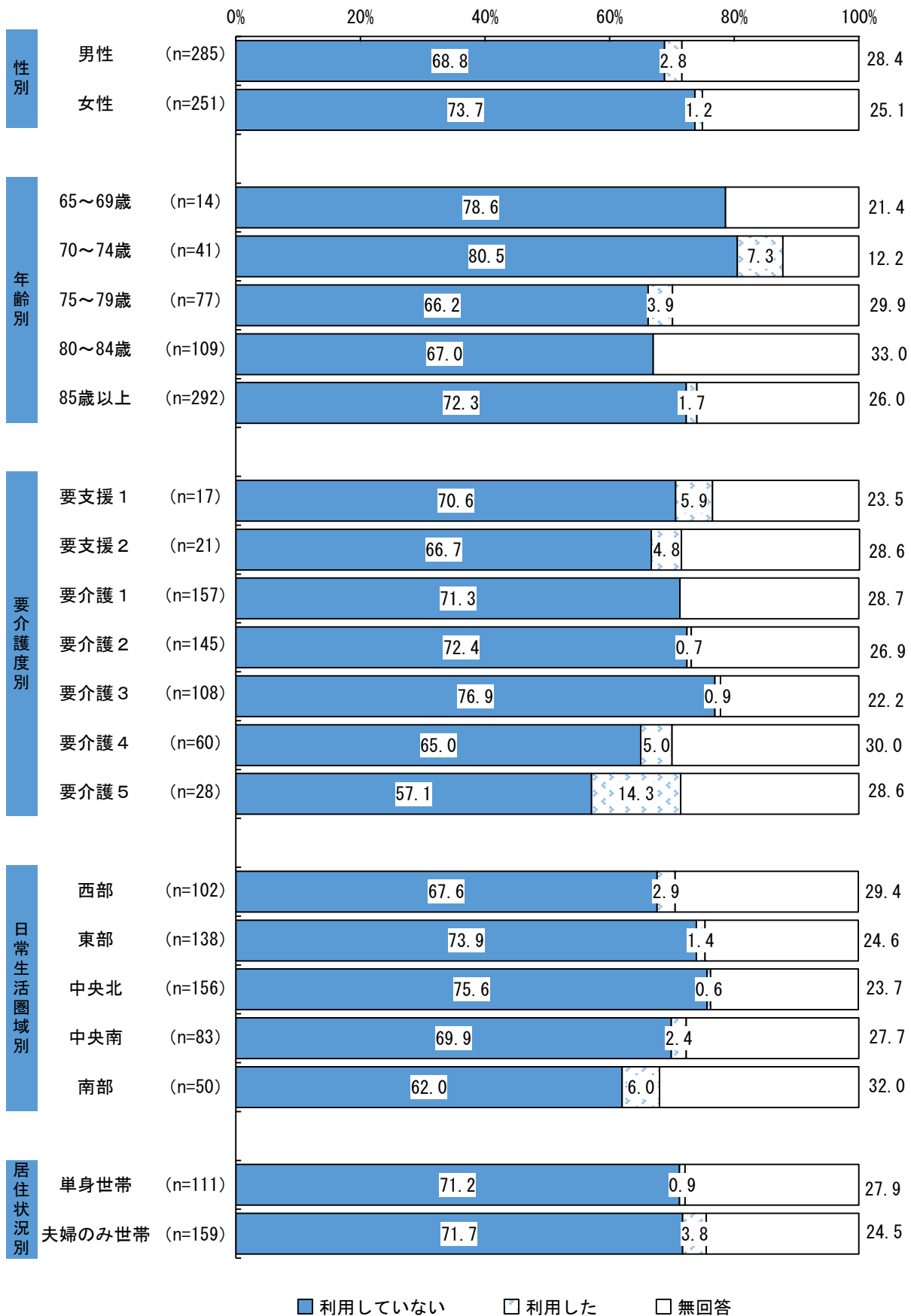


---

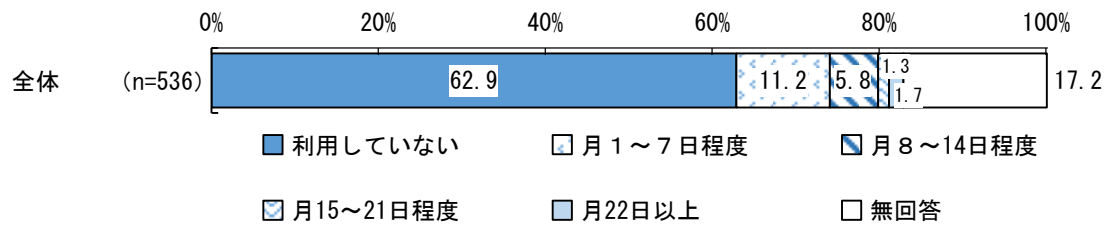
65～69歳、70～74歳では「利用していない」と答えた人がおよそ80%

---

看護小規模多機能型居宅介護においては、「利用していない」が71.1%、「利用した」が2.1%となっています。



K. ショートステイ



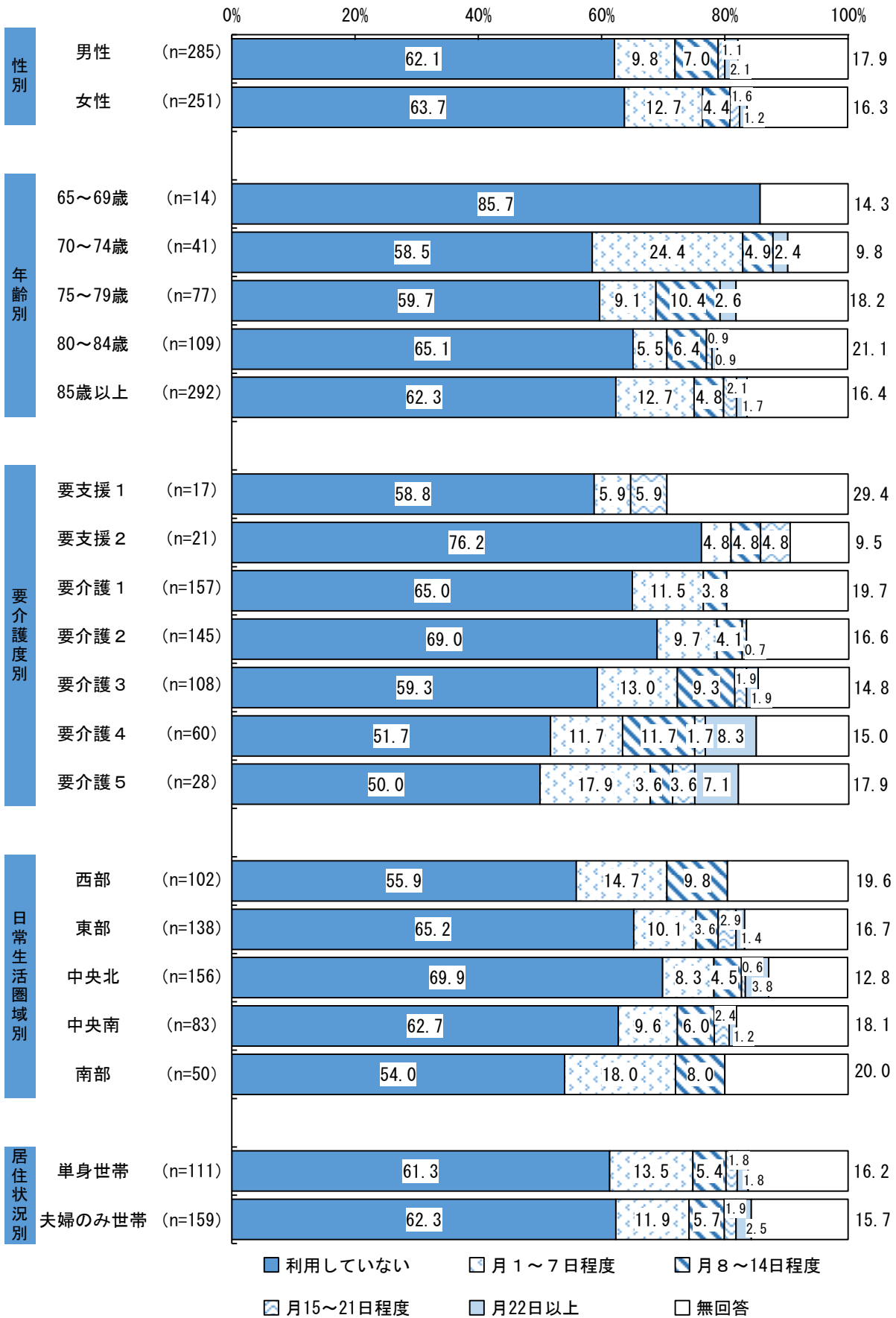
---

「利用していない」と答えた人がおよそ60%

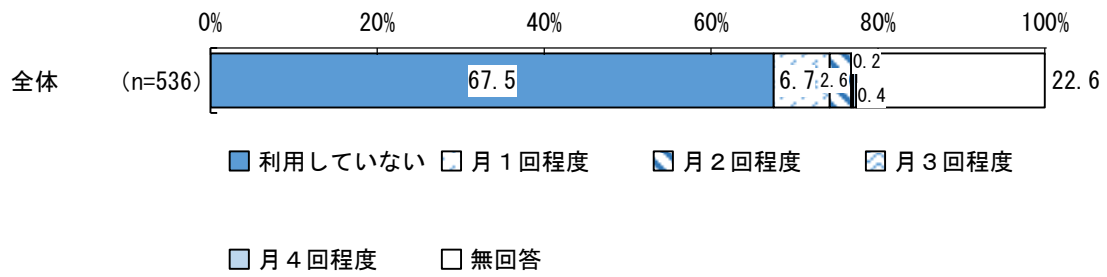
---

ショートステイにおいては、「利用していない」が62.9%と最も多く、次いで「月1～7日程度」が11.2%、「月8～14日程度」が5.8%などとなっています。





L. 居宅療養管理指導

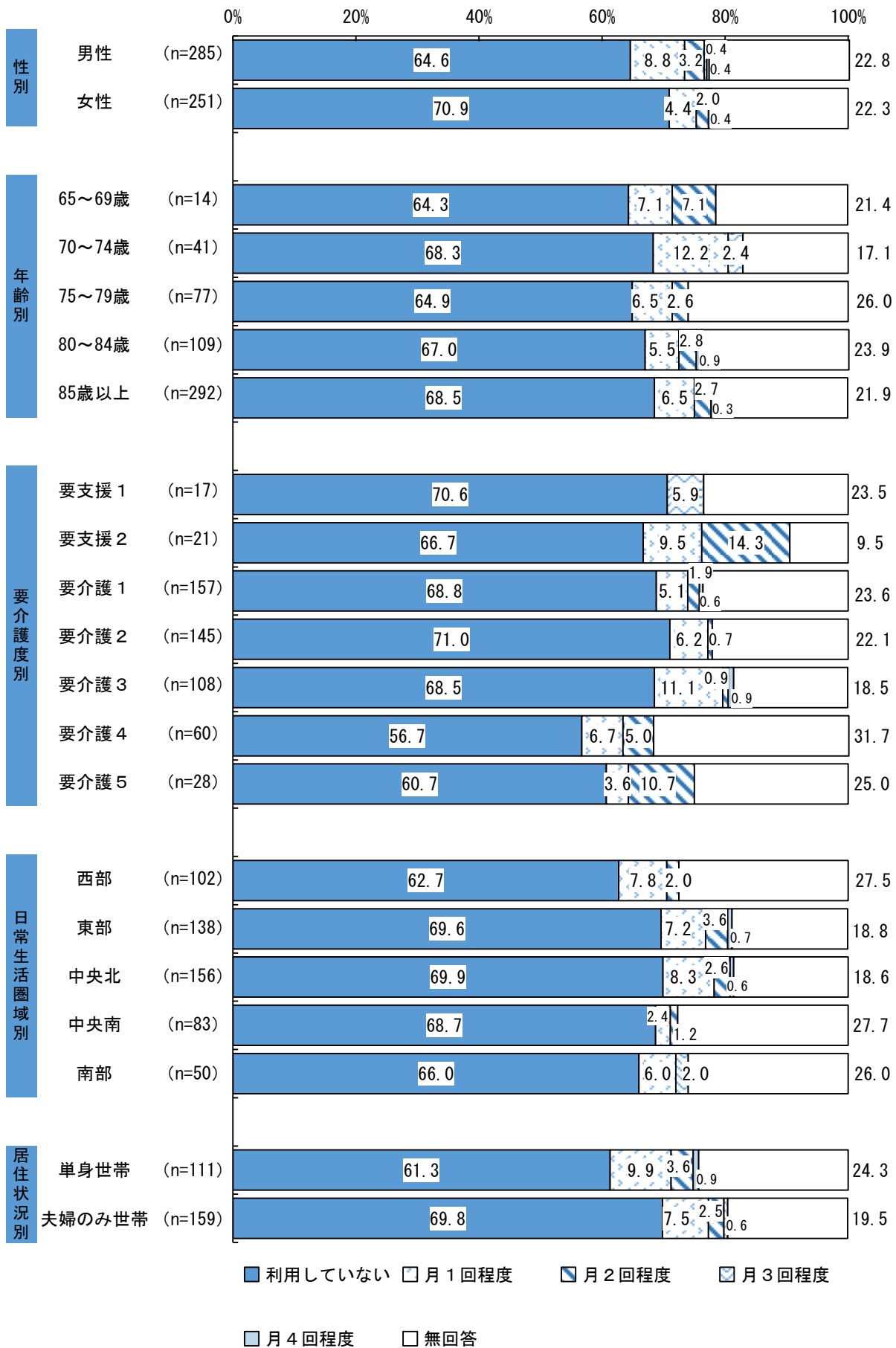


---

「利用していない」と答えた人がおよそ70%

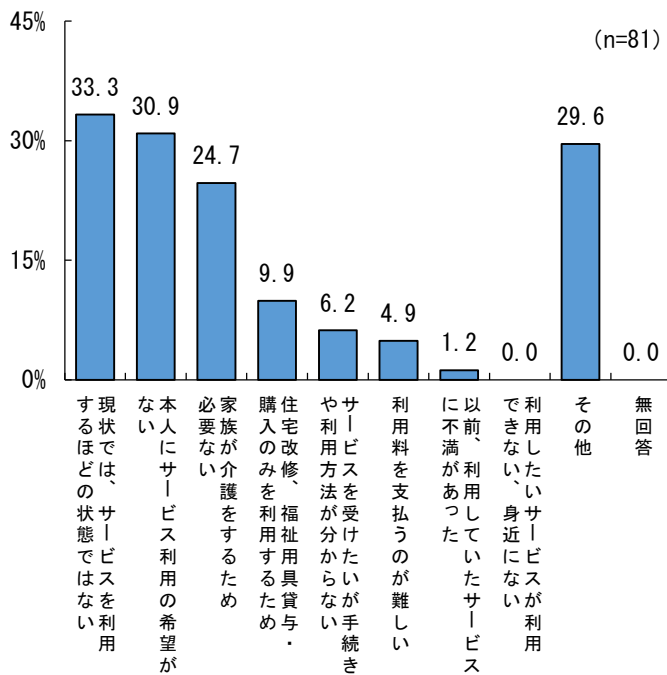
---

居宅療養管理指導においては、「利用していない」が67.5%と最も多く、次いで「月1回程度」が6.7%、「月2回程度」が2.6%などとなっています。



問 11 問 9 で「2.」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、  
「本人にサービス利用の希望がない」と答えた人がおよそ30%

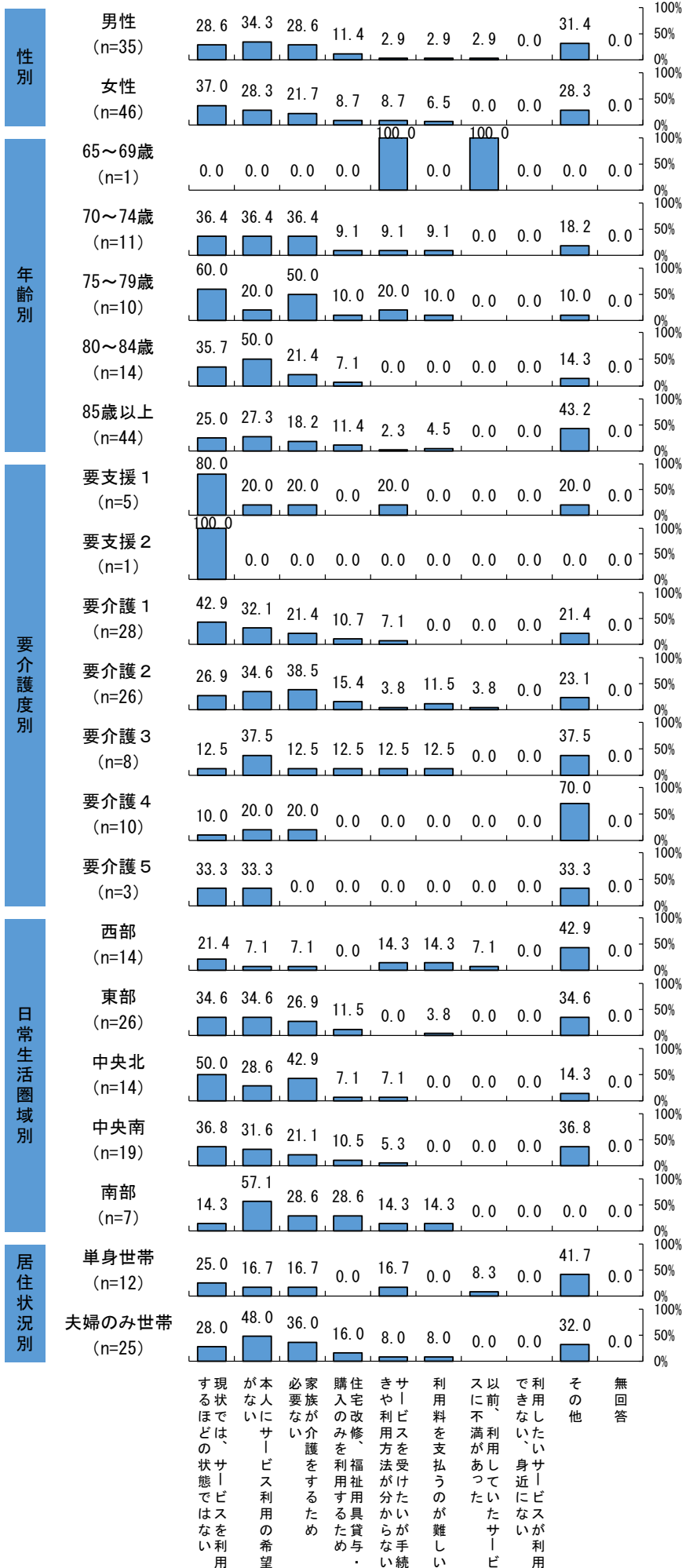
介護保険サービスを利用していない理由においては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が33.3%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が30.9%、「家族が介護をするため必要ない」が24.7%などとなっています。

性別にみると、“男性”では「本人にサービス利用の希望がない」が34.3%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“80～84歳”では「本人にサービス利用の希望がない」が50.0%と最も多くなっています。

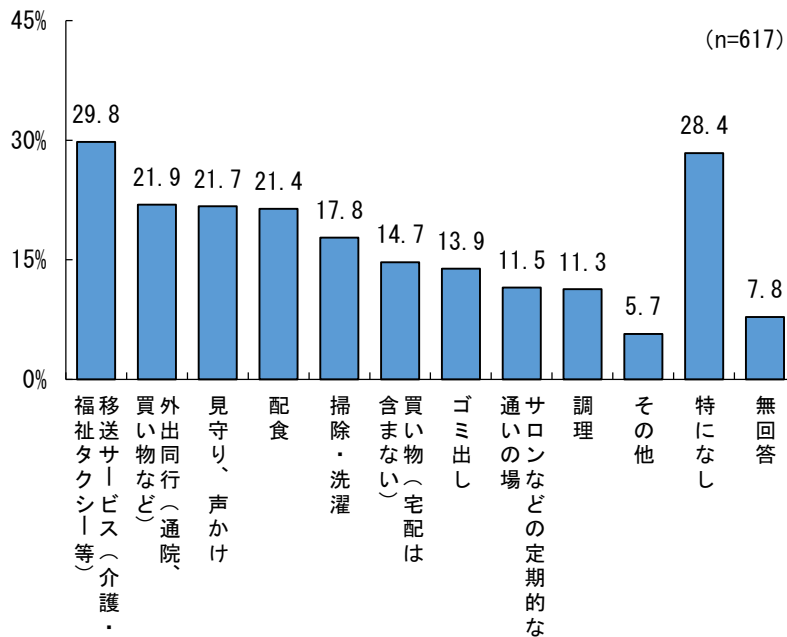
要介護度別にみると、“要介護2”では「家族が介護をするため必要ない」が38.5%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“夫婦のみ世帯”では「本人にサービス利用の希望がない」が48.0%と最も多くなっています。



(3) 在宅生活について

問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）



単身世帯では「配食」と答えた人がおよそ40%

今後、在宅生活で必要と感じる支援・サービスにおいては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.8%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が21.9%、「見守り、声かけ」が21.7%などとなっています。また、「特になし」が28.4%となっています。

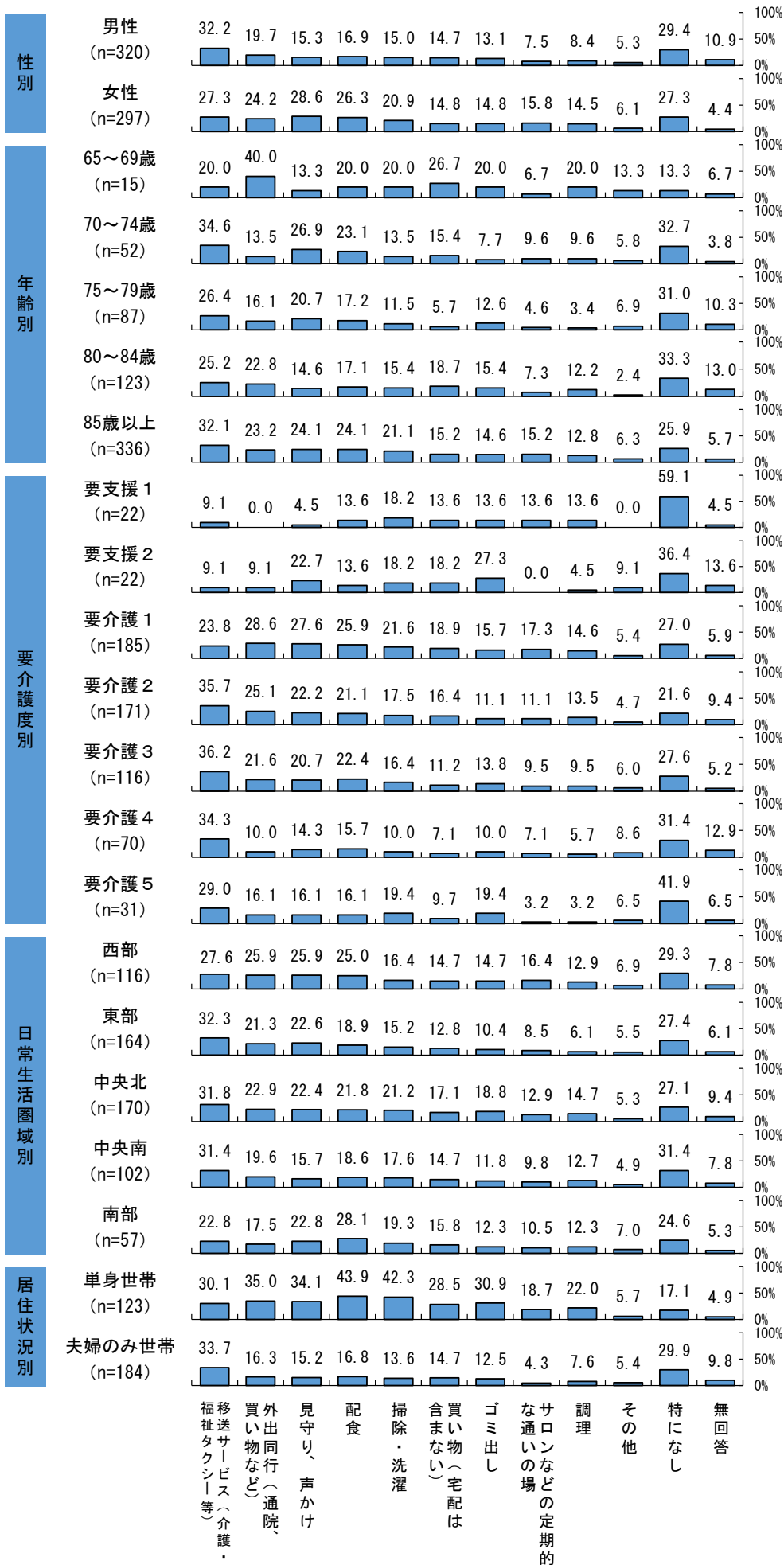
性別にみると、「女性」では「見守り、声かけ」が28.6%と最も多くなっています。

年齢別にみると、「65～69歳」では「外出同行（通院、買い物など）」が40.0%と最も多くなっています。

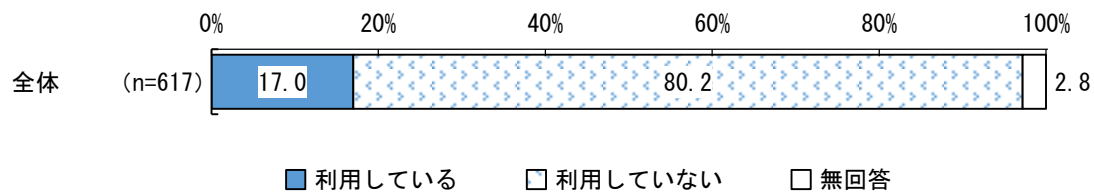
要介護度別にみると、「要介護1」では「外出同行（通院、買い物など）」が28.6%と最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、「南部」では「配食」が28.1%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、「単身世帯」では「配食」が43.9%と最も多くなっています。



問 13 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(○はひとつ)



---

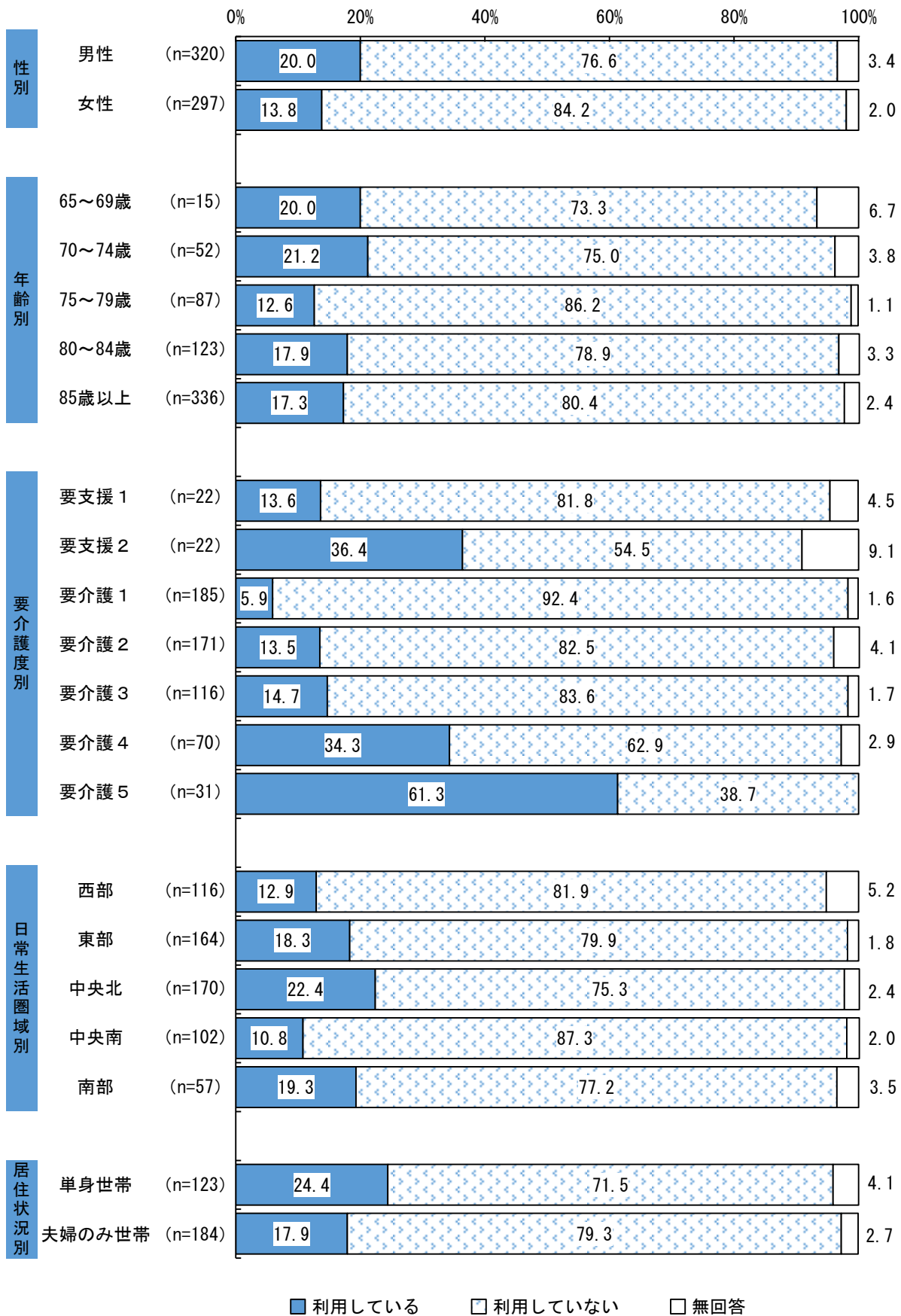
### 要介護5では「利用している」と答えた人がおよそ60%

---

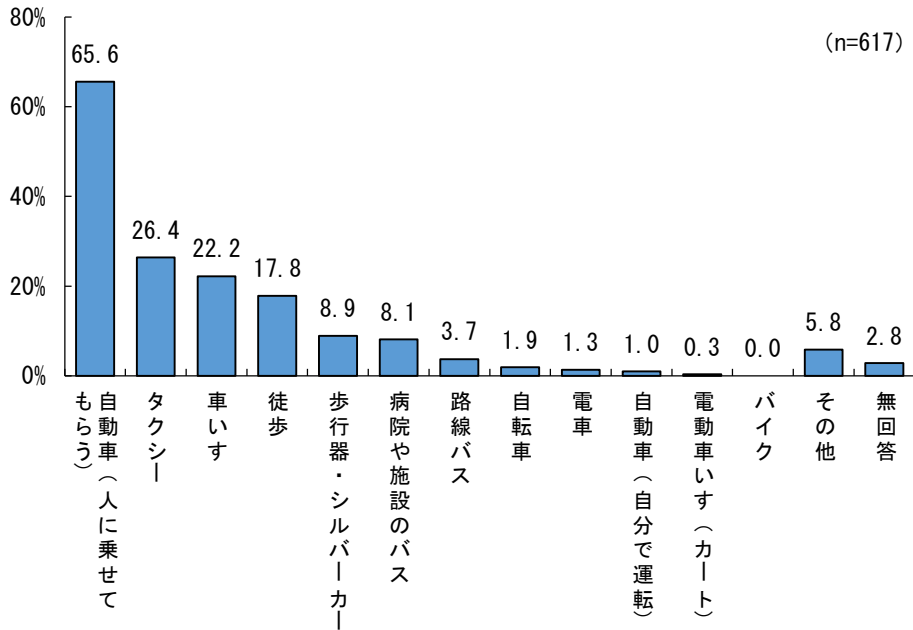
現在の訪問診療の利用有無においては、「利用している」が17.0%、「利用していない」が80.2%となっています。

要介護度別にみると、“要介護5”では「利用している」が61.3%と最も多くなっています。





問 14 外出する際の主な移動手段はどれですか。(〇はいくつでも)



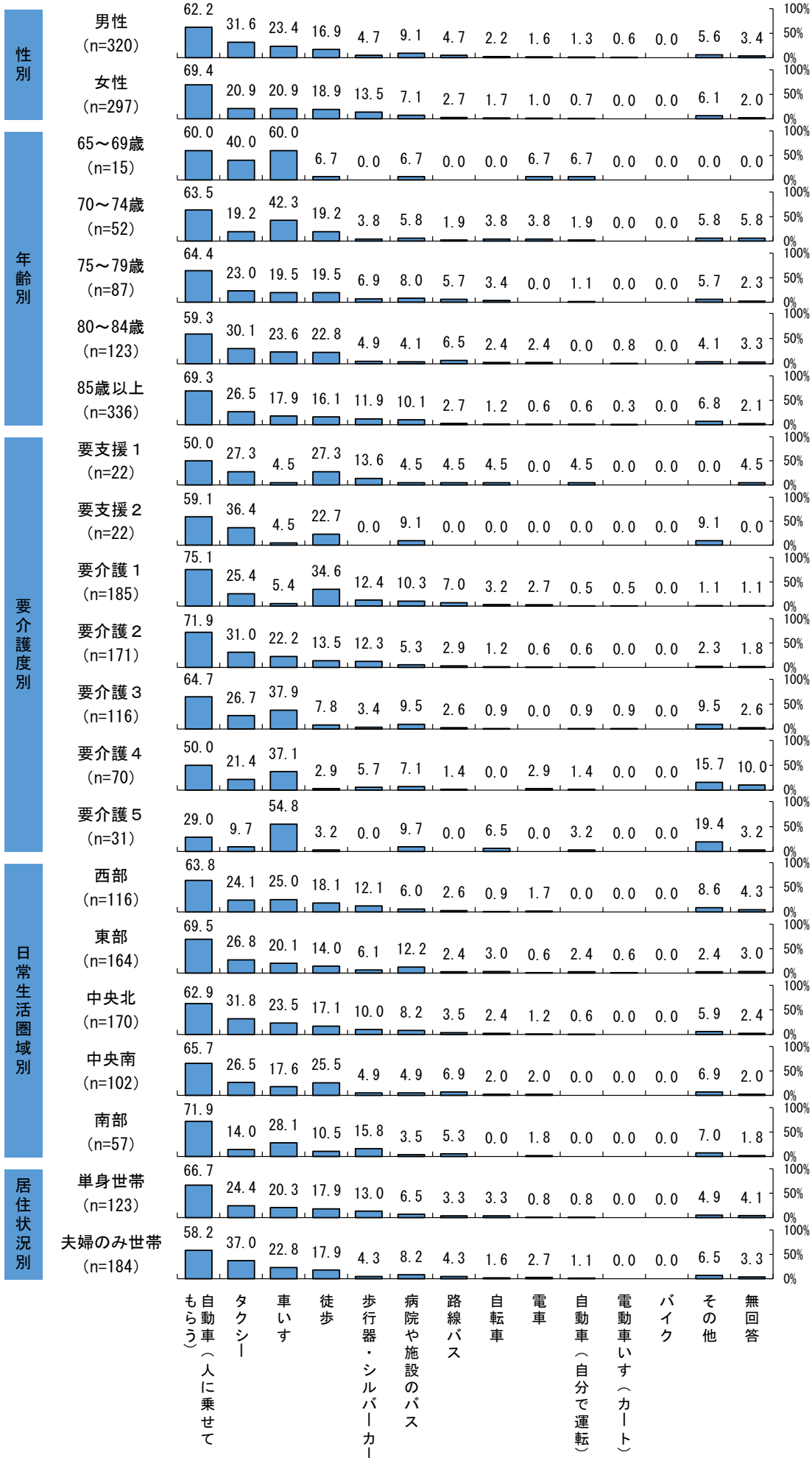

---

**「自動車（人に乗せてもらう）」と答えた人がおよそ70%**

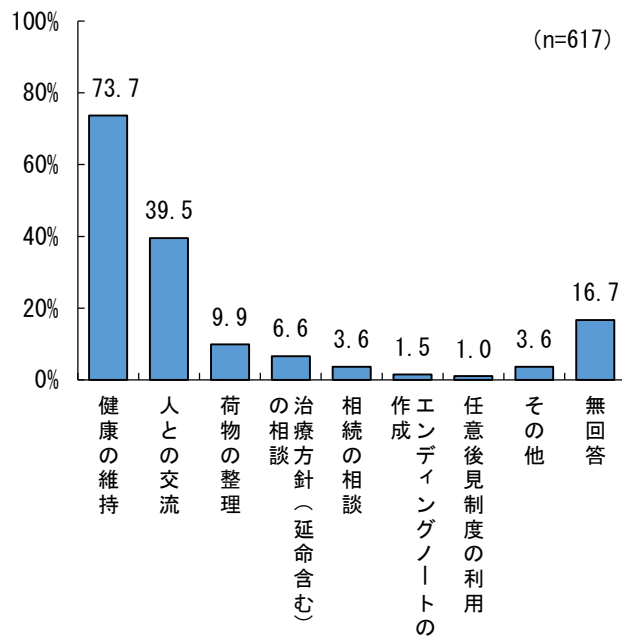
---

外出する際の主な移動手段においては、「自動車（人に乗せてもらう）」が65.6%と最も多く、次いで「タクシー」が26.4%、「車いす」が22.2%などとなっています。

要介護度別にみると、“要介護5”では「車いす」が54.8%と最も多くなっています。



問 15 安心して生活を送るために、行っていることがありましたら、ご回答ください。  
(〇はいくつでも)

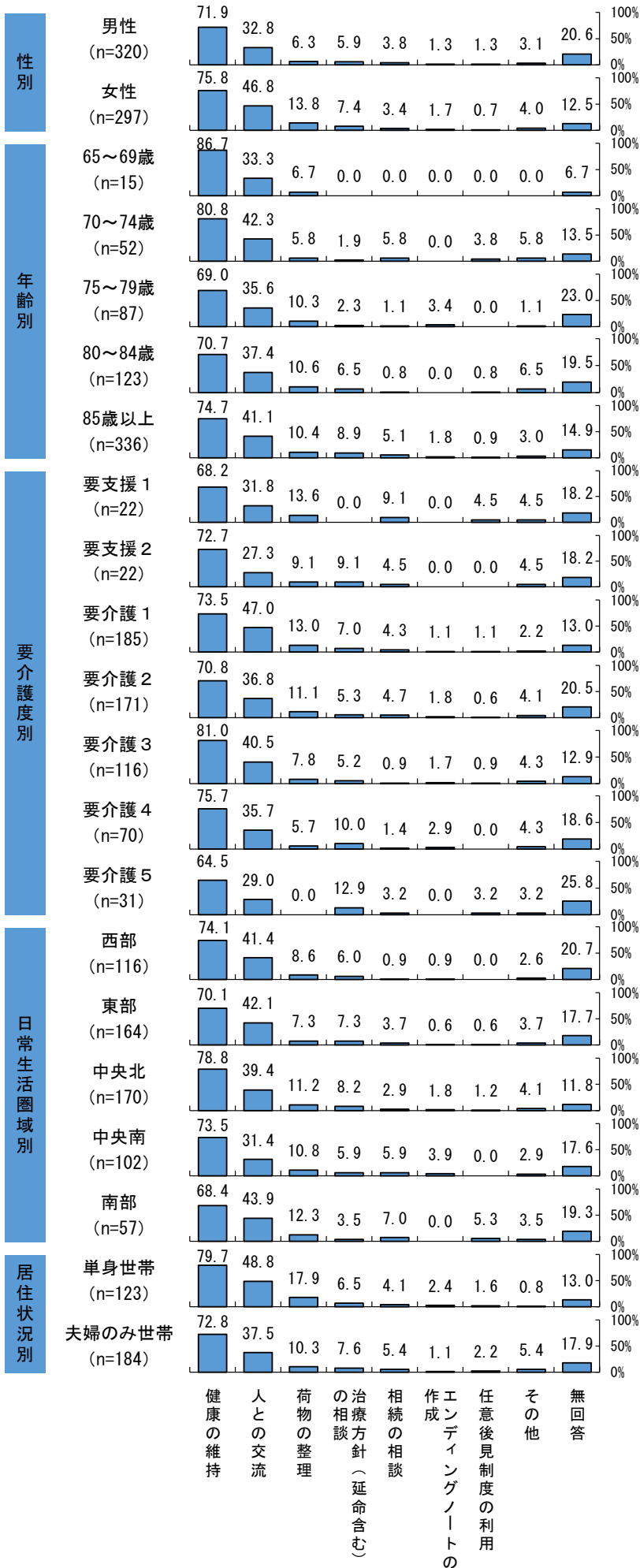


---

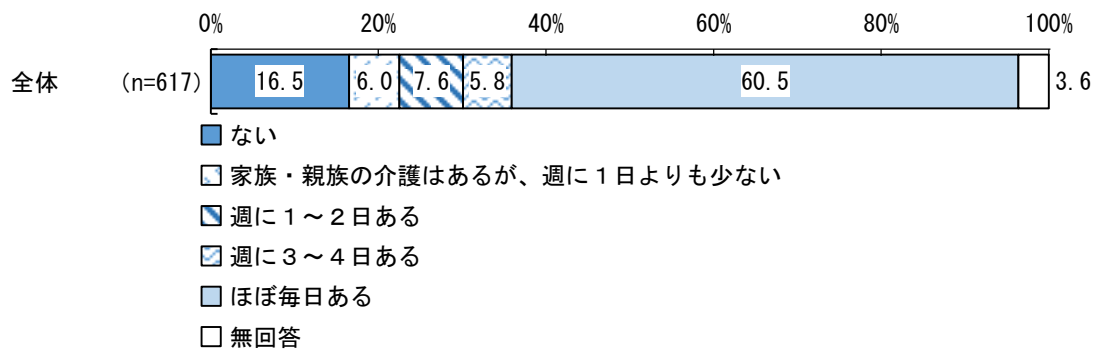
### 「健康の維持」と答えた人がおよそ70%

---

安心して生活を送るために行っていることにおいては、「健康の維持」が73.7%と最も多く、次いで「人との交流」が39.5%、「荷物の整理」が9.9%などとなっています。



問 16 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。  
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (○はひとつ)



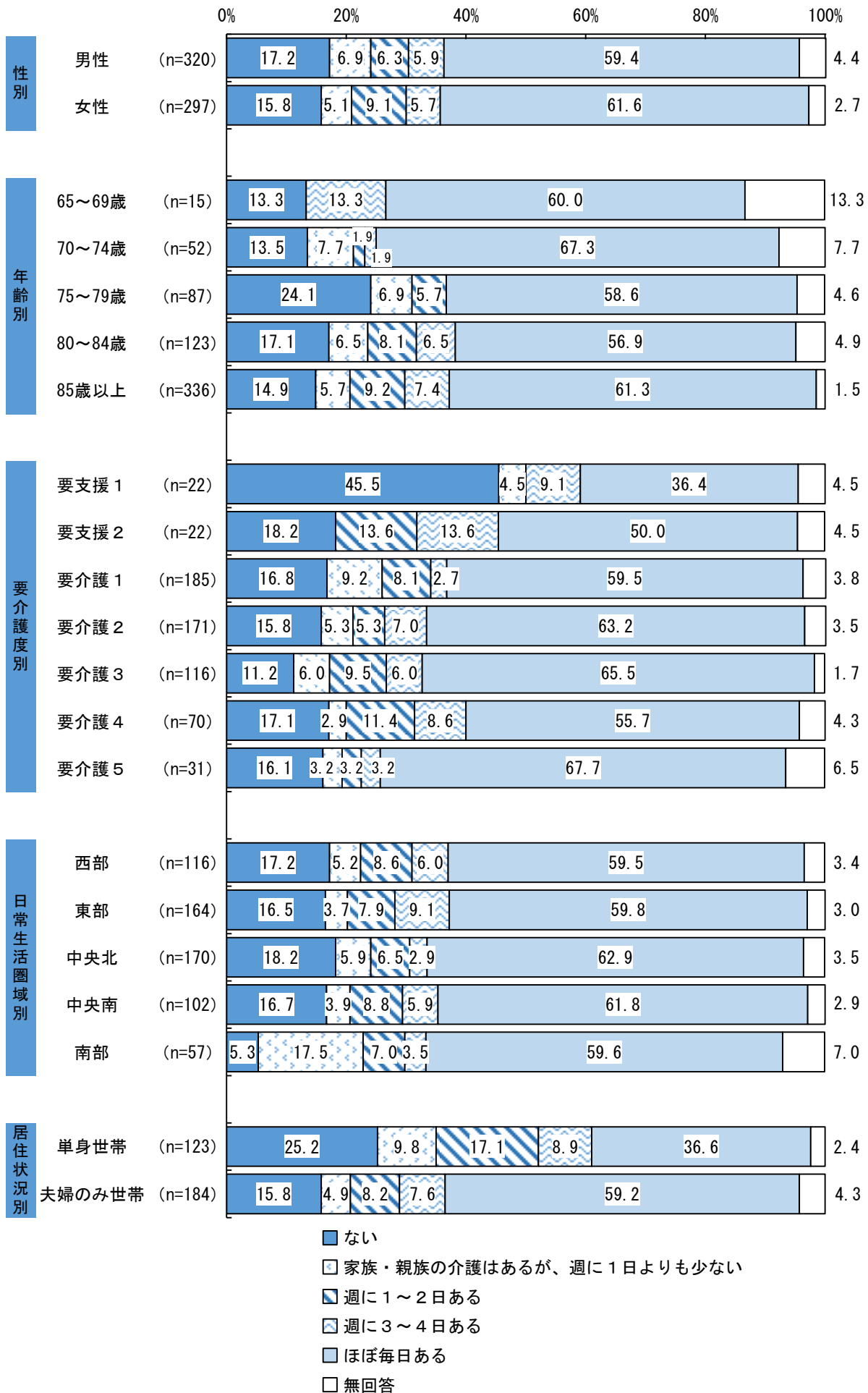

---

**要支援1では「ない」と答えた人がおよそ50%**

---

家族・親族からの介護日数においては、「ほぼ毎日ある」が60.5%と最も多く、次いで「ない」が16.5%、「週に1~2日ある」が7.6%などとなっています。

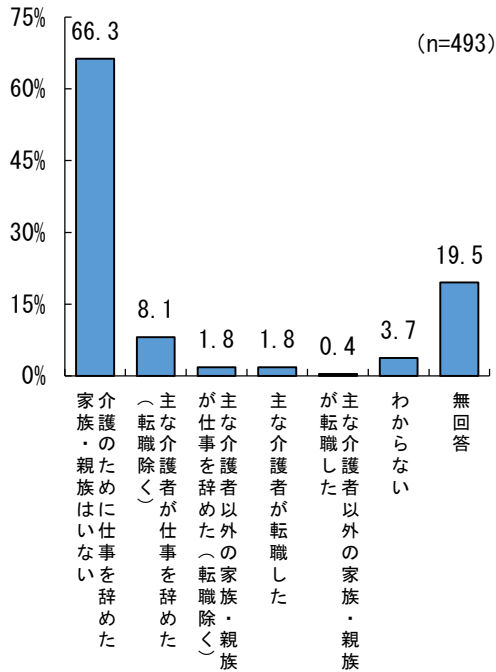
要介護度別にみると、“要支援1”では「ない」が45.5%と最も多くなっています。



## B票 主な介護者の方について、お伺いします。

### (1) 主な介護者の状況について

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人様（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（〇はいくつでも）



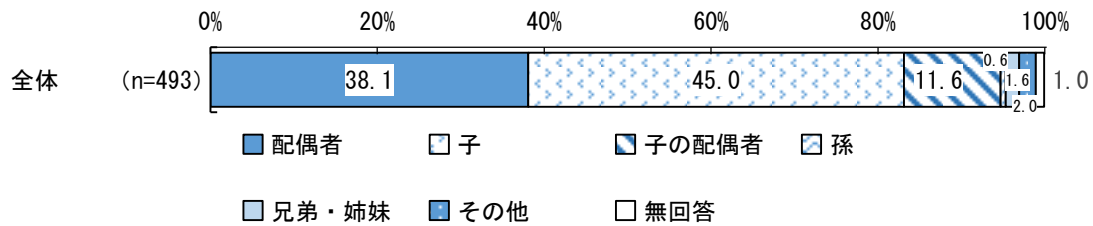
### 「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」と 答えた人がおよそ10%

介護を行っている家族・親族の就業状況においては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が66.3%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.1%、「わからない」が3.7%などとなっています。





問2 主な介護者の方は、どなたですか。(〇はひとつ)



男性では「配偶者」と答えた人がおよそ60%  
女性では「子」と答えた人がおよそ60%

主な介護者においては、「子」が45.0%と最も多く、次いで「配偶者」が38.1%、「子の配偶者」が11.6%などとなっています。

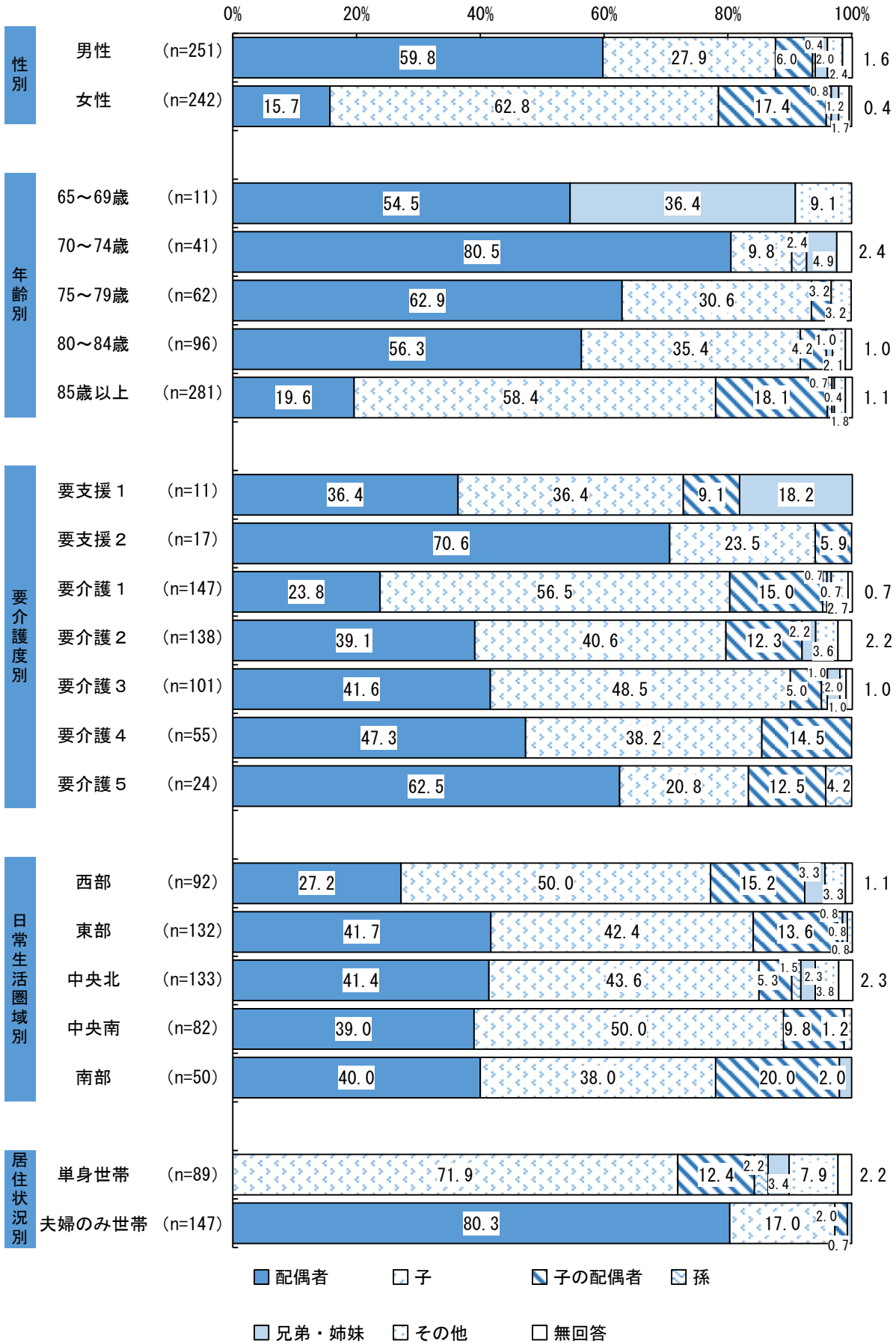
性別にみると、“男性”では「配偶者」が59.8%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”、“75～79歳”、“80～84歳”では「配偶者」が最も多くなっています。

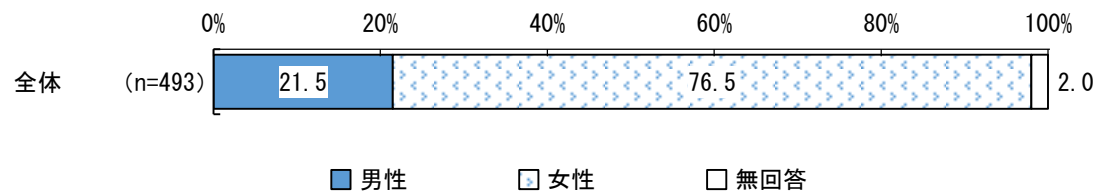
要介護度別にみると、“要支援2”、“要介護4”、“要介護5”では「配偶者」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部”では「配偶者」が40.0%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“夫婦のみ世帯”では「配偶者」が80.3%と最も多くなっています。



問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(〇はひとつ)

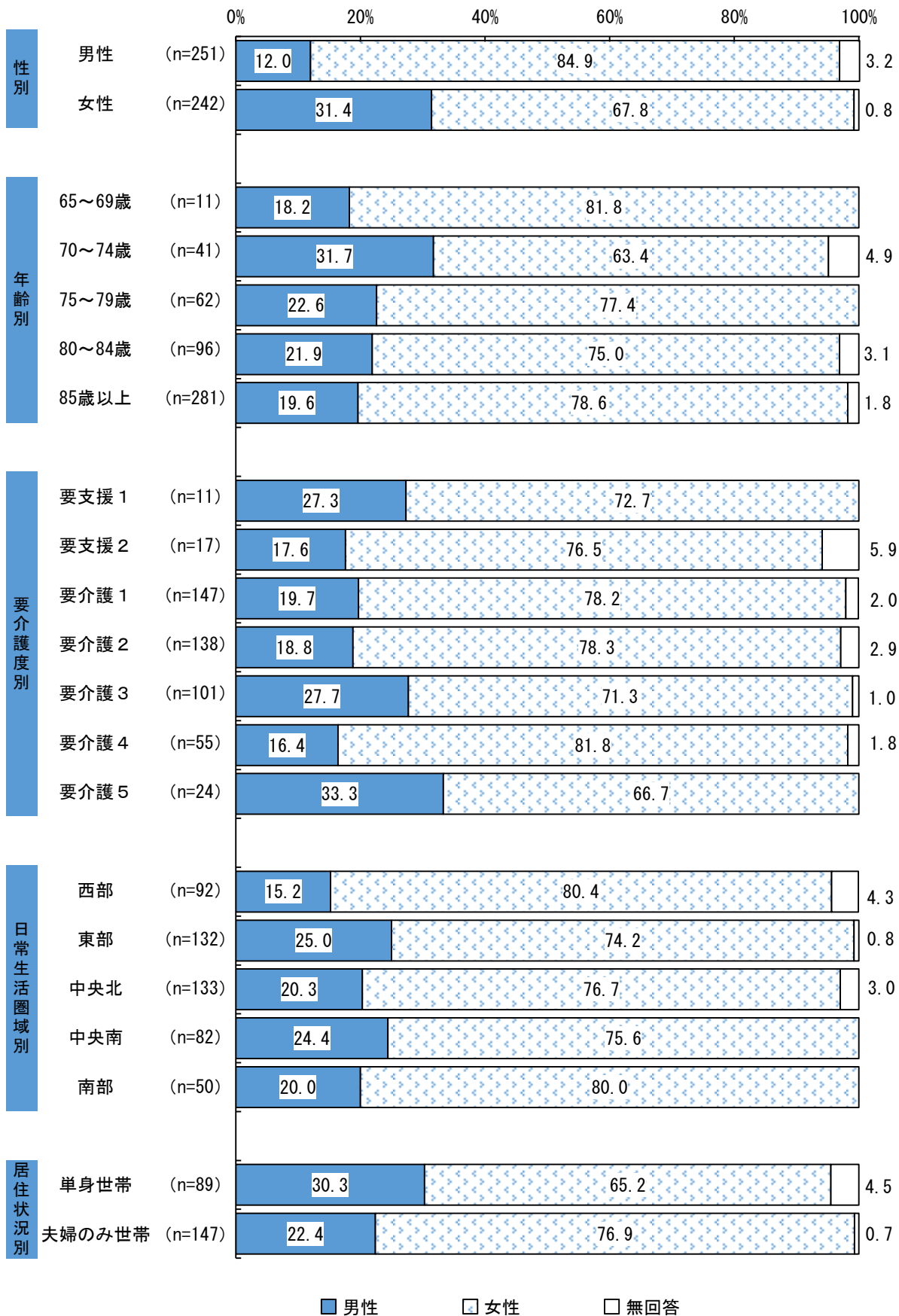


---

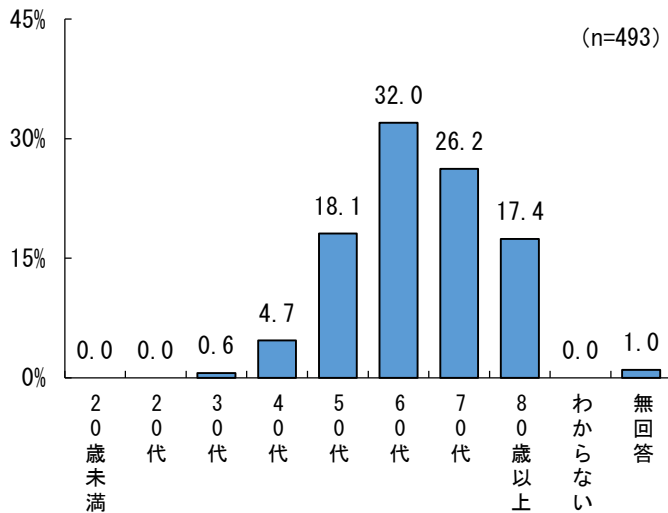
### 主な介護者の性別は「女性」がおよそ80%

---

主な介護者の性別においては、「男性」が21.5%、「女性」が76.5%となっています。



問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(〇はひとつ)



**主な介護者の年齢は「60代」、「70代」がおよそ30%**

主な介護者の年齢においては、「60代」が32.0%と最も多く、次いで「70代」が26.2%、「50代」が18.1%などとなっています。

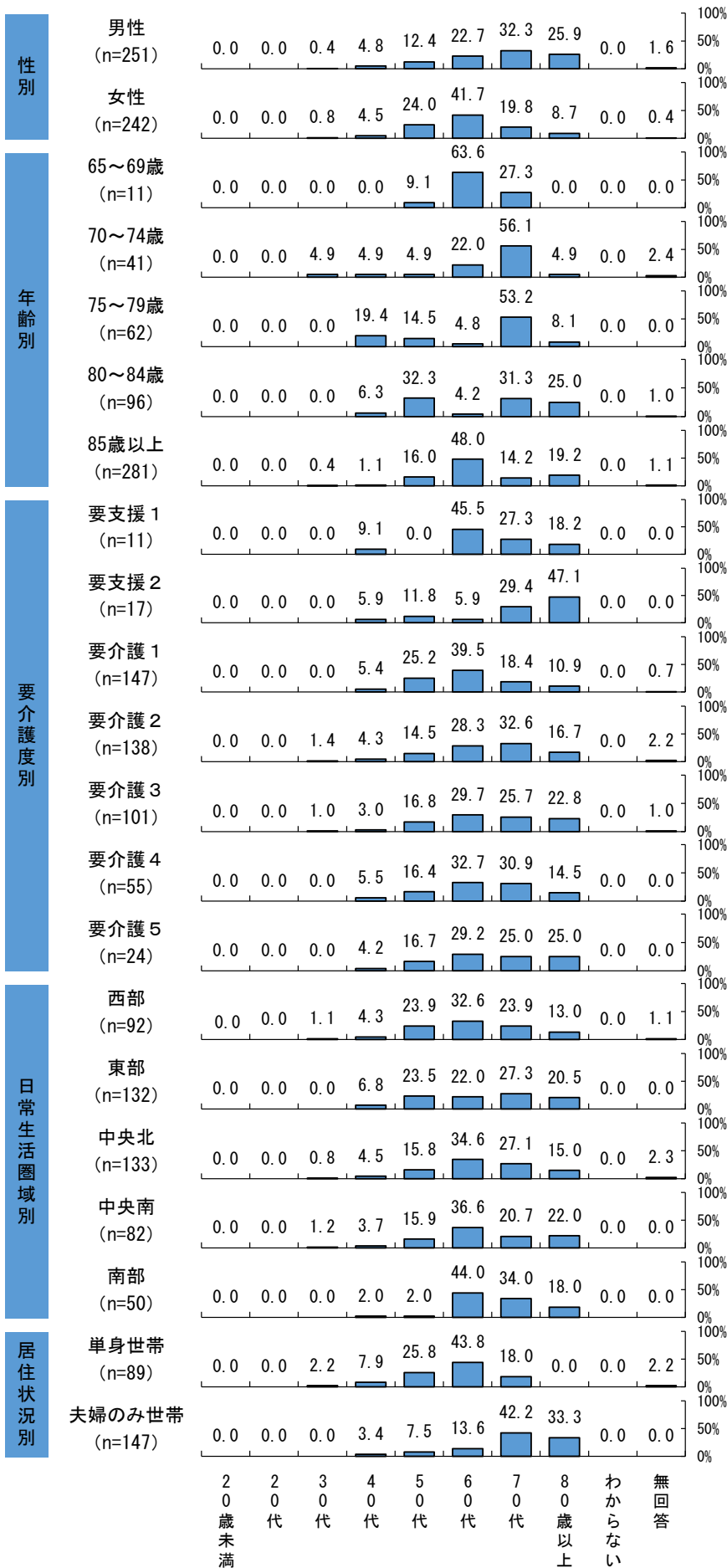
性別にみると、“男性”では「70代」が32.3%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“70～74歳”、“75～79歳”では「70代」が最も多くなっています。

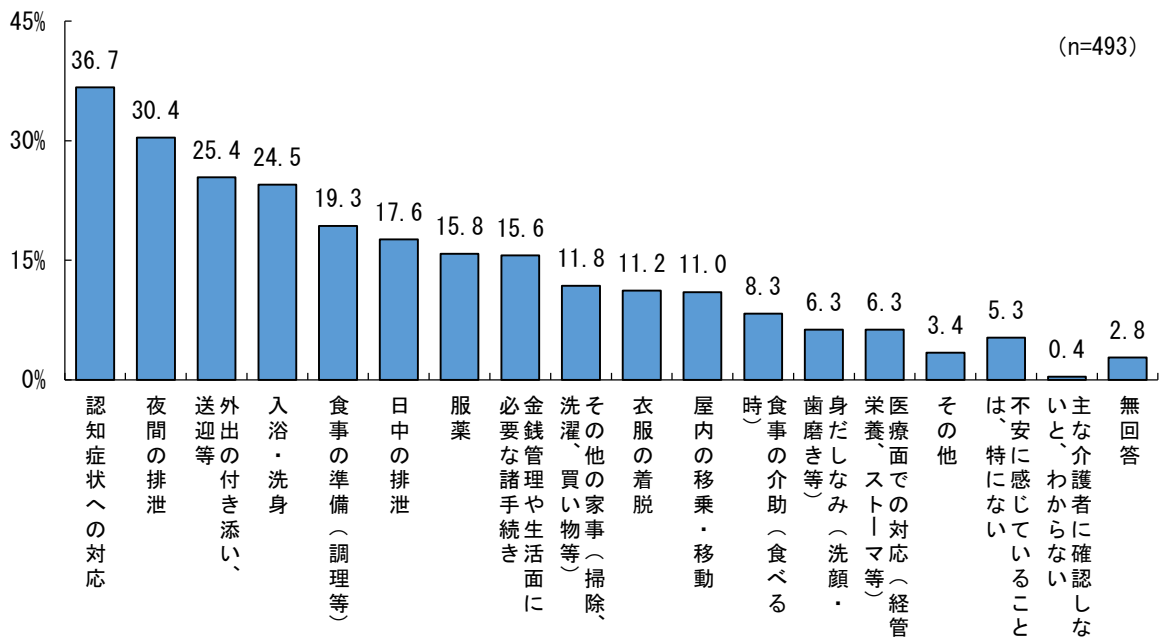
要介護度別にみると、“要支援2”では「80歳以上」が47.1%と最も多くなっています。また、“要介護2”では「70代」が32.6%と最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“東部”では「70代」が27.3%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“夫婦のみ世帯”では「70代」が42.2%と最も多くなっています。



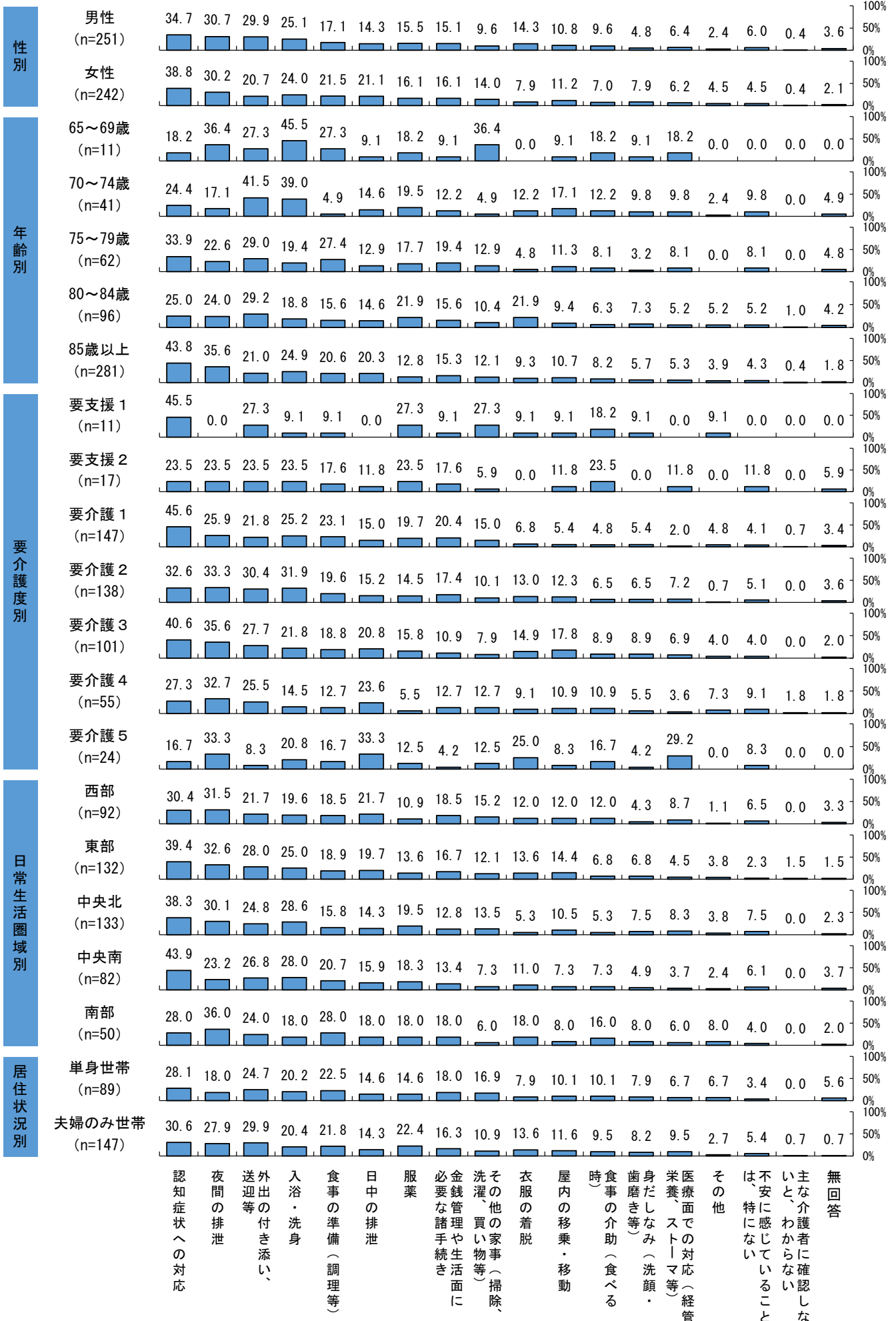
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）



全体では「認知症状への対応」と答えた人がおよそ40%  
 「夜間の排泄」と答えた人がおよそ30%  
 要介護5では「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」と  
 答えた人が30%

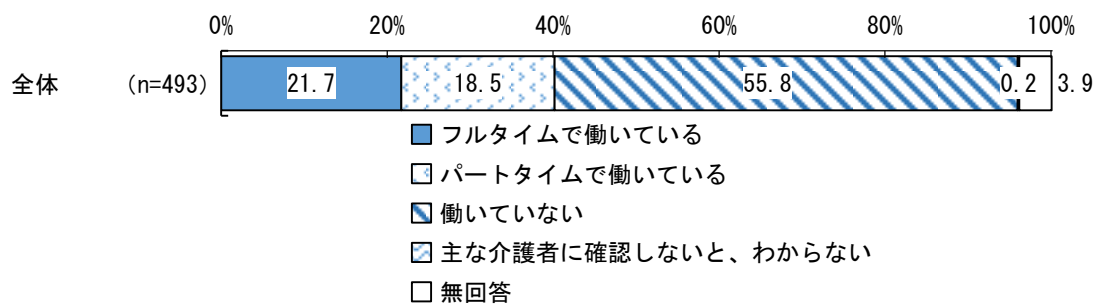
主な介護者の方が不安に感じている介護等においては、「認知症状への対応」が36.7%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が30.4%、「外出の付き添い、送迎等」が25.4%などとなっています。年齢別にみると、“65～69歳”では「入浴・洗身」が45.5%と最も多くなっています。また、“70～74歳”、“80～84歳”では「外出の付き添い、送迎等」が最も多くなっています。要介護度別にみると、“要介護4”では「夜間の排泄」が32.7%と最も多くなっています。日常生活圏域別にみると、“西部”、“南部”では「夜間の排泄」が最も多くなっています。





(2) 主な介護者の就労について

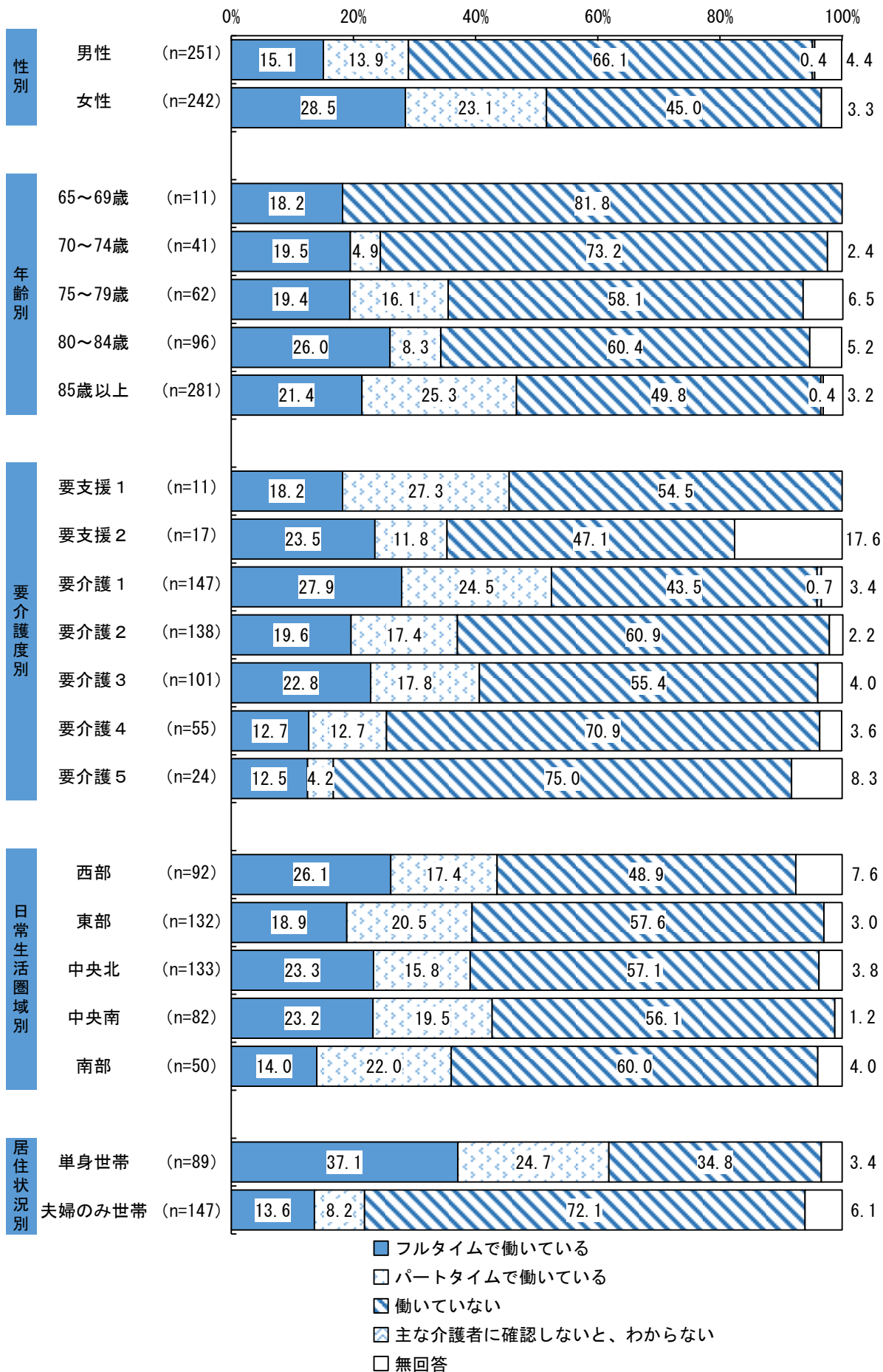
問6 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○はひとつ)



南部では「働いていない」と答えた人が60%

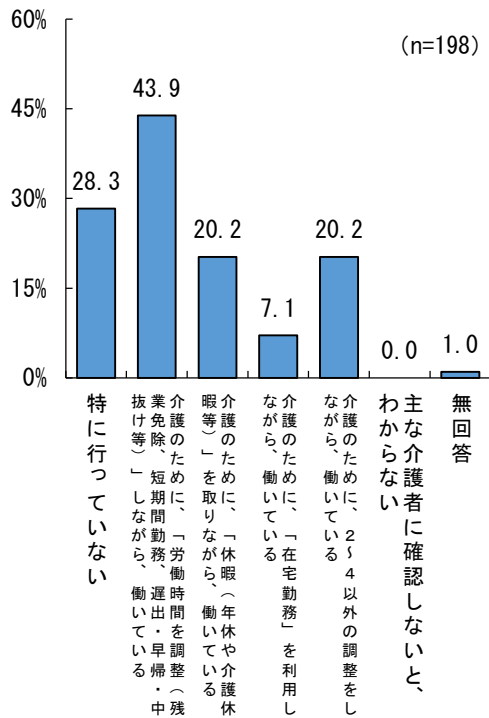
主な介護者の勤務形態においては、「フルタイムで働いている」が21.7%、「パートタイムで働いている」が18.5%、「働いていない」が55.8%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が0.2%となっています。

居住状況別にみると、“単身世帯”では「フルタイムで働いている」が37.1%と最も多くなっています。



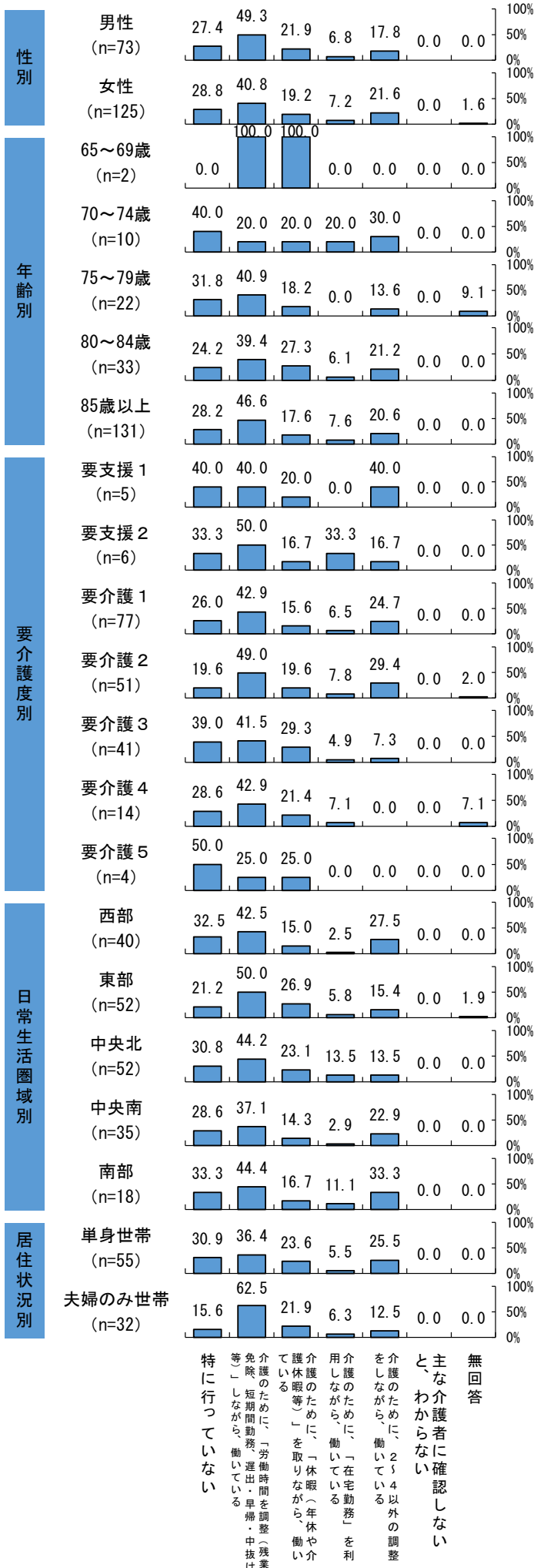
問7 問6で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(〇はいくつでも)



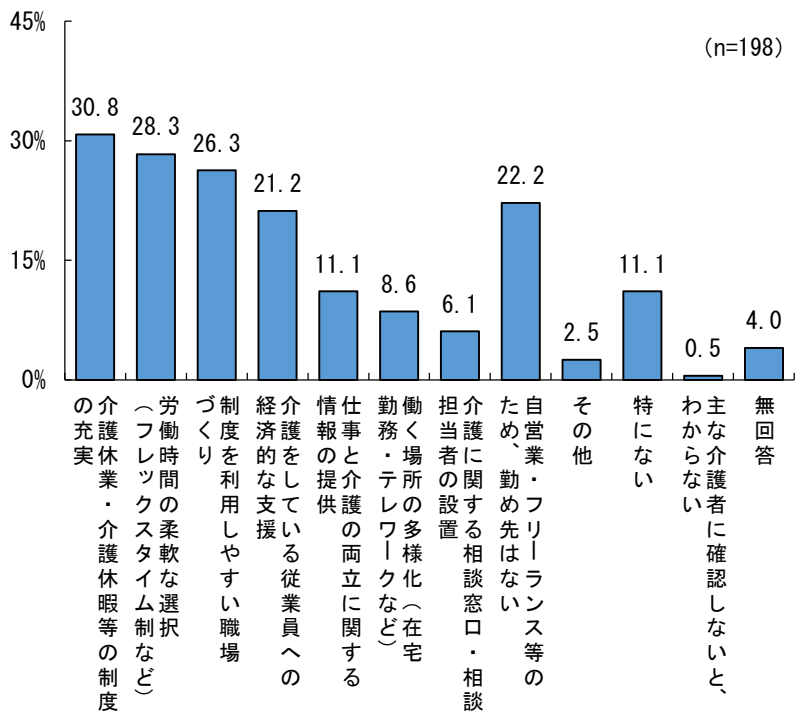
**「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」と答えた人がおよそ40%**

主な介護者が介護するために働き方を調整しているかにおいては、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が43.9%と最も多く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が20.2%などとなっています。また、「特に行っていない」は28.3%となっています。



問8 問6で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があるとおもいますか。(〇は3つまで)



「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と答えた人がおよそ30%

主な介護者が仕事と介護を両立できるのに効果的だと思う支援においては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.8%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が28.3%、「制度を利用しやすい職場づくり」が26.3%などとなっています。

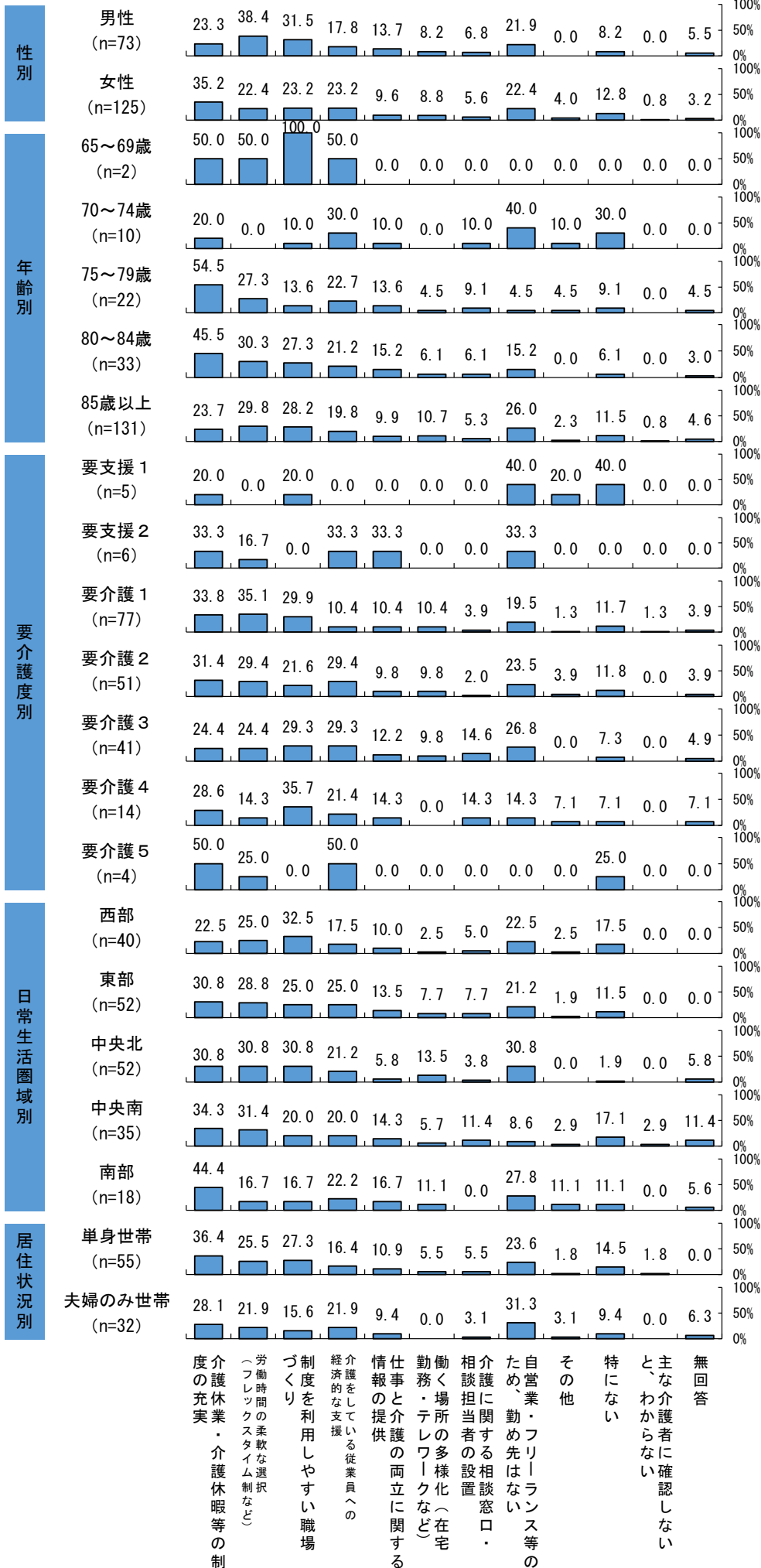
性別にみると、“男性”では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が38.4%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“70～74歳”では「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が40.0%と最も多くなっています。また、“85歳以上”では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が29.8%と最も多くなっています。

要介護度別にみると、“要介護1”では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が35.1%と最も多くなっています。また、“要介護4”では「制度を利用しやすい職場づくり」が35.7%と最も多くなっています。

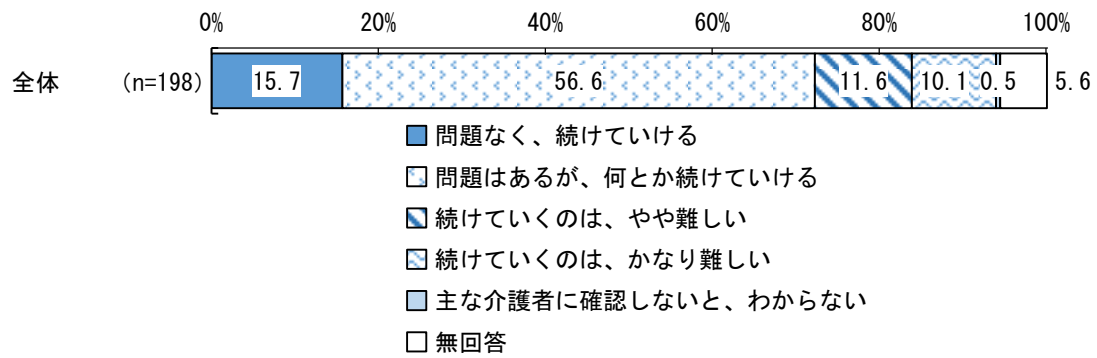
日常生活圏域別にみると、“西部”では「制度を利用しやすい職場づくり」が32.5%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“夫婦のみ世帯”では「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が31.3%と最も多くなっています。



問9 問6で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

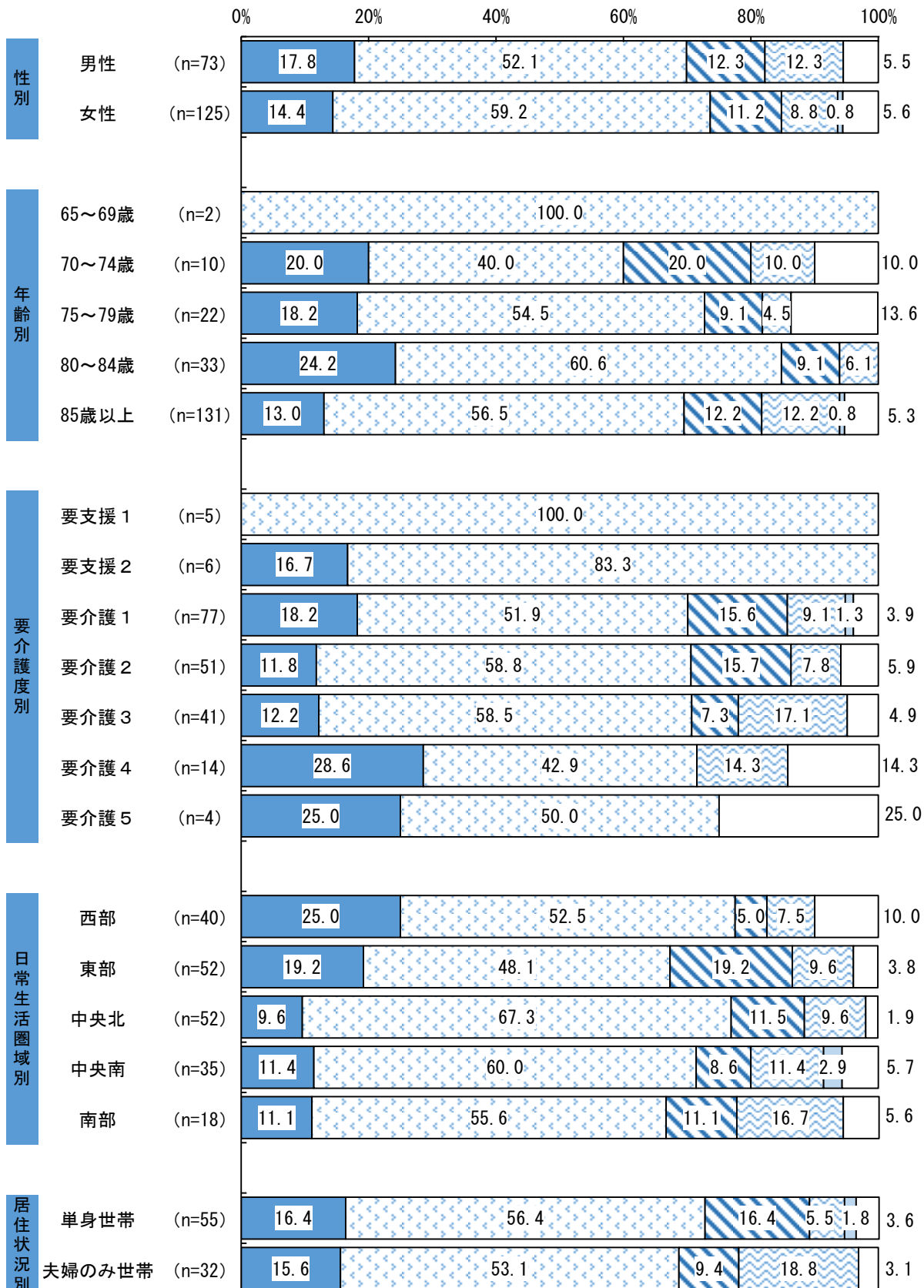
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇はひとつ)



「問題はあるが、何とか続けていける」と答えた人がおよそ60%

主な介護者が今後も働きながら介護が続けられるかにおいては、「問題はあるが、何とか続けていける」が56.6%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が15.7%、「続けていくのは、やや難しい」が11.6%などとなっています。

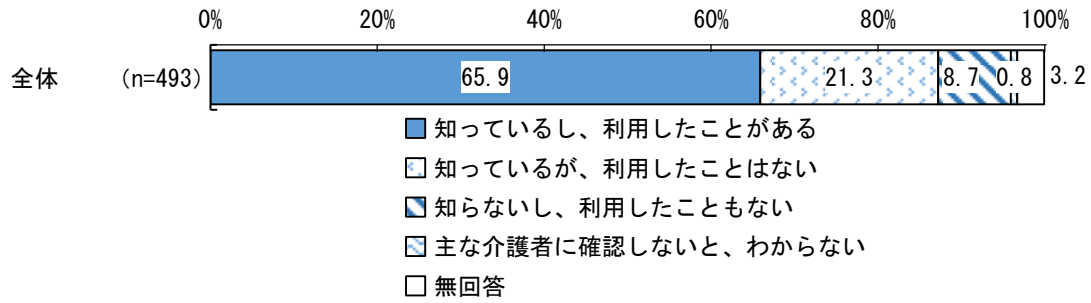




- 問題なく、続けていける
- ▨ 問題はあるが、何とか続けていける
- ▩ 続けていくのは、やや難しい
- ▧ 続けていくのは、かなり難しい
- ▦ 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答

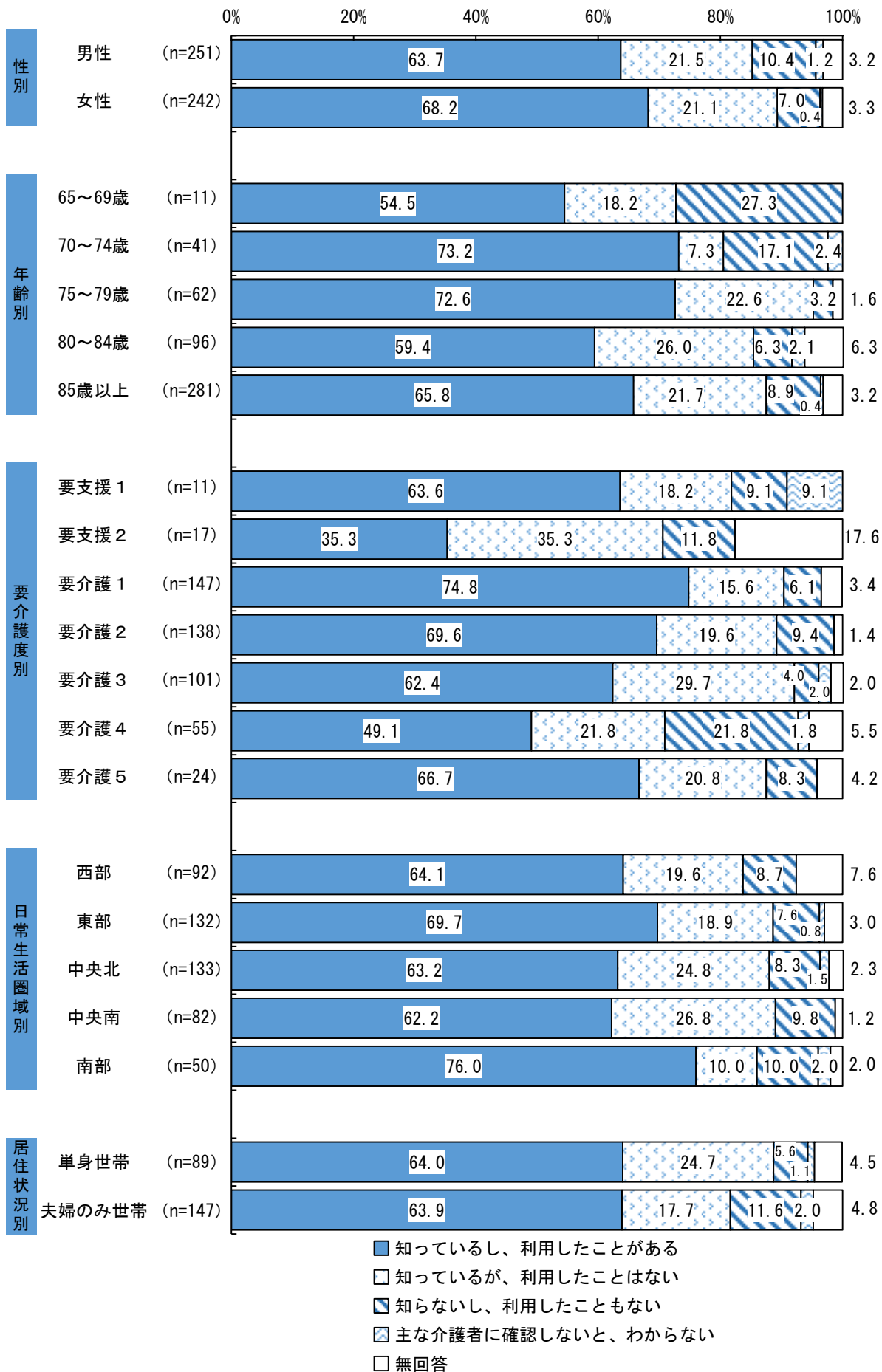
(3) 支援について

問 10 地域包括支援センターが、高齢者の生活全般の相談ができる場所であることを知っていますか。また、利用したことはありますか。(〇はひとつ)

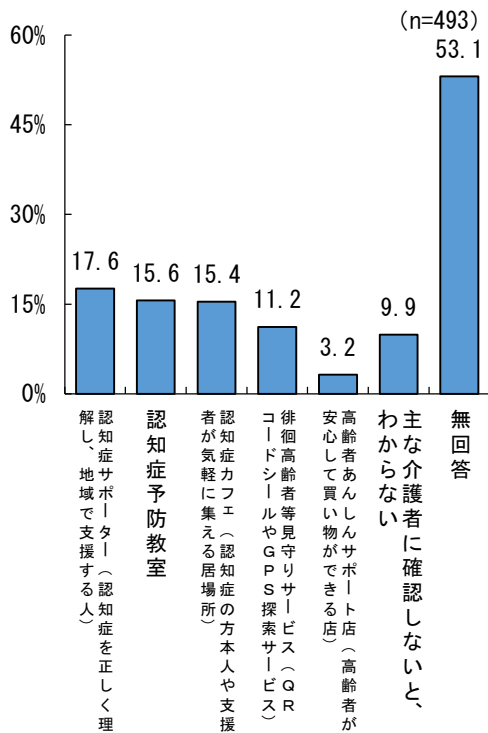


「知っているし、利用したことがある」と答えた人がおよそ70%

地域包括支援センターの役割を知っているか、また利用したことがあるかにおいては、「知っているし、利用したことがある」が65.9%、「知っているが、利用したことはない」が21.3%、「知らないし、利用したこともない」が8.7%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が0.8%となっています。



問 11 市や民間事業者が実施している、認知症の方々を支える以下のサービス等を知っていますか。(〇はいくつでも)



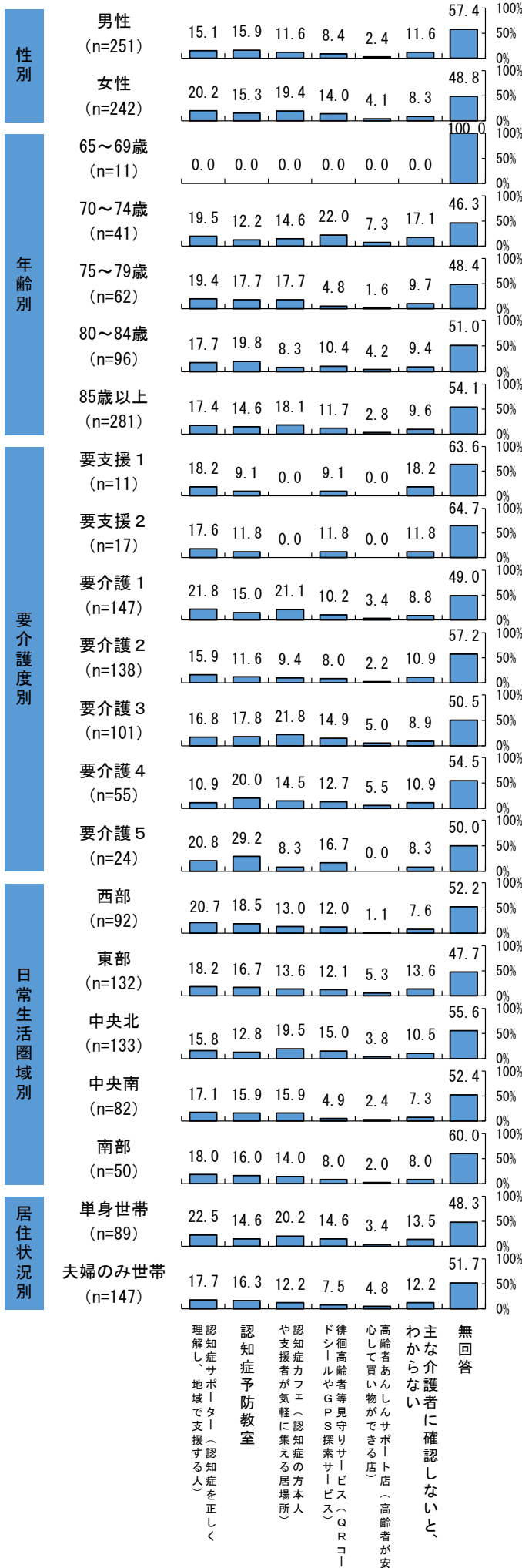
### 「認知症サポーター（認知症を正しく理解し、地域で支援する人）」と答えた人がおよそ20%

市や民間事業者が実施している、認知症の方々を支えるサービス等を知っているかにおいては、「認知症サポーター（認知症を正しく理解し、地域で支援する人）」が17.6%と最も多く、次いで「認知症予防教室」が15.6%、「認知症カフェ（認知症の方本人や支援者が気軽に集える居場所）」が15.4%などとなっています。

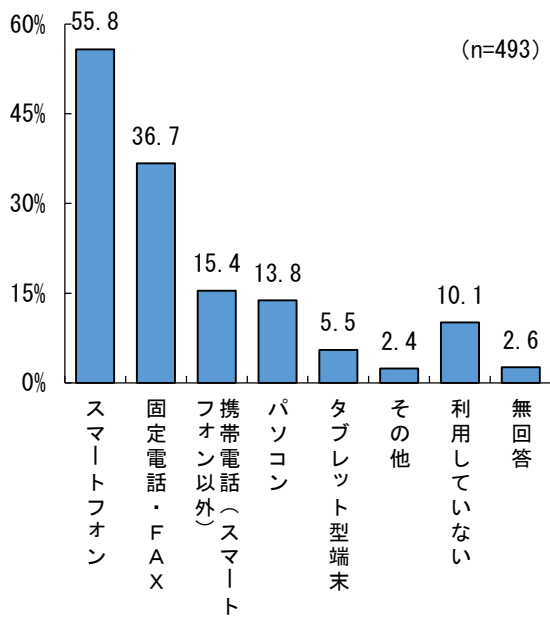
年齢別にみると、“70～74歳”では「徘徊高齢者等見守りサービス（QRコードシールやGPS探索サービス）」が22.0%と最も多くなっています。また、“80～84歳”では「認知症予防教室」が19.8%と最も多くなっています。

要介護度別にみると、“要介護3”では「認知症カフェ（認知症の方本人や支援者が気軽に集える居場所）」が21.8%と最も多くなっています。また、“要介護4”、“要介護5”では「認知症予防教室」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“中央北”では「認知症カフェ（認知症の方本人や支援者が気軽に集える居場所）」が19.5%と最も多くなっています。



問 12 あなたは、連絡や相談、情報を得るときなどに、どのような情報通信機器を利用していますか。(○はいくつでも)



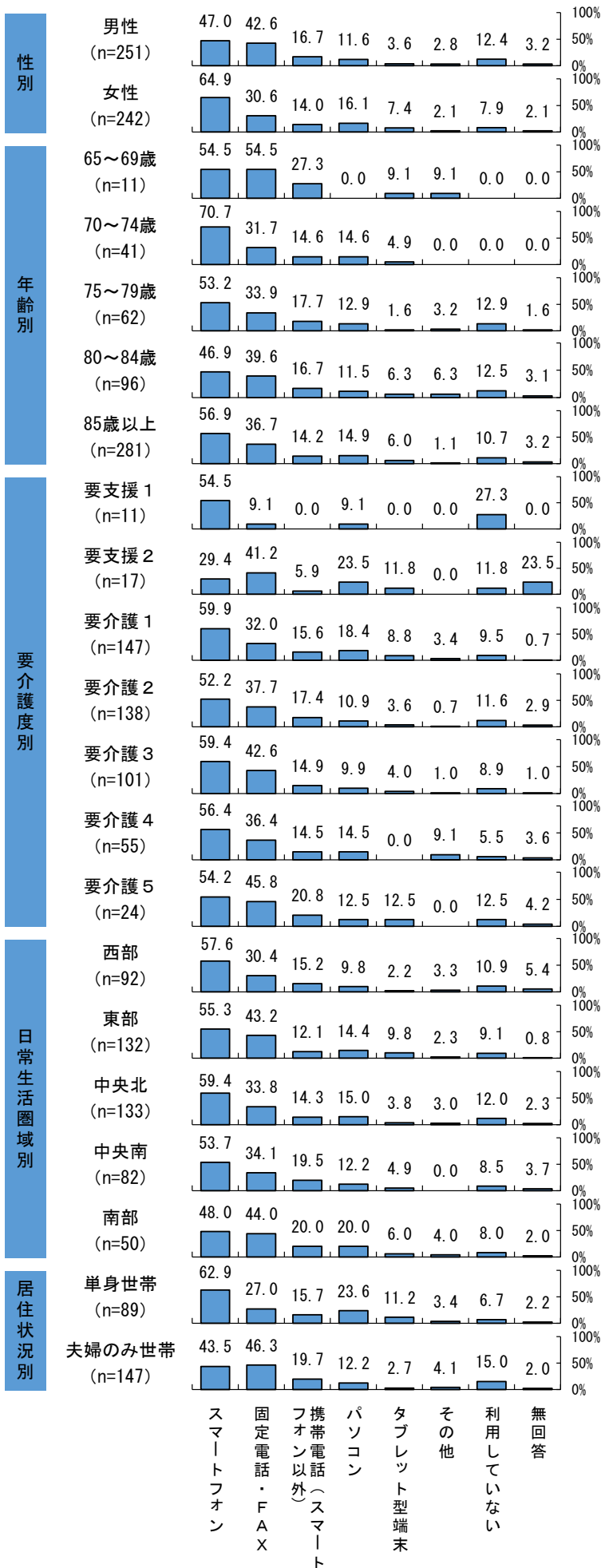

---

### 「スマートフォン」と答えた人がおよそ60%

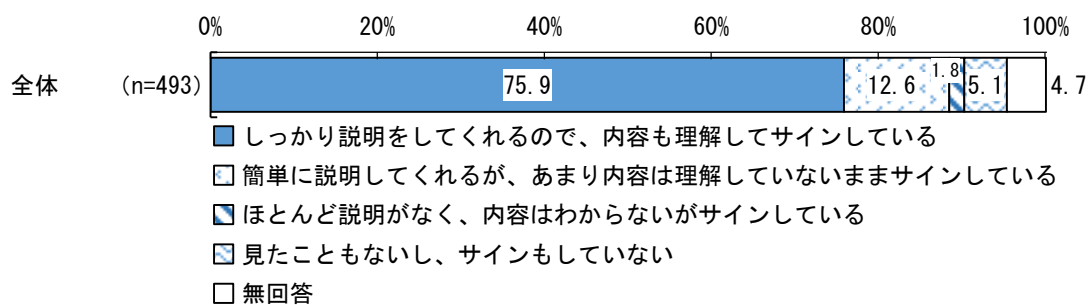
---

連絡や相談、情報を得るときなどに利用している通信手段においては、「スマートフォン」が55.8%と最も多く、次いで「固定電話・FAX」が36.7%、「携帯電話(スマートフォン以外)」が15.4%などとなっています。

要介護度別にみると、“要支援2”では「固定電話・FAX」が41.2%と最も多くなっています。居住状況別にみると、“夫婦のみ世帯”では「固定電話・FAX」が46.3%と最も多くなっています。



問 13 ケアプラン※について、お伺いします。(○はひとつ)



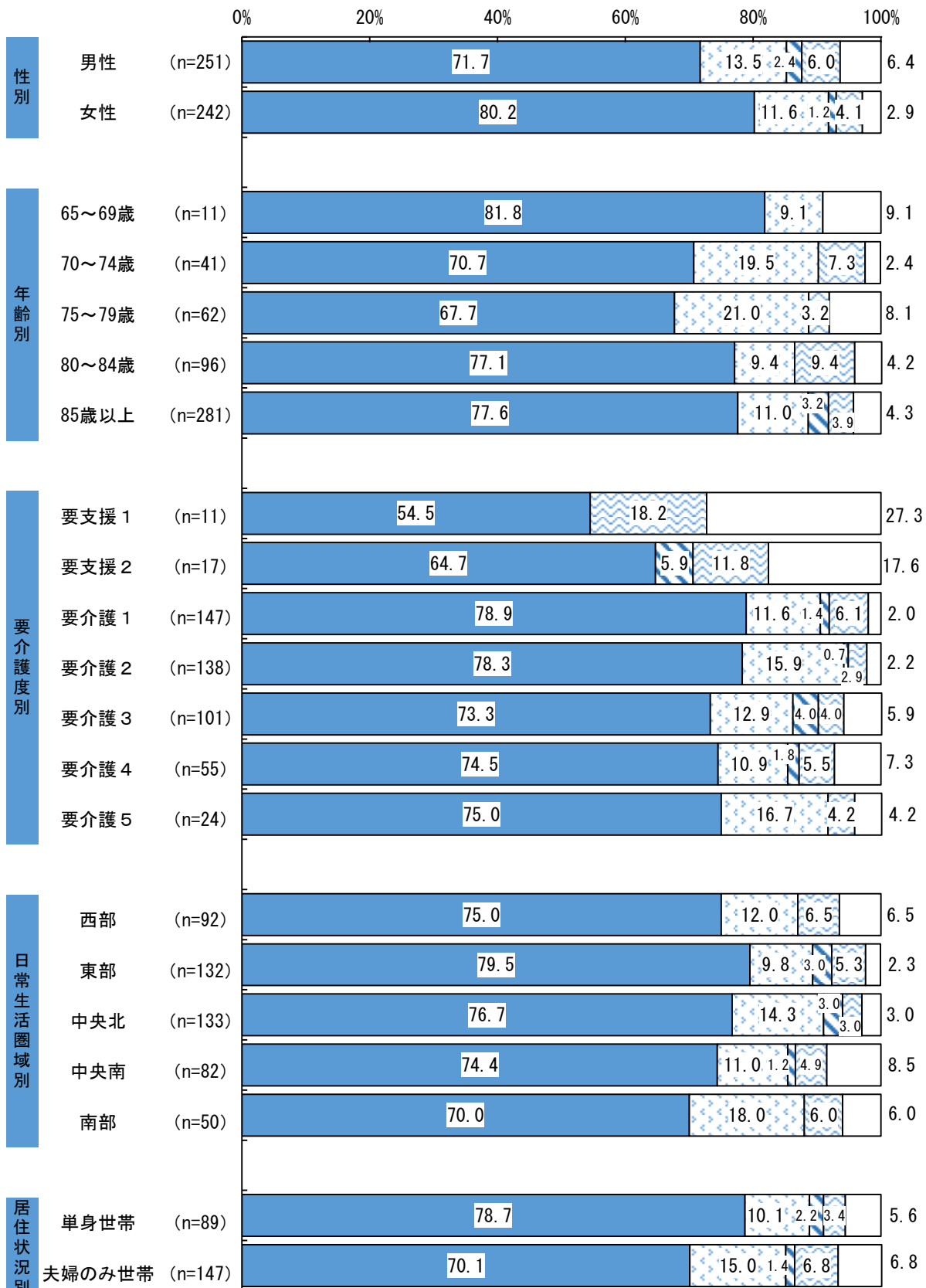

---

**「しっかり説明をしてくれるので、内容も理解してサインしている」  
と答えた人がおよそ80%**

---

ケアプランにおいては、「しっかり説明をしてくれるので、内容も理解してサインしている」が75.9%、「簡単に説明してくれるが、あまり内容は理解していないままサインしている」が12.6%、「ほとんど説明がなく、内容はわからないがサインしている」が1.8%、「見たこともないし、サインもしていない」が5.1%となっています。





- しっかり説明してくれるので、内容も理解してサインしている
- 簡単に説明してくれるが、あまり内容は理解していないままサインしている
- ほとんど説明がなく、内容はわからないがサインしている
- 見たこともないし、サインもしていない
- 無回答



令和4年度  
沼津市高齢者の生活と意識に関する調査  
報告書

令和5年3月

発行／沼津市  
企画・編集／長寿福祉課

〒410-8601

沼津市御幸町16-1

電話 055-934-4834